

はままつ友愛の高齢者プラン策定に伴う実態調査
調査結果報告書

令和8年3月

浜松市

目 次

I 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	2
(5) 回収状況	2
(6) 調査の信頼性	3
(7) 調査結果の表示方法	3
(8) 調査対象者の状況	4
(9) 調査票回答者	9

II 調査結果（高齢者一般調査）

ご本人のことについて

(問 1) 家族構成	6
(F 1) 調査票回答者	9

あなたのご家族や生活状況について

(問 2) 介護・介助が必要か	12
(問 3) 現在の暮らしの経済的な状況	14
(問 4) 介護・介助を行っているか	16
(問 4 - 1) 介護・介助を行う相手	19

からだを動かすことについて

(問 5) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか	20
(問 6) 椅子から何もつかまらずに立ち上げられるか	21
(問 7) 15分位続けて歩けるか	22
(問 8) 過去1年間に転んだ経験	23
(問 9) 転倒に対する不安	24
(問 10) 週1回以上外出しているか	25
(問 11) 昨年と比べて外出回数が減ったか	26

食べることについて

(問 12) 身長・体重	27
(問 13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	29
(問 14) 歯の数と入れ歯の利用状況	30
(問 15) 誰かと食事をする機会	32

毎日の生活について

(問16)	物忘れが多いと感じるか	34
(問17)	外出する際の主な移動手段	35
(問18)	バスや電車を使った外出	39
(問19)	食品・日用品の買い物	40
(問20)	食事の用意	41
(問21)	請求書の支払い	42
(問22)	預貯金の出し入れ	43
(問23)	生きがいを感じる時	44
(問47)	今後やってみたいもの	49
(問24)	パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的	52

地域での活動について

(問25①)	ボランティアのグループへの参加頻度	64
(問25②)	スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度	64
(問25③)	趣味関係のグループへの参加頻度	65
(問25④)	学習・教養サークルへの参加頻度	65
(問25⑤)	介護予防のための通いの場への参加頻度	66
(問25⑥)	シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度	66
(問25⑦)	町内会・自治会への参加頻度	67
(問25⑧)	収入のある仕事への参加頻度	67
(問26)	地域住民の有志による地域づくりに参加者として参加したいか	68
(問27)	地域住民の有志による地域づくりに企画・運営として参加したいか	70
(問28)	地域住民による支え合い活動の担い手として参加したいか	72
(問29)	地域住民による支え合い活動で利用したいサービス	73

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(問30)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	76
(問31)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	80
(問32)	看病や世話をしてくれる人	84
(問33)	看病や世話をしてあげる人	87

健康について

(問34)	現在の健康状態	90
(問35)	健康のために心がけていること	92
(問36)	健康について知りたいこと	97
(問37)	現在の幸福度	100
(問38)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることの有無	104
(問39)	興味がわからない、心から楽しめないことの有無	105
(問40)	喫煙状況	106
(問41)	治療中、または後遺症のある病気	108
(問42)	「フレイル」の認知	113
(問43)	口コトレへの取り組み状況	114
(問44)	補聴器の使用有無	116
(問45)	補聴器を使用した感想	118
(問46)	補聴器を使用していない理由	120

認知症等について

(問52)	認知症の症状がある、又は家族で認知症の症状のある人の有無	122
(問53)	認知症相談窓口の認知	123
(問54)	認知症の人が自分らしく暮らしていると思うか	124
(問55)	認知症になっても地域で暮らすために必要なこと	126
(問51)	地域包括支援センターの役割の認知	132
(問56)	病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか	137
(問57)	「人生会議手帳」の認知	141

今後の暮らしについて

(問48)	介護が必要になった場合に受けたい介護	143
(問49)	家族に介護が必要になった場合にしたい介護	145
(問58)	老後を安心して過ごすために市に充実を求めること	146

介護保険制度や介護保険サービスについて

(問50)	介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか	168
---------	---------------------------	-----

自由意見

高齢者の保健福祉行政についての意見	220
-------------------	-----

Ⅲ 調査結果（在宅要支援認定者調査）

ご本人のことについて

- （問 2） 家族構成…………… 6
（問 1） 調査票回答者…………… 9

あなたのご家族や生活状況について

- （問 3） 介護・介助が必要か…………… 12
（問 4） 現在の暮らしの経済的な状況…………… 14
（問 5） 介護・介助を行っているか…………… 16
（問 5-1） 介護・介助を行う相手…………… 19

からだを動かすことについて

- （問 6） 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか…………… 20
（問 7） 椅子から何もつかまらずに立ち上げられるか…………… 21
（問 8） 15分位続けて歩けるか…………… 22
（問 9） 過去1年間に転んだ経験…………… 23
（問10） 転倒に対する不安…………… 24
（問11） 週1回以上外出しているか…………… 25
（問12） 昨年と比べて外出回数が減ったか…………… 26

食べることについて

- （問13） 身長・体重…………… 27
（問14） 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか…………… 29
（問15） 歯の数と入れ歯の利用状況…………… 30
（問16） 誰かと食事をする機会…………… 32

毎日の生活について

- （問17） 物忘れが多いと感じるか…………… 34
（問18） 外出する際の主な移動手段…………… 35
（問19） バスや電車を使った外出…………… 39
（問20） 食品・日用品の買い物…………… 40
（問21） 食事の用意…………… 41
（問22） 請求書の支払い…………… 42
（問23） 預貯金の出し入れ…………… 43
（問24） 生きがいを感じる時…………… 44
（問25） 今後やってみたいもの…………… 49
（問26） パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的…………… 52

地域での活動について

(問27①)	ボランティアのグループへの参加頻度	64
(問27②)	スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度	64
(問27③)	趣味関係のグループへの参加頻度	65
(問27④)	学習・教養サークルへの参加頻度	65
(問27⑤)	介護予防のための通いの場への参加頻度	66
(問27⑥)	シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度	66
(問27⑦)	町内会・自治会への参加頻度	67
(問27⑧)	収入のある仕事への参加頻度	67
(問28)	地域住民の有志による地域づくりに参加者として参加したいか	68
(問29)	地域住民の有志による地域づくりに企画・運営として参加したいか	70
(問30)	地域住民による支え合い活動で利用したいサービス	73

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(問31)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	76
(問32)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	80
(問33)	看病や世話をしてくれる人	84
(問34)	看病や世話をしてあげる人	87

健康について

(問35)	現在の健康状態	90
(問36)	健康のために心がけていること	92
(問37)	健康について知りたいこと	97
(問38)	現在の幸福度	100
(問39)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることの有無	104
(問40)	興味がわからない、心から楽しめないことの有無	105
(問41)	喫煙状況	106
(問42)	治療中、または後遺症のある病気	108
(問43)	「フレイル」の認知	113
(問44)	ロコトレへの取り組み状況	114
(問45)	補聴器の使用有無	116
(問46)	補聴器を使用した感想	118
(問47)	補聴器を使用していない理由	120

認知症等について

- (問48) 認知症の症状がある、又は家族で認知症の症状のある人の有無 ……122
- (問49) 認知症相談窓口の認知 ……123
- (問50) 認知症の人が自分らしく暮らしていると思うか ……124
- (問51) 認知症になっても地域で暮らすために必要なこと ……126
- (問52) 地域包括支援センターの役割の認知 ……132
- (問53) 病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか ……137
- (問54) 「人生会議手帳」の認知 ……141

災害・避難時の対応について

- (問55) 災害時や緊急時に1人で避難できるか ……149
- (問56) 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無 ……152
- (問57) 災害が起きた時の心配事や問題点 ……155

介護保険制度や介護保険サービスについて

- (問58) 介護保険制度の満足度 ……160
- (問59) 担当のケアマネジャーの満足度 ……163
- (問60) 介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか ……164
- (問61) 介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由 ……166
- (問62) 介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか ……168
- (問63) 施設等への入所・入居の検討状況 ……172
- (問64) 令和7年11月の介護保険サービスの利用状況 ……173
- (問65) 介護保険サービスを利用しなかった理由 ……174
- (問66) 介護保険サービスの利用状況 ……182
- (問67) 家族や親族からの介護の頻度 ……185
- (問68) 主な介護者の年齢 ……189
- (問69) 家族・親族で介護を理由に仕事を辞めた人の有無 ……196
- (問70) 主な介護者の勤務形態 ……200
- (問71) 主な介護者は介護のために働き方の調整等をしているか ……202
- (問72) 主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか ……206
- (問73) 介護する上で困っていること ……208
- (問74) 主な介護者が不安を感じている介護 ……213

自由意見

- 介護保険制度などについての意見 ……221

IV 調査結果（在宅要介護認定者調査）

ご本人のことについて

- （問 2） 世帯類型…………… 6
- （問 1） 調査票回答者…………… 9
- （問 3） 最近1カ月の労働状況…………… 11

あなたのご家族や生活状況について

- （問 4） 介護・介助を行っているか…………… 16
- （問 4-1） 介護・介助を行う相手…………… 19

毎日の生活について

- （問 5） パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的…………… 52

健康について

- （問 6） 補聴器の使用有無……………116

認知症等について

- （問 7） 認知症になっても地域で暮らすために必要なこと……………126
- （問 8） 地域包括支援センターの役割の認知……………132
- （問 9） 病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか……………137
- （問10） 「人生会議手帳」の認知……………141

災害・避難時の対応について

- （問11） 災害時や緊急時に1人で避難できるか……………149
- （問12） 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無……………152
- （問13） 災害が起きた時の心配事や問題点……………155

介護保険制度や介護保険サービスについて

(問14)	介護保険制度の満足度	160
(問15)	担当のケアマネジャーの満足度	163
(問16)	介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか	164
(問17)	介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由	166
(問18)	介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか	168
(問19)	施設等への入所・入居の検討状況	172
(問20)	令和7年11月の介護保険サービスの利用状況	173
(問21)	介護保険サービスを利用しなかった理由	174
(問22)	介護保険サービスの利用状況	182
(問23)	家族や親族からの介護の頻度	185
(問24)	主な介護者の年齢	189
(問25)	家族・親族で介護を理由に仕事を辞めた人の有無	196
(問26)	主な介護者の勤務形態	200
(問27)	主な介護者は介護のために働き方の調整等をしているか	202
(問28)	主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか	206
(問29)	介護する上で困っていること	208
(問30)	主な介護者が不安を感じている介護	213

自由意見

介護保険制度などについての意見	222
-----------------	-----

V 調査結果（認知症の人とその家族の思い調査）

認知症本人と家族等について

（問 1①）性別	4
（問 1③）年齢	5
（問 1④）暮らしの状況	6
（問 1②）居住地区	7
（問 1⑤）認知症のタイプ	223
（問 1⑥）診断を受けてからの期間	224
（問 2）認知症と診断を受けた時の気持ち	225
（問 2-1）認知症と診断を受けた時の気持ちの理由や状況	225
（問 3）認知症の理解の実感	226
（問 3-1）認知症の理解の実感の理由やエピソード	226
（問 4）普段の生活の中で自分の意思を伝えているか	227
（問 4-1）普段の生活の中で自分の意思を伝えているかの理由やエピソード	227
（問 5）暮らしの中で大切にしていること	228
（問 5-1）暮らしの中で大切にしていることの理由やエピソード	228
（問 6）地域や暮らしの中でのコミュニティ	230
（問 7）困ったときの相談先	230
（問 8）希望に沿った医療・介護サービス	231
（問 8-1）いま受けている支援について思っていること	231
（問 9）安心して暮らすために必要だと感じること	232
（問 9-1）安心して暮らすために「ご家族等の介護者」として感じていること	233

調査員について

（①）所属事業所	234
----------	-----

VI 調査結果（認知症に関する意識調査）

（問 1①）性別	4
（問 1③）年齢	5
（問 1②）居住地区	7
（問 1④）職業	235
（問 2）認知症について知っていること	236
（問 3）若年性認知症について知っていること	238
（問 4）認知症の人の日常生活のイメージ	239
（問 5）自分や家族が認知症になった時のこと	240
（問 6）自分や家族が認知症になった場合、近所の人に知ってほしいか	241
（問 7）自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいか	242
（問 8）自分や家族が認知症になった場合の相談先	243
（問 9）「考えたことがない」理由	246
（問 10）「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の認知度	247
（問 11）認知症の人の尊厳は守られているか	248
（問 12）認知症になっても地域で暮らすために必要なこと	249
（問 13）認知症の人が地域で生活するために、自分ができる行動	251
（問 14）認知症サポーターの認知度	254
（問 15）「成年後見制度」について知っていること	255

VIII 付録 調査票

（1）高齢者一般調査	257
（2）在宅要支援認定者調査	267
（3）在宅要介護認定者調査	277
（4）認知症の人とその家族の思い調査	283
（5）認知症に関する意識調査	286

I 調査概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

老人福祉法第20条の8の規定に基づく高齢者保健福祉計画及び介護保険法第117条第1項の規定に基づく介護保険事業計画、共生社会の実現を推進するための認知症基本法第13条第1項の規定に基づく認知症施策推進計画を「はままつ友愛の高齢者プラン」として一体的に策定する上で必要な基礎資料を得るため、高齢者の生活状況や活動状況、介護保険サービスに対する意向、認知症や認知症の人に対する市民の理解度、認知症の人の意思が尊重された生活の状況などの実態を把握することを目的として実施しました。

(2) 調査対象

No.	調査名称	対象者	対象者人口	標本数 (対象者比率)
1	高齢者一般調査	65歳以上で介護認定を受けていない人	186,813人	2,000 (1.1%)
2	在宅要支援認定者調査	要支援1・2認定者（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者含む。）及び事業対象者	13,548人	2,000 (14.8%)
3	在宅要介護認定者調査	要介護1～5認定者（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者含む。）とその家族	19,792人	2,000 (10.1%)
4	認知症の人とその家族の思い調査	認知症の診断を受けた人（疑いも含む）とその家族		
5	認知症に関する意識調査	18歳以上64歳以下で介護認定を受けていない人	439,571人	1,500 (0.3%)

※対象者人口は令和7年4月1日現在

(3) 調査期間

No.	調査名称	期間
1	高齢者一般調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日
2	在宅要支援認定者調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日
3	在宅要介護認定者調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日
4	認知症の人とその家族の思い調査	令和7年11月4日～令和8年1月13日
5	認知症に関する意識調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日

(4) 調査方法

No.	調査名称	抽出方法	回答形式
1	高齢者一般調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	調査票（紙）
2	在宅要支援認定者調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	調査票（紙）
3	在宅要介護認定者調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	調査票（紙）
4	認知症の人とその家族の思い調査	行政職員、地域包括支援センターの職員、ケアマネジャー、介護保険サービス提供事業所の職員による個別聴き取り調査	Web回答
5	認知症に関する意識調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	Web回答

(5) 回収状況

No.	調査名称	発送数	有効回収数	有効回収率
1	高齢者一般調査	2,000通	1,405通	70.3%
2	在宅要支援認定者調査	2,000通	1,257通	62.9%
3	在宅要介護認定者調査	2,000通	1,122通	56.1%
4	認知症の人とその家族の思い調査		263通	
5	認知症に関する意識調査	1,500通	544通	36.3%

区分	高齢者一般調査			在宅要支援認定者調査			在宅要介護認定者調査		
	発送数	有効回収数	有効回収率	発送数	有効回収数	有効回収率	発送数	有効回収数	有効回収率
中央区	1,482	1,040	70.2%	1,541	982	63.7%	1,478	834	56.4%
浜名区	412	289	70.1%	362	213	58.8%	404	223	55.2%
天竜区	106	73	68.9%	97	62	63.9%	118	65	55.1%
無回答		3			0			0	
合計	2,000	1,405	70.3%	2,000	1,257	62.9%	2,000	1,122	56.1%

区分	認知症の人とその家族の思い調査	認知症に関する意識調査		
	回収数（聞き取り）	発送数	有効回収数	有効回収率
中央区	187	1,119	397	35.5%
浜名区	62	311	116	37.3%
天竜区	13	70	31	44.3%
その他	1		0	
合計	263	1,500	544	36.3%

(6) 調査の信頼性

回答の精度（最大誤差）と母集団の大きさ（アンケート対象者人口）に対して必要とされる有効回収数は、精度を低く設定すると必要とされる有効回収数も少なくなり、精度を高く設定すると必要とされる有効回収数も多くなる関係にあります。

今回の調査において、回答の精度（最大誤差）を3%、調査の信頼度を95%とした場合に必要とされる有効回収数は、下記の計算式で求めることができます。

この結果、必要とされる有効回収数は高齢者一般調査1,061通、在宅要支援認定者調査989通、在宅要介護認定者調査1,012通となり、これを上回る有効回収数を得ていることから、調査結果の値の誤差は±3%以内の信頼性が高いものであるといえます。

これは、例えば、違う方を対象に同じ調査を100回行った場合でも、95回（信頼度95%）は調査結果の値が±3%以内でしか変わらないということです。

必要とされる有効回収数の求め方

$$\text{必要とされる有効回収数} = N / \left(\frac{E}{K} \right)^2 \times (N - 1) / (P \times (1 - P)) + 1$$

N：母集団の大きさ（各調査種別のアンケート対象人口）

E：回答の精度（最大誤差）3%

K：信頼度係数1.96（0.95（信頼度95%）における正規分布の値）

P：回答比率（最も誤差が生じる0.5（50%）に設定）

また、認知症施策推進の基礎資料とするため本市独自に実施した認知症に関する意識調査については、浜松市市民意識調査と同等の水準である回答の精度（最大誤差）5%、調査の信頼度95%を目標に調査を実施し、必要となる有効回収数である384通を上回る544通の有効回収数を得ています。

(7) 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 表やグラフ中の回答選択肢が長文の場合、処理の都合上、省略している場合があります。
- ・ 一部のグラフにおいて、0.0%の表記を省略している場合があります。

(8) 調査対象者の状況

①性別

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男性	612	43.6%	556	44.2%	510	45.5%
女性	790	56.2%	701	55.8%	612	54.5%
無回答	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

区分	認知症の人とその家族の 思い調査		認知症に関する意識調査	
	回答数	割合	回答数	割合
男性	63	24.0%	190	34.9%
女性	200	76.0%	350	64.3%
その他	0	0.0%	4	0.7%
合計	263	100.0%	544	100.0%

②年齢

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
65歳未満			14	1.1%	32	2.9%
65～69歳	314	22.3%	29	2.3%	37	3.3%
70～74歳	368	26.2%	67	5.3%	71	6.3%
75～79歳	355	25.3%	186	14.8%	138	12.3%
80～84歳	226	16.1%	343	27.3%	207	18.4%
85～89歳	106	7.5%	372	29.6%	292	26.0%
90歳以上	33	2.3%	246	19.6%	345	30.7%
無回答	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

区分	認知症の人とその家族の 思い調査	
	回答数	割合
～40歳代	0	0.0%
50歳代	4	1.5%
60歳代	5	1.9%
70歳代	51	19.4%
80歳代	123	46.8%
90歳代	80	30.4%
100歳代～	0	0.0%
合計	263	100.0%

区分	認知症に関する意識調査	
	回答数	割合
～20歳代	91	16.7%
30歳代	115	21.1%
40歳代	115	21.1%
50歳代	125	23.0%
60歳代	98	18.0%
合計	544	100.0%

③家族構成

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合
1人暮らし	202	14.4%	374	29.8%
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	568	40.4%	324	25.8%
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	57	4.1%	15	1.2%
息子・娘との2世帯	322	22.9%	365	29.0%
その他	226	16.1%	166	13.2%
無回答	30	2.1%	13	1.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

④世帯類型

区分	在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合
単身世帯	261	23.3%
夫婦のみ世帯	304	27.1%
その他	544	48.5%
無回答	13	1.2%
合計	1,122	100.0%

⑤暮らしの状況

区分	認知症の人とその家族の 思い調査	
	回答数	割合
自宅で一人暮らし	30	11.4%
自宅で家族と同居	98	37.3%
介護施設などに入所	129	49.0%
その他	6	2.3%
合計	263	100.0%

⑥介護度

区分	在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合
総合事業対象者	334	26.6%		
要支援1	549	43.7%		
要支援2	374	29.8%		
要介護1			620	55.3%
要介護2			247	22.0%
要介護3			143	12.7%
要介護4			74	6.6%
要介護5			38	3.4%
合計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

⑦居住地区

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中央区	1,040	74.0%	982	78.1%	834	74.3%
浜名区	289	20.6%	213	16.9%	223	19.9%
天竜区	73	5.2%	62	4.9%	65	5.8%
無回答	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

区分	認知症の人とその家族の 思い調査		認知症に関する意識調査	
	回答数	割合	回答数	割合
中央区	187	71.1%	397	73.0%
浜名区	62	23.6%	116	21.3%
天竜区	13	4.9%	31	5.7%
その他	1	0.4%	0	0.0%
合計	263	100.0%	544	100.0%

⑧日常生活圏域

区	包括圏域	該当地区	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査		
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
中央区	元浜	北、曳馬	71	5.1%	75	6.0%	54	4.8%	
	鴨江	西、県居、江西	56	4.0%	66	5.3%	37	3.3%	
	佐鳴台	城北、佐鳴台	46	3.3%	53	4.2%	34	3.0%	
	和合	富塚、萩丘（住吉・和合）	32	2.3%	46	3.7%	34	3.0%	
	板屋	中央、東、江東、駅南	79	5.6%	86	6.8%	75	6.7%	
	高丘	萩丘（萩丘中、葵・高丘）	100	7.1%	71	5.6%	53	4.7%	
	ありたま	積志	67	4.8%	60	4.8%	52	4.6%	
	さぎの宮	長上、笠井	80	5.7%	71	5.6%	72	6.4%	
	あんま	中ノ町、和田、蒲	67	4.8%	58	4.6%	58	5.2%	
	大平台	入野、篠原	57	4.1%	62	4.9%	64	5.7%	
	和地	庄内、和地、伊佐見	61	4.3%	47	3.7%	52	4.6%	
	雄踏	舞阪		26	1.9%	18	1.4%	18	1.6%
		雄踏		29	2.1%	29	2.3%	34	3.0%
		神久呂		17	1.2%	21	1.7%	15	1.3%
	新津	新津、可美	51	3.6%	53	4.2%	40	3.6%	
芳川	芳川、河輪、五島	72	5.1%	65	5.2%	60	5.3%		
三和	白脇、飯田	59	4.2%	59	4.7%	39	3.5%		
三方原	三方原、都田、新都田	85	6.0%	66	5.3%	54	4.8%		
浜名区	細江	細江	36	2.6%	32	2.5%	24	2.1%	
		引佐	29	2.1%	17	1.4%	27	2.4%	
		三ヶ日	22	1.6%	22	1.8%	28	2.5%	
	北浜	北浜	78	5.6%	53	4.2%	51	4.5%	
	しんぱら	浜名、鹿玉	64	4.6%	36	2.9%	47	4.2%	
	於呂	中瀬、赤佐	46	3.3%	29	2.3%	35	3.1%	
天竜区	天竜	天竜	43	3.1%	33	2.6%	29	2.6%	
		春野	12	0.9%	9	0.7%	16	1.4%	
	北遠中央	佐久間	6	0.4%	4	0.3%	6	0.5%	
		水窪	1	0.1%	3	0.2%	2	0.2%	
	龍山	10	0.7%	13	1.0%	12	1.1%		
無回答			3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	
合計			1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%	

(9) 調査票回答者（複数回答・高齢者一般調査のみ単数回答）

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査	
	件数	割合	件数	割合
あて名のご本人が記入	1,238	88.1%	963	76.6%
ご家族が記入	53	3.8%	249	19.8%
その他	0	0.0%	5	0.4%
無回答	114	8.1%	85	6.8%
有効回収数	1,405	100.0%	1,257	-

区分	在宅要介護認定者調査	
	件数	割合
調査対象者本人	435	38.8%
主な介護者となっている家族・親族	765	68.2%
主な介護者以外の家族・親族	31	2.8%
その他	15	1.3%
無回答	14	1.2%
有効回収数	1,122	-

調査結果

- Ⅱ 高齢者一般調査
- Ⅲ 在宅要支援認定者調査
- Ⅳ 在宅要介護認定者調査

最近1カ月の労働状況

あなたは、最近1カ月の間に、何かお仕事をされましたか。(○はひとつ)

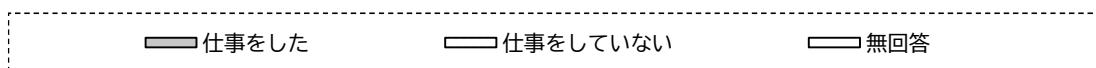
<在宅要介護認定者調査 問3>

【単純集計】

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
仕事をした	61	5.4%
仕事をしていない	1,054	93.9%
無回答	7	0.6%
合 計	1,122	100.0%

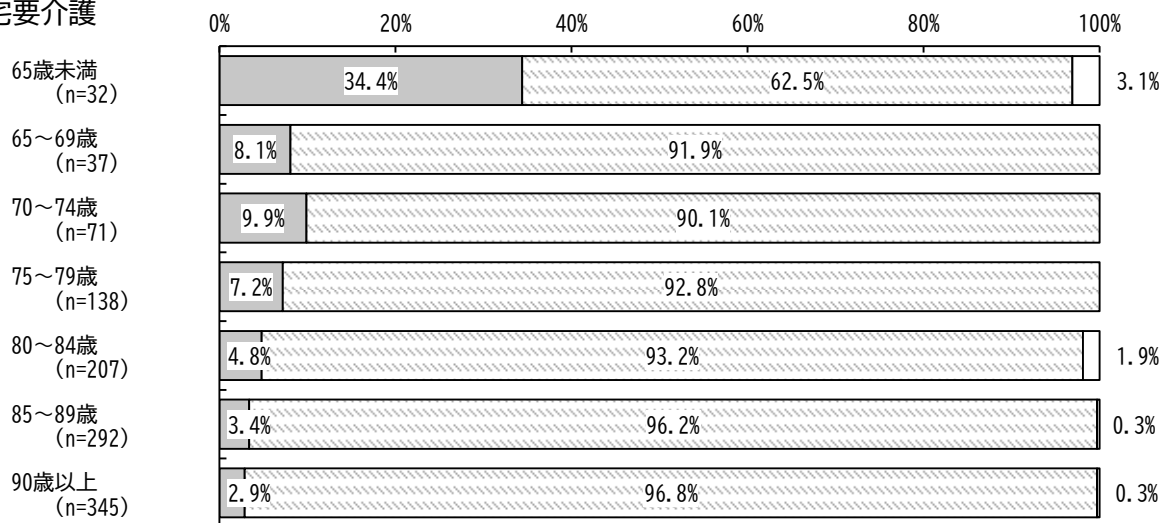
単純集計で見ると、「仕事をしていない」が93.9%と最も高く、次いで「仕事をした」が5.4%となっています。

年齢別で見ると、「仕事をした」は65歳未満で高くなっています。



【年齢別集計】

○在宅要介護



介護・介助が必要か

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

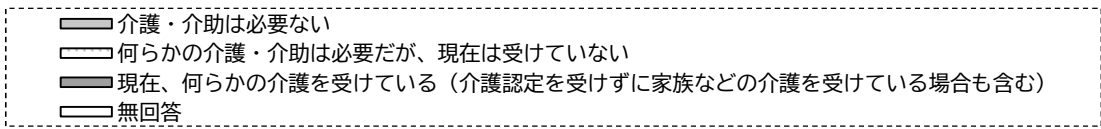
< 高齢者一般調査 問2・在宅要支援認定者調査 問3 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
介護・介助は必要ない	1,301	92.6%	510	40.6%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	50	3.6%	274	21.8%
現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	33	2.3%	436	34.7%
無回答	21	1.5%	37	2.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

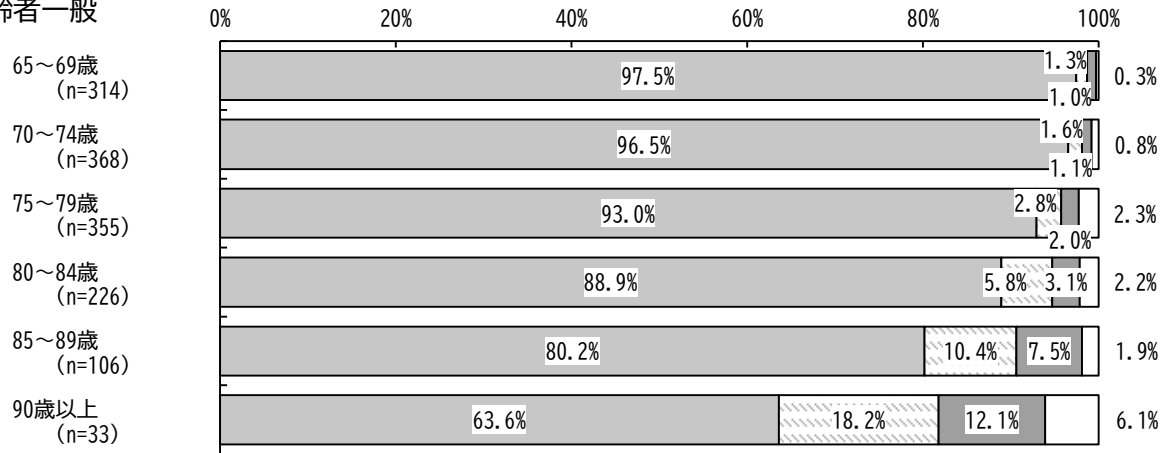
単純集計でみると、高齢者一般では「介護・介助は必要ない」の割合が高く、在宅要支援認定者では「介護・介助は必要ない」と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」を合わせて約6割が“介護・介助を受けていない”となっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在何らかの介護を受けている」の割合が高くなる傾向がみられますが、在宅要支援認定者ではそのような傾向はみられません。

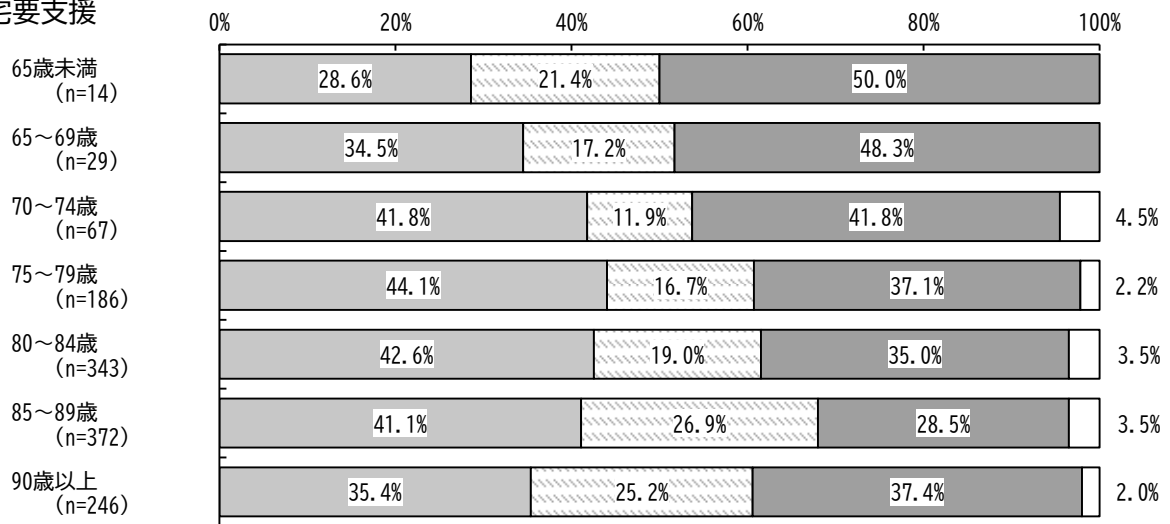


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



現在の暮らしの経済的な状況

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

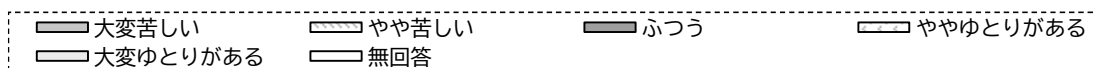
< 高齢者一般調査 問3・在宅要支援認定者調査 問4 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
大変苦しい	99	7.0%	104	8.3%
やや苦しい	307	21.9%	296	23.5%
ふつう	841	59.9%	755	60.1%
ややゆとりがある	117	8.3%	68	5.4%
大変ゆとりがある	23	1.6%	12	1.0%
無回答	18	1.3%	22	1.8%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

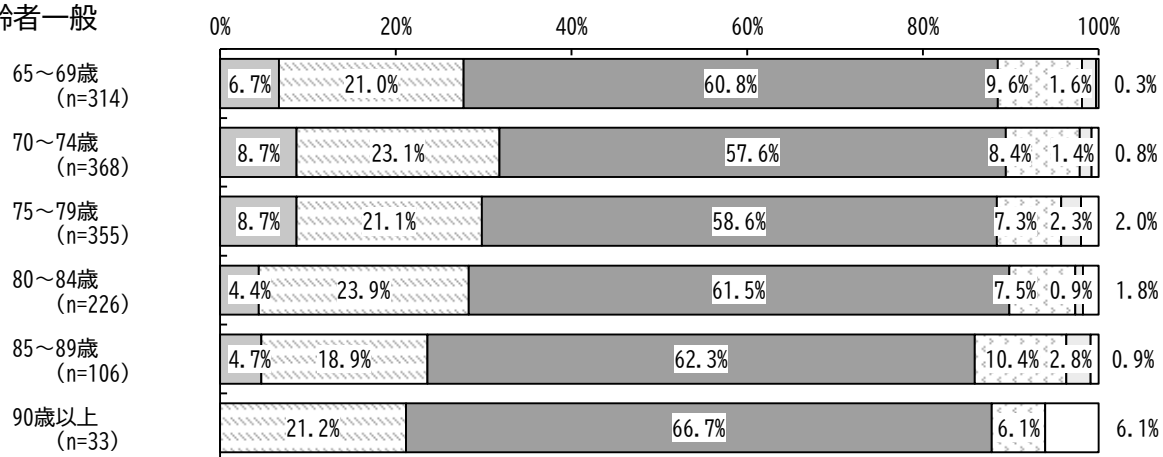
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ふつう」の割合が高くなっています。年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「大変苦しい」、「やや苦しい」の割合が低くなる傾向がみられます。

区別でみると、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合は、高齢者一般の天竜区ではやや高く、在宅要支援認定者の天竜区ではやや低くなっています。



【年齢別集計】

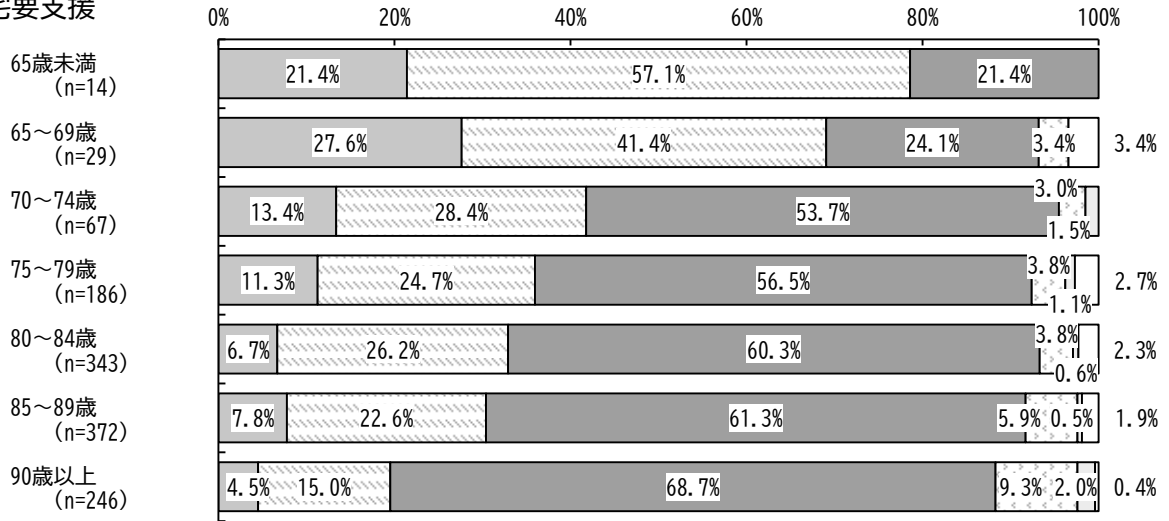
○高齢者一般





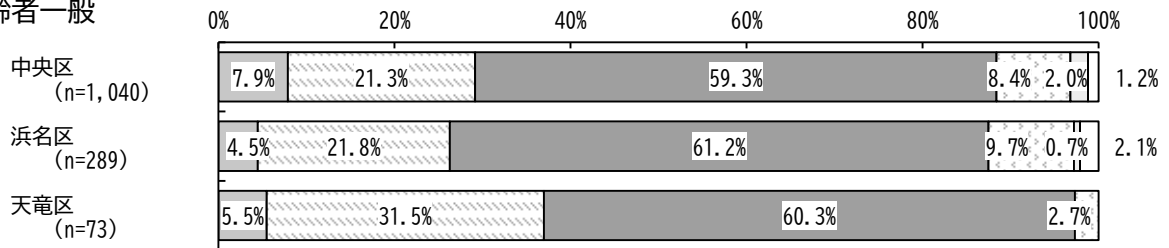
【年齢別集計】

○在宅要支援

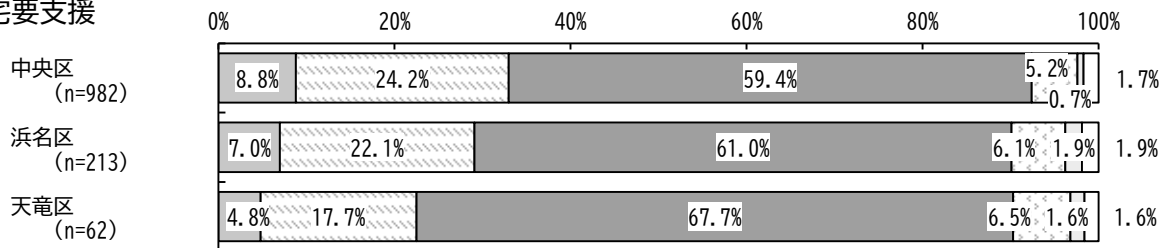


【区別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



介護・介助を行っているか

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問4・在宅要支援認定者調査 問5・在宅要介護認定者調査 問4>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
介護・介助を行っていない	1,240	88.3%	997	79.3%	911	81.2%
介護・介助をしている	139	9.9%	220	17.5%	200	17.8%
無回答	26	1.9%	40	3.2%	11	1.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「介護・介助を行っていない」の割合が高くなっています。

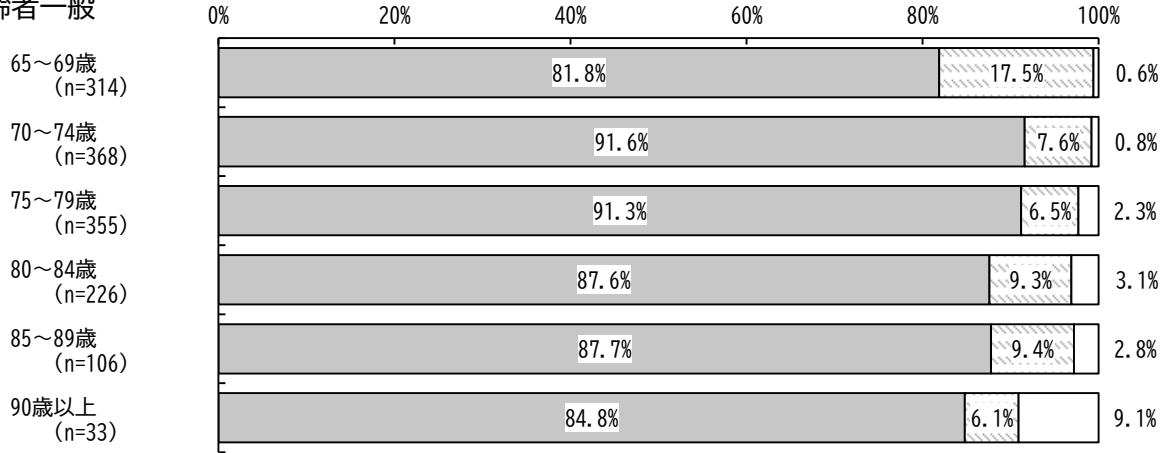
年齢別でみると、「介護・介助を行っていない」の割合は、高齢者一般ではすべての年齢で8割を超えており、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者でもすべての年齢で7割を超えています。

家族構成別でみると、1人暮らしで「介護・介助を行っていない」の割合がやや高くなっています。

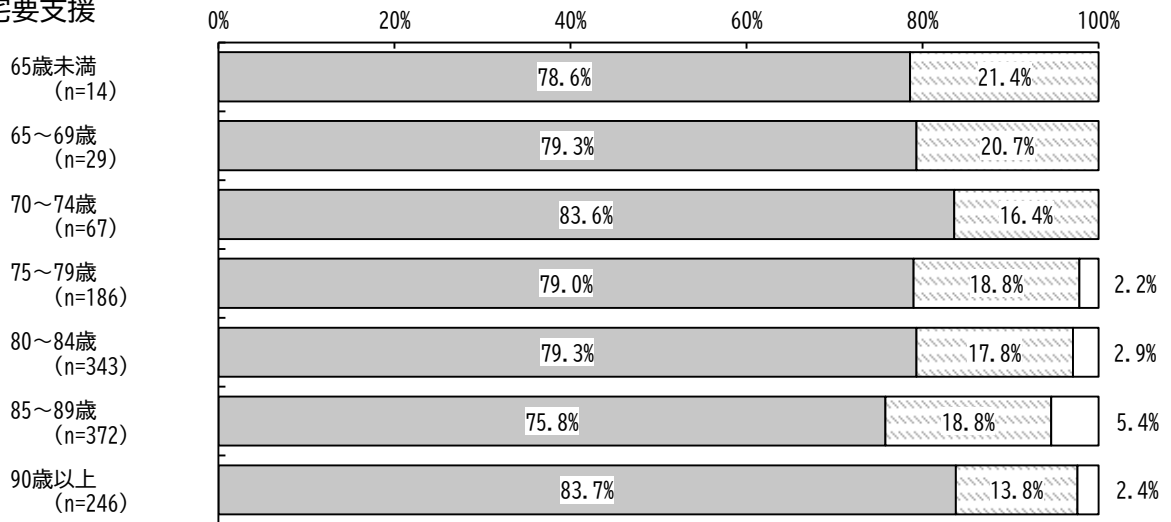


【年齢別集計】

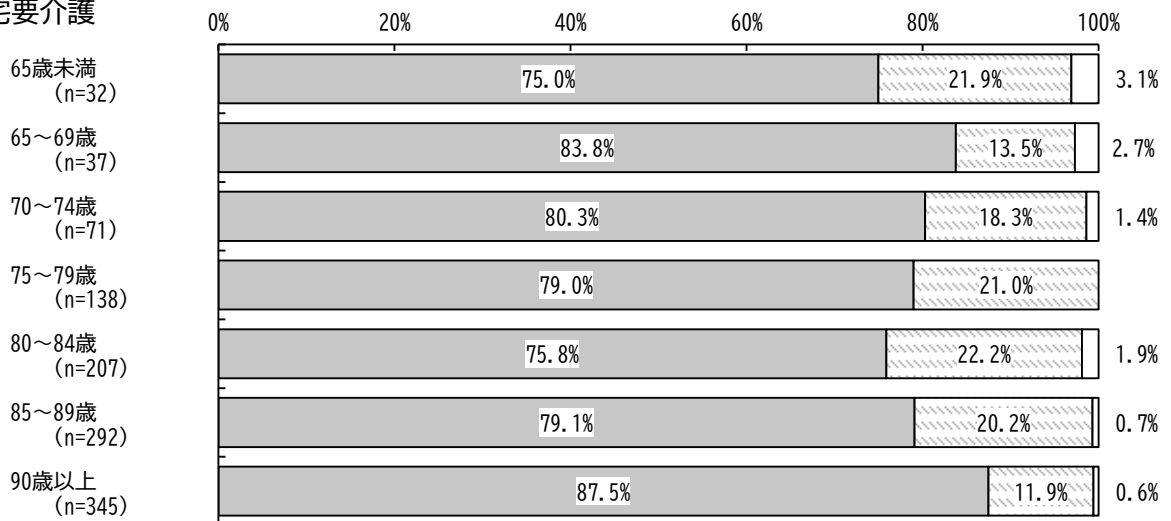
○高齢者一般



○在宅要支援



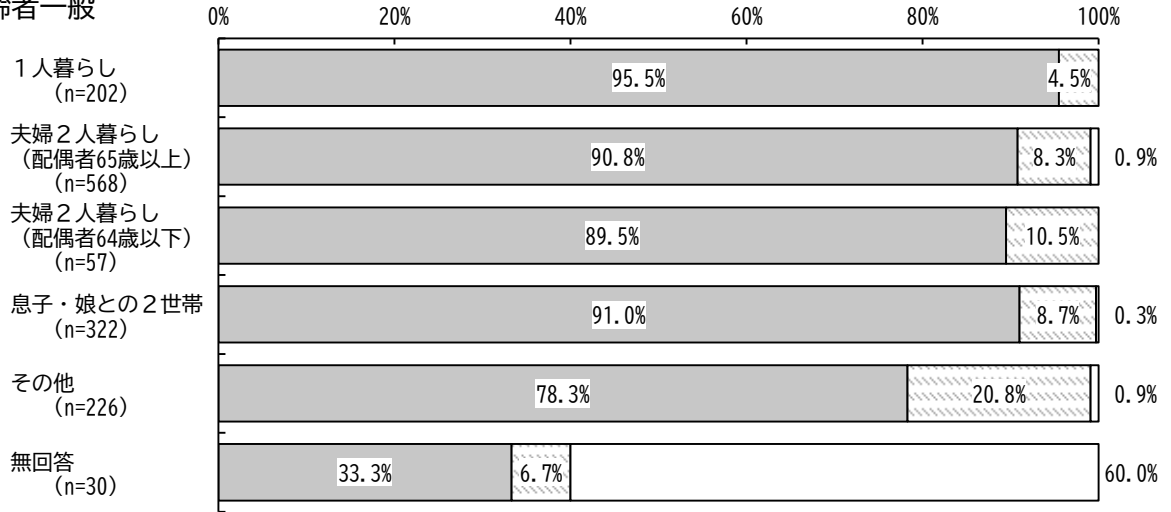
○在宅要介護



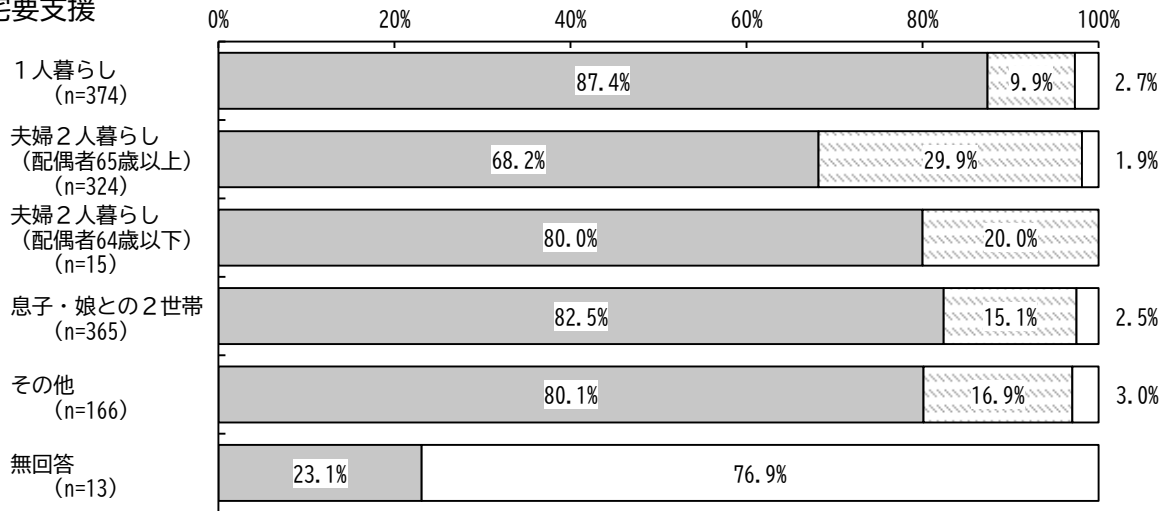


【家族構成別集計】

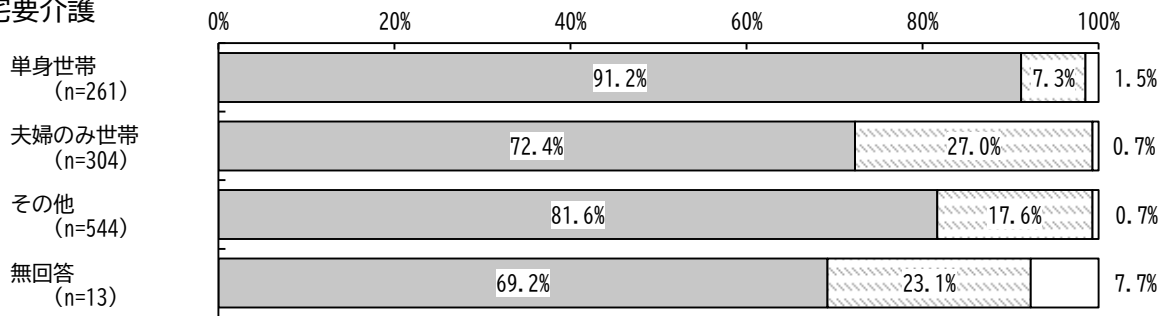
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



(あなたのご家族や生活状況について)

介護・介助を行う相手

「介護・介助をしている」と回答した方にお伺いします。

どなたの介護・介助を行っていますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問4 - 1・在宅要支援認定者調査 問5 - 1・在宅要介護認定者調査 問4 - 1 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
親	65	46.8%	15	6.8%	47	23.5%
配偶者	57	41.0%	140	63.6%	123	61.5%
兄弟、姉妹	9	6.5%	7	3.2%	6	3.0%
子	9	6.5%	39	17.7%	30	15.0%
孫	0	0.0%	2	0.9%	1	0.5%
その他	4	2.9%	24	10.9%	9	4.5%
無回答	0	0.0%	7	3.2%	3	1.5%
回 答 数	139	-	220	-	200	-

単純集計でみると、高齢者一般では「親」と「配偶者」の割合が高く、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「配偶者」の割合が高くなっています。

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

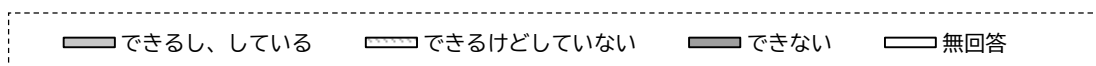
< 高齢者一般調査 問5・在宅要支援認定者調査 問6 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	855	60.9%	286	22.8%
できるけどしていない	352	25.1%	214	17.0%
できない	173	12.3%	736	58.6%
無回答	25	1.8%	21	1.7%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

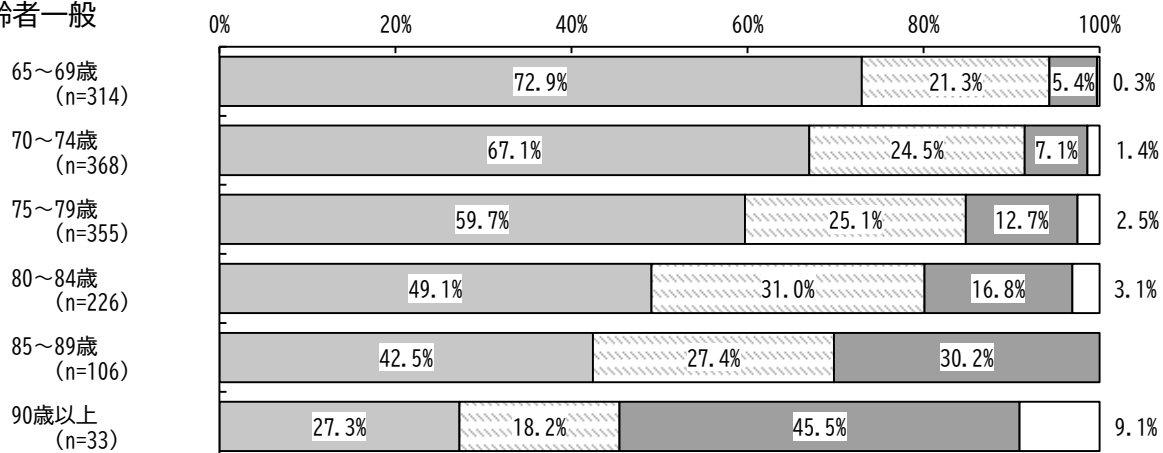
単純集計でみると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高く、在宅要支援認定者では「できない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

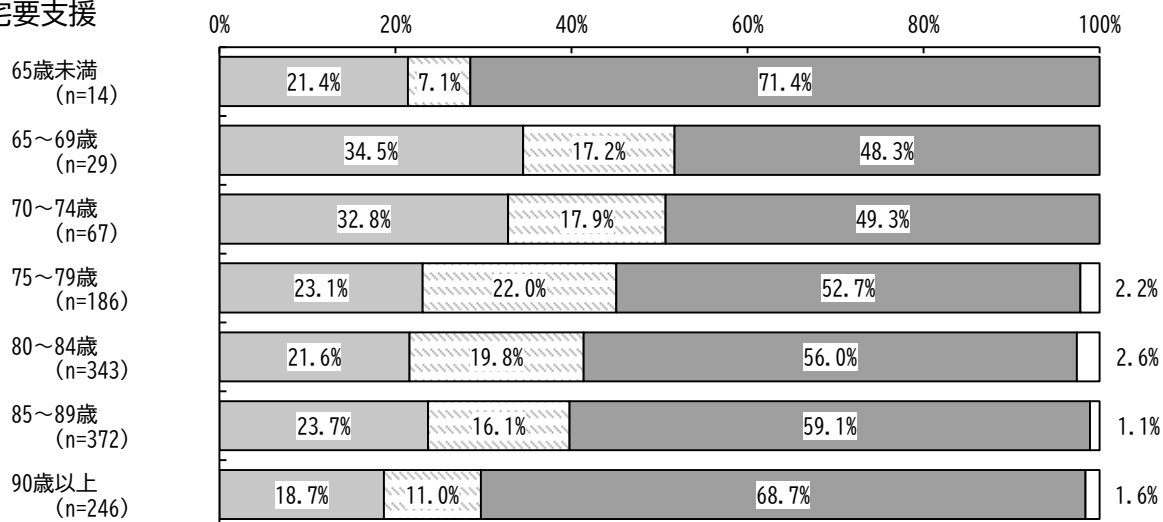


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

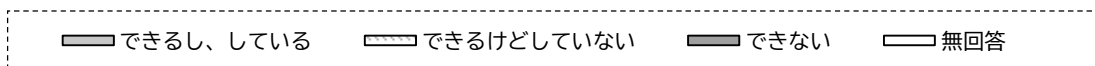
<高齢者一般調査 問6・在宅要支援認定者調査 問7>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,087	77.4%	517	41.1%
できるけどしていない	207	14.7%	211	16.8%
できない	91	6.5%	502	39.9%
無回答	20	1.4%	27	2.1%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

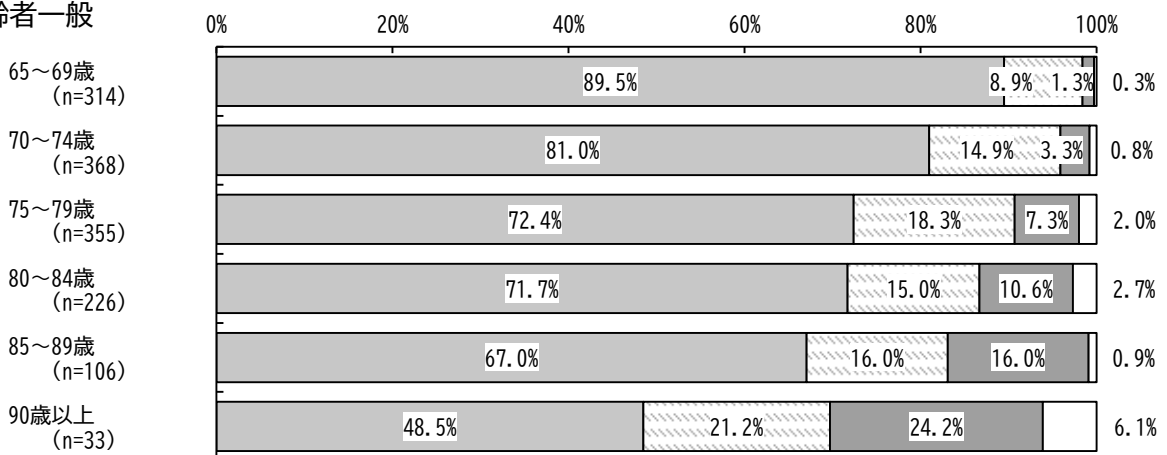
単純集計でみると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高く、在宅要支援認定者では「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせて約6割が“できる”と回答しています。

年齢別でみると、高齢者一般は年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなる傾向がみられます。

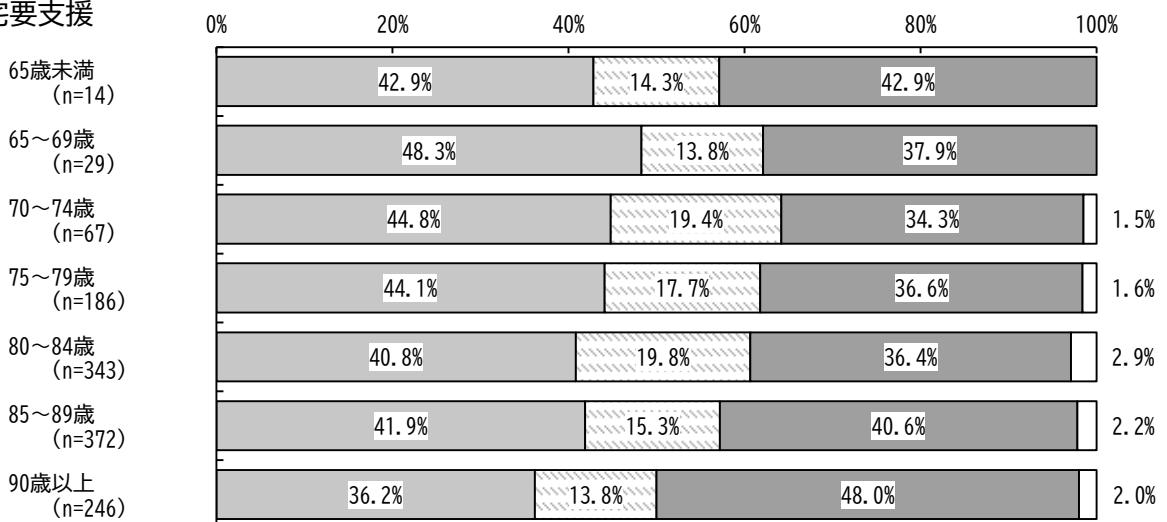


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



15分位続けて歩けるか

15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

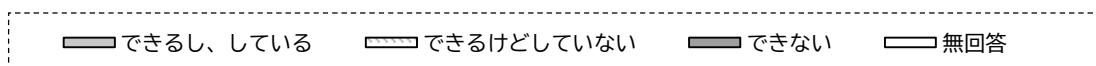
<高齢者一般調査 問7・在宅要支援認定者調査 問8>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,035	73.7%	633	50.4%
できるけどしていない	275	19.6%	215	17.1%
できない	75	5.3%	388	30.9%
無回答	20	1.4%	21	1.7%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

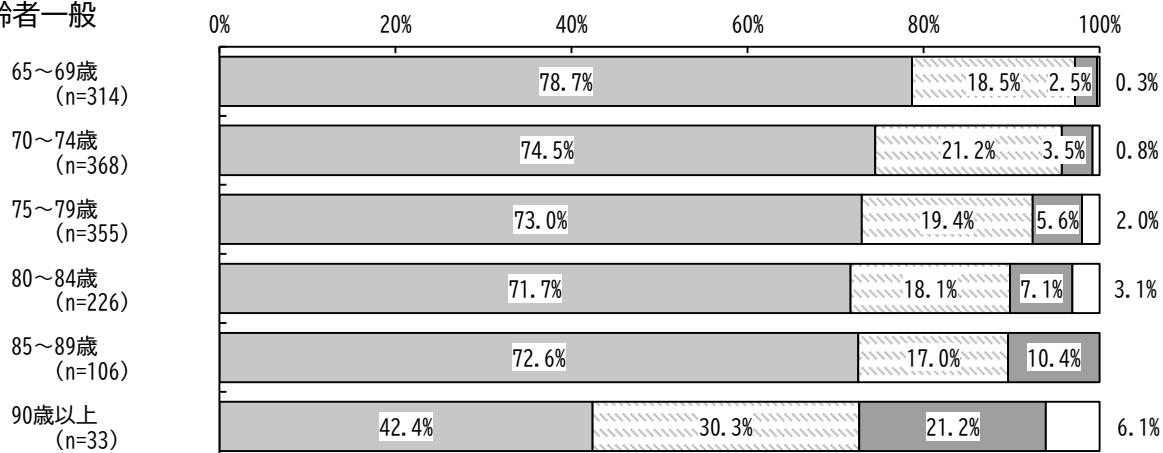
単純集計でみると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高くなっています。在宅要支援認定者では「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせて約7割が“できる”と回答しています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者の65歳以上では約3割が「できない」と回答しています。

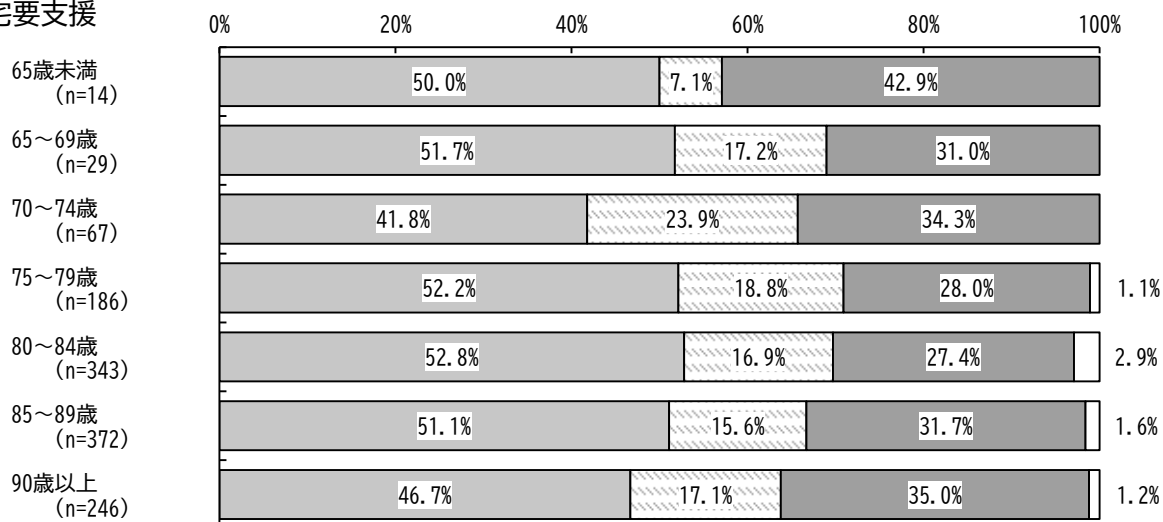


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



過去1年間に転んだ経験

過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問8・在宅要支援認定者調査 問9>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
何度もある	108	7.7%	261	20.8%
1度ある	302	21.5%	403	32.1%
ない	976	69.5%	574	45.7%
無回答	19	1.4%	19	1.5%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

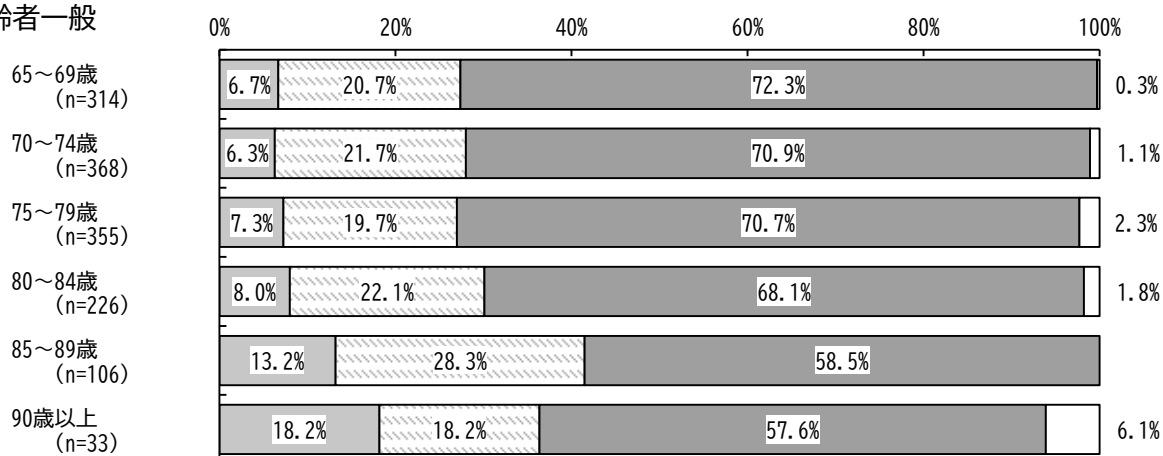
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「何どもある」、「1度ある」の割合が高くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では、他の年齢に比べて65歳未満は「何どもある」の割合が高く、5割を超えています。

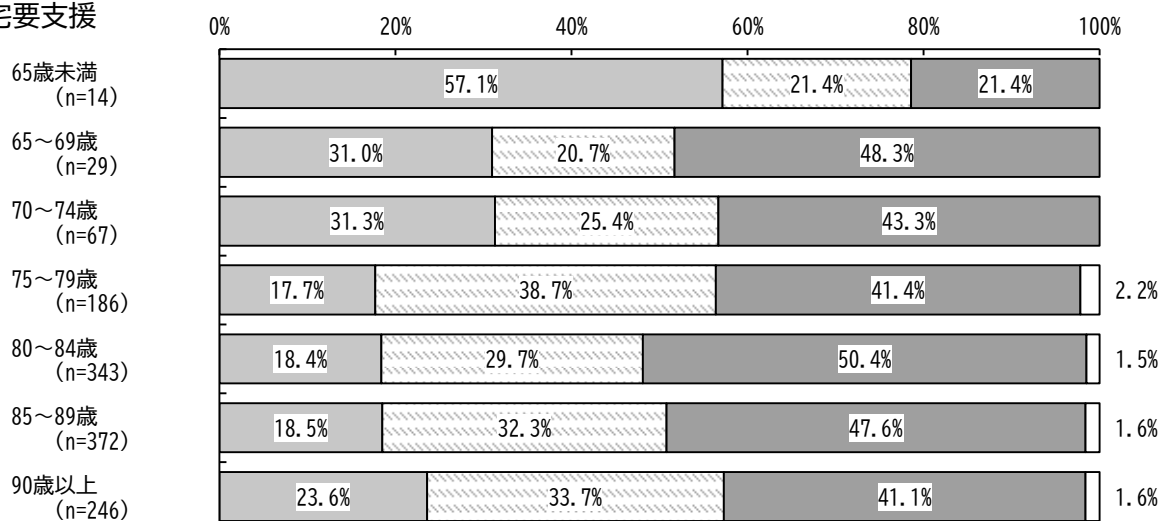


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



転倒に対する不安

転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

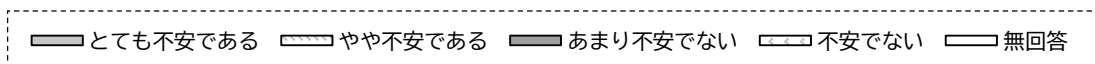
<高齢者一般調査 問9・在宅要支援認定者調査 問10>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても不安である	193	13.7%	538	42.8%
やや不安である	597	42.5%	528	42.0%
あまり不安でない	371	26.4%	132	10.5%
不安でない	225	16.0%	46	3.7%
無回答	19	1.4%	13	1.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

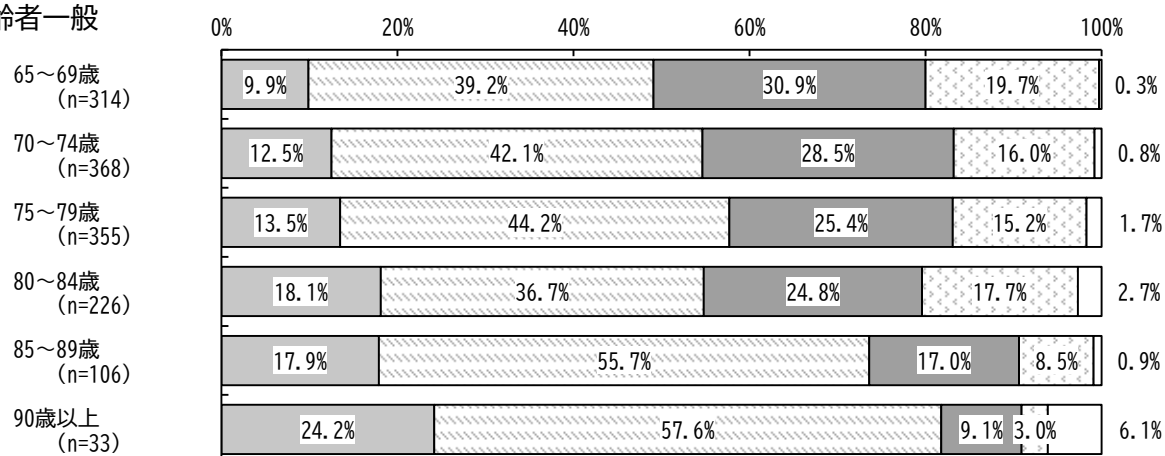
単純集計でみると、高齢者一般では「とても不安である」「やや不安である」をあわせた割合は5割を超えており、在宅要支援認定者では8割を超えています。

年齢別にみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「とても不安である」、「やや不安である」の割合が高くなる傾向がみられますが、在宅要支援認定者では、大きな差はみられません。

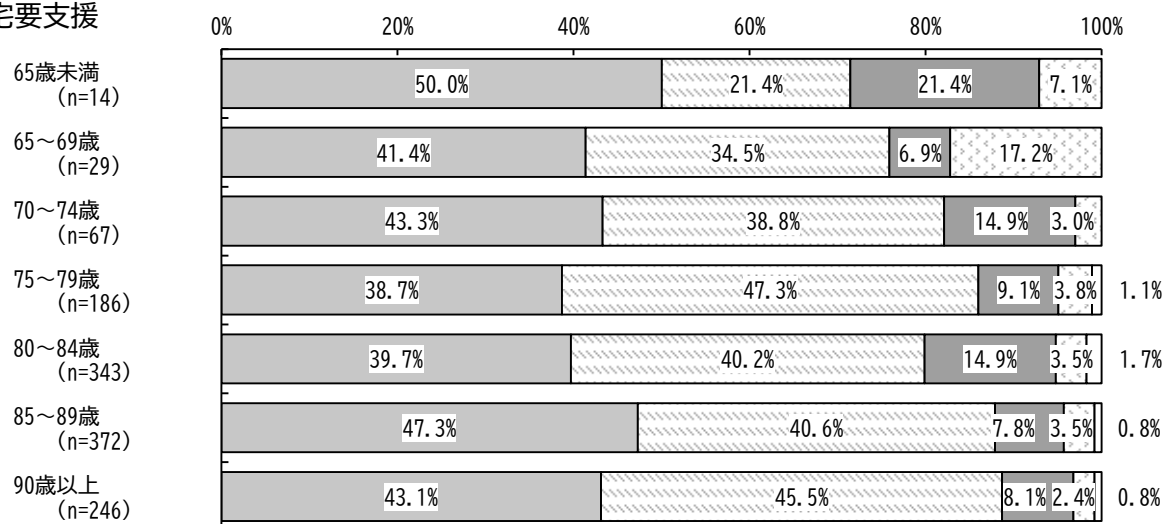


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



週1回以上外出しているか

週に1回以上は外出（散歩なども含めます）していますか。（○はひとつ）

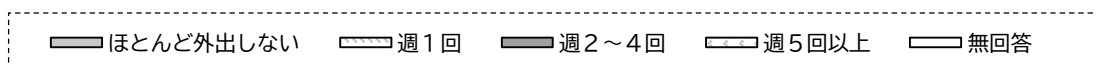
<高齢者一般調査 問10・在宅要支援認定者調査 問11>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ほとんど外出しない	44	3.1%	145	11.5%
週1回	118	8.4%	268	21.3%
週2～4回	545	38.8%	598	47.6%
週5回以上	681	48.5%	231	18.4%
無回答	17	1.2%	15	1.2%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

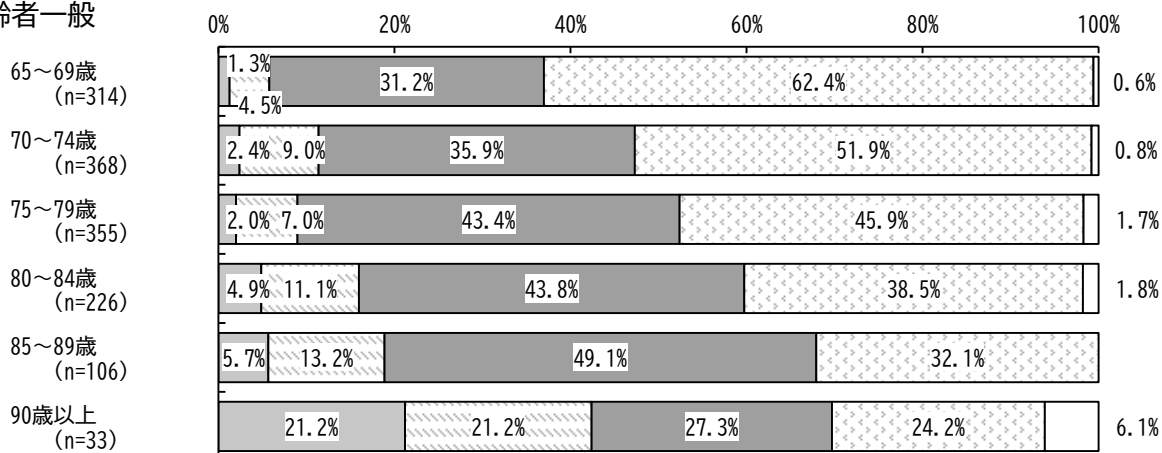
単純集計でみると、高齢者一般では「週5回以上」の割合が高く、在宅要支援認定者では「週2～4回」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「週5回以上」の割合が低くなる傾向がみられます。

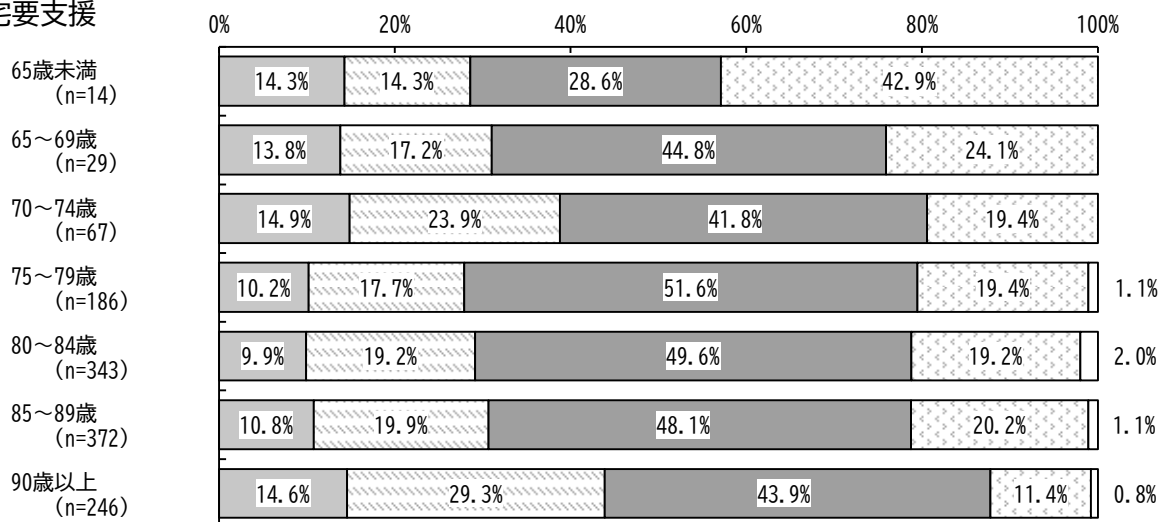


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



昨年と比べて外出回数が減ったか

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

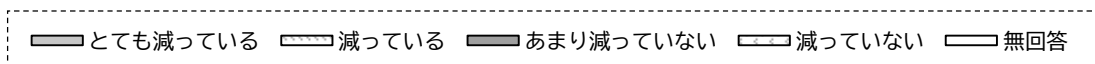
<高齢者一般調査 問11・在宅要支援認定者調査 問12>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても減っている	30	2.1%	154	12.3%
減っている	280	19.9%	509	40.5%
あまり減っていない	466	33.2%	352	28.0%
減っていない	613	43.6%	226	18.0%
無回答	16	1.1%	16	1.3%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

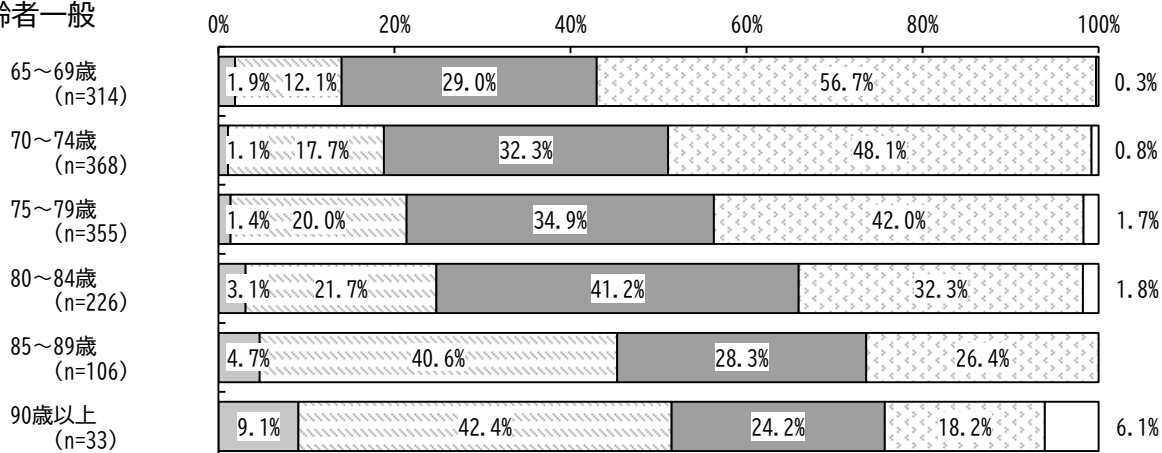
単純集計でみると、高齢者一般では「減っていない」の割合が最も高く、在宅要支援認定者では「減っている」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「減っていない」の割合が低くなる傾向がみられます。

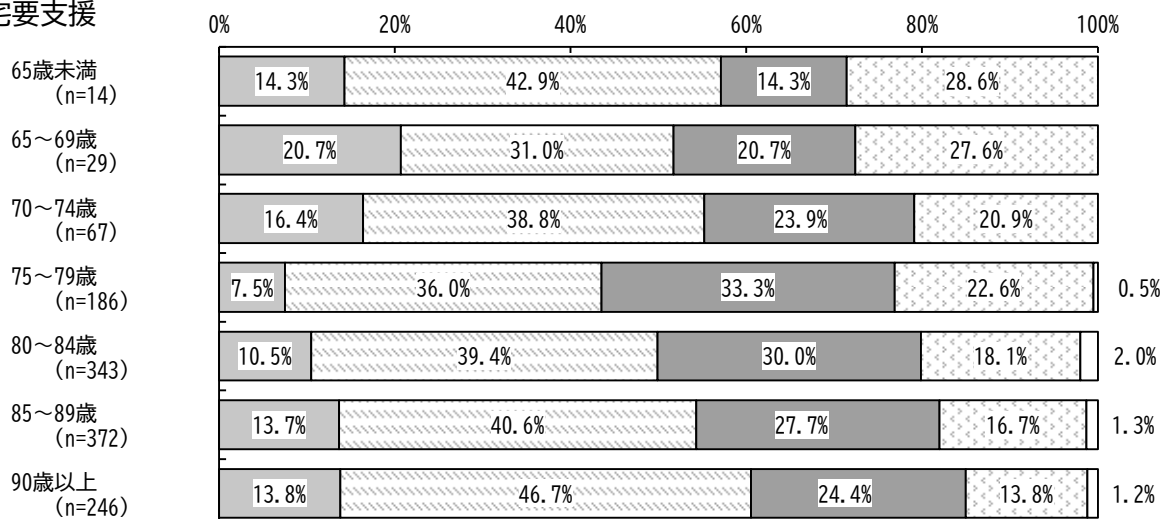


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



身長・体重

身長・体重（数字を記入）

< 高齢者一般調査 問12・在宅要支援認定者調査 問13 >

【単純集計】身長

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
130cm未満	0	0.0%	1	0.1%
130cm以上140cm未満	8	0.6%	45	3.6%
140cm以上150cm未満	205	14.6%	341	27.1%
150cm以上160cm未満	539	38.4%	394	31.3%
160cm以上170cm未満	440	31.3%	322	25.6%
170cm以上180cm未満	156	11.1%	82	6.5%
180cm以上	11	0.8%	3	0.2%
無回答	46	3.3%	69	5.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

【単純集計】体重

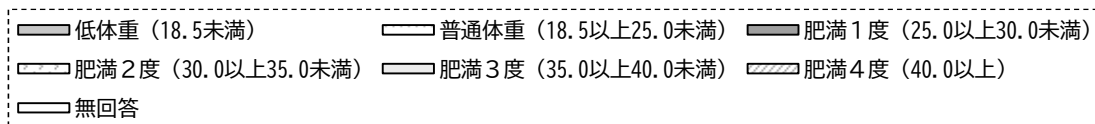
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
30kg未満	0	0.0%	4	0.3%
30kg以上40kg未満	48	3.4%	94	7.5%
40kg以上50kg未満	340	24.2%	391	31.1%
50kg以上60kg未満	463	33.0%	376	29.9%
60kg以上70kg未満	340	24.2%	227	18.1%
70kg以上80kg未満	130	9.3%	88	7.0%
80kg以上	34	2.4%	21	1.7%
無回答	50	3.6%	56	4.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

【単純集計】肥満度 ※肥満度＝体重÷（身長×身長）

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
低体重（18.5未満）	140	10.0%	175	13.9%
普通体重（18.5以上25.0未満）	972	69.2%	797	63.4%
肥満1度（25.0以上30.0未満）	221	15.7%	174	13.8%
肥満2度（30.0以上35.0未満）	16	1.1%	31	2.5%
肥満3度（35.0以上40.0未満）	1	0.1%	5	0.4%
肥満4度（40.0以上）	0	0.0%	0	0.0%
無回答	55	3.9%	75	6.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

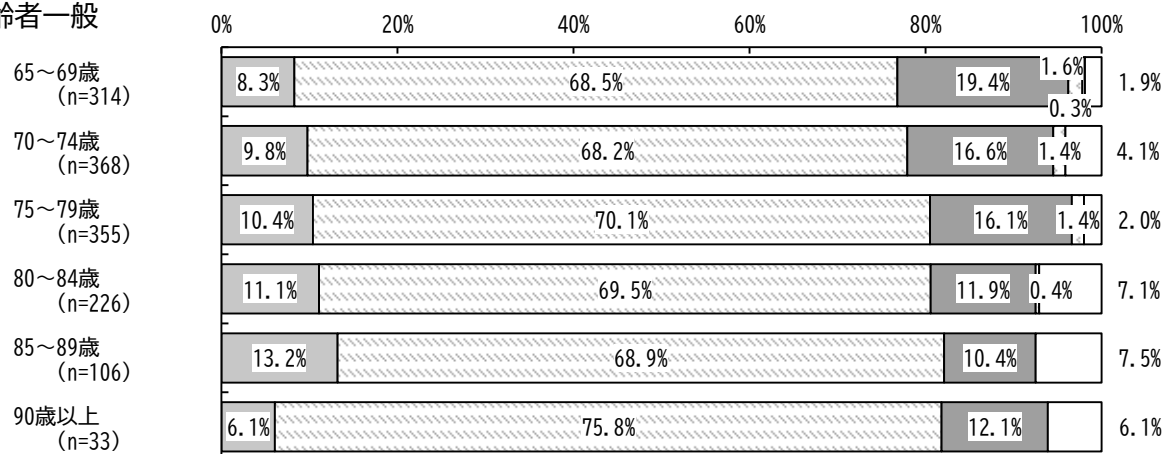
単純集計（肥満度）でみると、高齢者一般に比べて在宅要支援認定者は低体重の割合が高くなっています。

年齢別（肥満度）でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに年齢が上がるにつれて肥満が減る傾向がみられます。

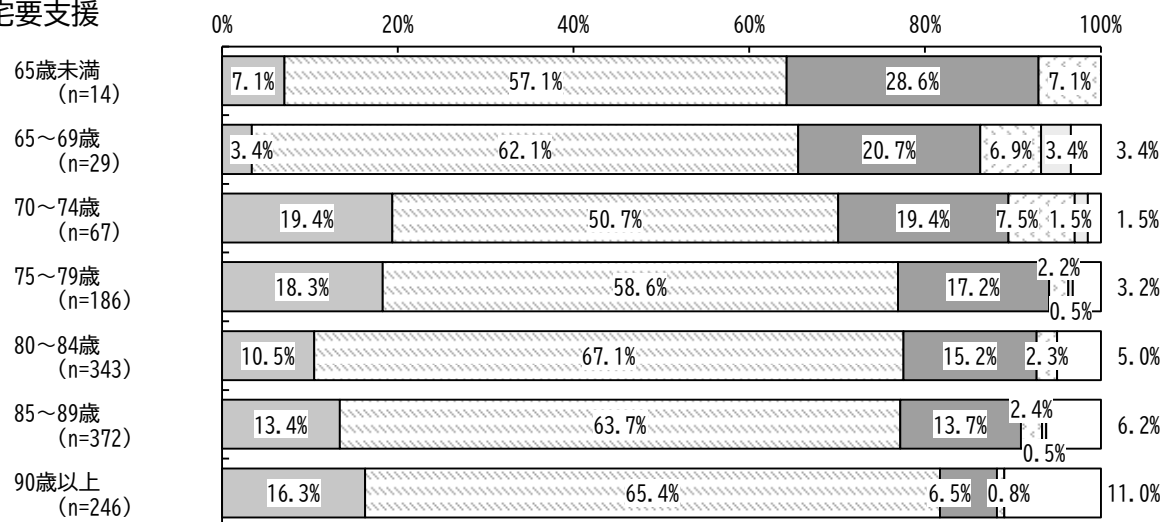


【年齢別集計】肥満度

○高齢者一般



○在宅要支援



半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

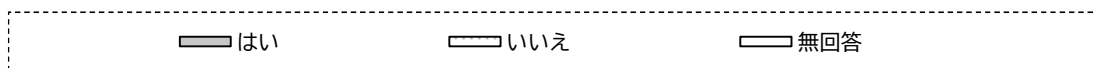
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問13・在宅要支援認定者調査 問14>

【単純集計】

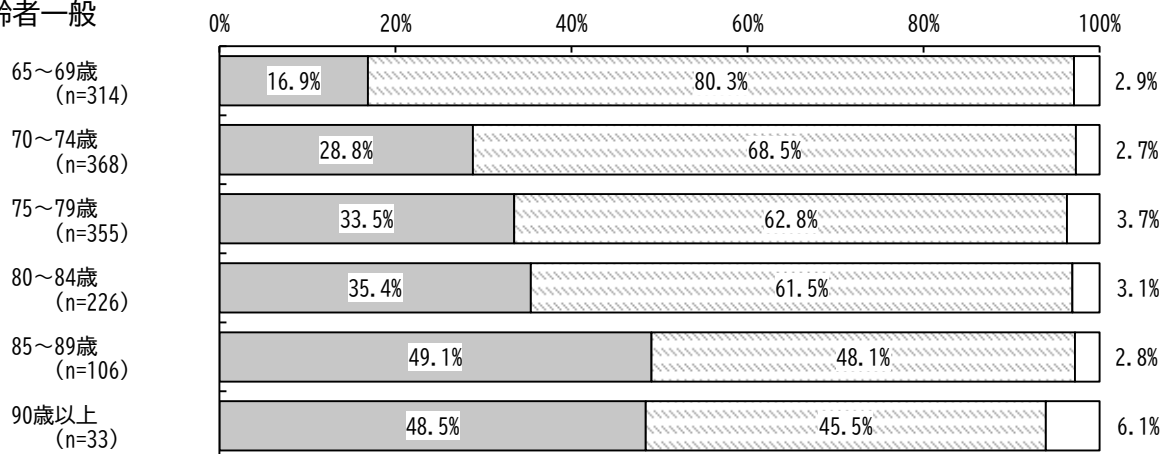
回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	427	30.4%	598	47.6%
いいえ	933	66.4%	638	50.8%
無回答	45	3.2%	21	1.7%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。

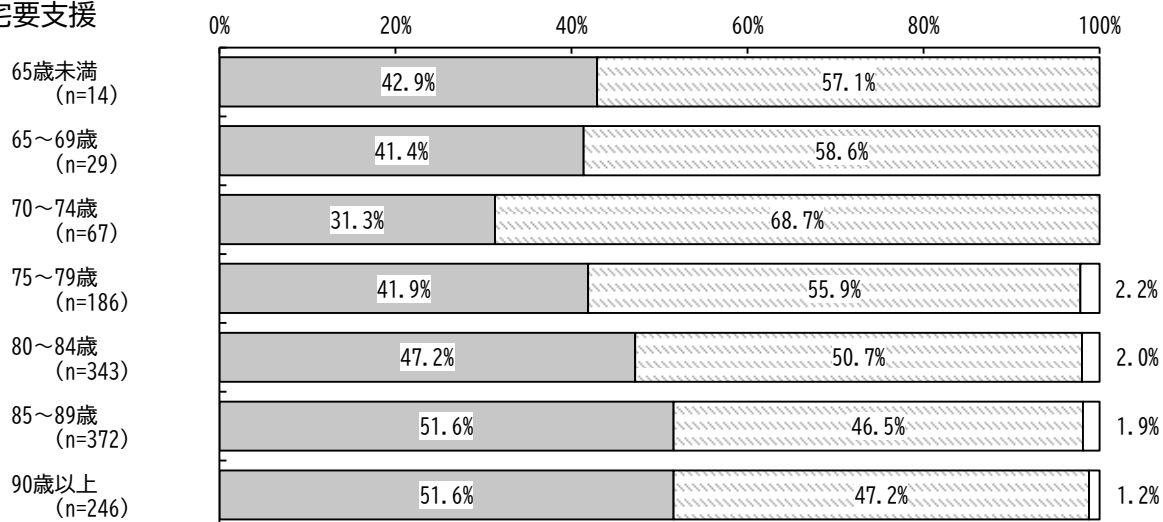


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯（部分入れ歯を含みます）の利用状況をお教えてください。

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）（○はひとつ）

<高齢者一般調査 問14・在宅要支援認定者調査 問15>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	253	18.0%	191	15.2%
自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	557	39.6%	305	24.3%
自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	425	30.2%	575	45.7%
自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	145	10.3%	136	10.8%
無回答	25	1.8%	50	4.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

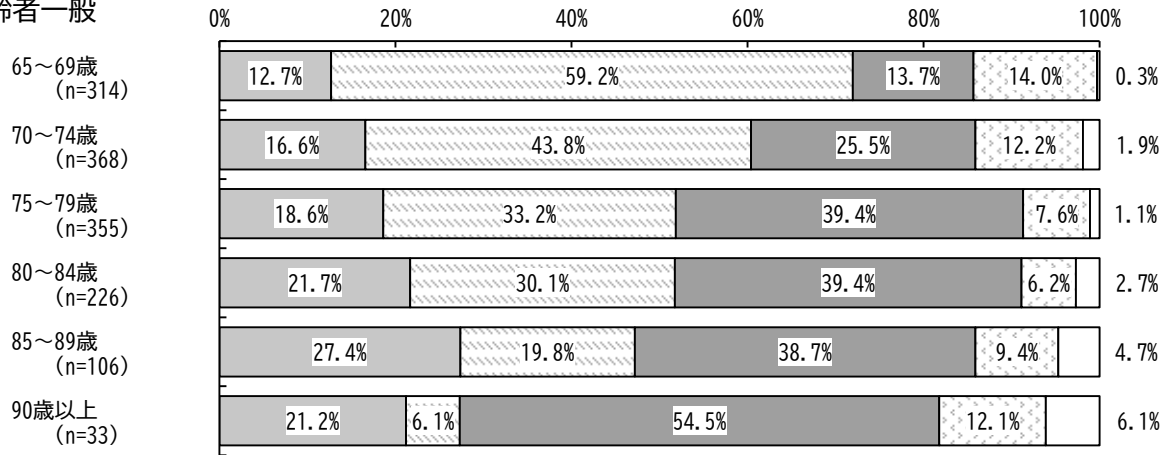
単純集計でみると、高齢者一般は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっており、在宅要支援認定者は「自分の歯は19本以下で、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「自分の歯は19本以下で、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなる傾向がみられます。

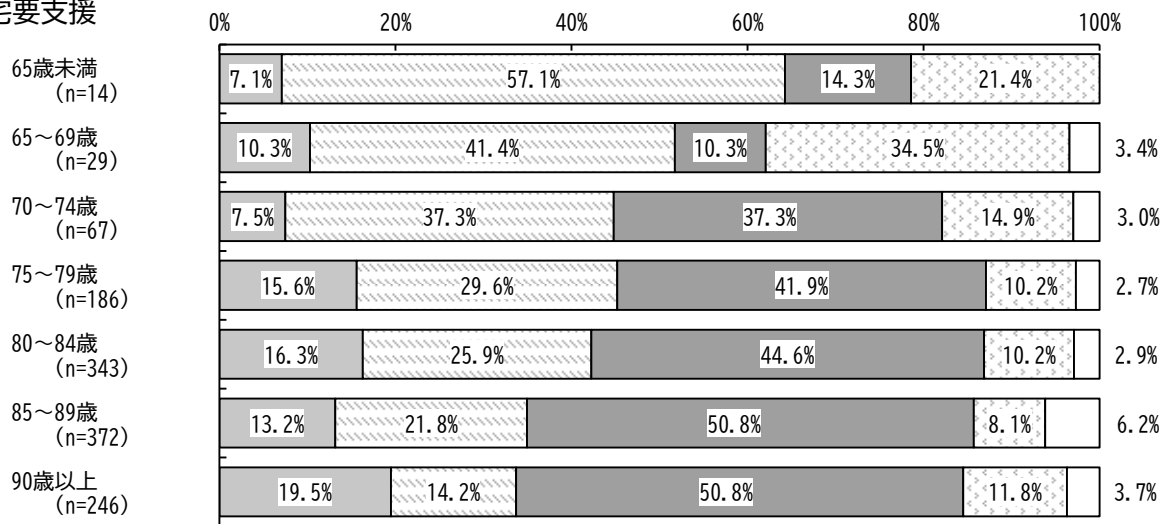


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



誰かと食事をする機会

どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問15・在宅要支援認定者調査 問16>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
毎日ある	894	63.6%	575	45.7%
週に何度かある	110	7.8%	129	10.3%
月に何度かある	160	11.4%	175	13.9%
年に何度かある	126	9.0%	161	12.8%
ほとんどない	104	7.4%	194	15.4%
無回答	11	0.8%	23	1.8%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

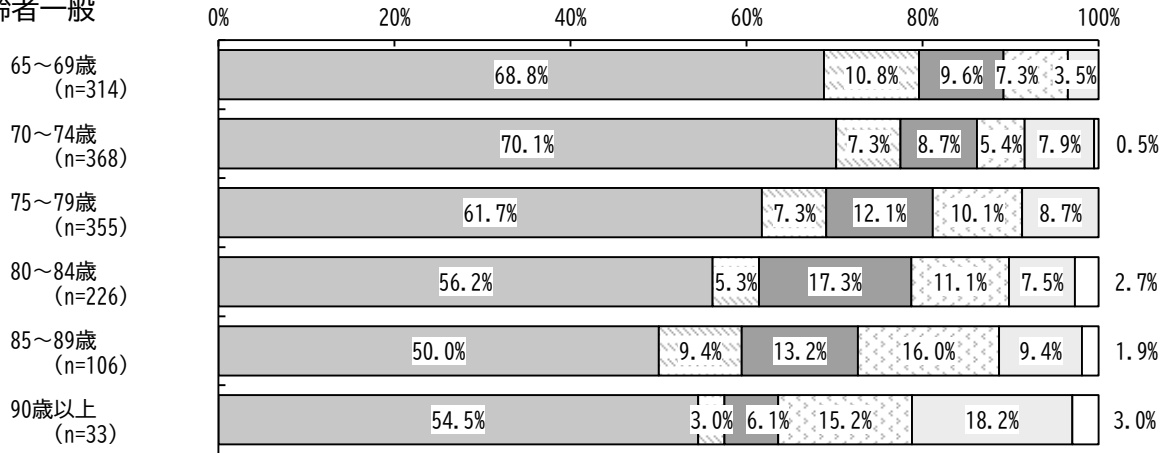
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「毎日ある」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「毎日ある」の割合が減少する傾向にあります。すべての年齢で5割を超えています。また、在宅要支援認定者では「毎日ある」の割合はすべての年齢で4割を超えています。



【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



物忘れが多いと感じるか

物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

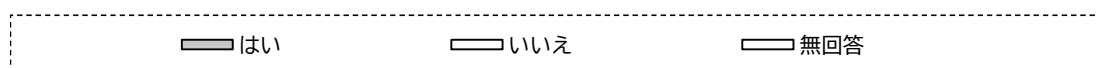
<高齢者一般調査 問16・在宅要支援認定者調査 問17>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	629	44.8%	720	57.3%
いいえ	746	53.1%	479	38.1%
無回答	30	2.1%	58	4.6%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

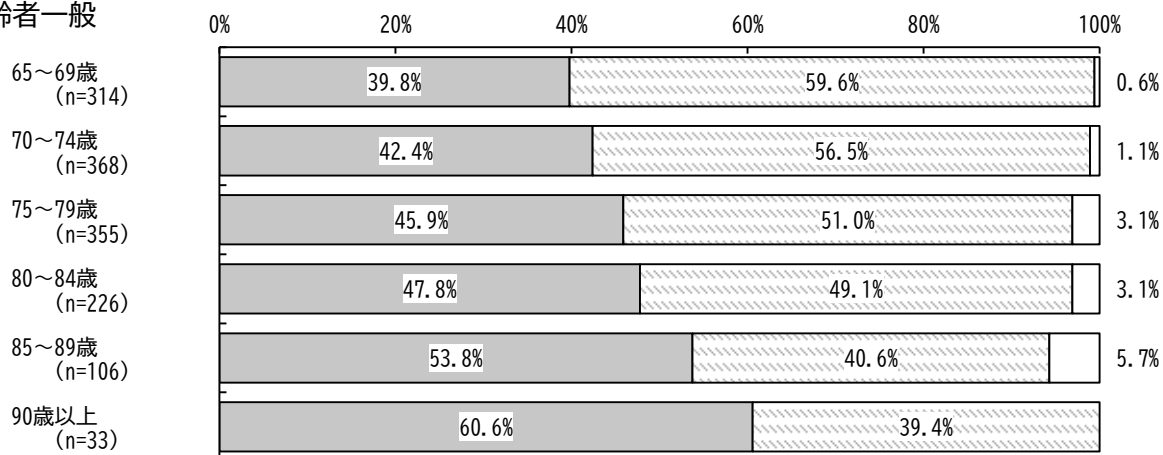
単純集計でみると、高齢者一般では「いいえ」、在宅要支援認定者では「はい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。

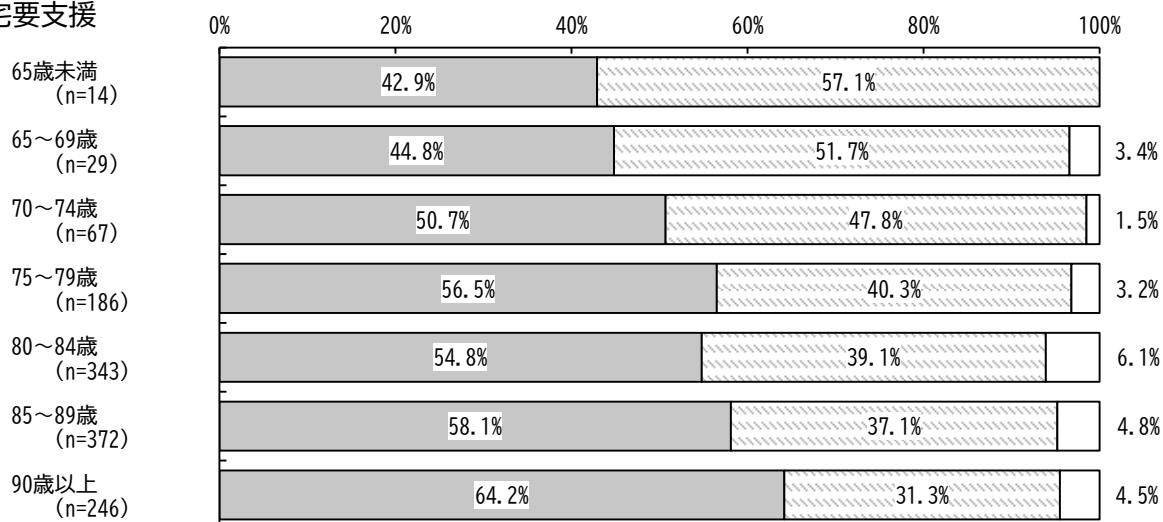


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



外出する際の主な移動手段

外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問17・在宅要支援認定者調査 問18>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
自分で車を運転して移動している	1,030	73.3%	298	23.7%
公共交通機関やタクシーを利用して移動している	287	20.4%	452	36.0%
同居している親族に送迎してもらっている	305	21.7%	467	37.2%
別居している親族に送迎してもらっている	92	6.5%	313	24.9%
地域の方や知り合いに送迎してもらっている	31	2.2%	70	5.6%
その他	99	7.0%	116	9.2%
移動手段が無く、頼る人もいないので困っている	1	0.1%	8	0.6%
無回答	8	0.6%	16	1.3%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

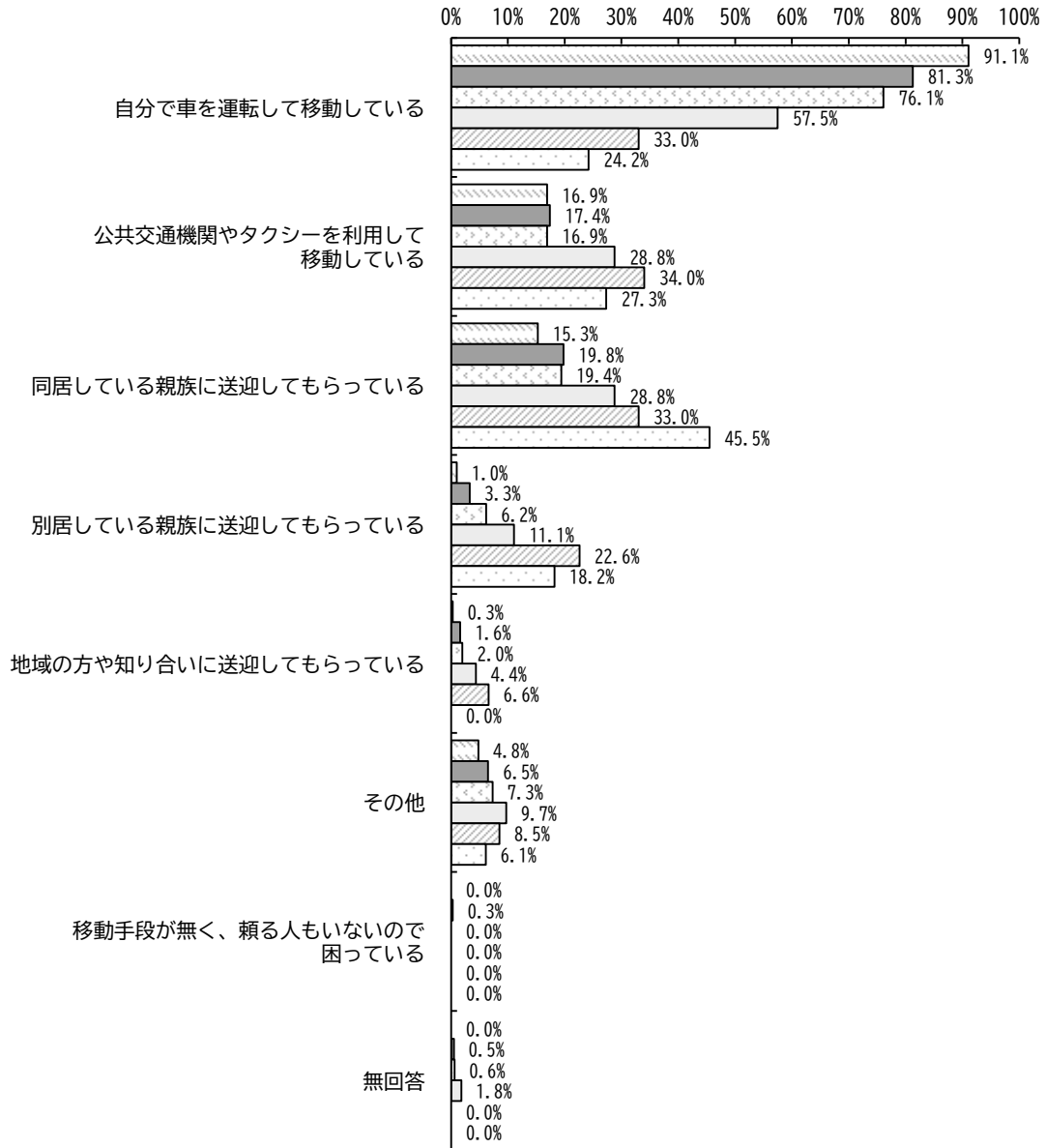
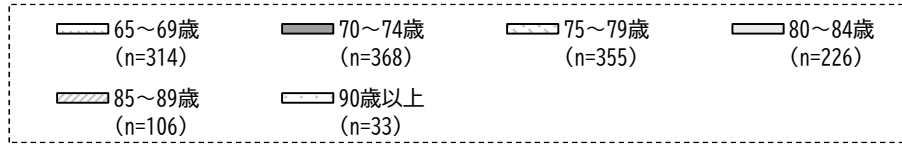
単純集計でみると、高齢者一般では「自分で車を運転して移動している」、在宅要支援認定者では「同居している親族に送迎してもらっている」「公共交通機関やタクシーを利用して移動している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「自分で車を運転して移動している」の割合が低くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では、年齢が高くなるにつれて「別居している親族に送迎してもらっている」の割合が高くなる傾向がみられます。

区別でみると、高齢者一般では、すべての区で「自分で車を運転して移動している」が最も高くなっています。在宅要支援認定者では、中央区では「公共交通機関やタクシーを利用して移動している」が最も高く、浜名区と天竜区では「同居している親族に送迎してもらっている」が最も高くなっています。

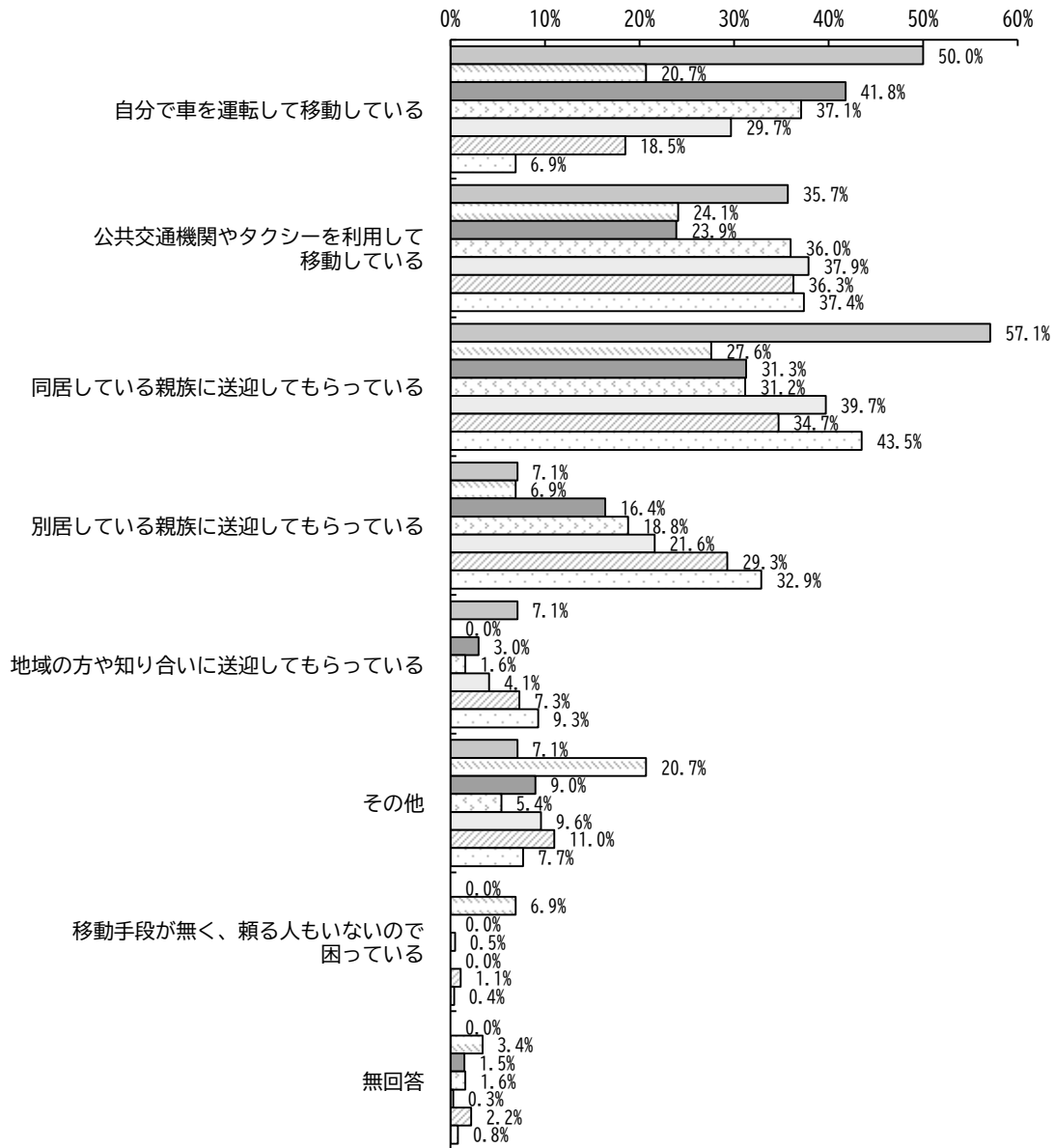
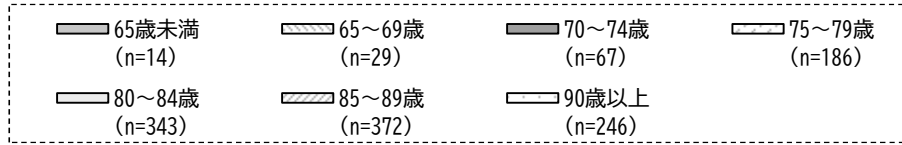
【年齢別集計】

○高齢者一般

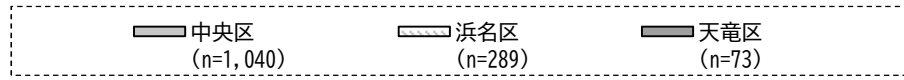


【年齢別集計】

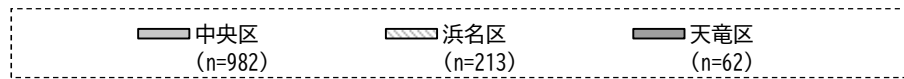
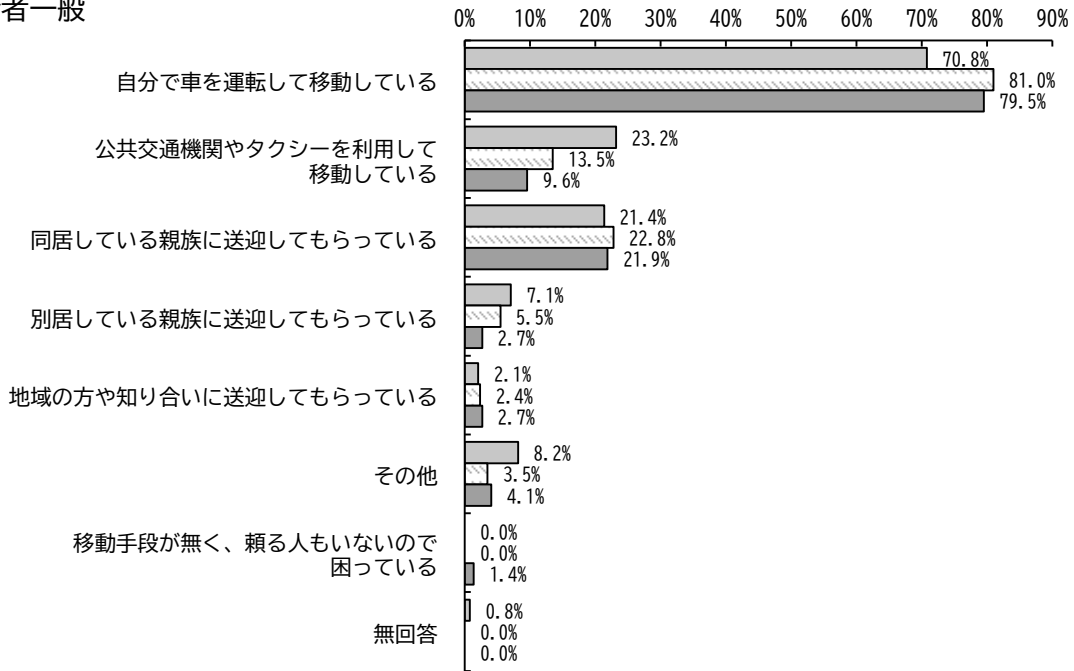
○在宅要支援



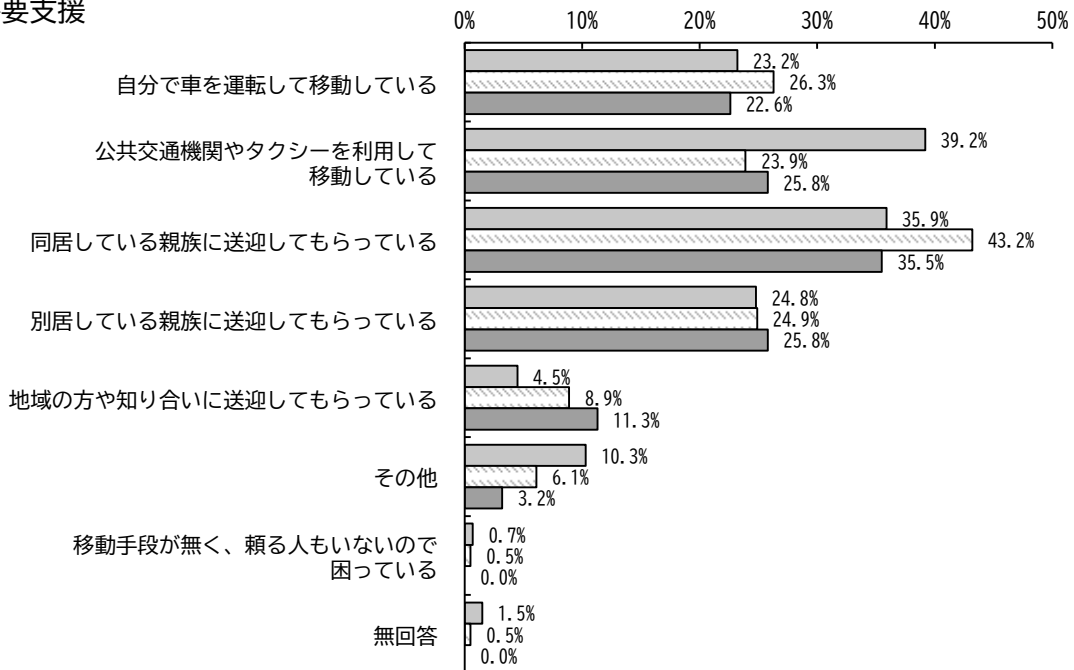
【区別集計】



○高齢者一般



○在宅要支援



バスや電車を使った外出

バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○はひとつ)

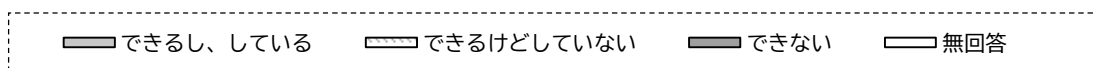
<高齢者一般調査 問18・在宅要支援認定者調査 問19>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,078	76.7%	538	42.8%
できるけどしていない	261	18.6%	279	22.2%
できない	54	3.8%	421	33.5%
無回答	12	0.9%	19	1.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

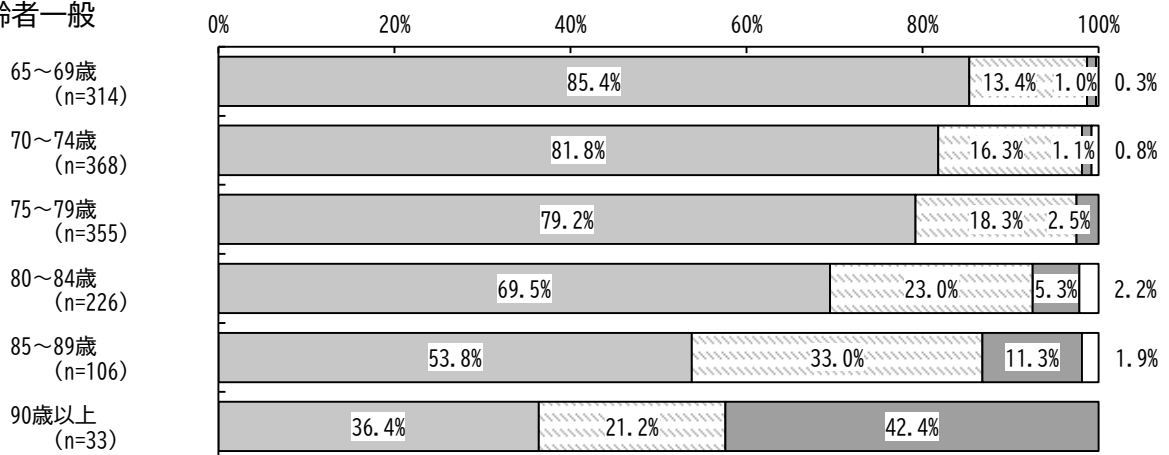
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

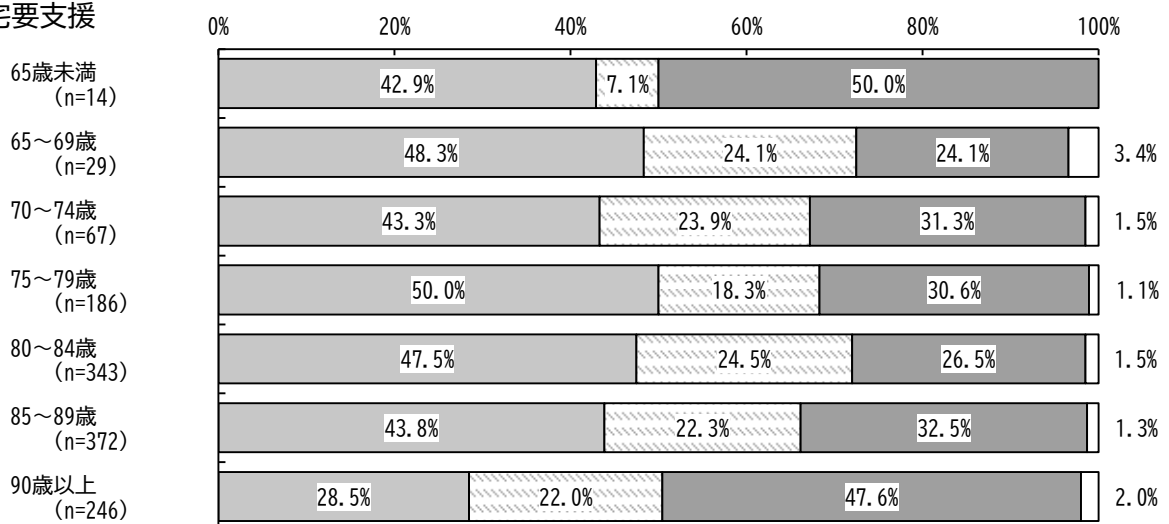


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



食品・日用品の買い物

自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

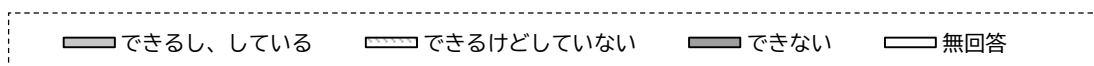
<高齢者一般調査 問19・在宅要支援認定者調査 問20>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,219	86.8%	763	60.7%
できるけどしていない	150	10.7%	225	17.9%
できない	28	2.0%	255	20.3%
無回答	8	0.6%	14	1.1%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

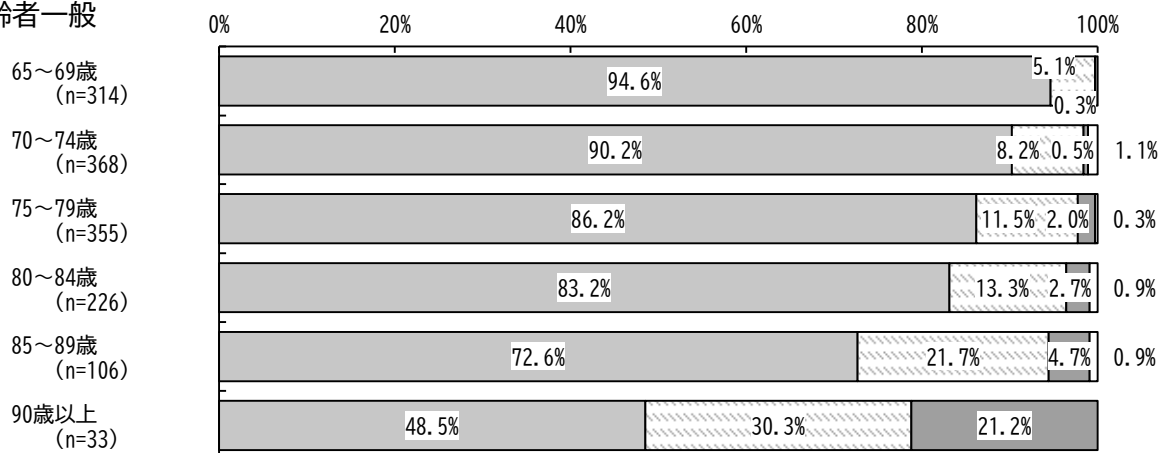
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

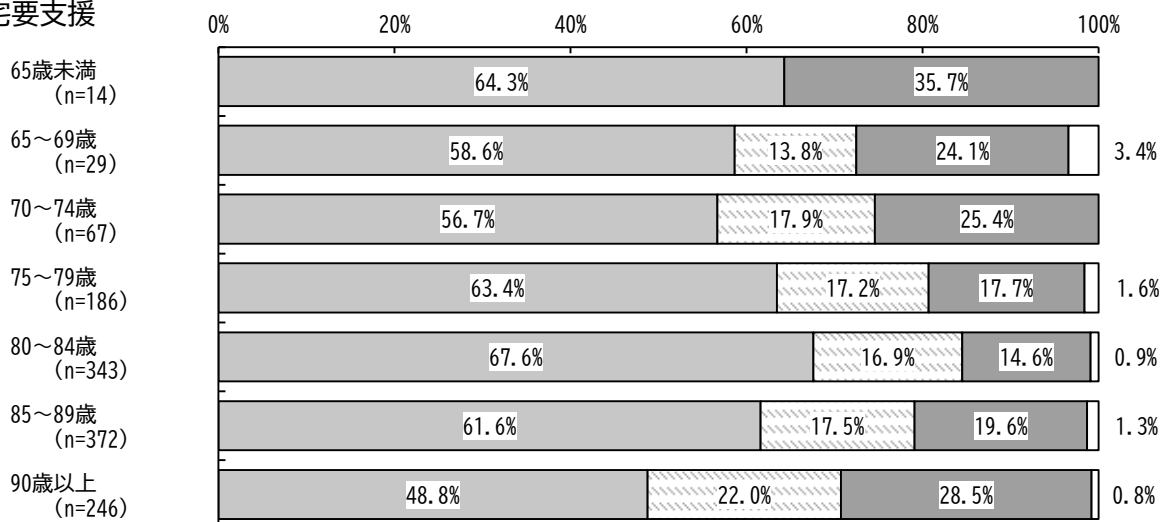


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



食事の用意

自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

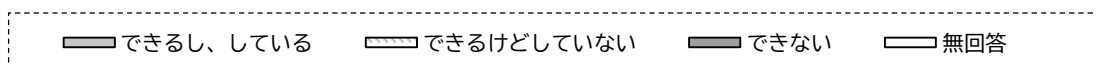
<高齢者一般調査 問20・在宅要支援認定者調査 問21>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,013	72.1%	779	62.0%
できるけどしていない	290	20.6%	226	18.0%
できない	95	6.8%	241	19.2%
無回答	7	0.5%	11	0.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

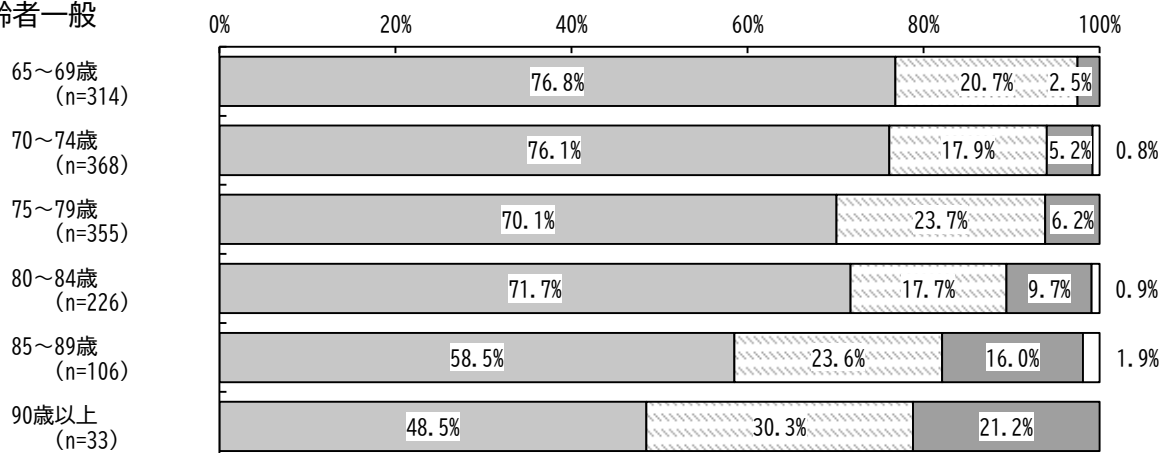
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

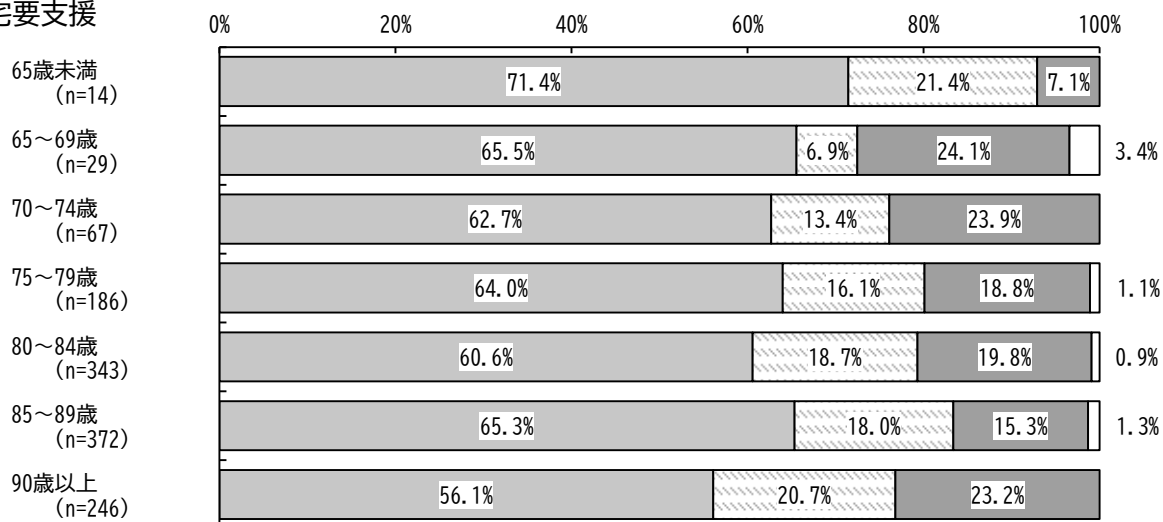


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



請求書の支払い

自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

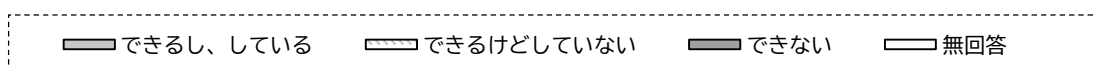
<高齢者一般調査 問21・在宅要支援認定者調査 問22>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,176	83.7%	819	65.2%
できるけどしていない	183	13.0%	221	17.6%
できない	40	2.8%	198	15.8%
無回答	6	0.4%	19	1.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

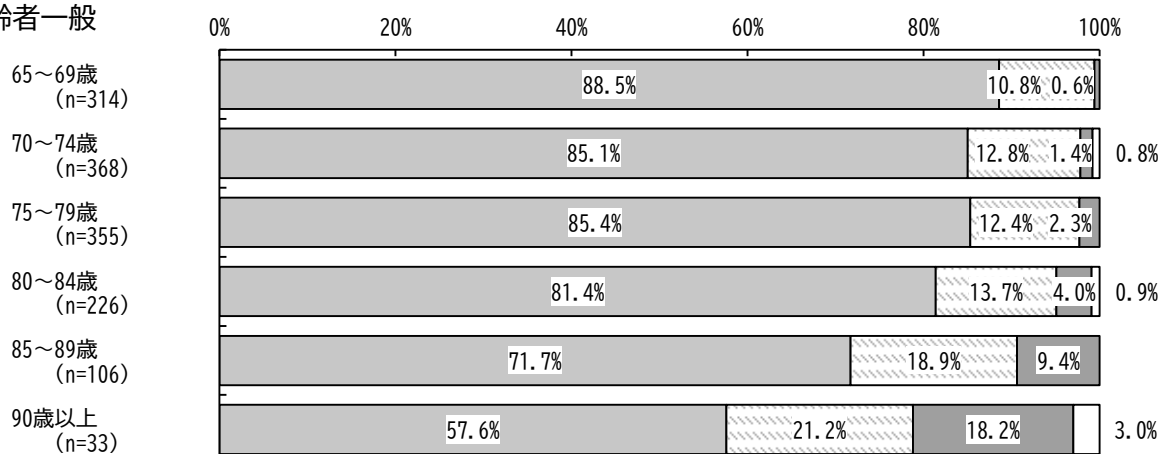
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられますが、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で5割を超えています。

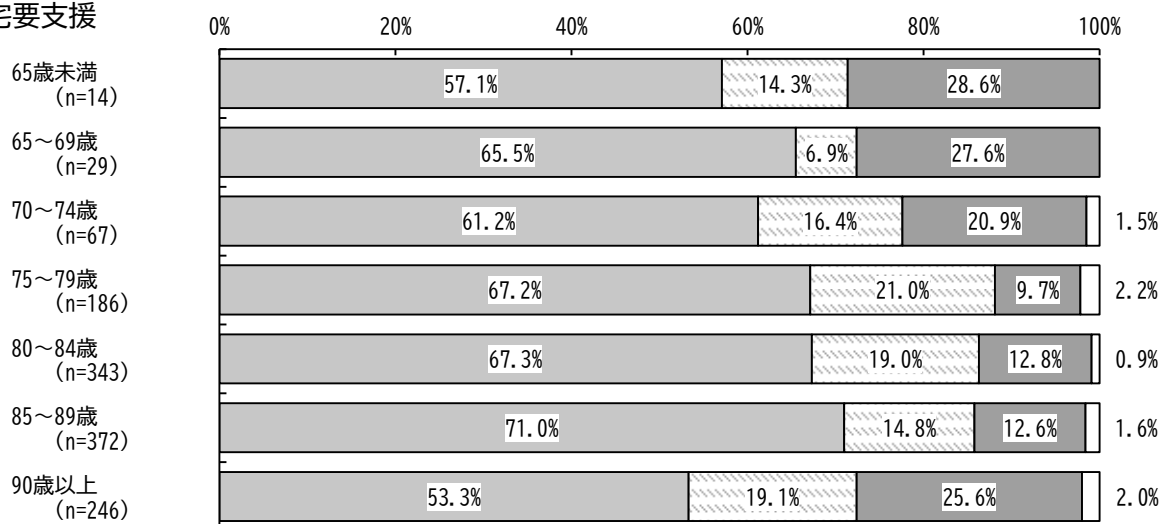


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



預貯金の出し入れ

自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

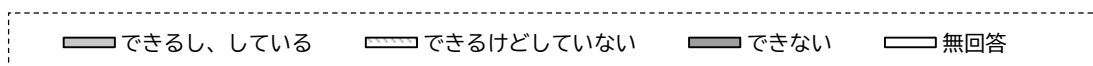
<高齢者一般調査 問22・在宅要支援認定者調査 問23>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,182	84.1%	834	66.3%
できるけどしていない	165	11.7%	214	17.0%
できない	52	3.7%	194	15.4%
無回答	6	0.4%	15	1.2%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

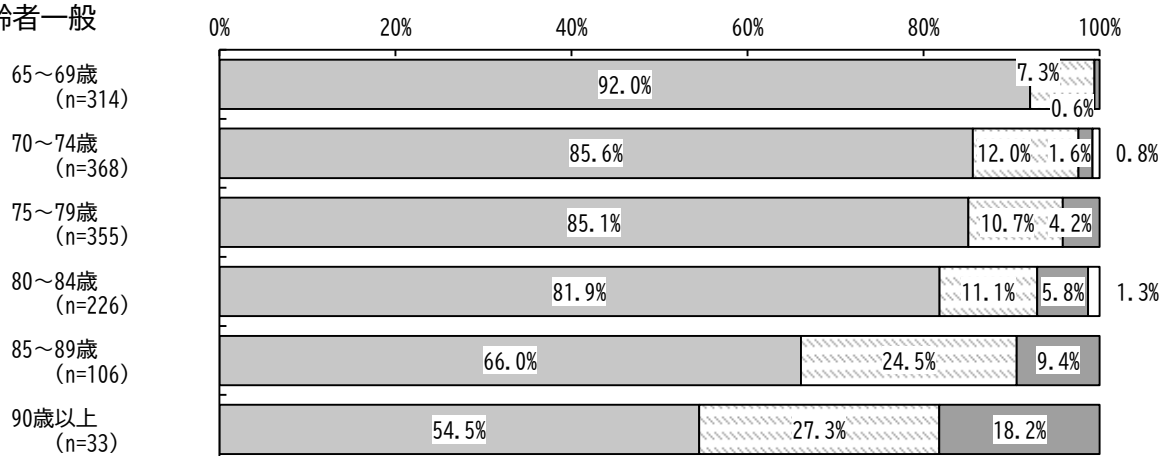
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「できるし、している」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられますが、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で5割を超えています。

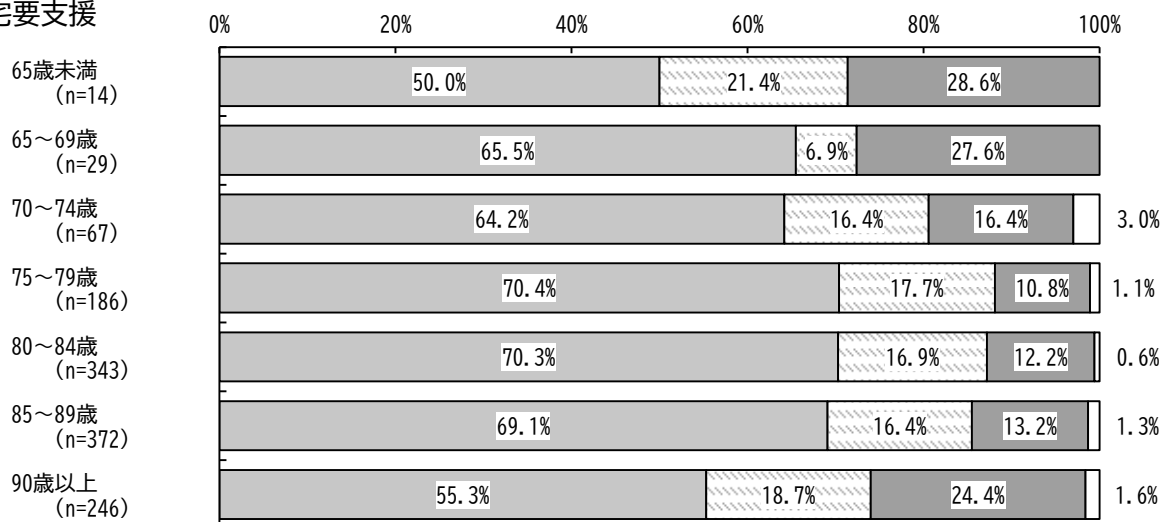


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



生きがいを感じる時

生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時ですか。（○はいくつでも）

<高齢者一般調査 問23・在宅要支援認定者調査 問24>

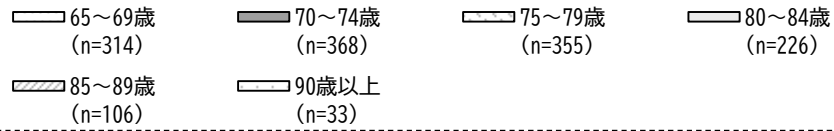
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
仕事をしているとき（農作業なども含む）	539	38.4%	226	18.0%
教養を身につけること（学習）をしているとき	318	22.6%	242	19.3%
健康づくりやスポーツをしているとき	483	34.4%	332	26.4%
家族との団らんのとき	731	52.0%	467	37.2%
友人や知人と過ごすとき	740	52.7%	537	42.7%
シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	77	5.5%	197	15.7%
地域活動（町内会、自治会、ボランティア等）に参加しているとき	166	11.8%	98	7.8%
旅行に行っているとき	562	40.0%	190	15.1%
散歩や買い物をしているとき	735	52.3%	487	38.7%
テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	876	62.3%	814	64.8%
パソコン、インターネットをしているとき	275	19.6%	146	11.6%
他人から感謝されたとき	446	31.7%	302	24.0%
収入があったとき	451	32.1%	238	18.9%
おいしいものを食べているとき	966	68.8%	749	59.6%
若い世代と交流しているとき	282	20.1%	243	19.3%
その他	63	4.5%	60	4.8%
特にない	33	2.3%	69	5.5%
無回答	5	0.4%	11	0.9%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計では、高齢者一般が「おいしいものを食べているとき」、在宅要支援認定者が「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の回答が最も多くなっています。

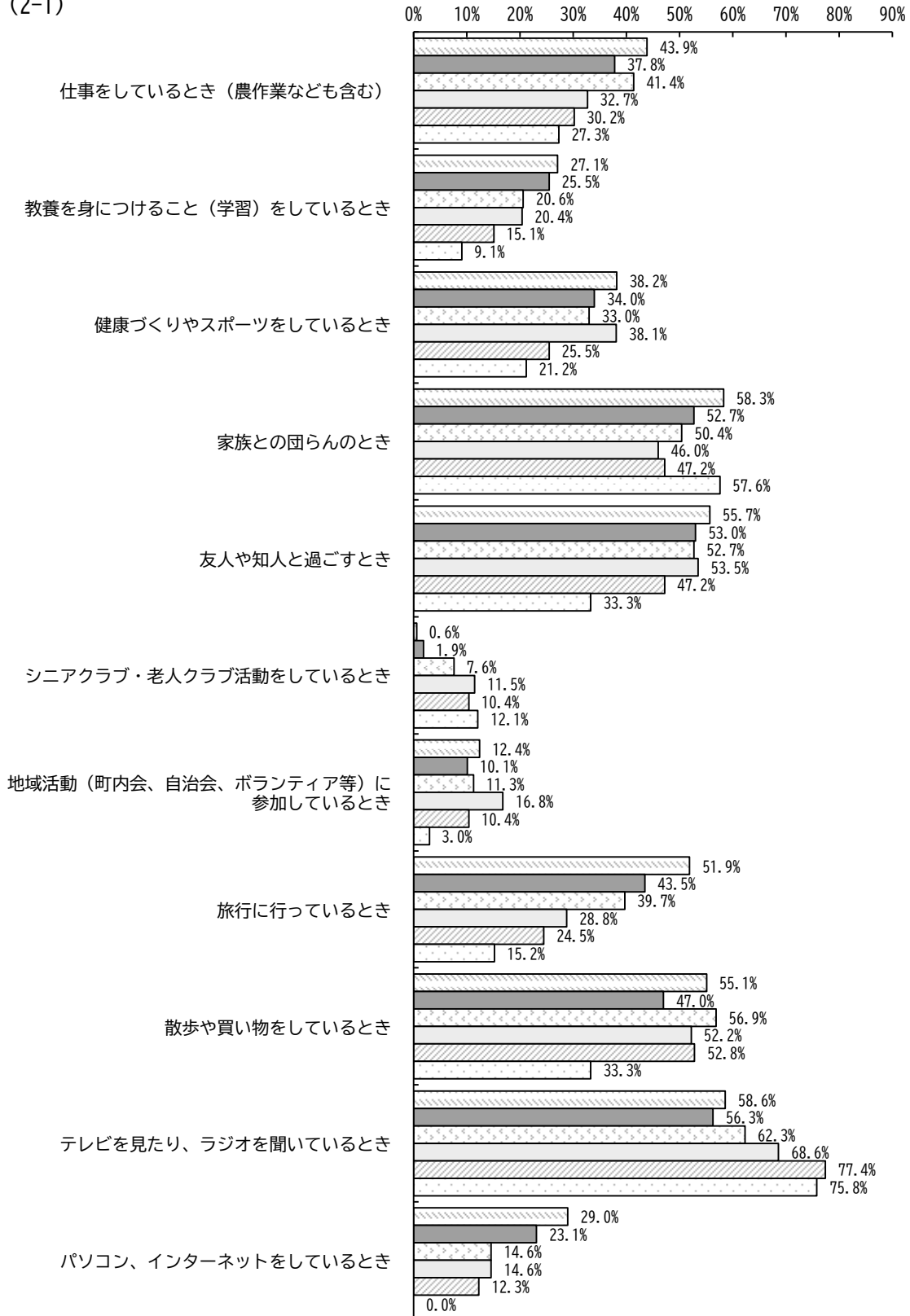
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」、「おいしいものを食べているとき」の割合がすべての年齢で高くなっています。

【年齢別集計】



○高齢者一般

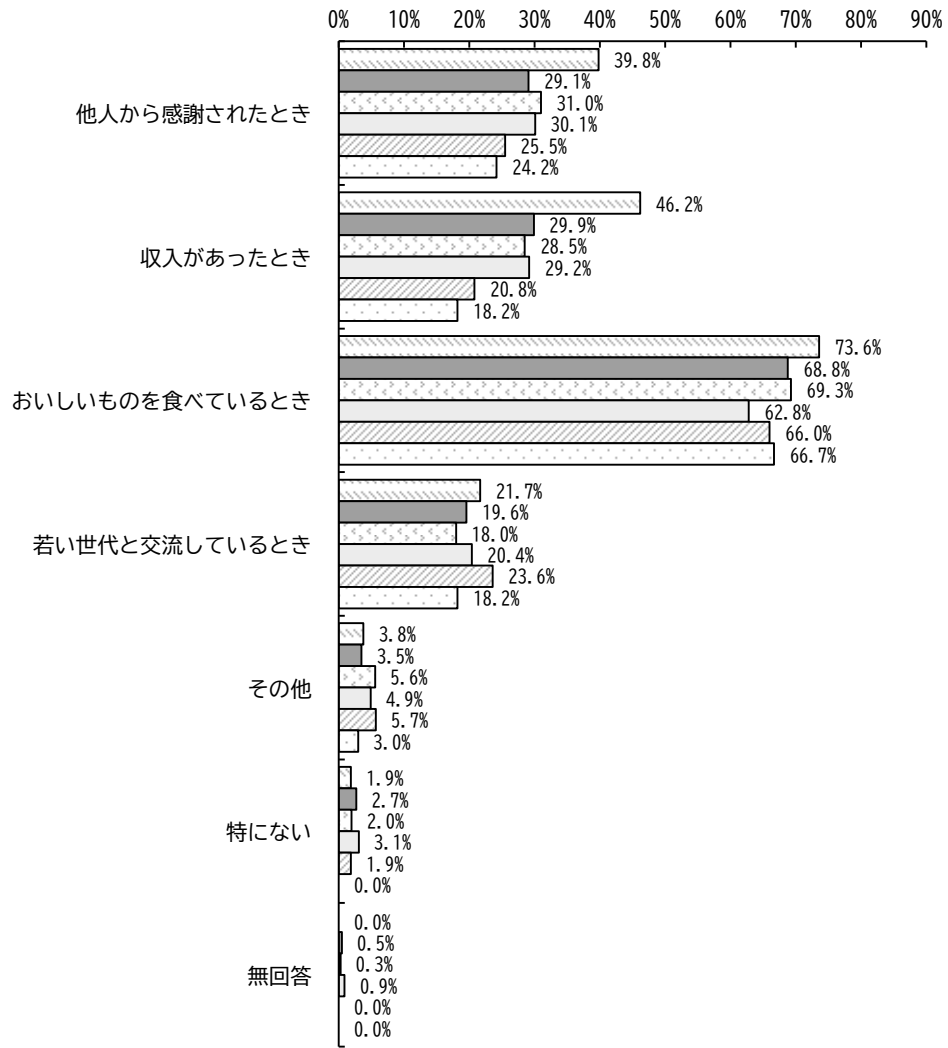
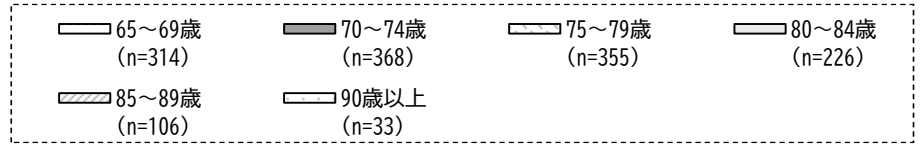
(2-1)



【年齢別集計】

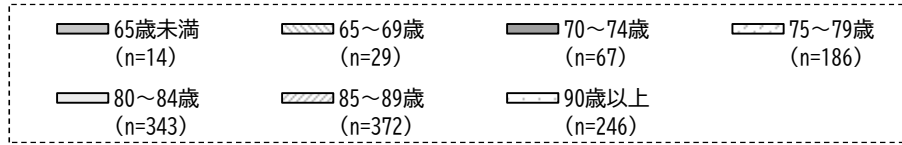
○高齢者一般

(2-2)

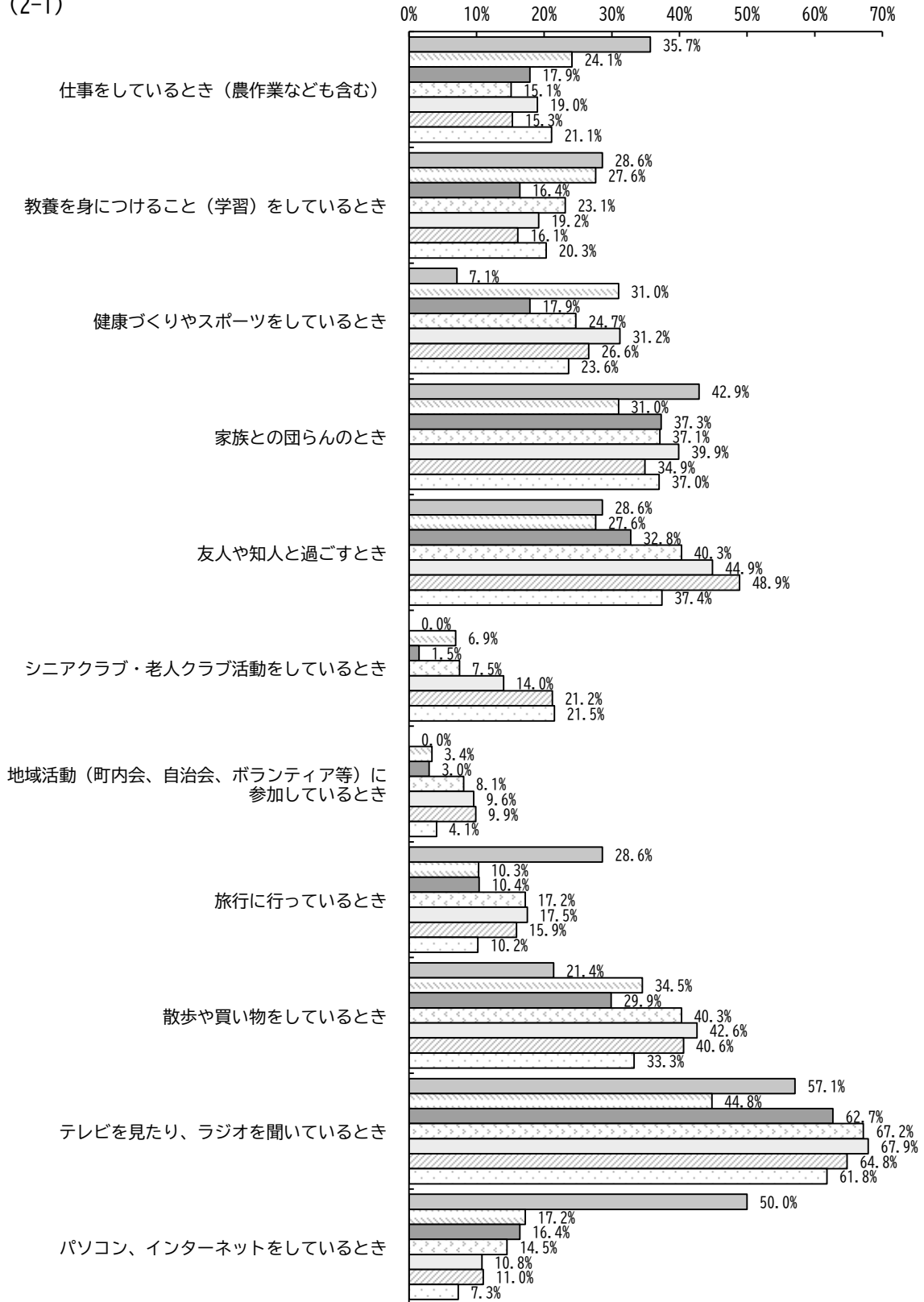


【年齢別集計】

○在宅要支援



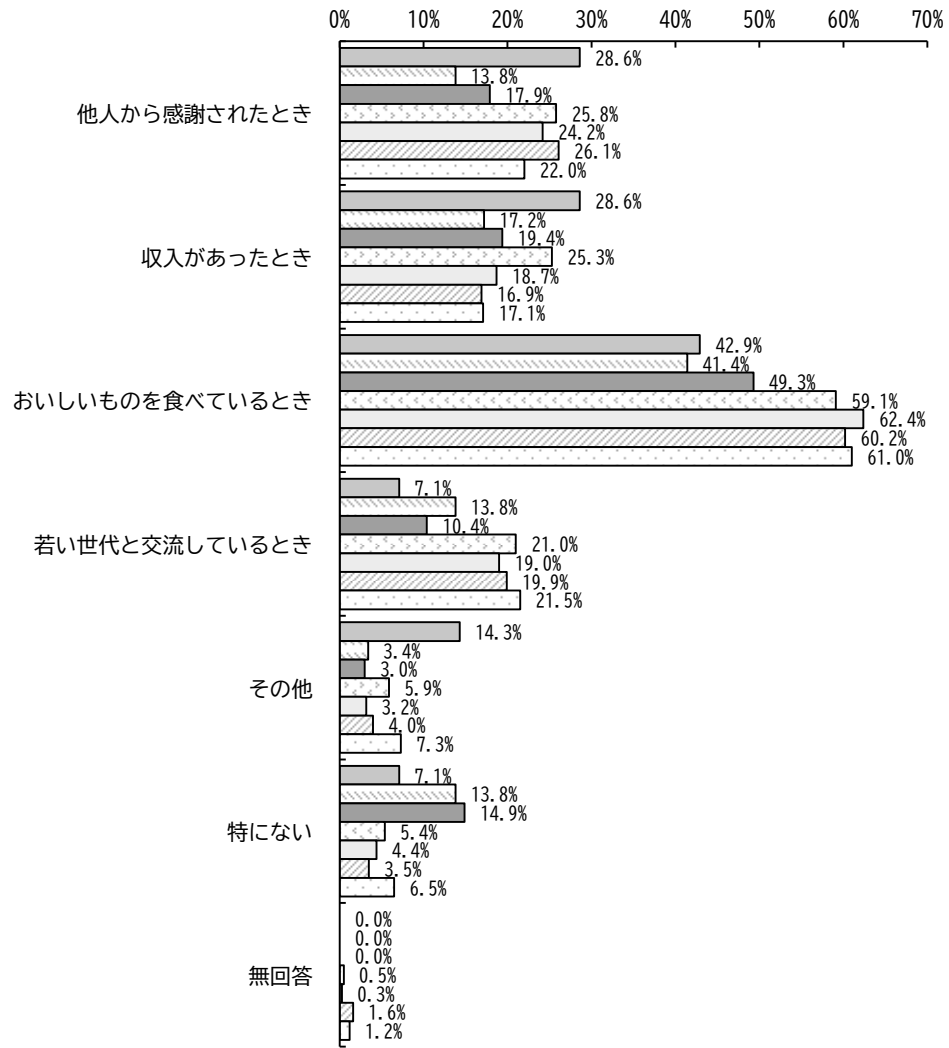
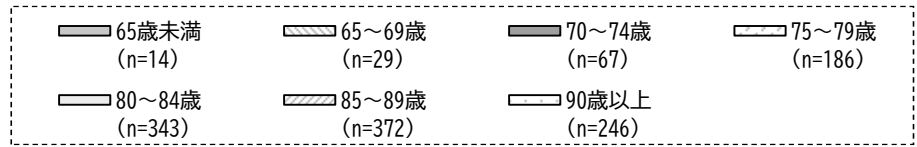
(2-1)



【年齢別集計】

○在宅要支援

(2-2)



今後やってみたいもの

今後やってみたいと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

<高齢者一般調査 問47・在宅要支援認定者調査 問25>

【単純集計】

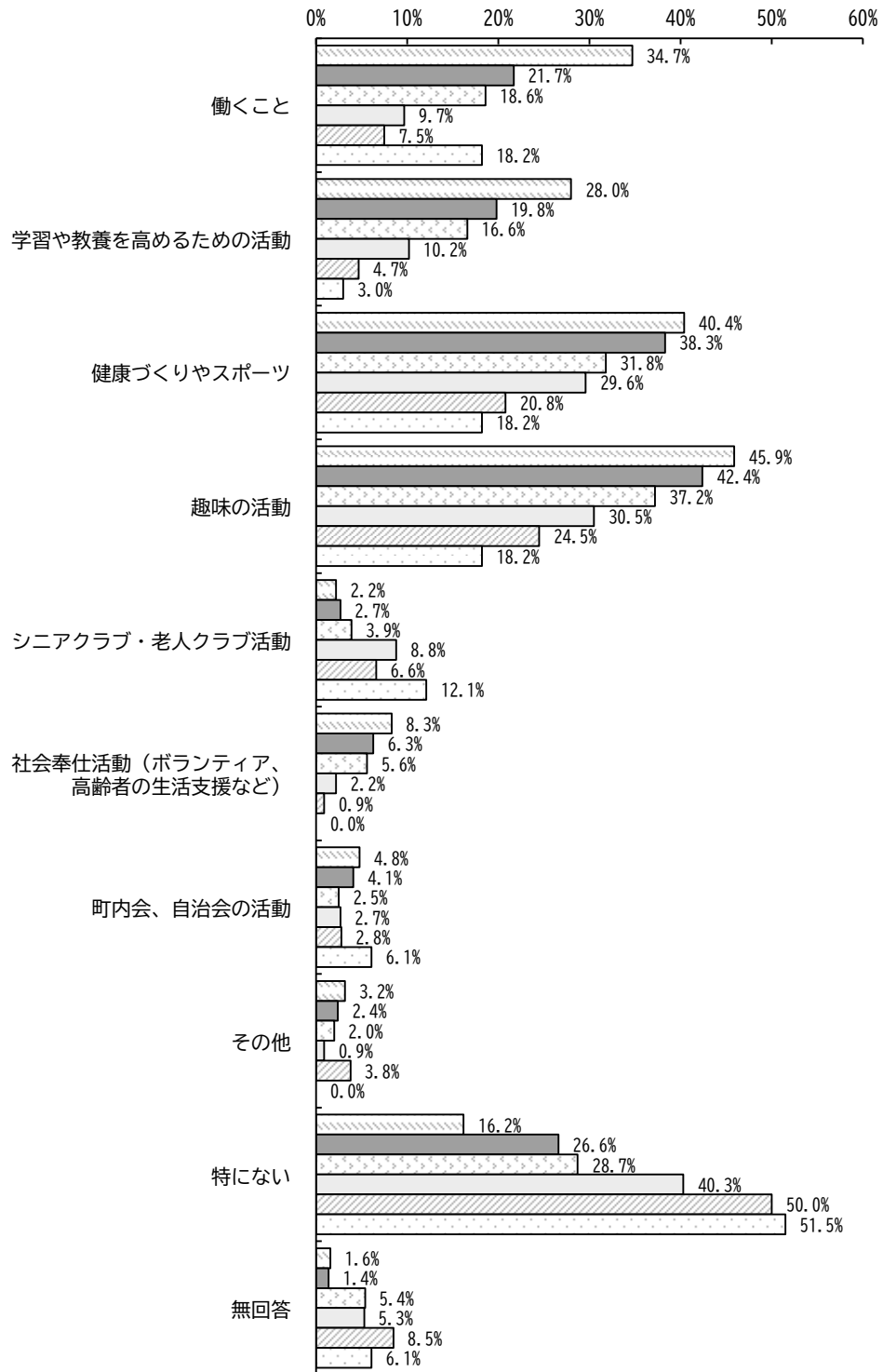
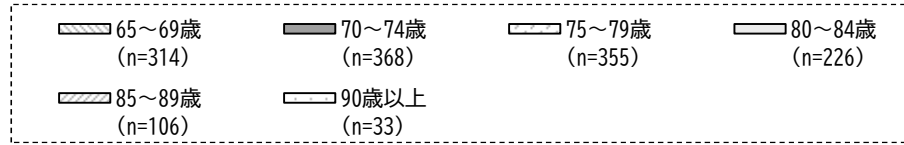
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
働くこと	292	20.8%	118	9.4%
学習や教養を高めるための活動	251	17.9%	202	16.1%
健康づくりやスポーツ	478	34.0%	426	33.9%
趣味の活動	534	38.0%	379	30.2%
シニアクラブ・老人クラブ活動	62	4.4%	165	13.1%
社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）	76	5.4%	65	5.2%
町内会、自治会の活動	50	3.6%	59	4.7%
その他	32	2.3%	49	3.9%
特にない	412	29.3%	447	35.6%
無回答	52	3.7%	36	2.9%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般では「趣味の活動」の割合が、在宅要支援認定者では「特にない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「学習や教養を高めるための活動」、「健康づくりやスポーツ」、「趣味の活動」、「社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）」は年齢が高くなるにつれて割合が低くなり、「特にない」は、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあります。

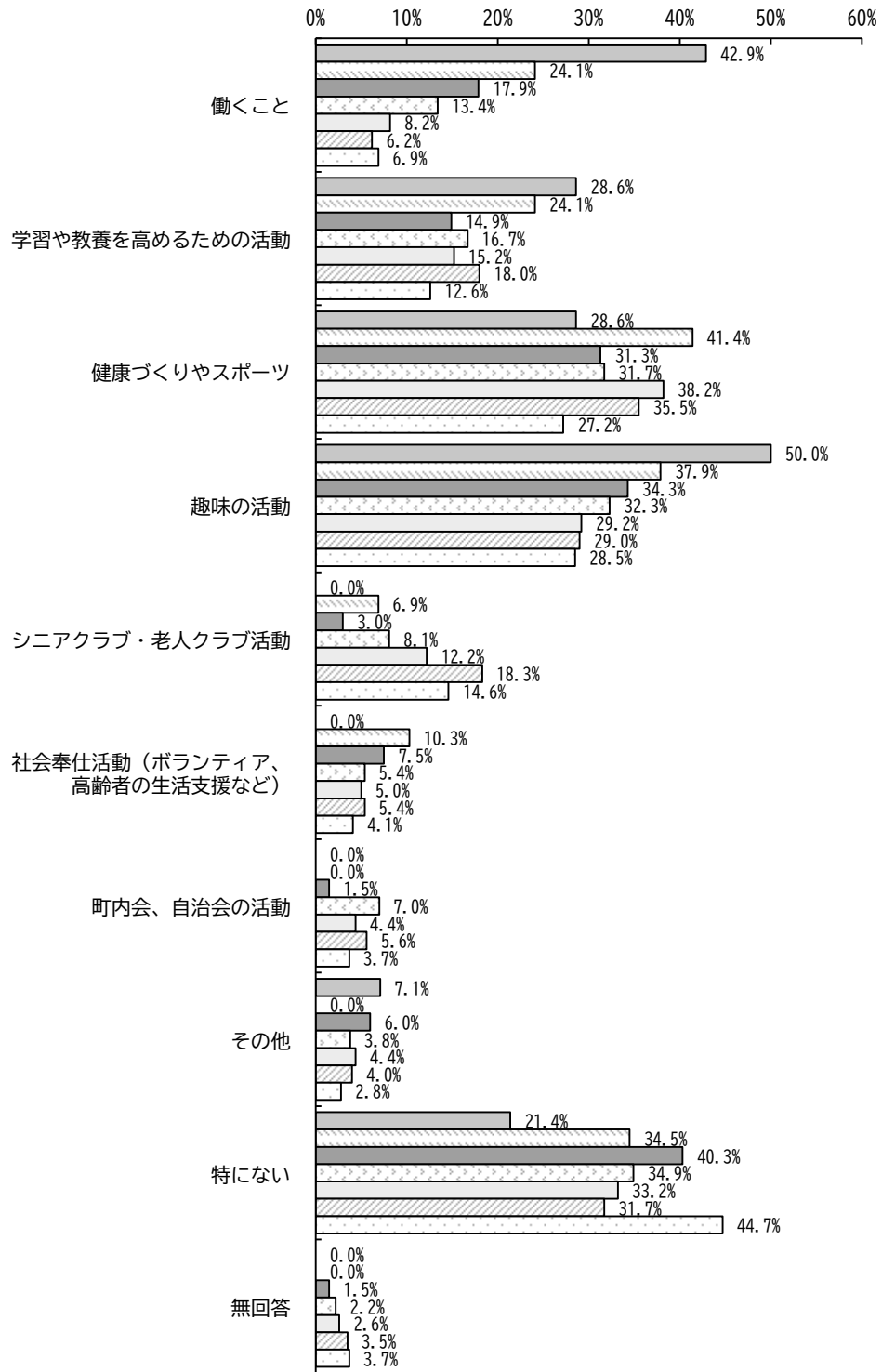
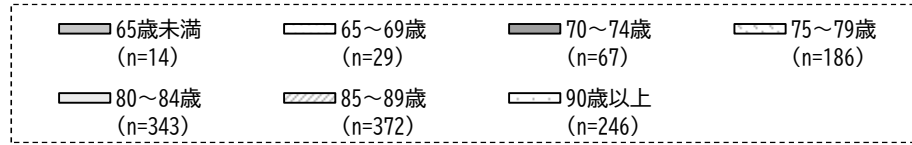
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



(毎日の生活について)

パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的

パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。(○はいくつでも)
 <高齢者一般調査 問24・在宅要支援認定者調査 問26・在宅要介護認定者調査 問5 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
通話	1,073	76.4%	669	53.2%	401	35.7%
メール	901	64.1%	421	33.5%	218	19.4%
情報検索	803	57.2%	310	24.7%	167	14.9%
SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)	453	32.2%	142	11.3%	95	8.5%
地図・ナビゲーション	543	38.6%	160	12.7%	81	7.2%
動画や音楽視聴	426	30.3%	157	12.5%	101	9.0%
インターネットショッピング (アマゾンなど)	295	21.0%	64	5.1%	60	5.3%
電子書籍	48	3.4%	21	1.7%	20	1.8%
ゲーム	173	12.3%	86	6.8%	44	3.9%
電子決済 (PayPay、auPAYなど)	288	20.5%	51	4.1%	35	3.1%
安否確認、緊急時の連絡用	228	16.2%	132	10.5%	87	7.8%
行政手続等の電子申請	150	10.7%	19	1.5%	21	1.9%
使用していない、使用できない※	184	13.1%	289	23.0%	634	56.5%
その他	21	1.5%	37	2.9%	8	0.7%
無回答	31	2.2%	160	12.7%	36	3.2%
回 答 数	1,405	-	1,257	-	1,122	-

※選択肢「使用していない、使用できない」は
 在宅要支援認定者調査では「パソコン・スマートフォン・タブレットがないため使用していない、使用できない」

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者は「通話」の割合が最も高く、これに「メール」が続いています。在宅要介護認定者は「使用していない、使用できない」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、高齢者一般では、「インターネットショッピング (アマゾンなど)」と回答した割合は男性のほうが高くなっています。在宅要支援認定者では、多くの項目で男性の回答割合が高くなっていますが、「通話」、「メール」、「安否確認、緊急時の連絡用」は女性の回答割合が高くなっています。

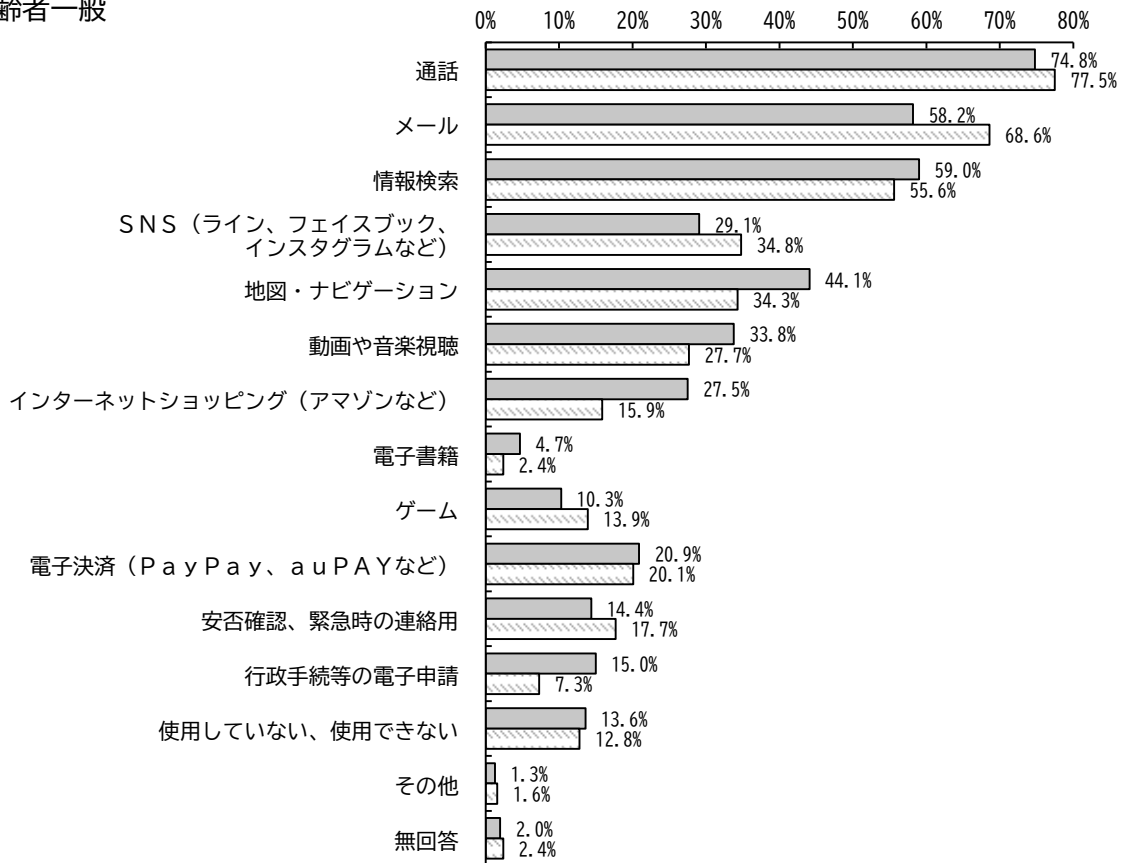
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに多くの項目で年齢が高くなるにつれて減少傾向にあります。

区別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者では、すべての区で「通話」の割合が最も高くなっています。

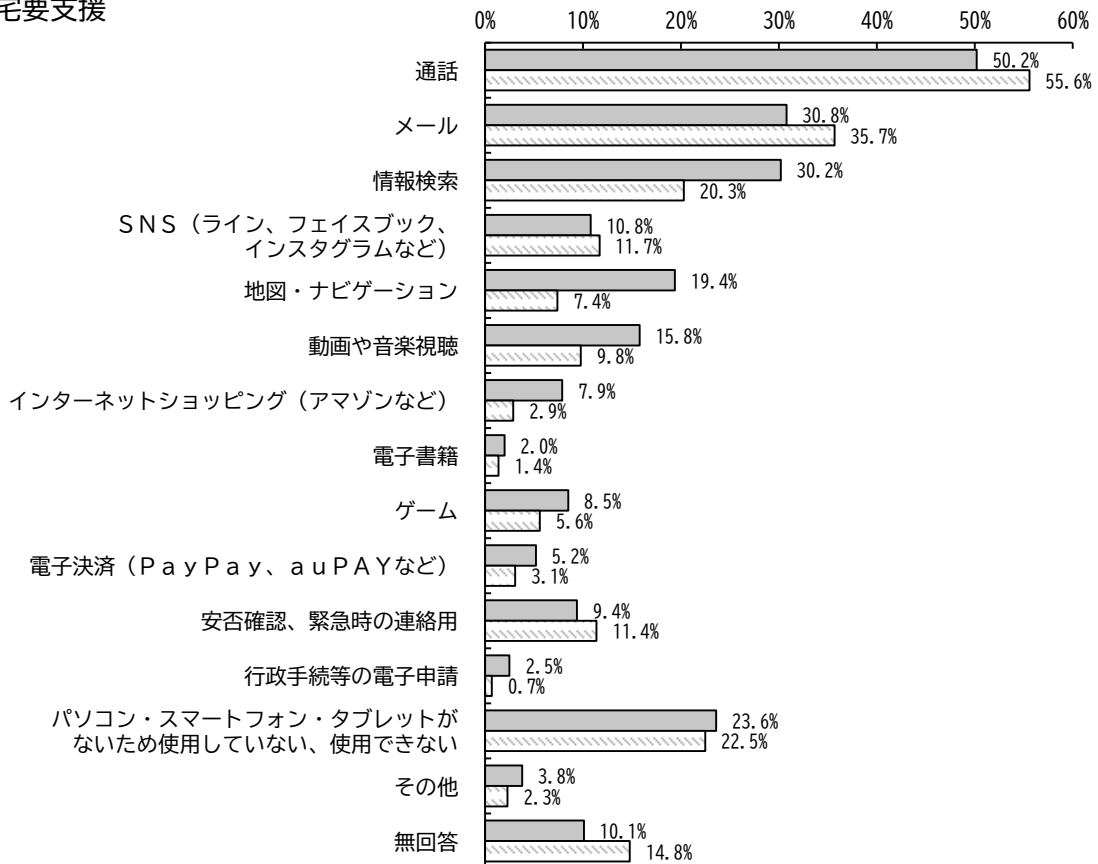
【性別集計】



○高齢者一般



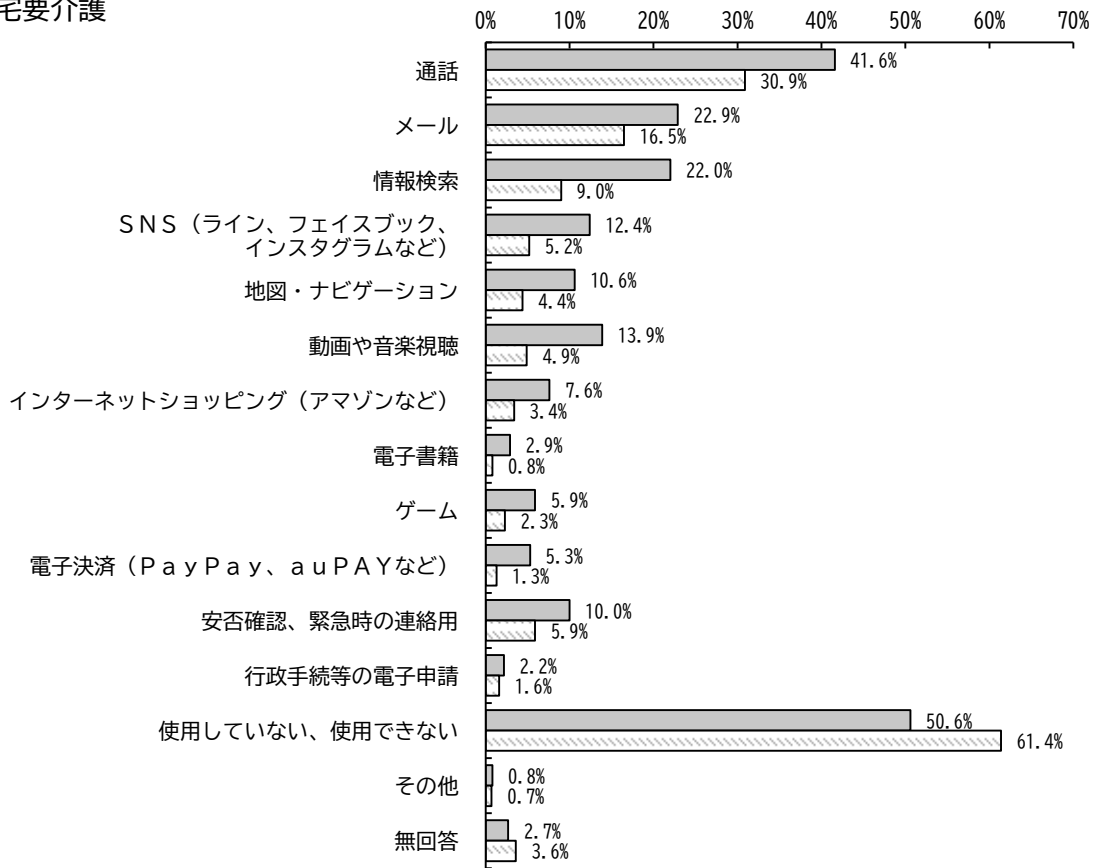
○在宅要支援



【性別集計】



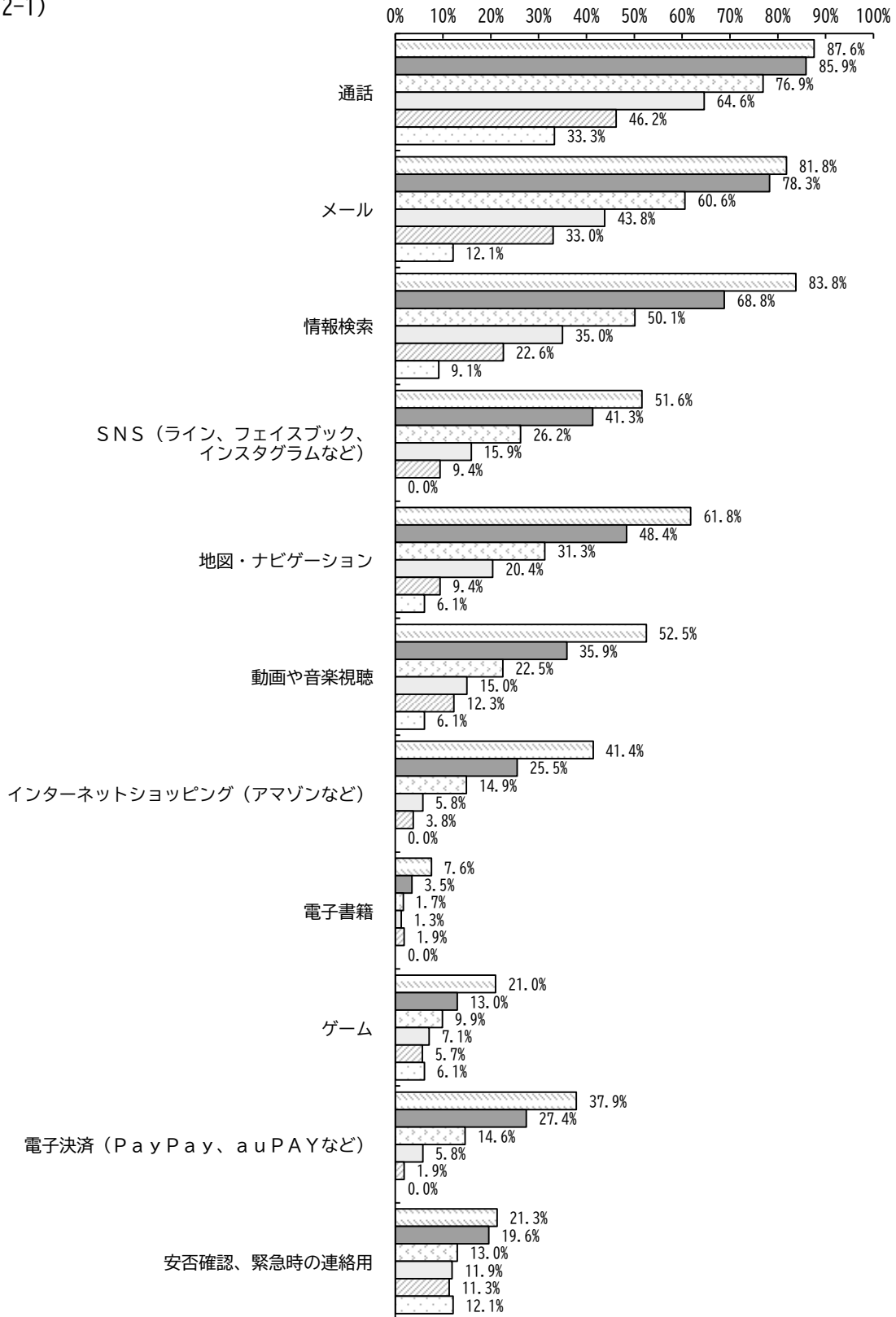
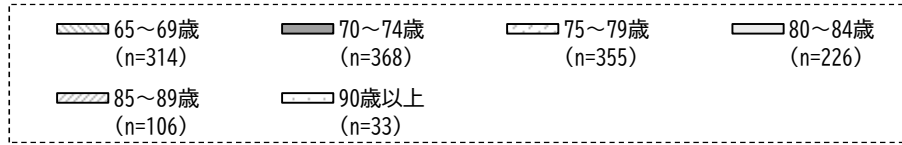
○在宅要介護



【年齢別集計】

○高齢者一般

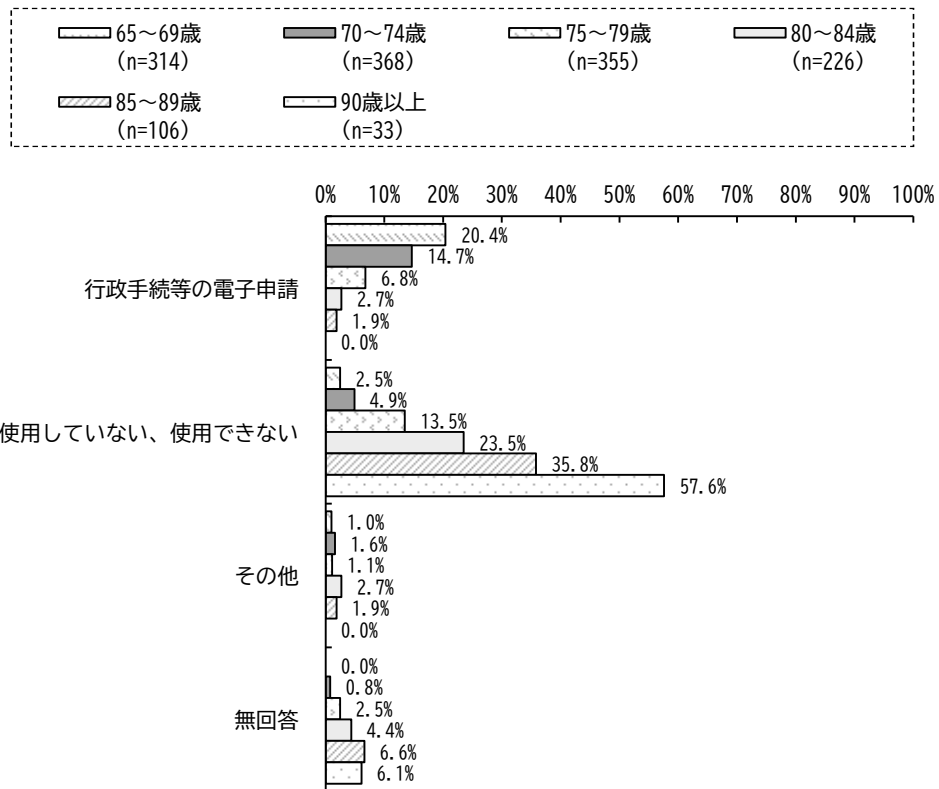
(2-1)



【年齢別集計】

○高齢者一般

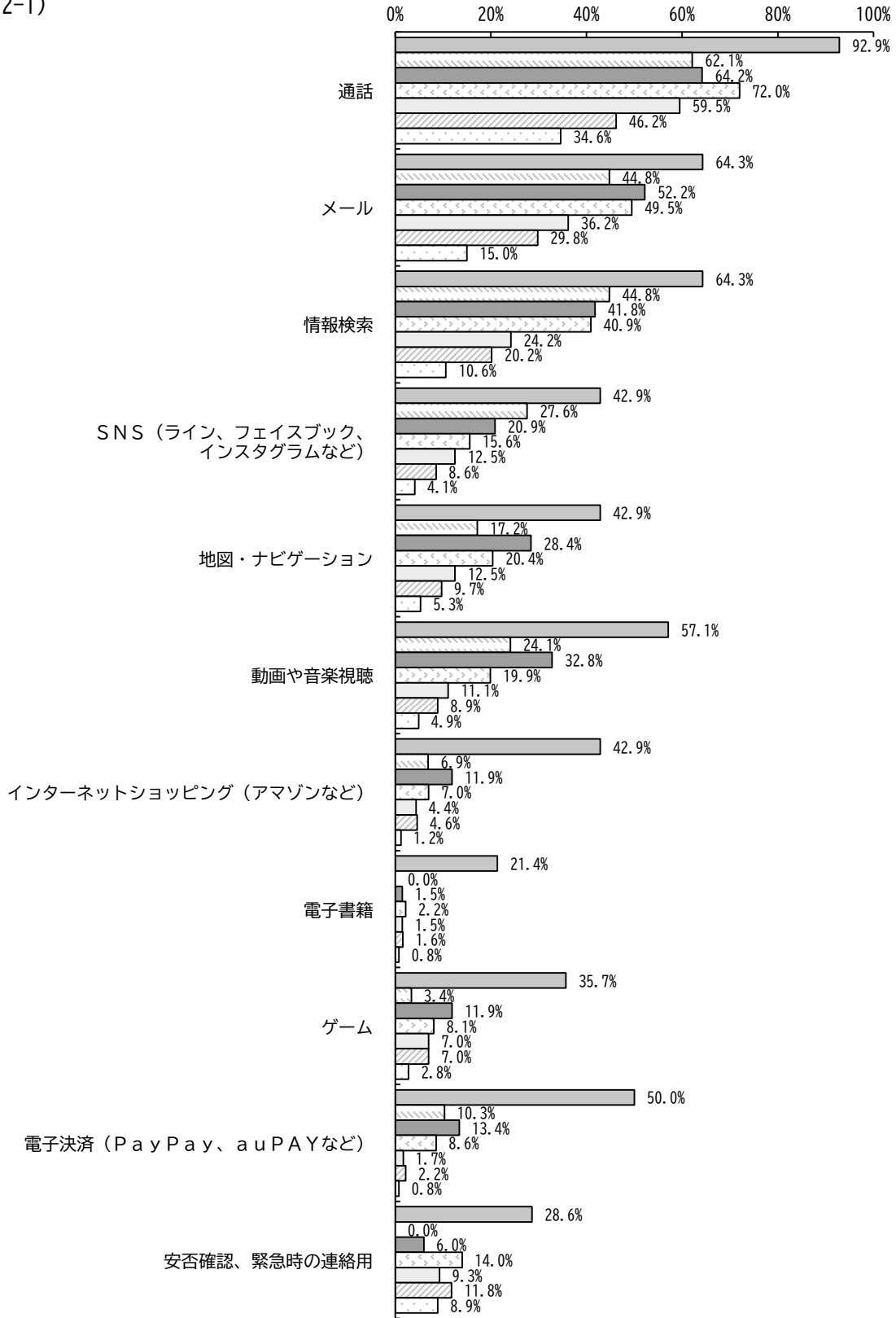
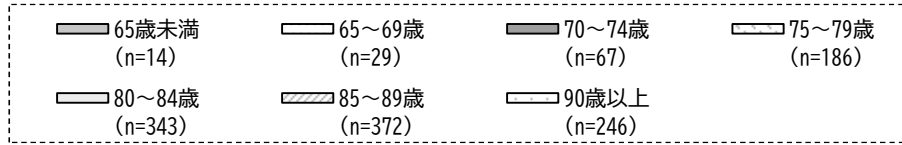
(2-2)



【年齢別集計】

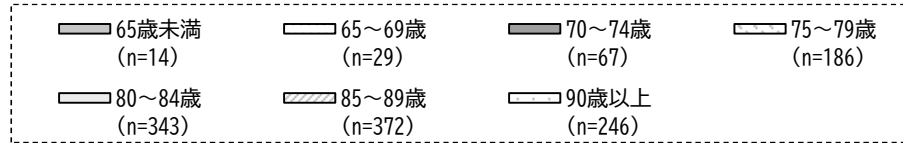
○在宅要支援

(2-1)

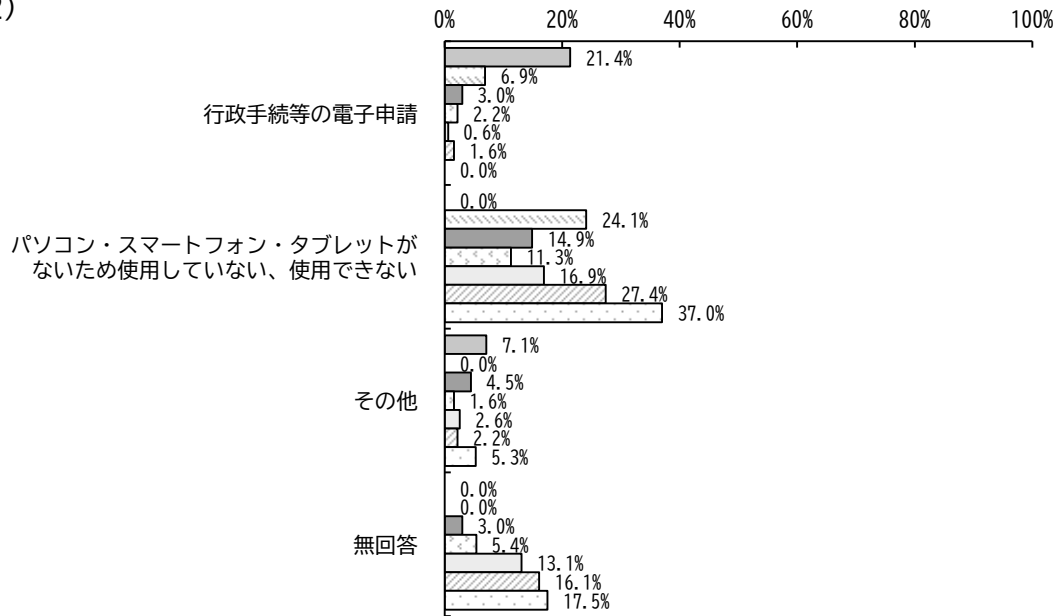


【年齢別集計】

○在宅要支援



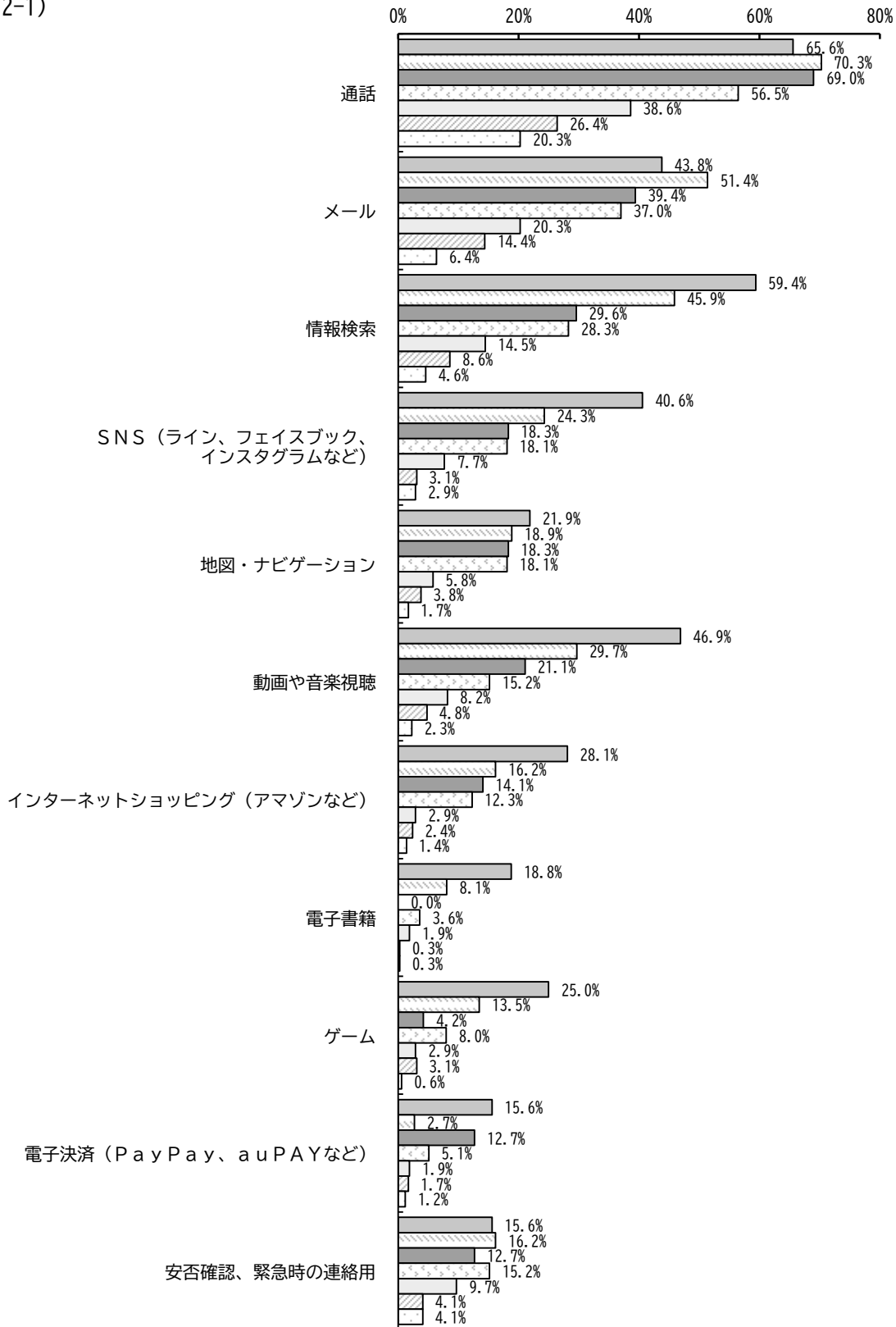
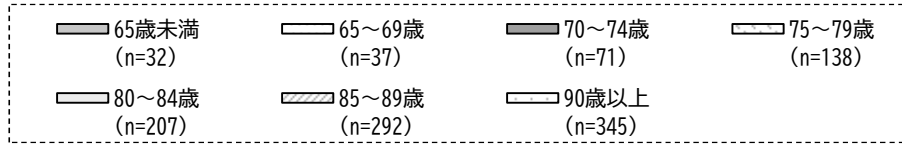
(2-2)



【年齢別集計】

○在宅要介護

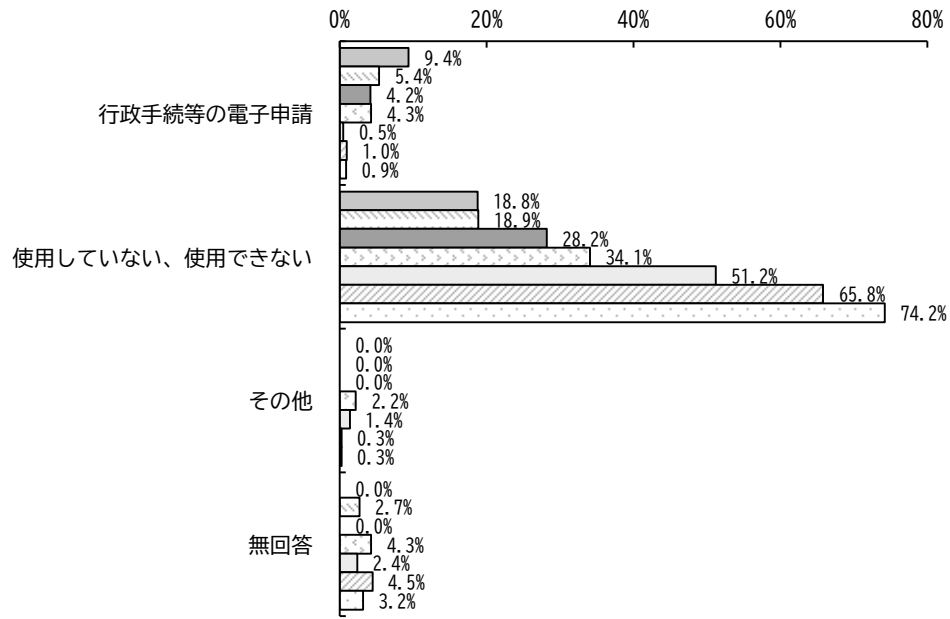
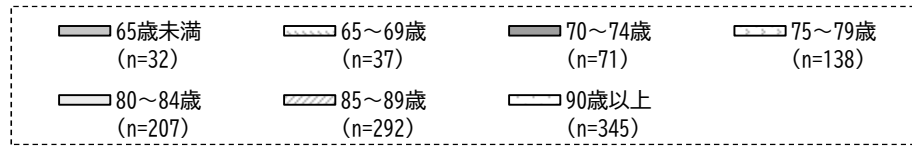
(2-1)



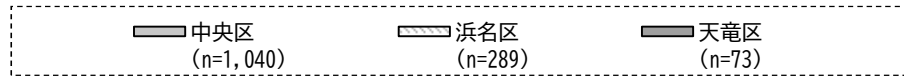
【年齢別集計】

○在宅要介護

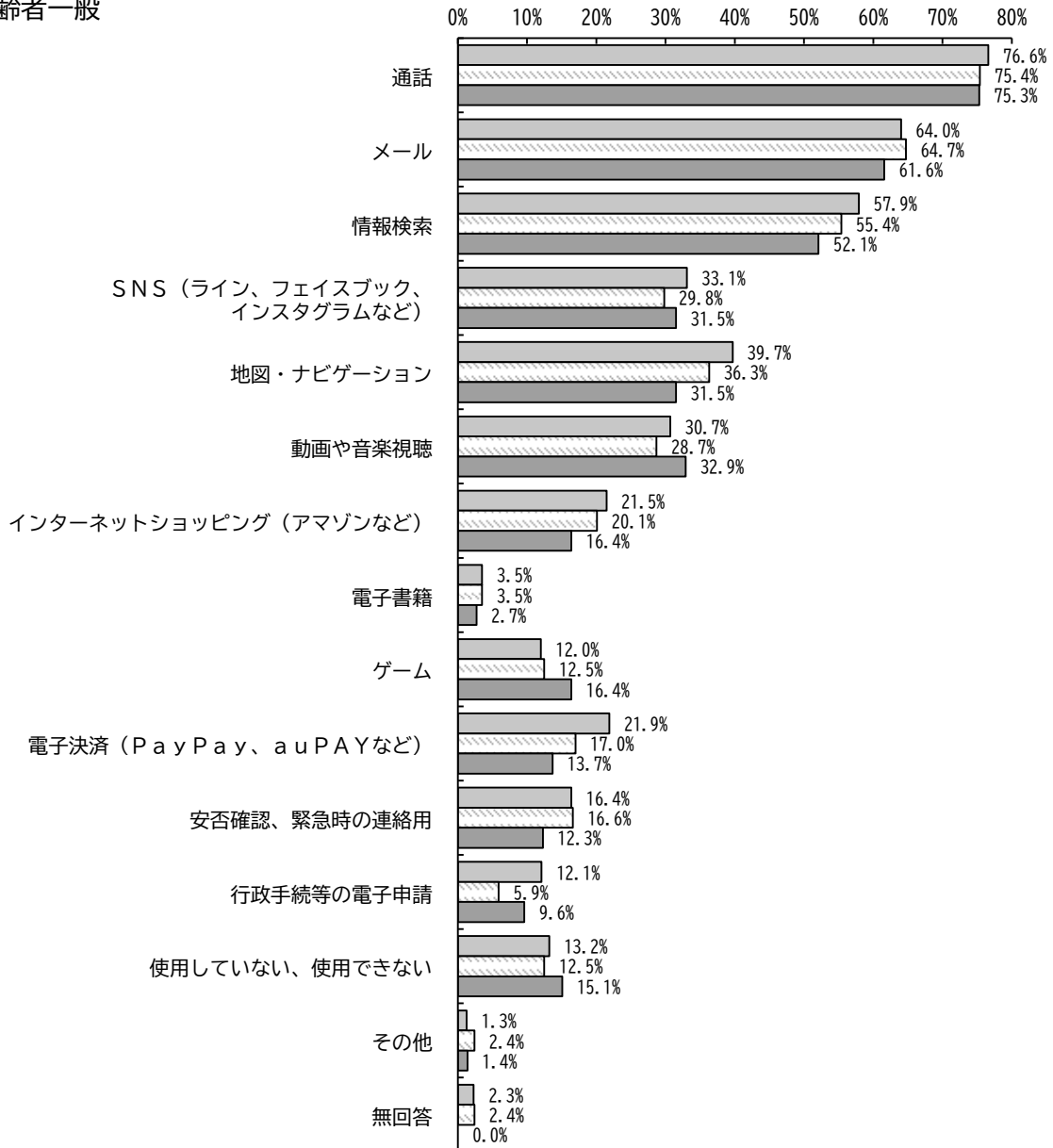
(2-2)



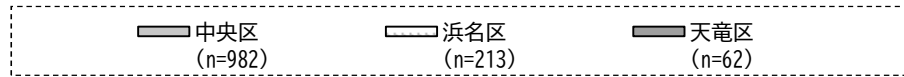
【区別集計】



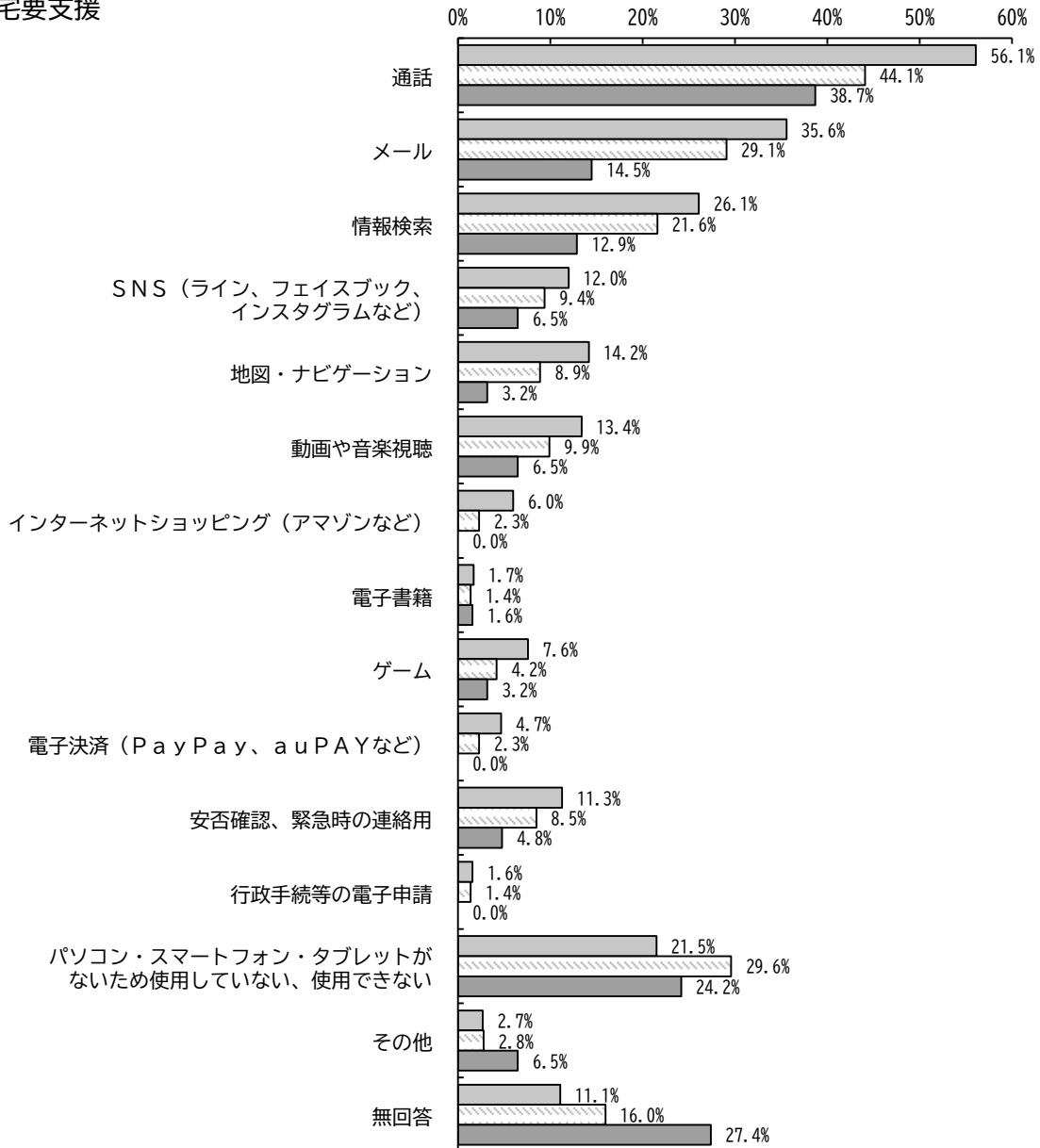
○高齢者一般



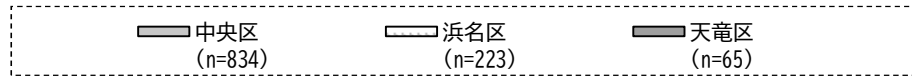
【区別集計】



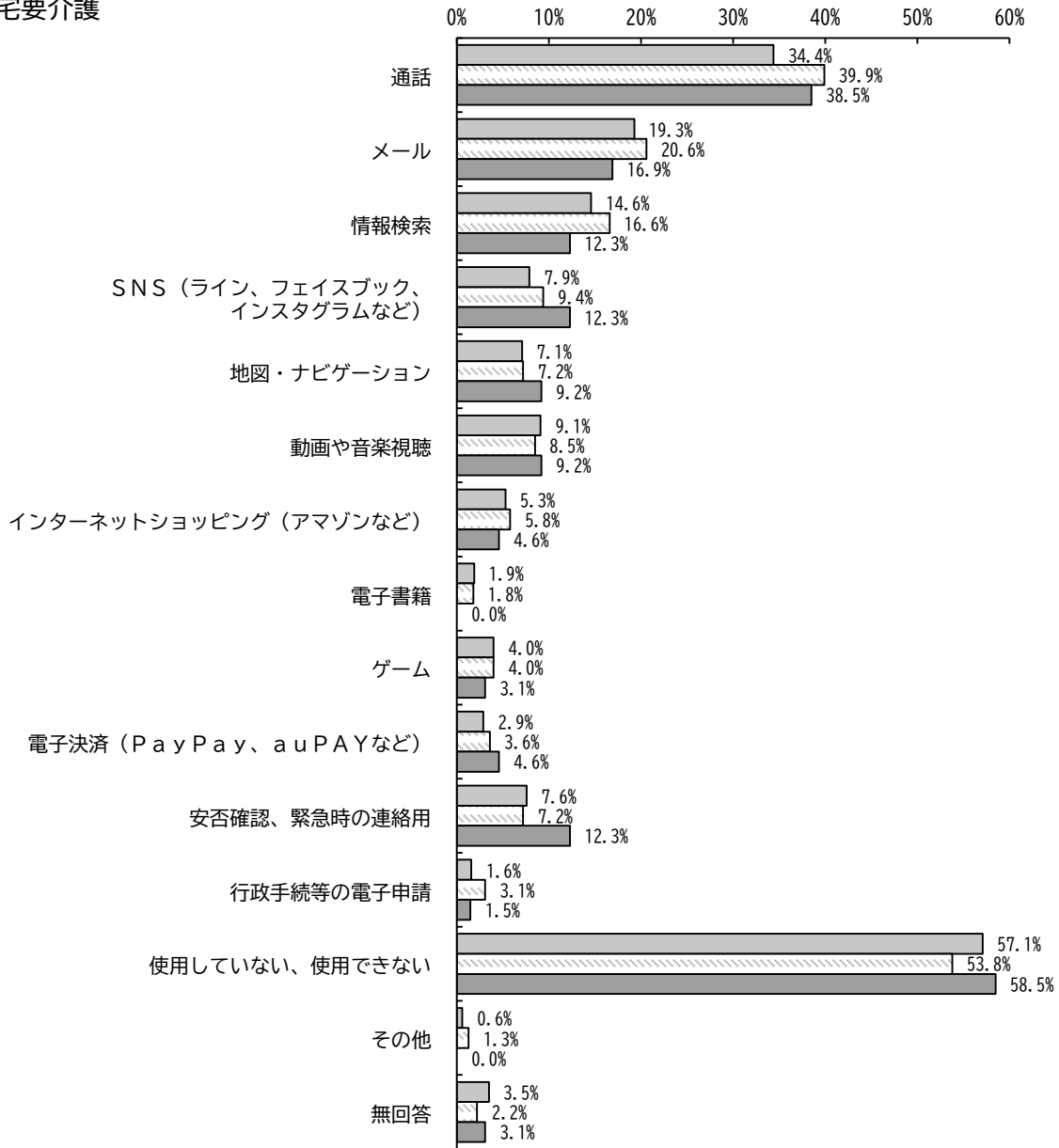
○在宅要支援



【区別集計】



○在宅要介護



ボランティアのグループへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ

<高齢者一般調査 問25①・在宅要支援認定者調査 問27①>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	6	0.4%	6	0.5%
週2～3回	24	1.7%	20	1.6%
週1回	22	1.6%	27	2.1%
月1～3回	78	5.6%	22	1.8%
年に数回	85	6.0%	42	3.3%
参加していない	1,070	76.2%	874	69.5%
無回答	120	8.5%	266	21.2%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では7割半ば、在宅要支援認定者では約7割となっています。

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

② スポーツ関係のグループやクラブ

<高齢者一般調査 問25②・在宅要支援認定者調査 問27②>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	60	4.3%	21	1.7%
週2～3回	100	7.1%	58	4.6%
週1回	94	6.7%	101	8.0%
月1～3回	58	4.1%	32	2.5%
年に数回	48	3.4%	20	1.6%
参加していない	952	67.8%	797	63.4%
無回答	93	6.6%	228	18.1%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では約7割、在宅要支援認定者では約6割となっています。

趣味関係のグループへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

③ 趣味関係のグループ

<高齢者一般調査 問25③・在宅要支援認定者調査 問27③>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	28	2.0%	9	0.7%
週2～3回	79	5.6%	48	3.8%
週1回	59	4.2%	77	6.1%
月1～3回	158	11.2%	102	8.1%
年に数回	96	6.8%	44	3.5%
参加していない	894	63.6%	769	61.2%
無回答	91	6.5%	208	16.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般、在宅要支援認定者ともに約6割となっています。

学習・教養サークルへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

④ 学習・教養サークル

<高齢者一般調査 問25④・在宅要支援認定者調査 問27④>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	3	0.2%	3	0.2%
週2～3回	16	1.1%	13	1.0%
週1回	28	2.0%	31	2.5%
月1～3回	59	4.2%	54	4.3%
年に数回	62	4.4%	35	2.8%
参加していない	1,102	78.4%	868	69.1%
無回答	135	9.6%	253	20.1%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では約8割、在宅要支援認定者では約7割となっています。

介護予防のための通いの場への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑤ 介護予防のための通いの場

(ロコトレサロン (ロコモーショントレーニング事業)、地域の高齢者サロン など)

<高齢者一般調査 問25⑤・在宅要支援認定者調査 問27⑤>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	4	0.3%	13	1.0%
週2～3回	22	1.6%	82	6.5%
週1回	21	1.5%	262	20.8%
月1～3回	36	2.6%	57	4.5%
年に数回	20	1.4%	16	1.3%
参加していない	1,184	84.3%	646	51.4%
無回答	118	8.4%	181	14.4%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では8割半ば、在宅要支援認定者では約5割となっています。

シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑥ シニアクラブ・老人クラブ

<高齢者一般調査 問25⑥・在宅要支援認定者調査 問27⑥>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	5	0.4%	6	0.5%
週2～3回	8	0.6%	31	2.5%
週1回	12	0.9%	54	4.3%
月1～3回	48	3.4%	75	6.0%
年に数回	41	2.9%	50	4.0%
参加していない	1,184	84.3%	835	66.4%
無回答	107	7.6%	206	16.4%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では8割半ば、在宅要支援認定者では6割半ばとなっています。

町内会・自治会への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑦ 町内会・自治会

<高齢者一般調査 問25⑦・在宅要支援認定者調査 問27⑦>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	3	0.2%	1	0.1%
週2～3回	7	0.5%	3	0.2%
週1回	7	0.5%	12	1.0%
月1～3回	84	6.0%	42	3.3%
年に数回	427	30.4%	162	12.9%
参加していない	768	54.7%	805	64.0%
無回答	109	7.8%	232	18.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では5割半ば、在宅要支援認定者では6割半ばとなっています。

収入のある仕事への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑧ 収入のある仕事

<高齢者一般調査 問25⑧・在宅要支援認定者調査 問27⑧>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	271	19.3%	29	2.3%
週2～3回	103	7.3%	21	1.7%
週1回	27	1.9%	4	0.3%
月1～3回	41	2.9%	15	1.2%
年に数回	50	3.6%	21	1.7%
参加していない	826	58.8%	940	74.8%
無回答	87	6.2%	227	18.1%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」の割合は高齢者一般では約6割、在宅要支援認定者では7割半ばとなっています。

地域住民の有志による地域づくりに参加者として参加したいか

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問26・在宅要支援認定者調査 問28>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
是非参加したい	97	6.9%	106	8.4%
参加してもよい	692	49.3%	463	36.8%
参加したくない	524	37.3%	550	43.8%
既に参加している	53	3.8%	62	4.9%
無回答	39	2.8%	76	6.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

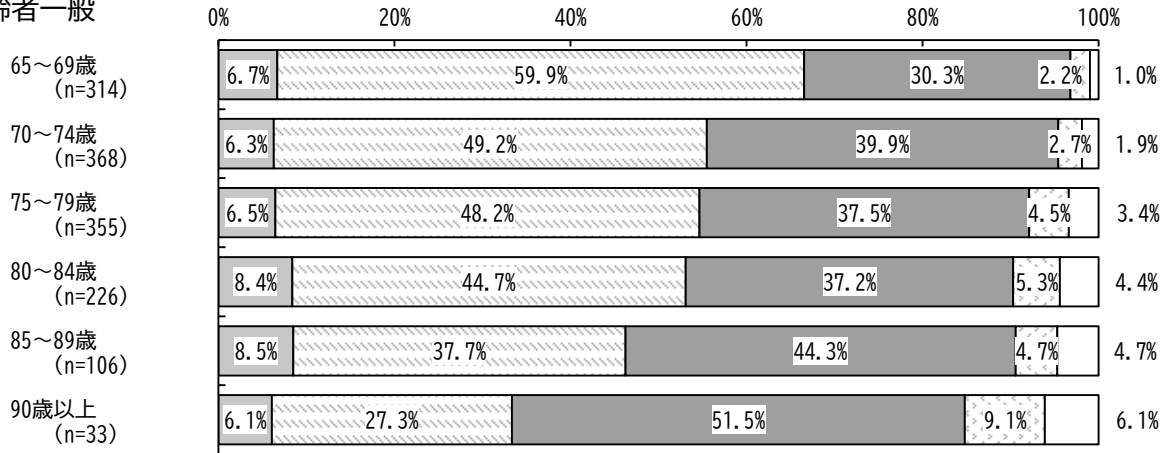
単純集計でみると、高齢者一般では「参加してもよい」の割合が高くなっています。在宅要支援認定者では「参加したくない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「是非参加したい」「参加してもよい」の割合の合計は、年齢が高くなるにつれて低くなる傾向がみられます。

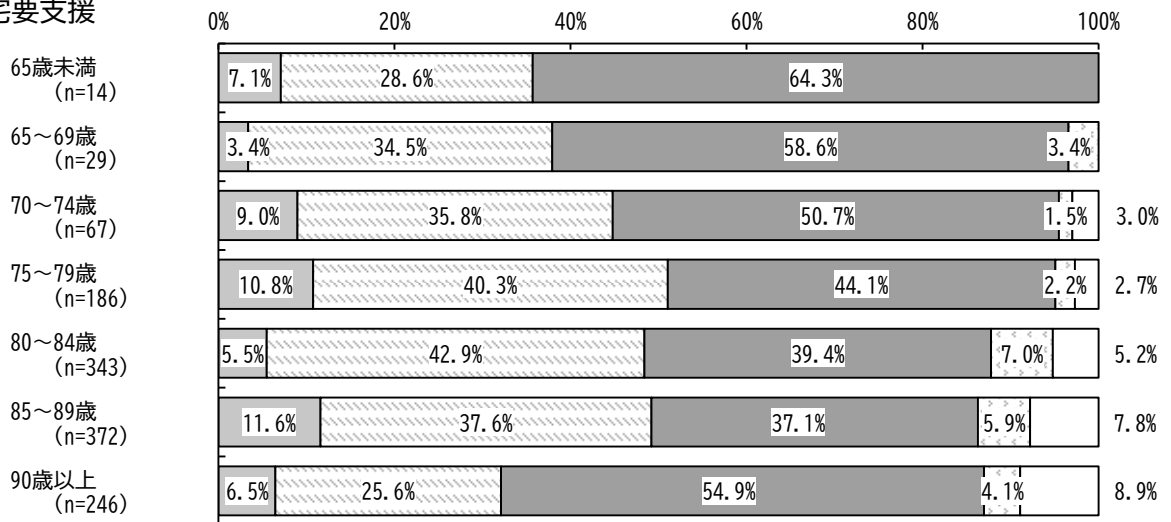
是非参加したい
 参加してもよい
 参加したくない
 既に参加している
 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



地域住民の有志による地域づくりに企画・運営として参加したいか

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問27・在宅要支援認定者調査 問29>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
是非参加したい	30	2.1%	27	2.1%
参加してもよい	422	30.0%	297	23.6%
参加したくない	865	61.6%	807	64.2%
既に参加している	38	2.7%	40	3.2%
無回答	50	3.6%	86	6.8%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

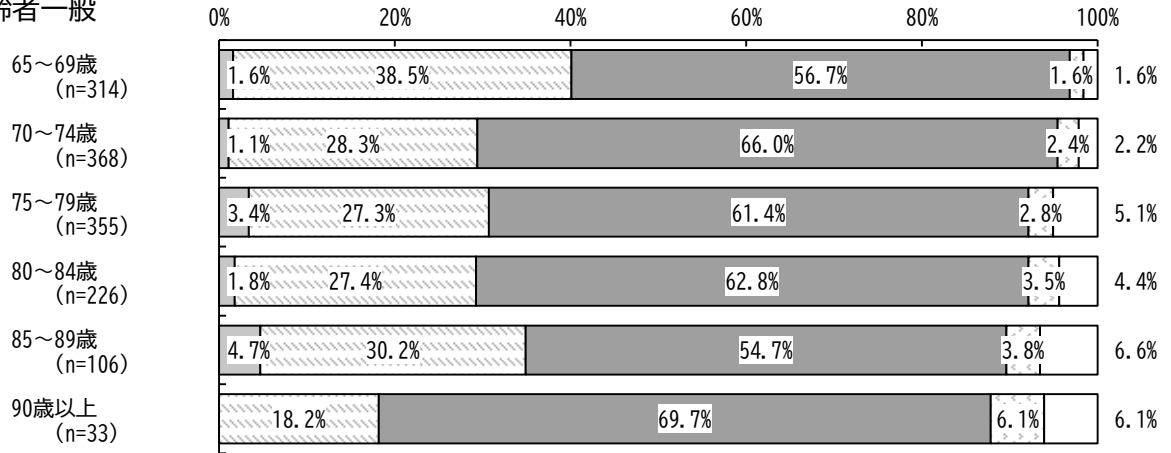
単純集計でみると、「参加したくない」の割合が高齢者一般では約6割、在宅要支援認定者では6割半ばとなっています。

年齢別でみると、「是非参加したい」「参加してもよい」の割合の合計は、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに65～69歳が最も高くなっています。

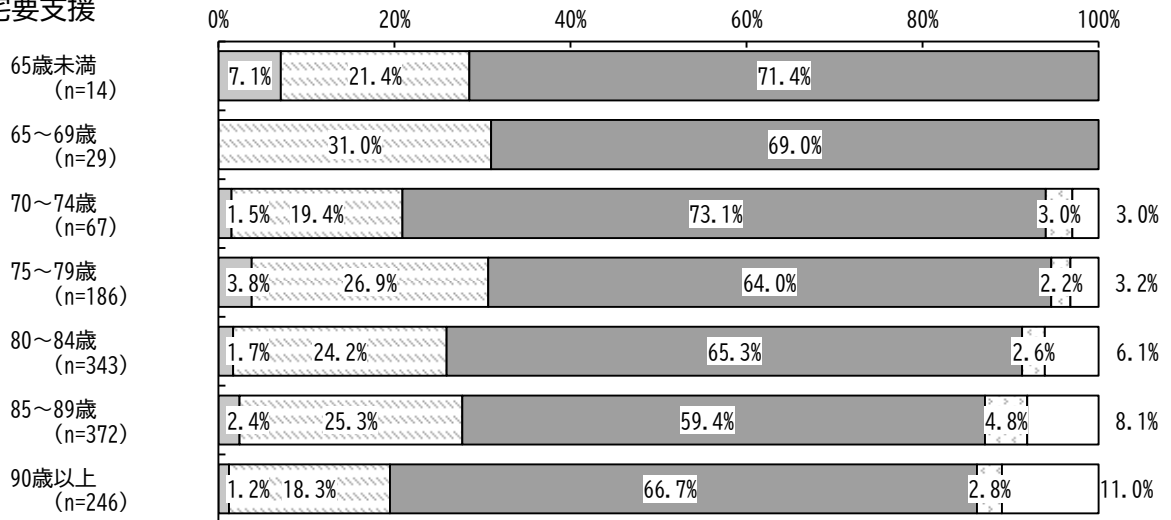
是非参加したい
 参加してもよい
 参加したくない
 既に参加している
 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



地域住民による支え合い活動の担い手として参加したいか

地域住民による支え合い活動（掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり）の担い手として参加してみたいと思いますか。（○はひとつ）

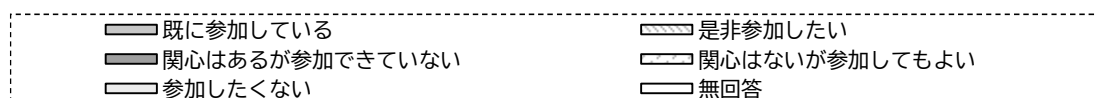
<高齢者一般調査 問28>

【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
既に参加している	36	2.6%
是非参加したい	18	1.3%
関心はあるが参加できていない	420	29.9%
関心はないが参加してもよい	152	10.8%
参加したくない	736	52.4%
無回答	43	3.1%
合 計	1,405	100.0%

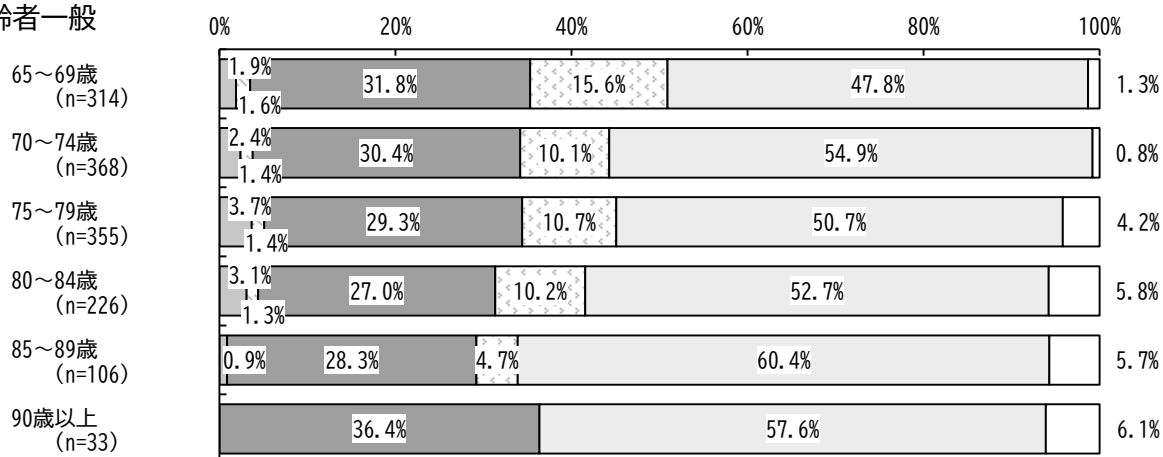
単純集計でみると、「参加したくない」の割合は約5割となっています。

年齢別でみると、「既に参加している」「是非参加したい」の割合の合計は、75～79歳が最も高くなっています。



【年齢別集計】

○高齢者一般



地域住民による支え合い活動で利用したいサービス

地域住民による支え合い活動（掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場）のうち利用したいサービスはありますか。（○は3つまで）

<高齢者一般調査 問29・在宅要支援認定者調査 問30>

【単純集計】

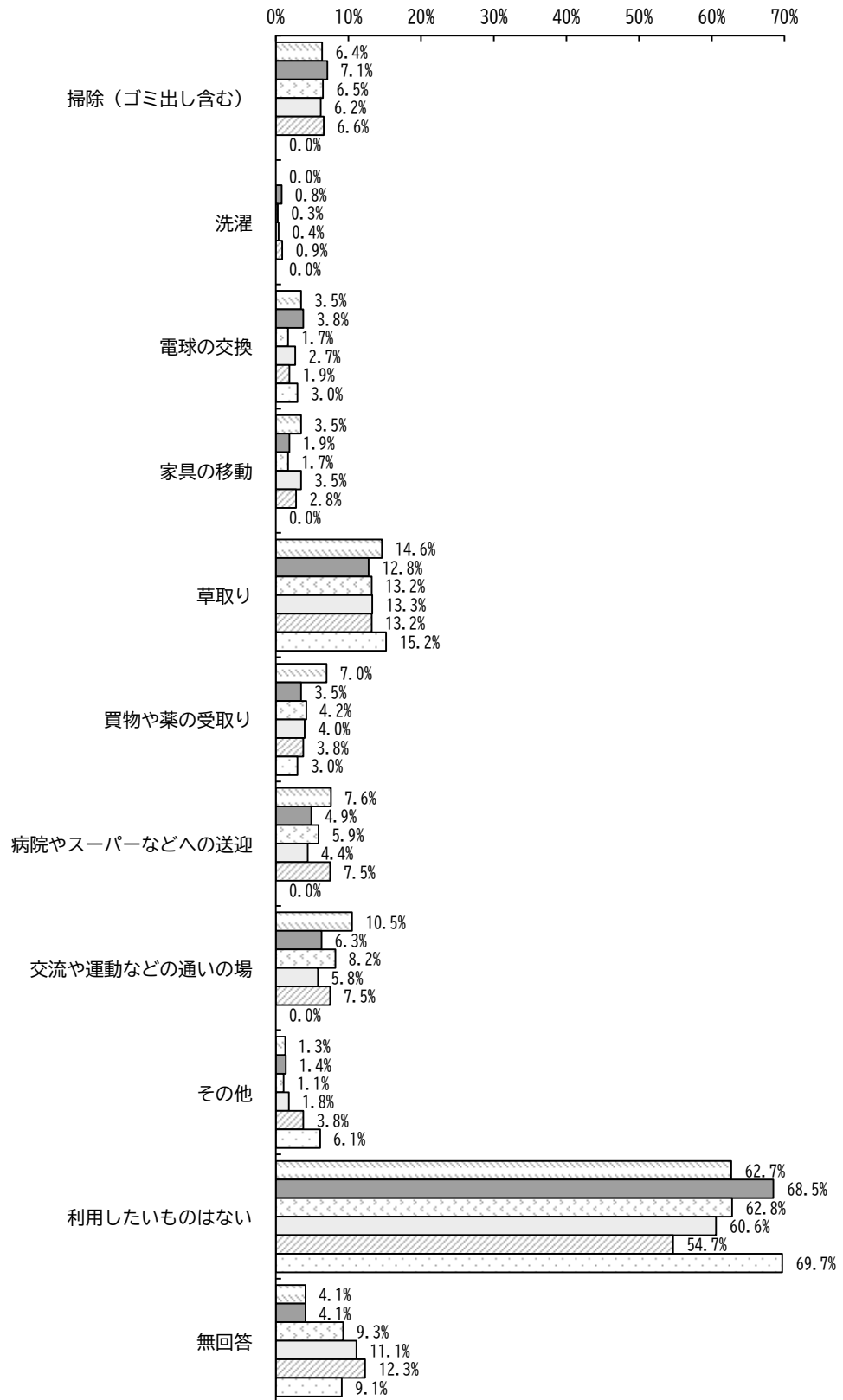
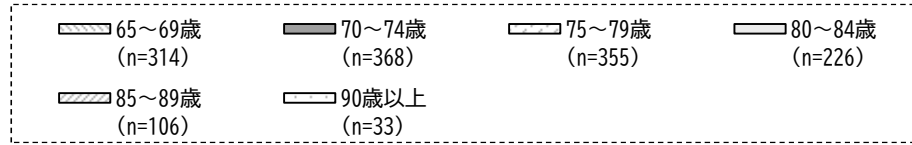
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
掃除（ゴミ出し含む）	90	6.4%	188	15.0%
洗濯	6	0.4%	56	4.5%
電球の交換	41	2.9%	83	6.6%
家具の移動	35	2.5%	56	4.5%
草取り	189	13.5%	244	19.4%
買物や薬の受取り	64	4.6%	111	8.8%
病院やスーパーなどへの送迎	81	5.8%	213	16.9%
交流や運動などの通いの場	106	7.5%	124	9.9%
その他	23	1.6%	21	1.7%
利用したいものはない	891	63.4%	519	41.3%
無回答	103	7.3%	154	12.3%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「利用したいものはない」が最も高く、これに高齢者一般は「草取り」、「交流や運動などの通いの場」が、在宅要支援認定者は「草取り」、「病院やスーパーなどへの送迎」が続いています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で「利用したいものはない」が最も高くなっています。

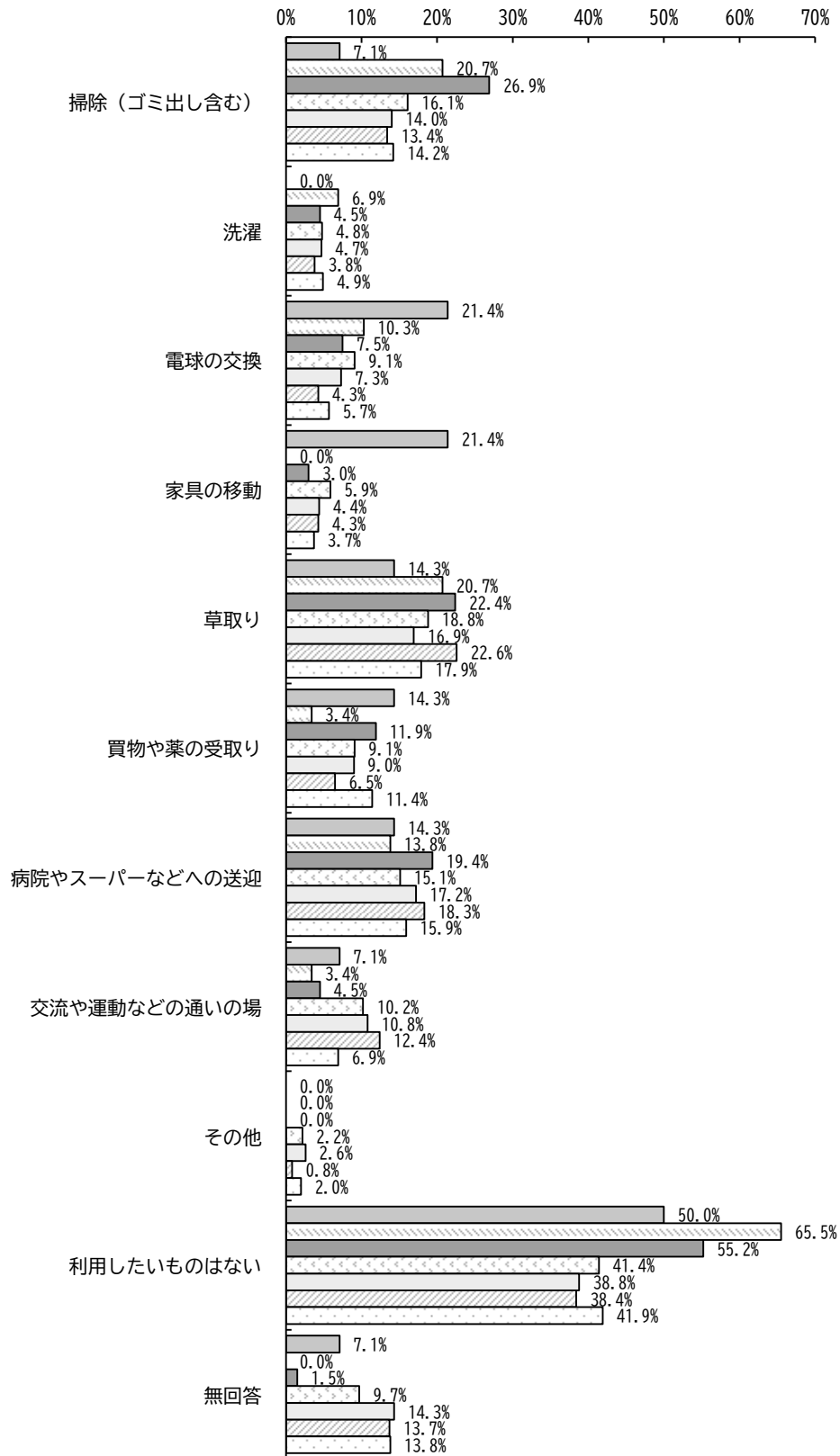
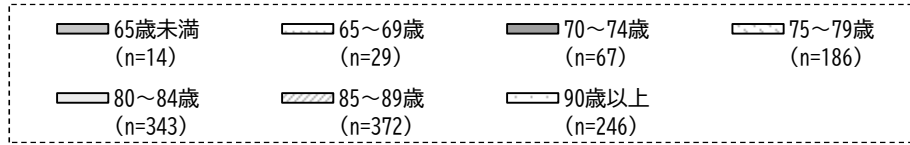
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

心配事や愚痴を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（○はいくつでも）

< 高齢者一般調査 問30・在宅要支援認定者調査 問31 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	820	58.4%	413	32.9%
同居の子ども	290	20.6%	292	23.2%
別居の子ども	548	39.0%	511	40.7%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	490	34.9%	346	27.5%
近隣	202	14.4%	163	13.0%
友人	644	45.8%	396	31.5%
その他	21	1.5%	19	1.5%
そのような人はいない	57	4.1%	97	7.7%
無回答	15	1.1%	48	3.8%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

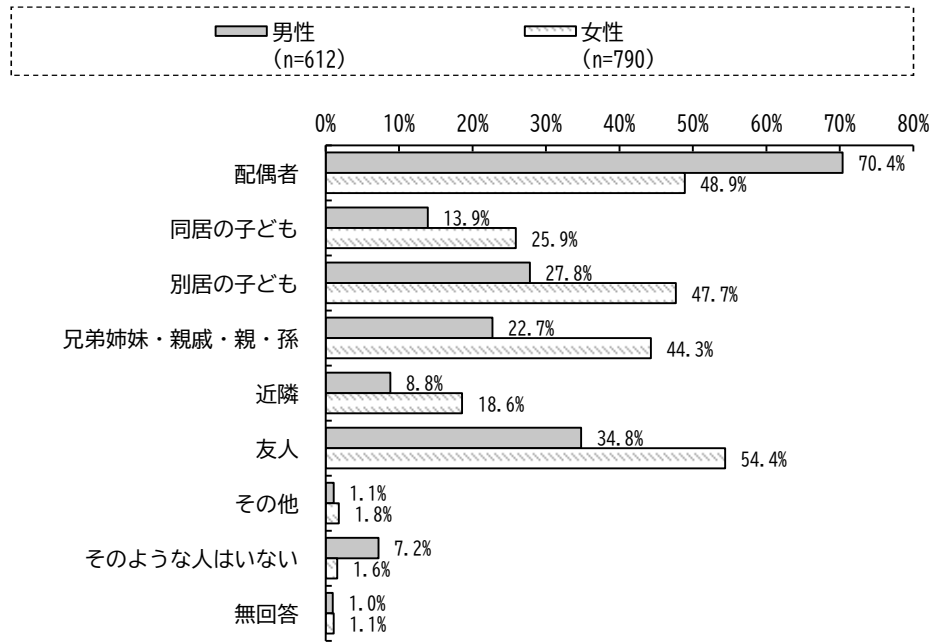
単純集計でみると、高齢者一般では「配偶者」の割合が最も高く、次いで「友人」の割合も高くなっています。在宅要支援認定者では「別居の子ども」の割合が最も高く、次いで「配偶者」の割合が高くなっています。

性別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「配偶者」「友人」の男女差が大きくなっています。

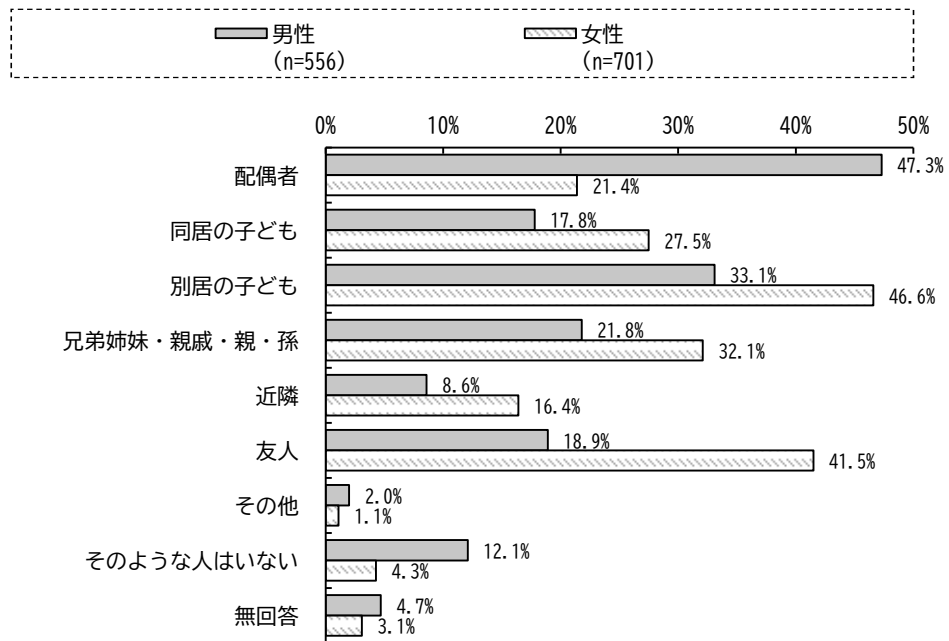
年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「配偶者」、「友人」の割合が低くなる傾向がみられます。

【性別集計】

○高齢者一般

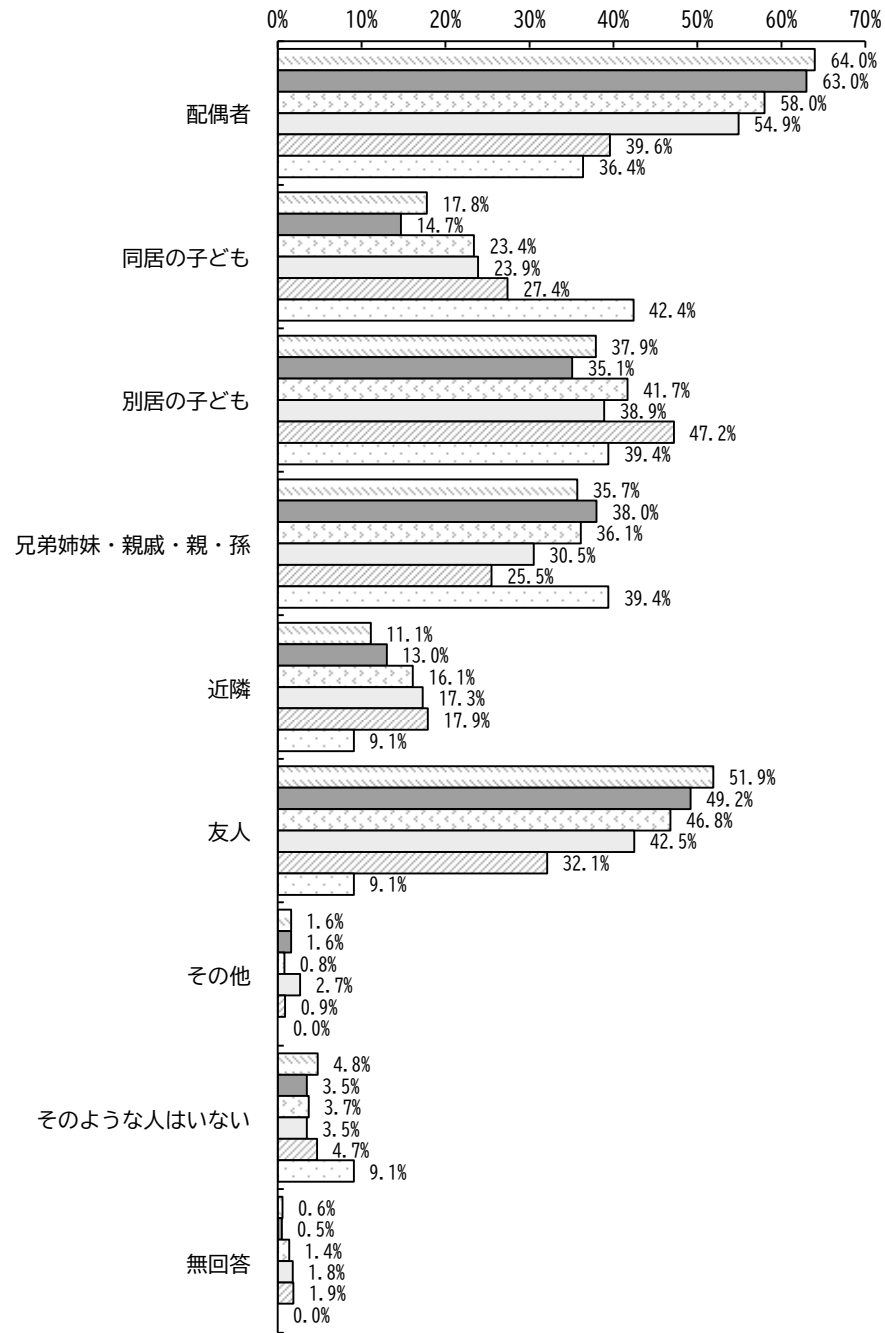
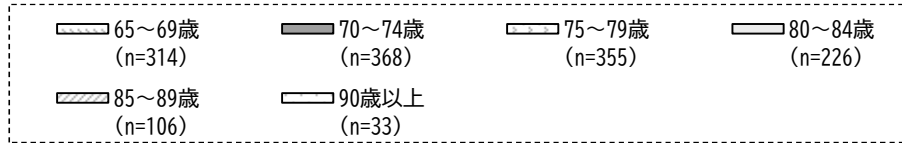


○在宅要支援



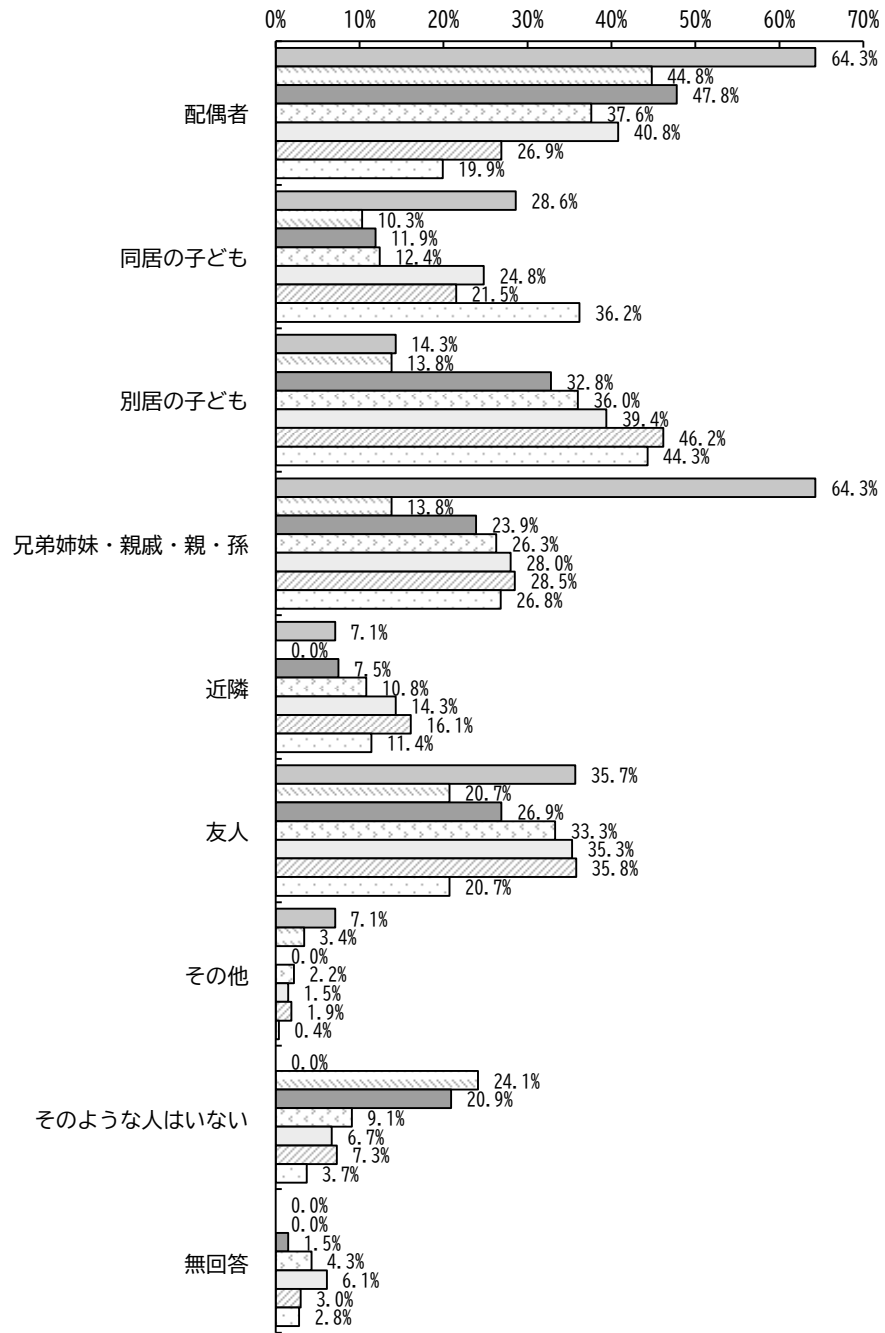
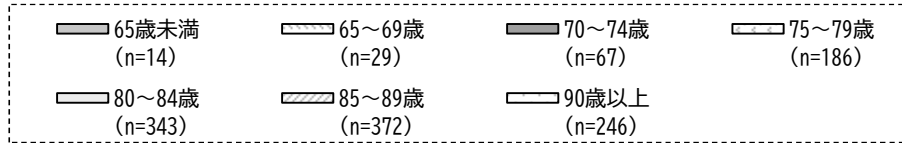
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

心配事や愚痴を聞いてあげる人

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（○はいくつでも）

< 高齢者一般調査 問31・在宅要支援認定者調査 問32 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	799	56.9%	369	29.4%
同居の子ども	262	18.6%	195	15.5%
別居の子ども	482	34.3%	345	27.4%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	493	35.1%	307	24.4%
近隣	218	15.5%	160	12.7%
友人	637	45.3%	393	31.3%
その他	23	1.6%	10	0.8%
そのような人はいない	79	5.6%	208	16.5%
無回答	20	1.4%	78	6.2%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

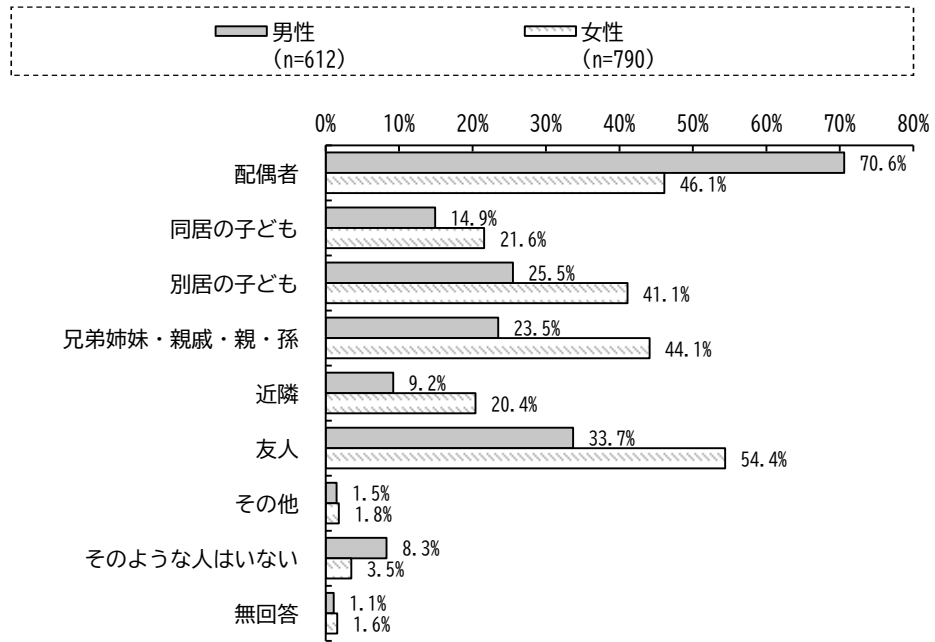
単純集計でみると、高齢者一般では、「配偶者」の割合が最も高く、在宅要支援認定者では「友人」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、男性は「配偶者」の割合が高く、女性は「友人」の割合が高くなっています。

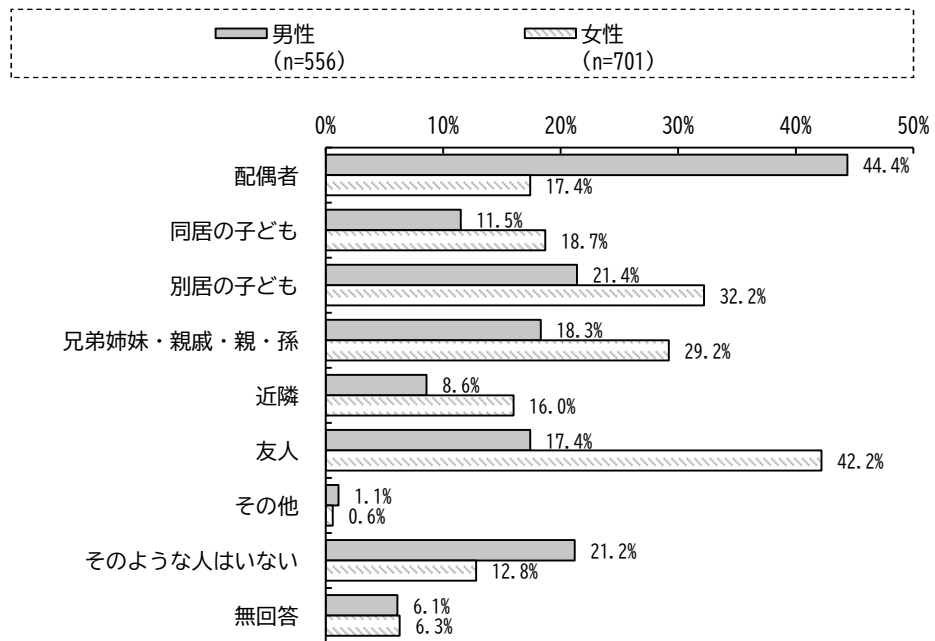
年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「配偶者」、「友人」の割合が低くなる傾向がみられます。

【性別集計】

○高齢者一般

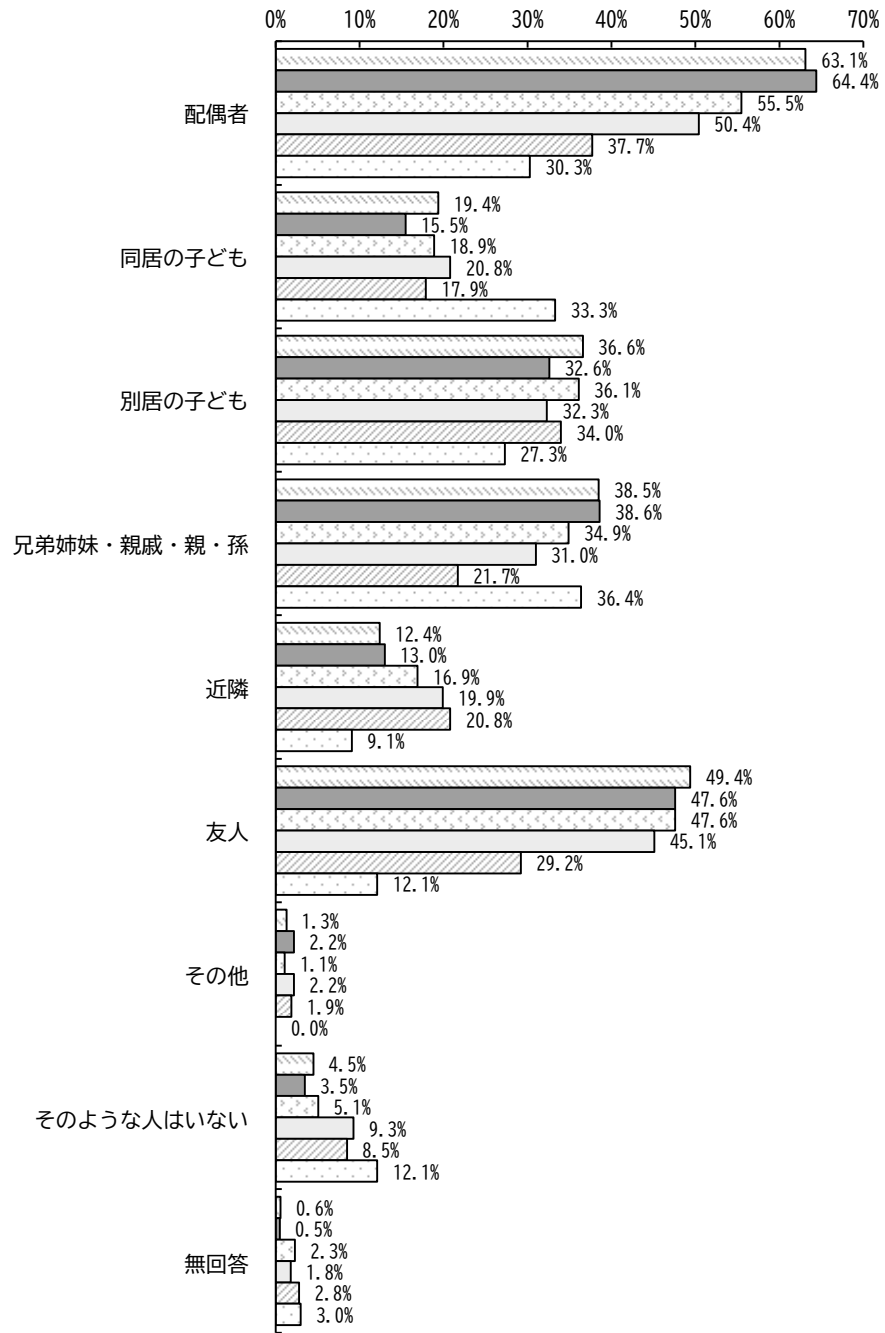
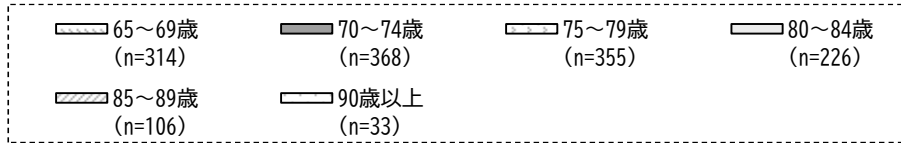


○在宅要支援



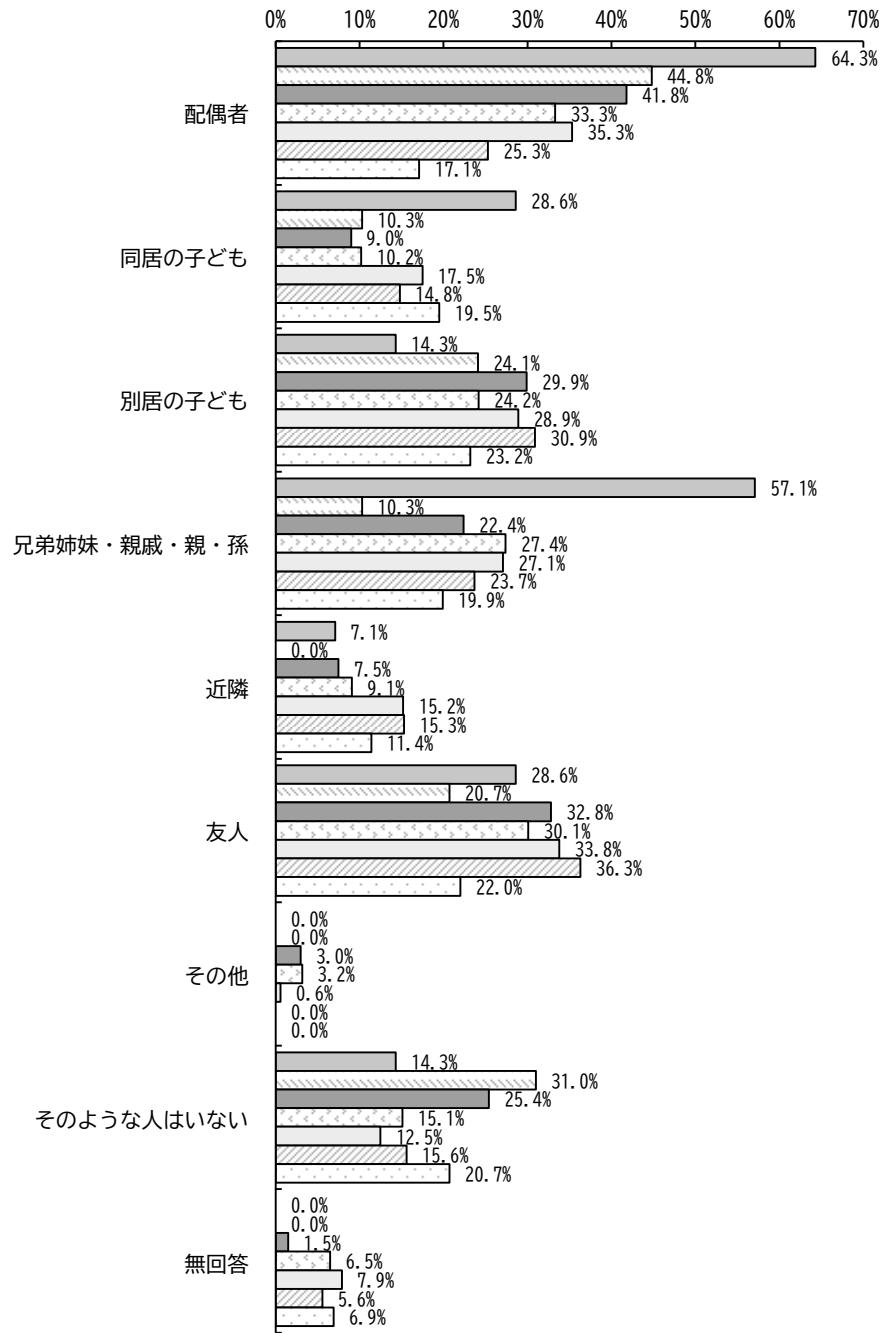
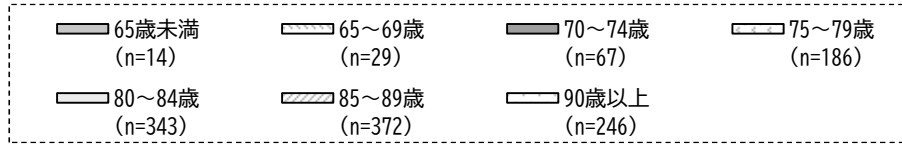
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問32・在宅要支援認定者調査 問33>

【単純集計】

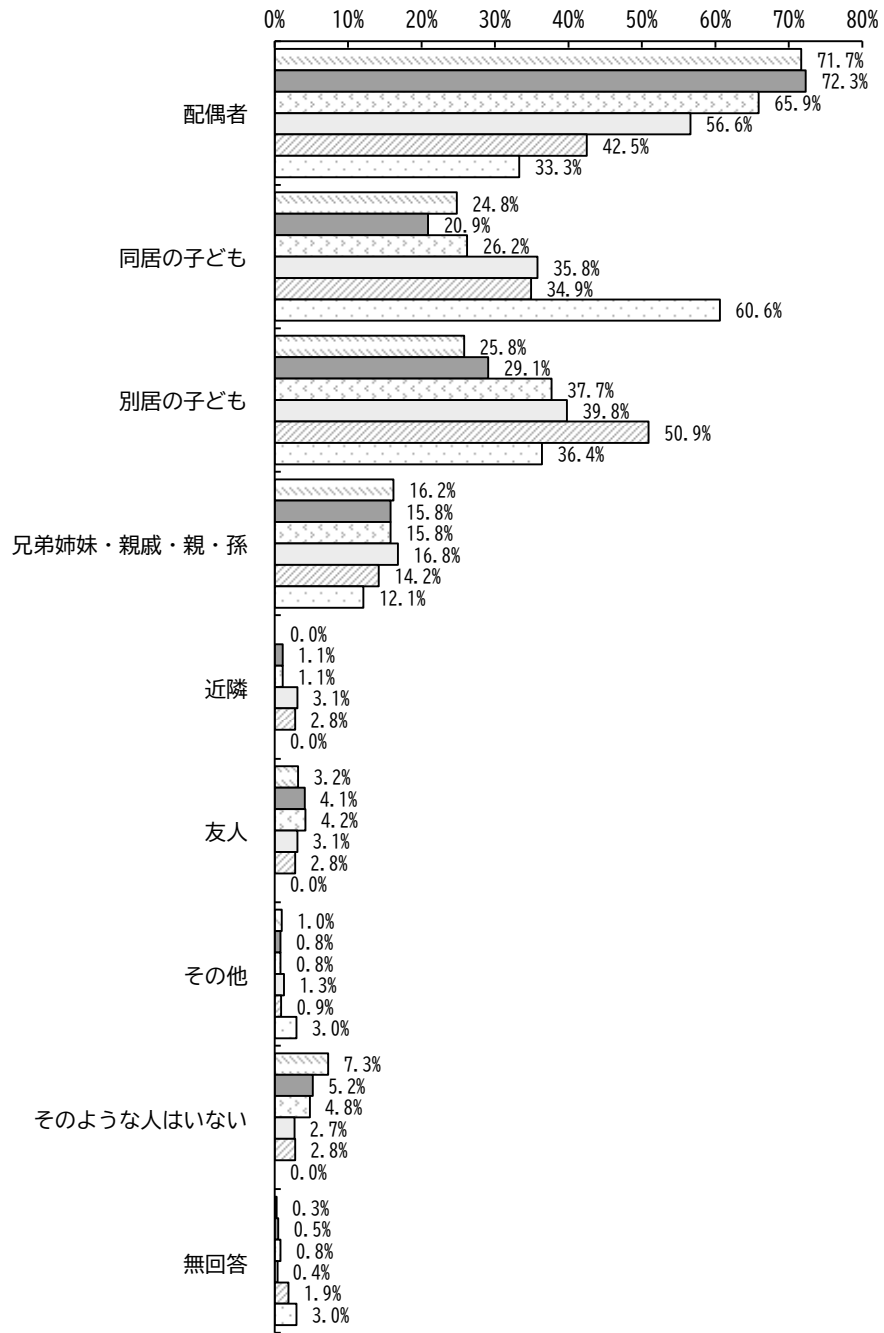
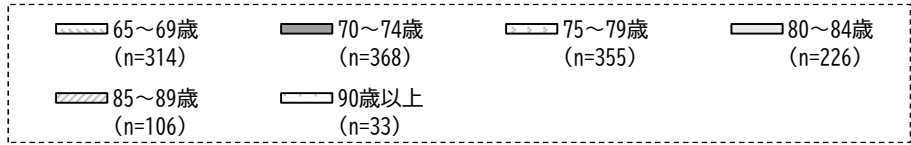
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	912	64.9%	449	35.7%
同居の子ども	386	27.5%	391	31.1%
別居の子ども	479	34.1%	506	40.3%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	222	15.8%	176	14.0%
近隣	18	1.3%	29	2.3%
友人	50	3.6%	39	3.1%
その他	14	1.0%	28	2.2%
そのような人はいない	68	4.8%	118	9.4%
無回答	10	0.7%	49	3.9%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般では、「配偶者」の割合が最も高く、在宅要支援認定者では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに年齢が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなり、「同居の子ども」、「別居の子ども」の割合が高くなる傾向がみられます。

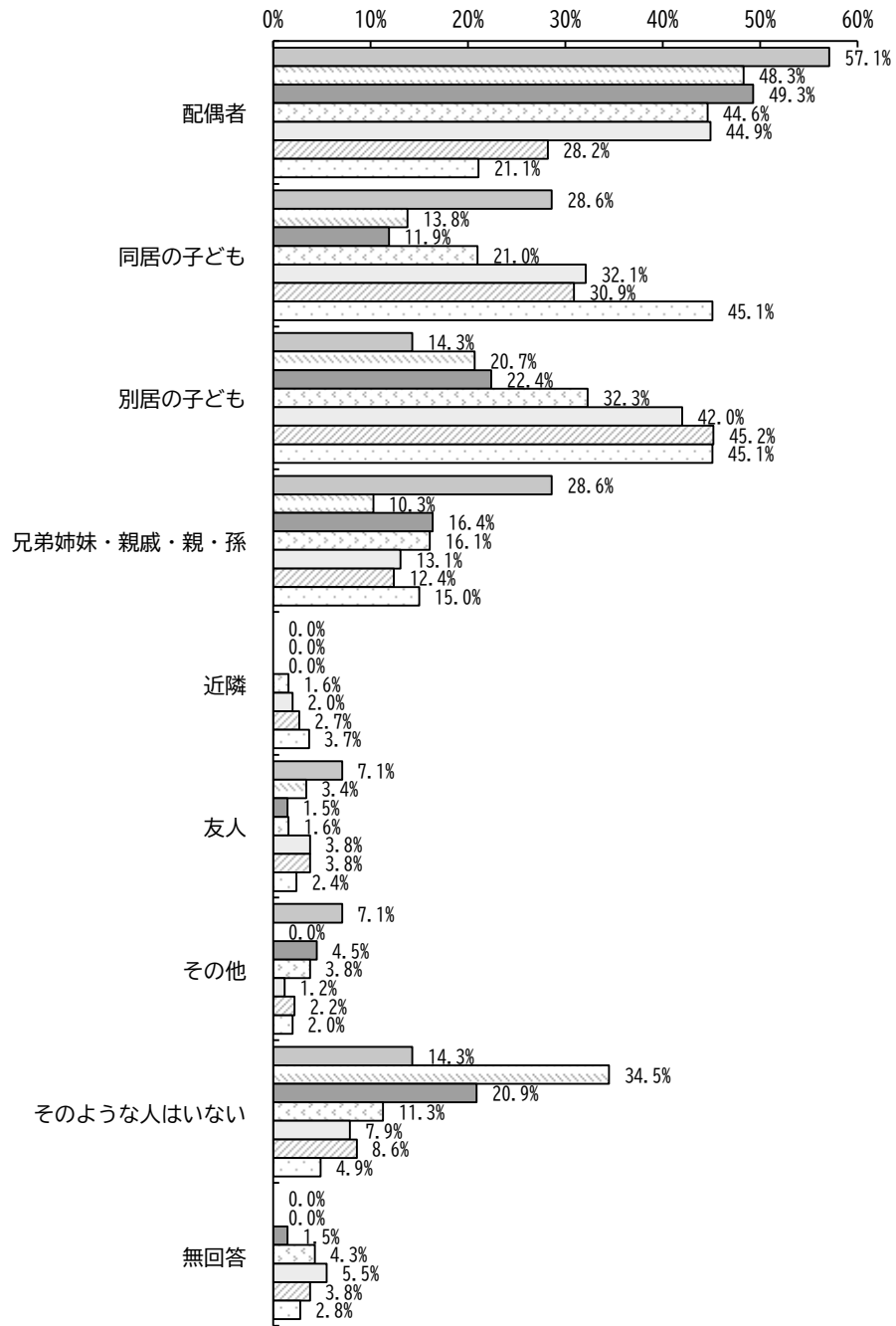
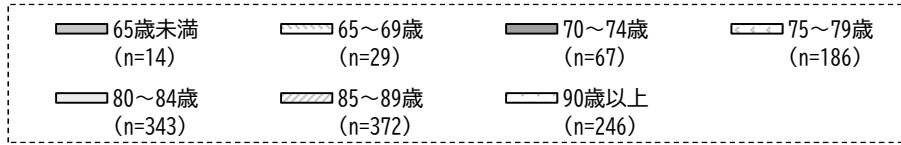
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

看病や世話をしあける人

反対に、看病や世話をしあける人。(○はいくつでも)

<高齢者一般調査 問33・在宅要支援認定者調査 問34>

【単純集計】

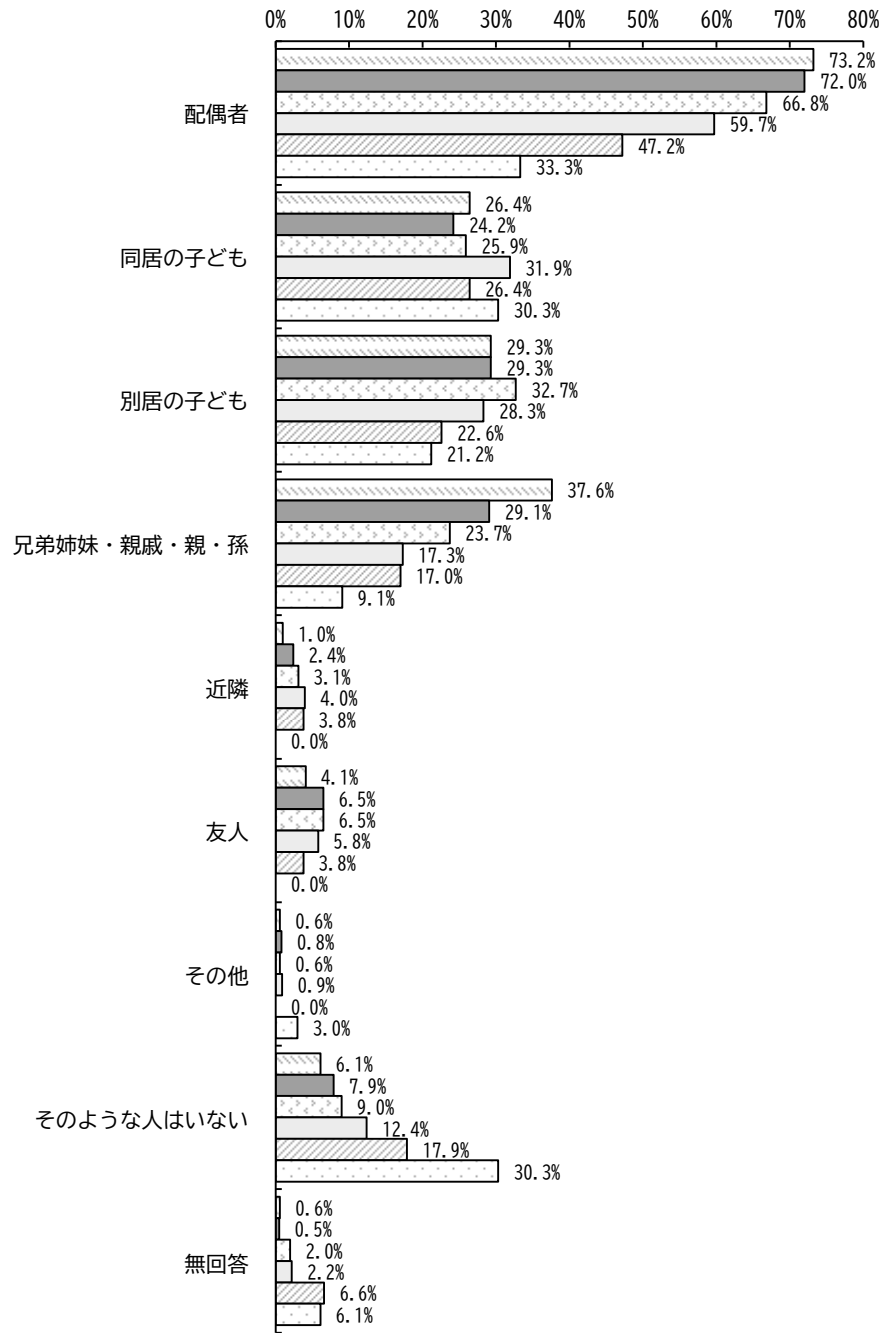
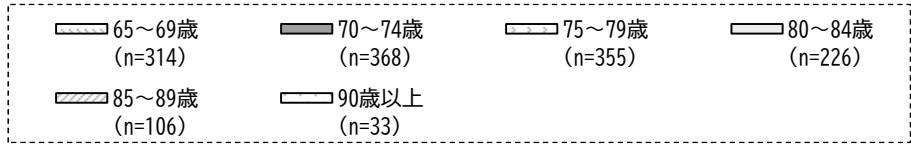
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	931	66.3%	447	35.6%
同居の子ども	374	26.6%	223	17.7%
別居の子ども	412	29.3%	179	14.2%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	369	26.3%	132	10.5%
近隣	36	2.6%	32	2.5%
友人	77	5.5%	49	3.9%
その他	10	0.7%	39	3.1%
そのような人はいない	137	9.8%	383	30.5%
無回答	25	1.8%	97	7.7%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「配偶者」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなり、「そのような人はいない」の割合が高くなる傾向がみられます。

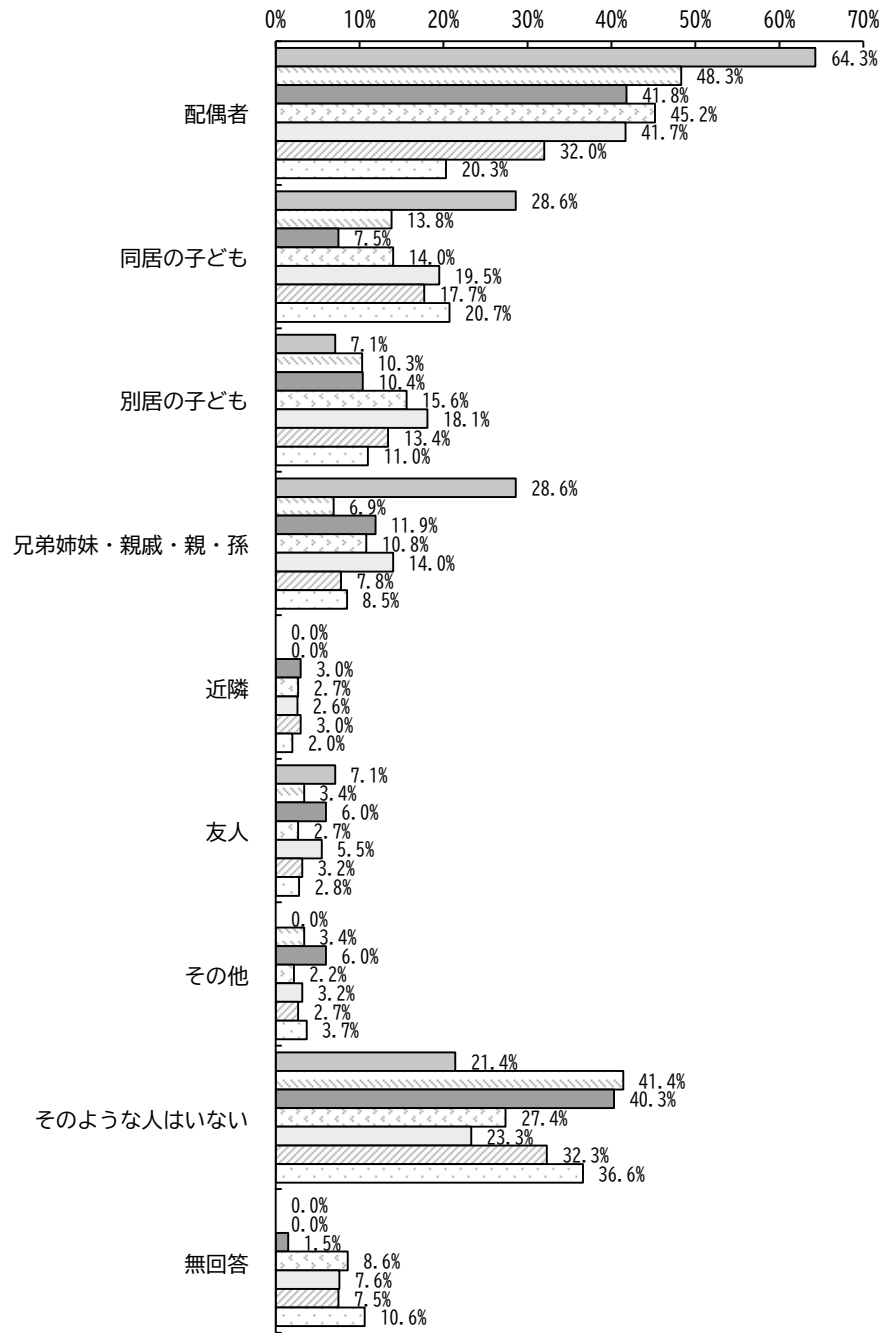
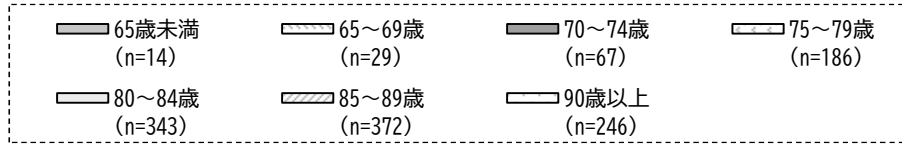
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



現在の健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

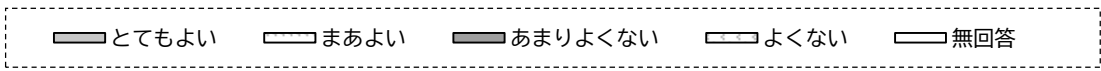
<高齢者一般調査 問34・在宅要支援認定者調査 問35>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とてもよい	171	12.2%	47	3.7%
まあよい	988	70.3%	656	52.2%
あまりよくない	200	14.2%	395	31.4%
よくない	27	1.9%	116	9.2%
無回答	19	1.4%	43	3.4%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

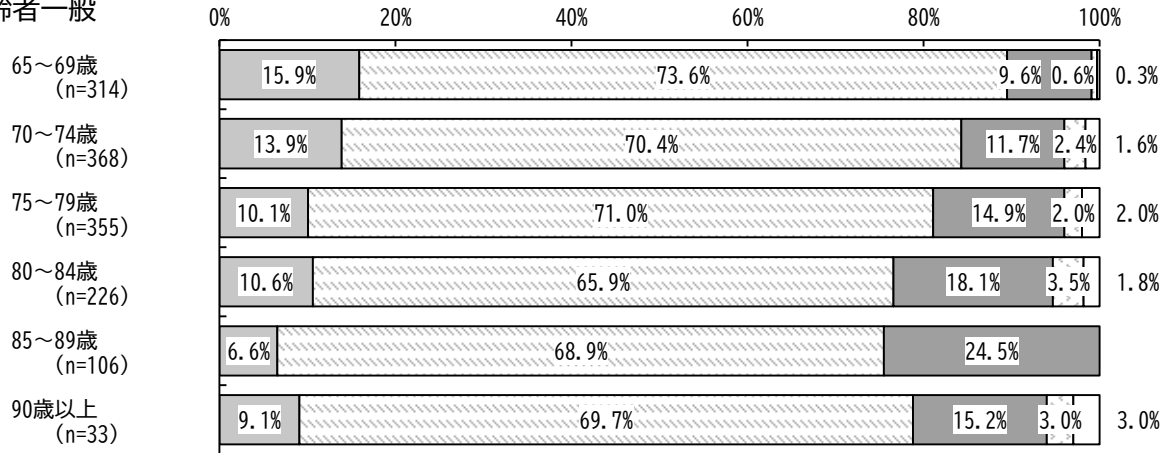
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「まあよい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、85～89歳で「とてもよい」「まあよい」の合計の割合が最も低くなっています。在宅要支援認定者では、65歳未満で「とてもよい」「まあよい」の合計の割合が最も低くなっています。

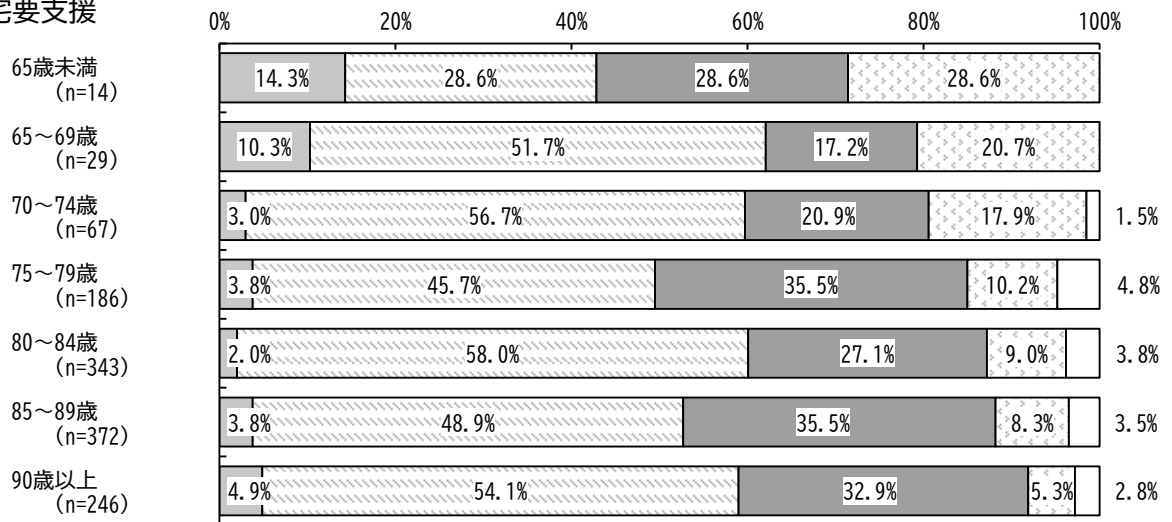


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



健康のために心がけていること

ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(○は3つまで)

<高齢者一般調査 問35・在宅要支援認定者調査 問36>

【単純集計】

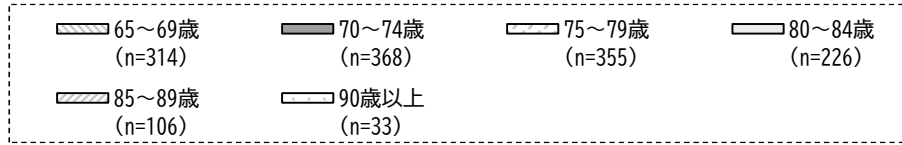
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
休養や睡眠を十分にとる	766	54.5%	654	52.0%
食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	721	51.3%	609	48.4%
歯や口の中を清潔に保つ	443	31.5%	379	30.2%
健康診断などを定期的に受ける	530	37.7%	324	25.8%
酒、タバコを控える	62	4.4%	36	2.9%
散歩やスポーツをする	408	29.0%	237	18.9%
地域の活動に参加する	31	2.2%	30	2.4%
教養や学習活動などの楽しみを持つ	81	5.8%	46	3.7%
気持ちをなるべく明るく持つ	201	14.3%	226	18.0%
身の回りのことはなるべく自分で行う	450	32.0%	659	52.4%
仕事をする	233	16.6%	54	4.3%
その他	18	1.3%	7	0.6%
特に心がけていない	17	1.2%	39	3.1%
無回答	7	0.5%	34	2.7%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般では「休養や睡眠を十分にとる」が最も高く、次いで「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が高くなっています。在宅要支援認定者では「身の回りのことはなるべく自分で行う」が最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が高くなっています。

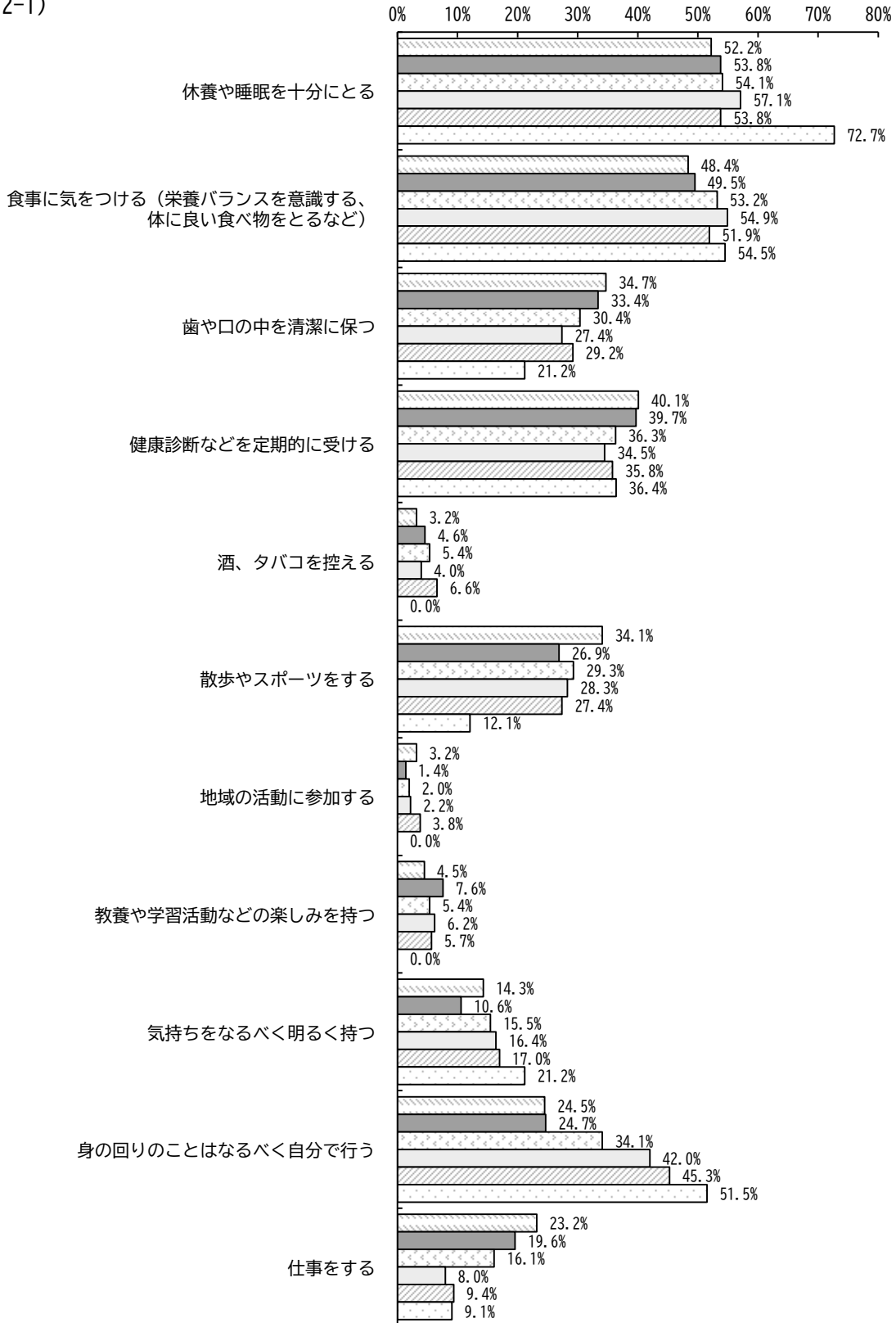
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに年齢が高くなるにつれて「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が高くなっています。

【年齢別集計】

○高齢者一般



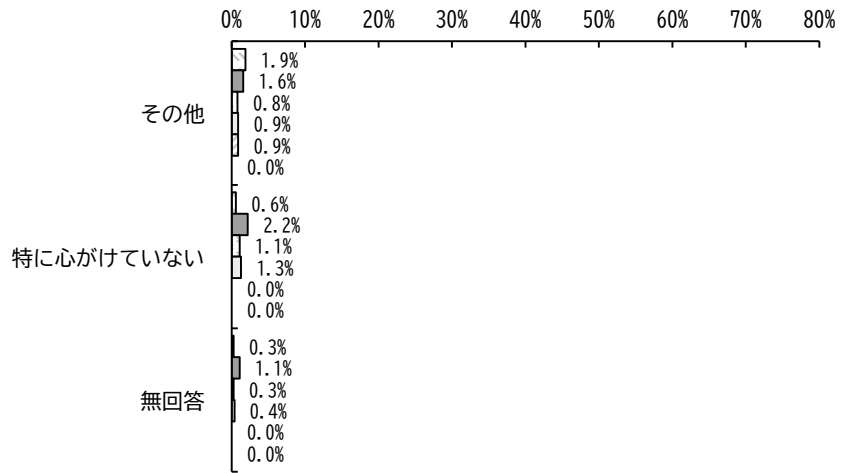
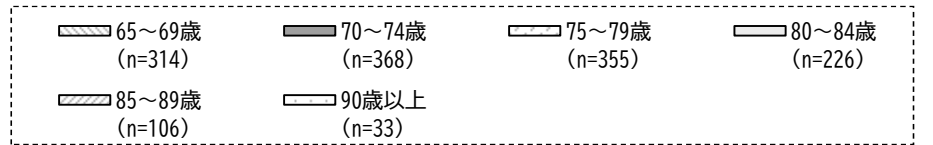
(2-1)



【年齢別集計】

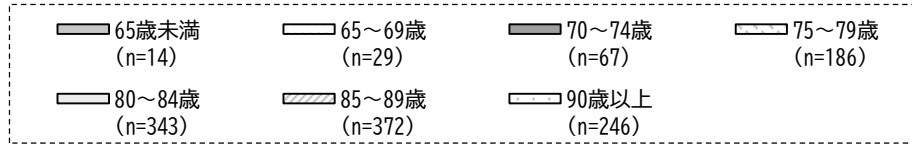
○高齢者一般

(2-2)

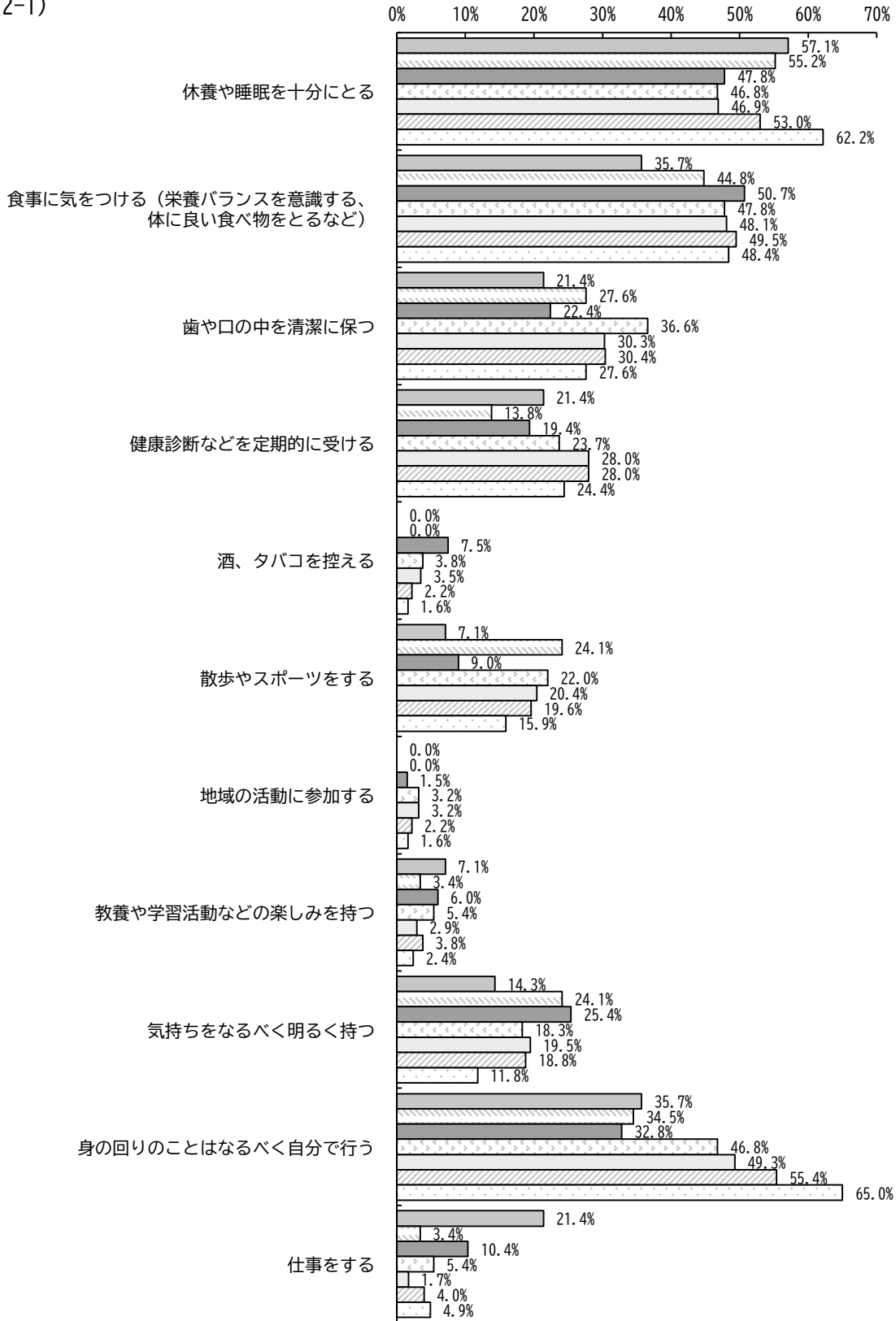


【年齢別集計】

○在宅要支援



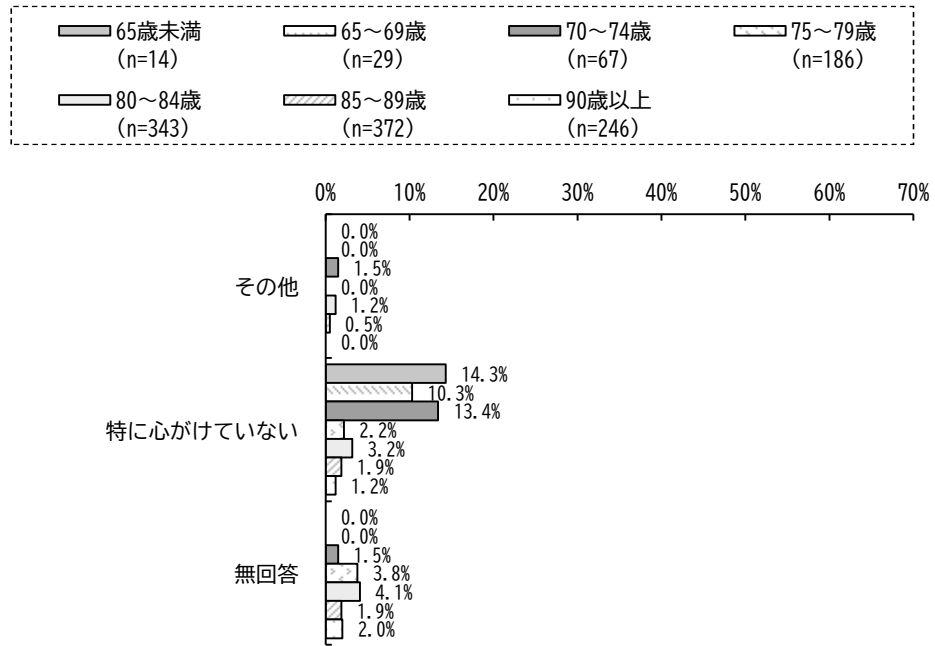
(2-1)



【年齢別集計】

○在宅要支援

(2-2)



健康について知りたいこと

健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

<高齢者一般調査 問36・在宅要支援認定者調査 問37>

【単純集計】

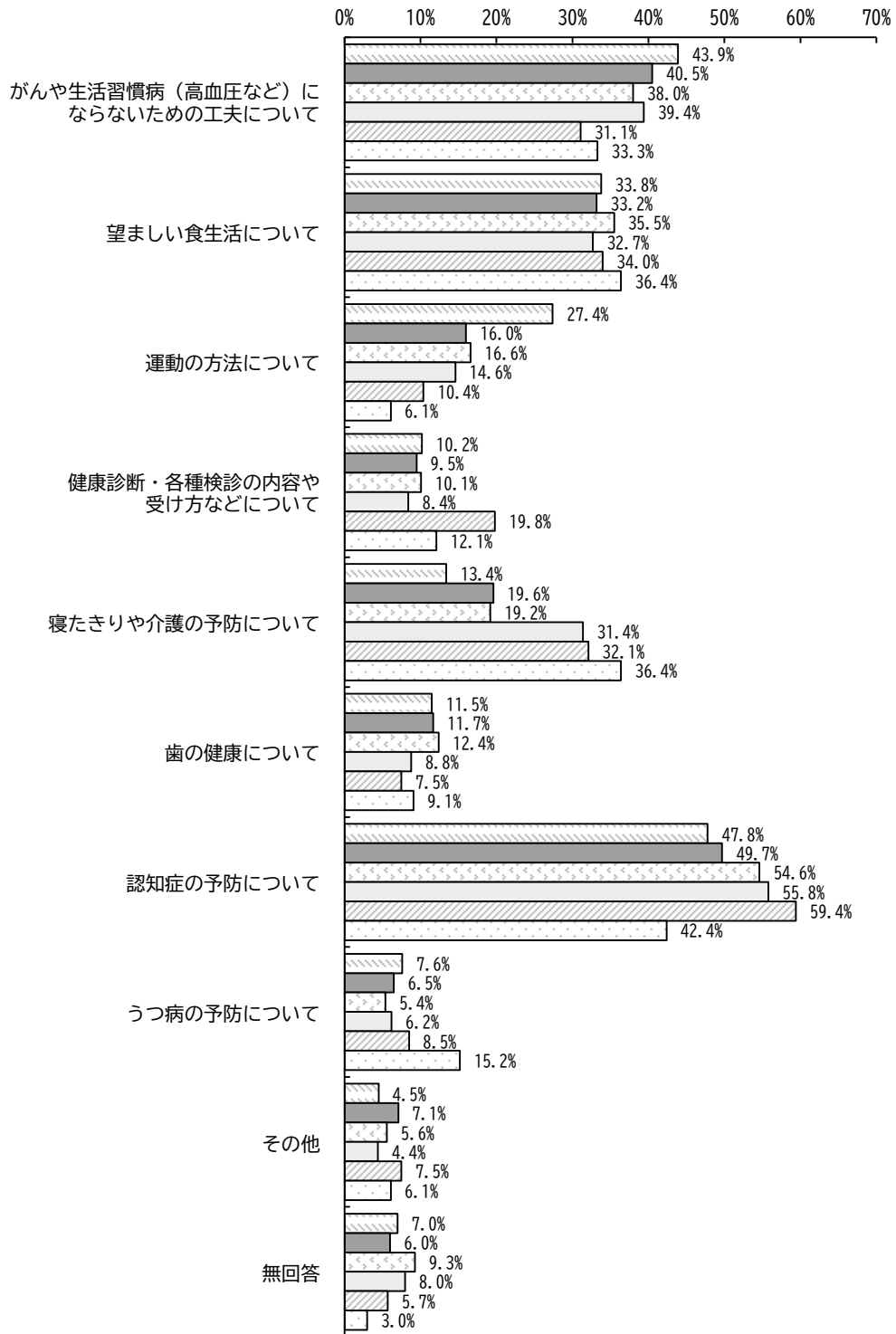
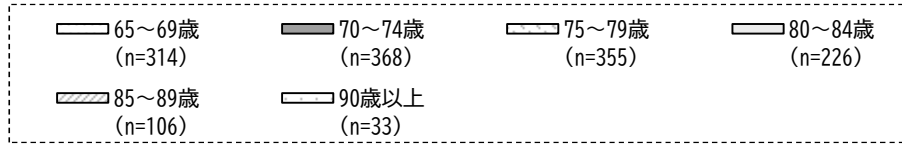
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	557	39.6%	398	31.7%
望ましい食生活について	476	33.9%	428	34.0%
運動の方法について	250	17.8%	217	17.3%
健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	147	10.5%	117	9.3%
寝たきりや介護の予防について	299	21.3%	405	32.2%
歯の健康について	154	11.0%	123	9.8%
認知症の予防について	731	52.0%	610	48.5%
うつ病の予防について	96	6.8%	100	8.0%
その他	80	5.7%	48	3.8%
無回答	103	7.3%	136	10.8%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「認知症の予防について」の割合が最も高く、高齢者一般では次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が高く、在宅要支援認定者では次いで「望ましい食生活について」が高くなっています。

年齢別でも「認知症の予防について」の割合が最も高くなっています。

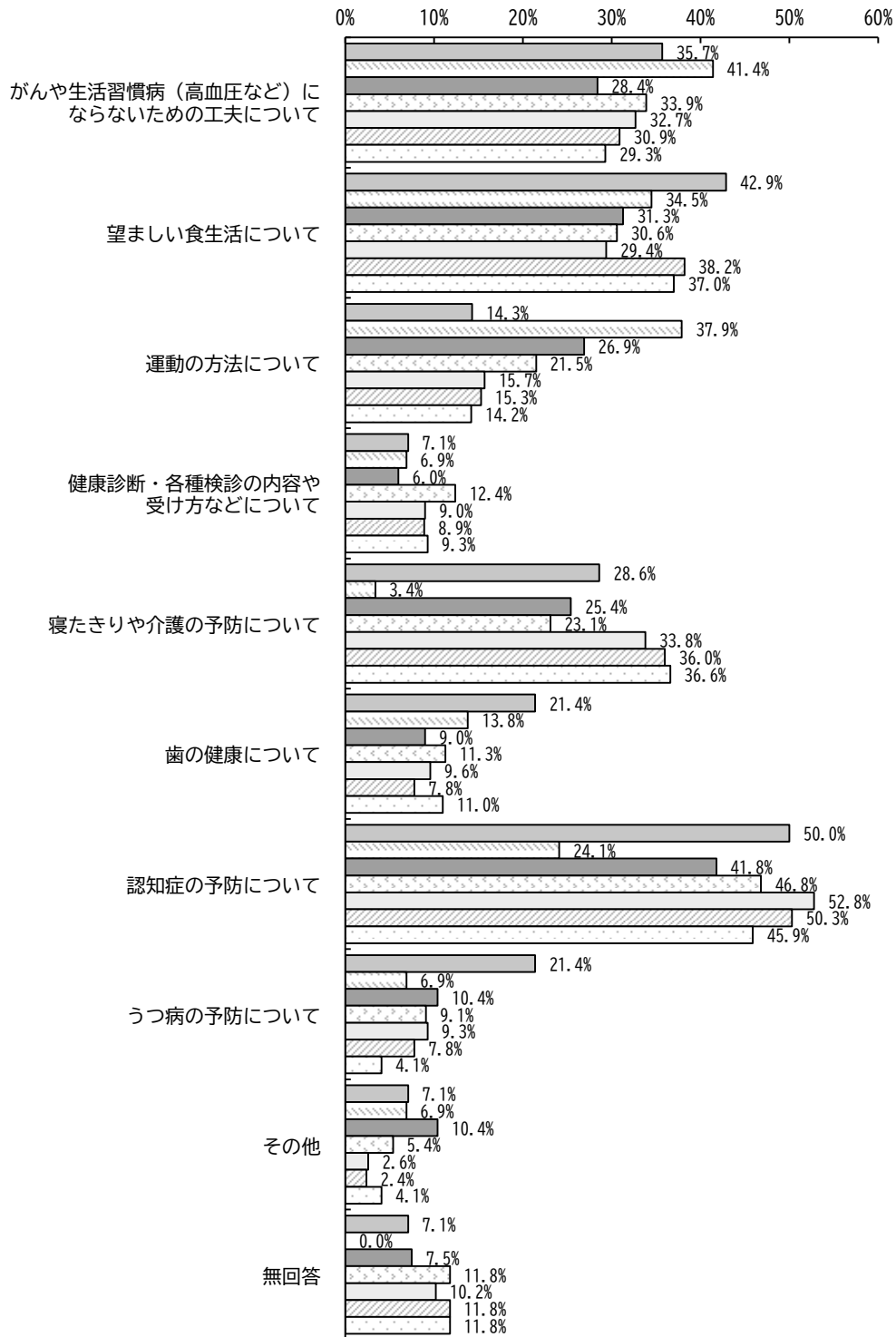
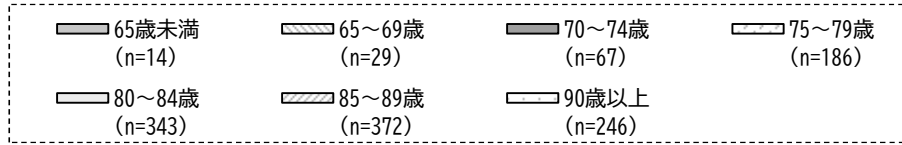
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



現在の幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をつけてください。)

<高齢者一般調査 問37・在宅要支援認定者調査 問38>

【単純集計】

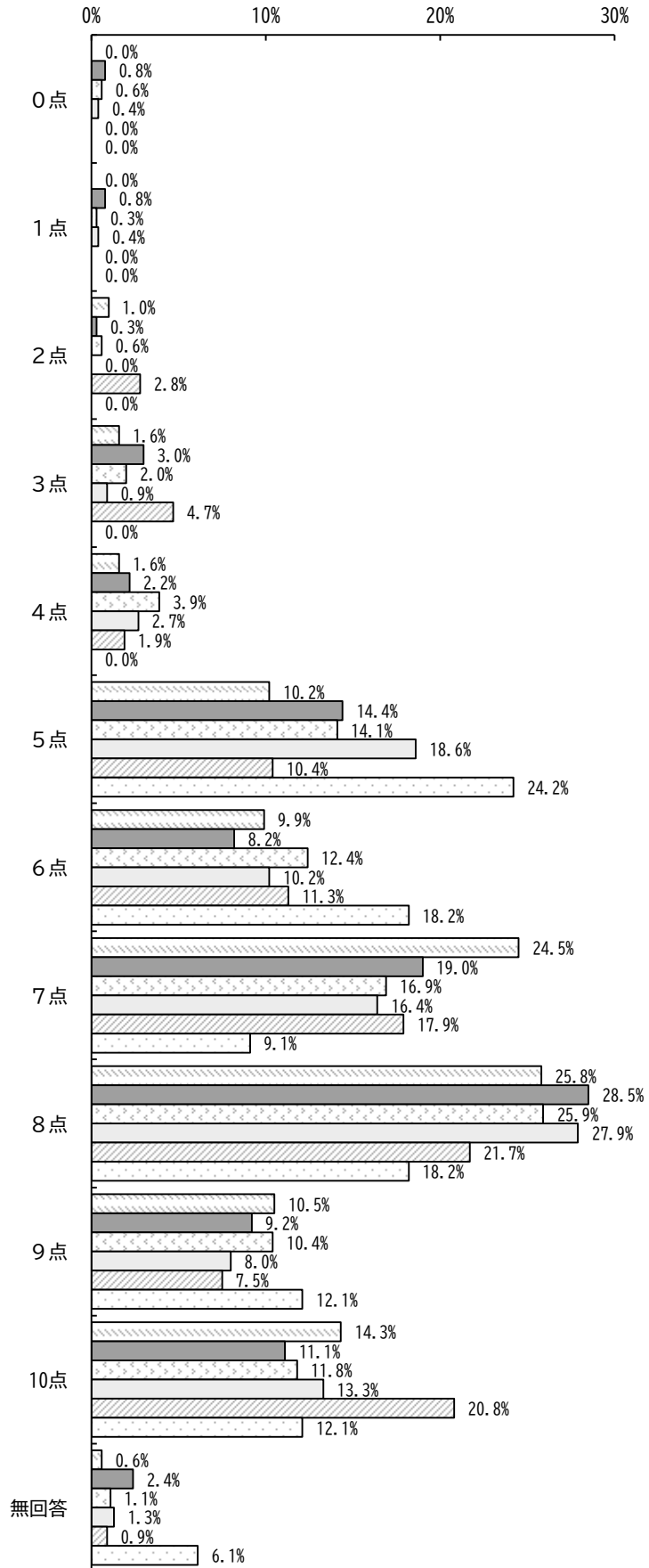
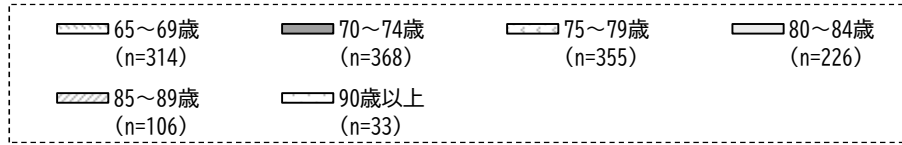
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても不幸 0点	6	0.4%	8	0.6%
1点	5	0.4%	9	0.7%
2点	9	0.6%	19	1.5%
3点	30	2.1%	54	4.3%
4点	35	2.5%	63	5.0%
5点	196	14.0%	280	22.3%
6点	147	10.5%	112	8.9%
7点	267	19.0%	194	15.4%
8点	370	26.3%	221	17.6%
9点	134	9.5%	110	8.8%
とても幸せ 10点	185	13.2%	118	9.4%
無回答	21	1.5%	69	5.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「8点」の割合が最も高く、次いで「7点」が高くなっています。在宅要支援認定者では「5点」の割合が最も高く、次いで「8点」が高くなっています。

高齢者一般の平均値は「7.2点」、在宅要支援認定者の平均値は「6.6点」となっています。

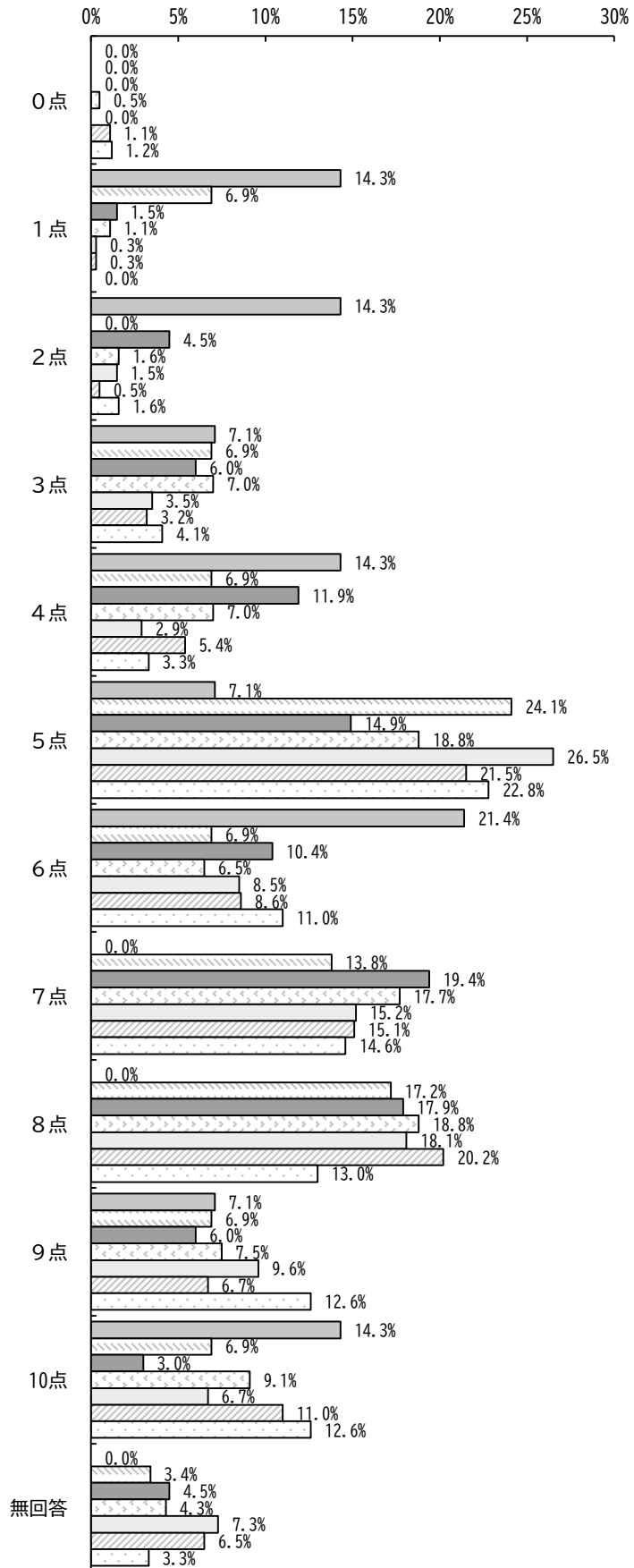
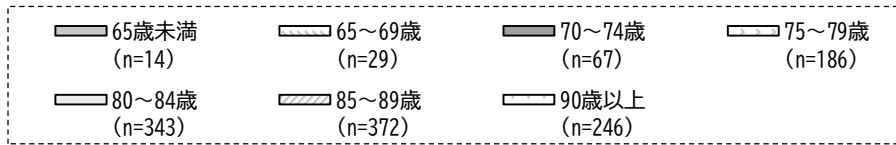
【年齢別集計】

○高齢者一般



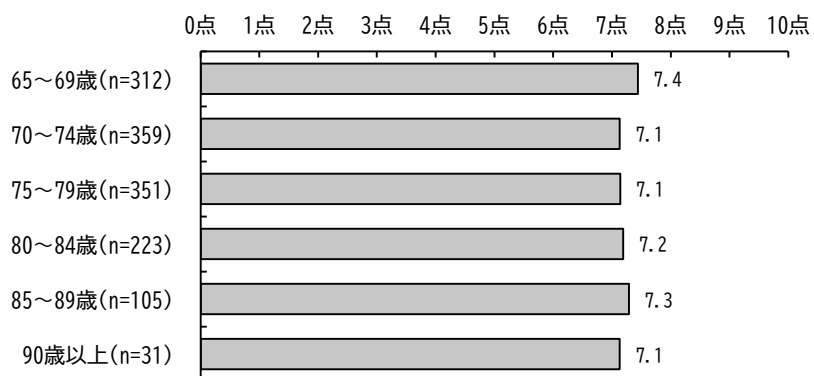
【年齢別集計】

○在宅要支援

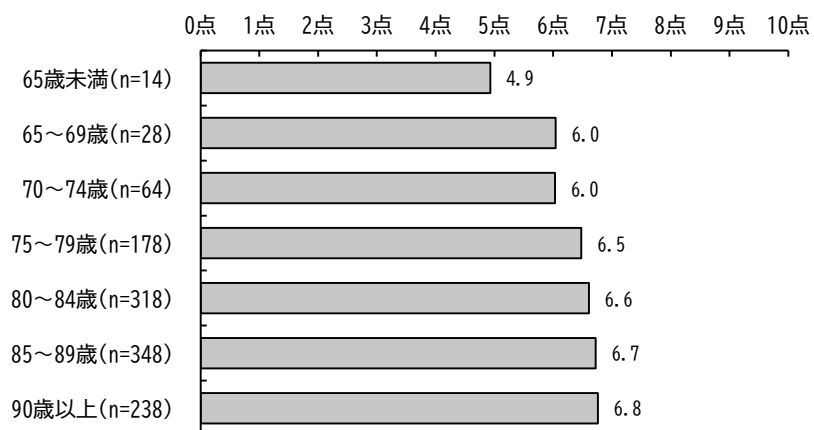


【年齢別集計（平均）】

○高齢者一般



○在宅要支援



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることの有無

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(○はひとつ)

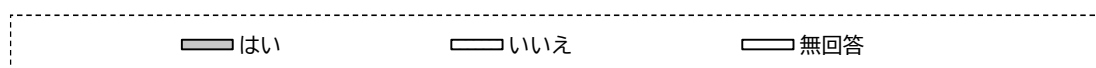
<高齢者一般調査 問38・在宅要支援認定者調査 問39>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	513	36.5%	587	46.7%
いいえ	871	62.0%	601	47.8%
無回答	21	1.5%	69	5.5%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

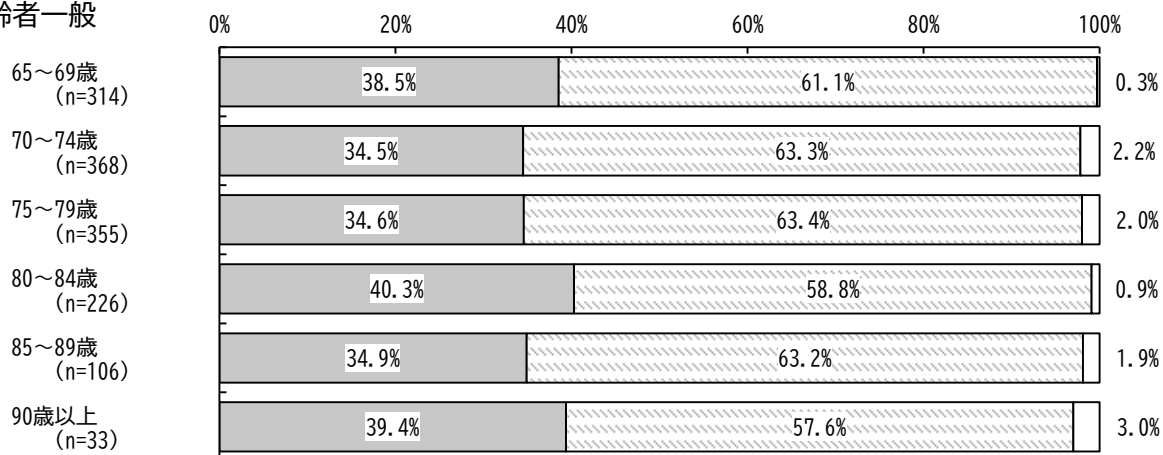
単純集計でみると、高齢者一般では「いいえ」の割合が高く、在宅要支援認定者では「はい」と「いいえ」の割合が拮抗しています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者では、「はい」の割合は65歳未満が最も高くなっています。

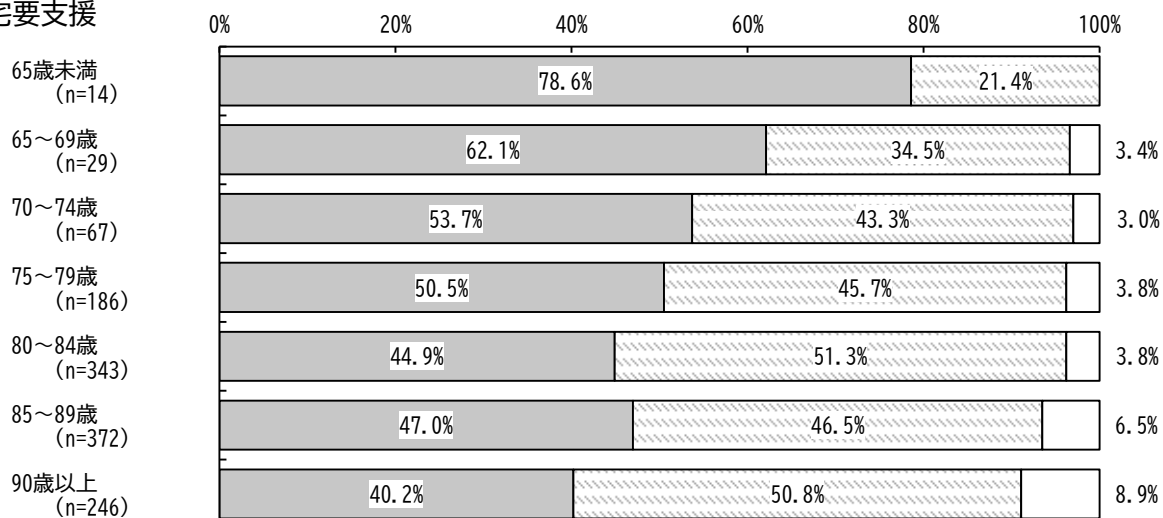


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



興味がわからない、心から楽しめないことの有無

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

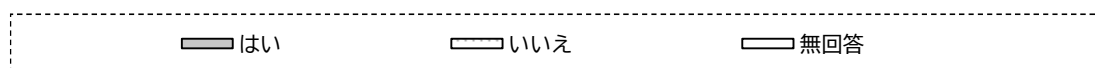
<高齢者一般調査 問39・在宅要支援認定者調査 問40>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	274	19.5%	438	34.8%
いいえ	1,112	79.1%	755	60.1%
無回答	19	1.4%	64	5.1%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

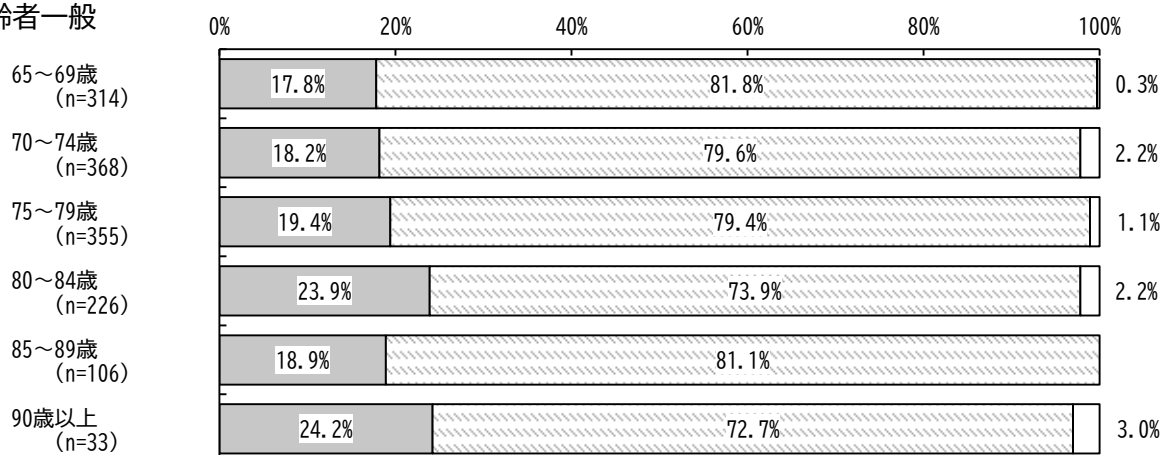
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「いいえ」が高くなっています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者では、「はい」の割合は65歳未満が最も高くなっています。

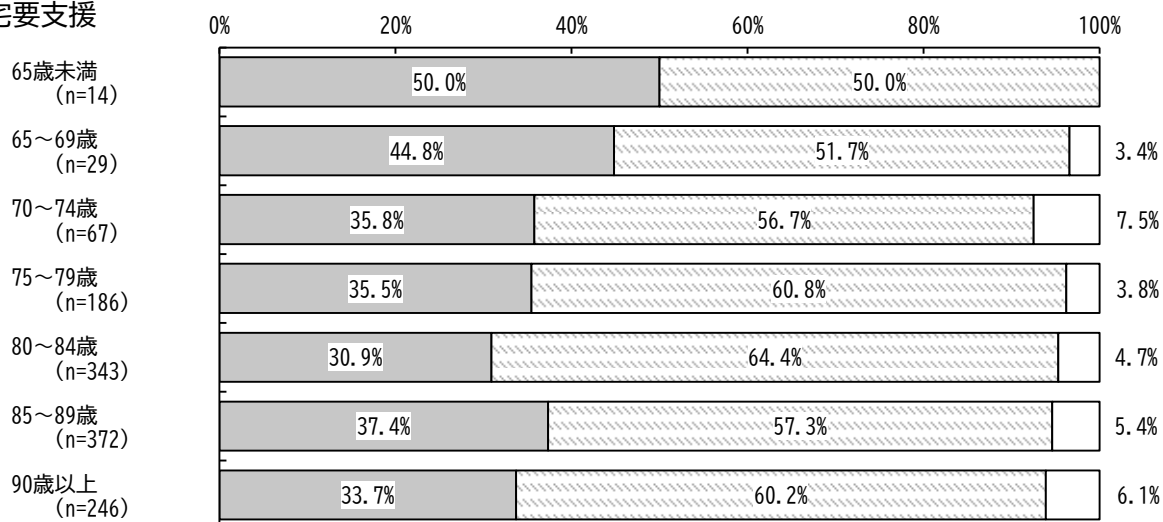


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



喫煙状況

タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

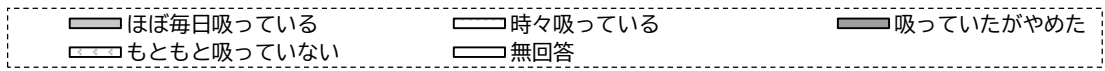
<高齢者一般調査 問40・在宅要支援認定者調査 問41>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ほぼ毎日吸っている	98	7.0%	48	3.8%
時々吸っている	11	0.8%	9	0.7%
吸っていたがやめた	434	30.9%	334	26.6%
もともと吸っていない	847	60.3%	841	66.9%
無回答	15	1.1%	25	2.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

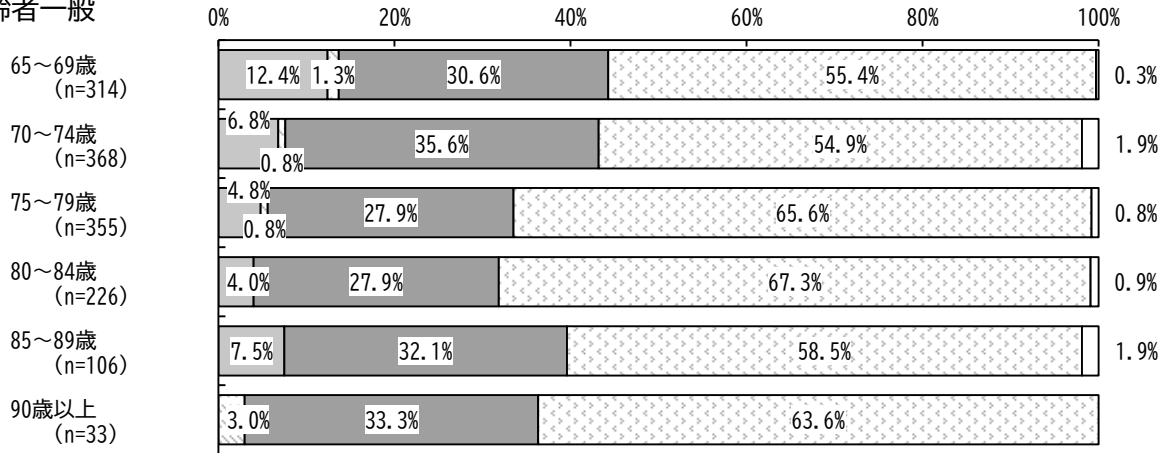
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「もともと吸っていない」が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「ほぼ毎日吸っている」の割合が低くなっています。

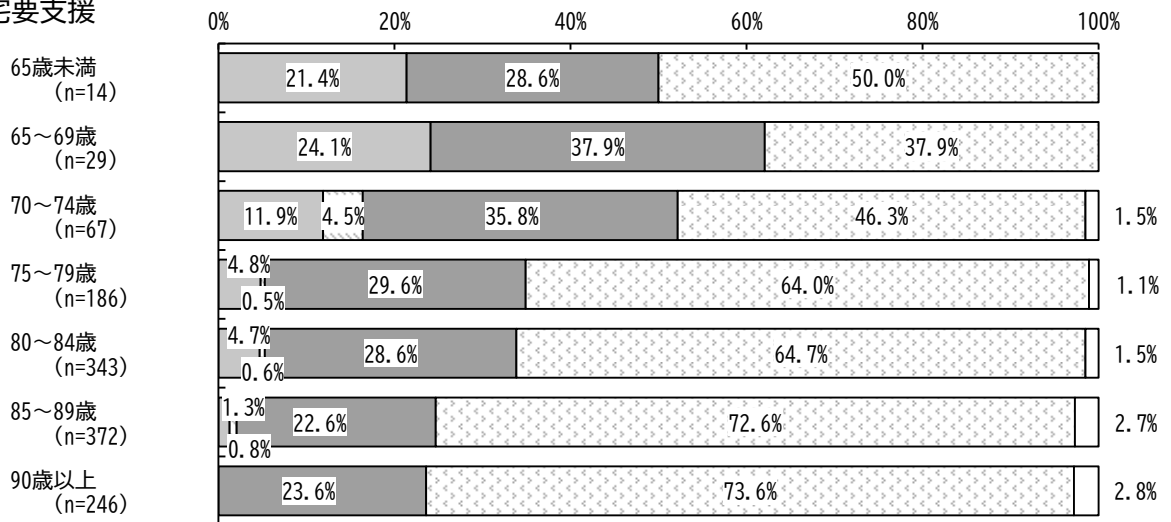


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



治療中、または後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

<高齢者一般調査 問41・在宅要支援認定者調査 問42>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ない	230	16.4%	66	5.3%
高血圧	611	43.5%	681	54.2%
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	29	2.1%	121	9.6%
心臓病	111	7.9%	241	19.2%
糖尿病	188	13.4%	203	16.1%
高脂血症(脂質異常)	242	17.2%	166	13.2%
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	85	6.0%	138	11.0%
胃腸・肝臓・胆のうの病気	94	6.7%	117	9.3%
腎臓・前立腺の病気	129	9.2%	206	16.4%
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	201	14.3%	308	24.5%
外傷(転倒・骨折等)	56	4.0%	123	9.8%
がん(悪性新生物)	74	5.3%	89	7.1%
血液・免疫の病気	36	2.6%	53	4.2%
うつ病	11	0.8%	30	2.4%
認知症(アルツハイマー病等)	12	0.9%	60	4.8%
パーキンソン病	5	0.4%	35	2.8%
目の病気	296	21.1%	353	28.1%
耳の病気	76	5.4%	161	12.8%
その他	68	4.8%	87	6.9%
無回答	46	3.3%	30	2.4%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

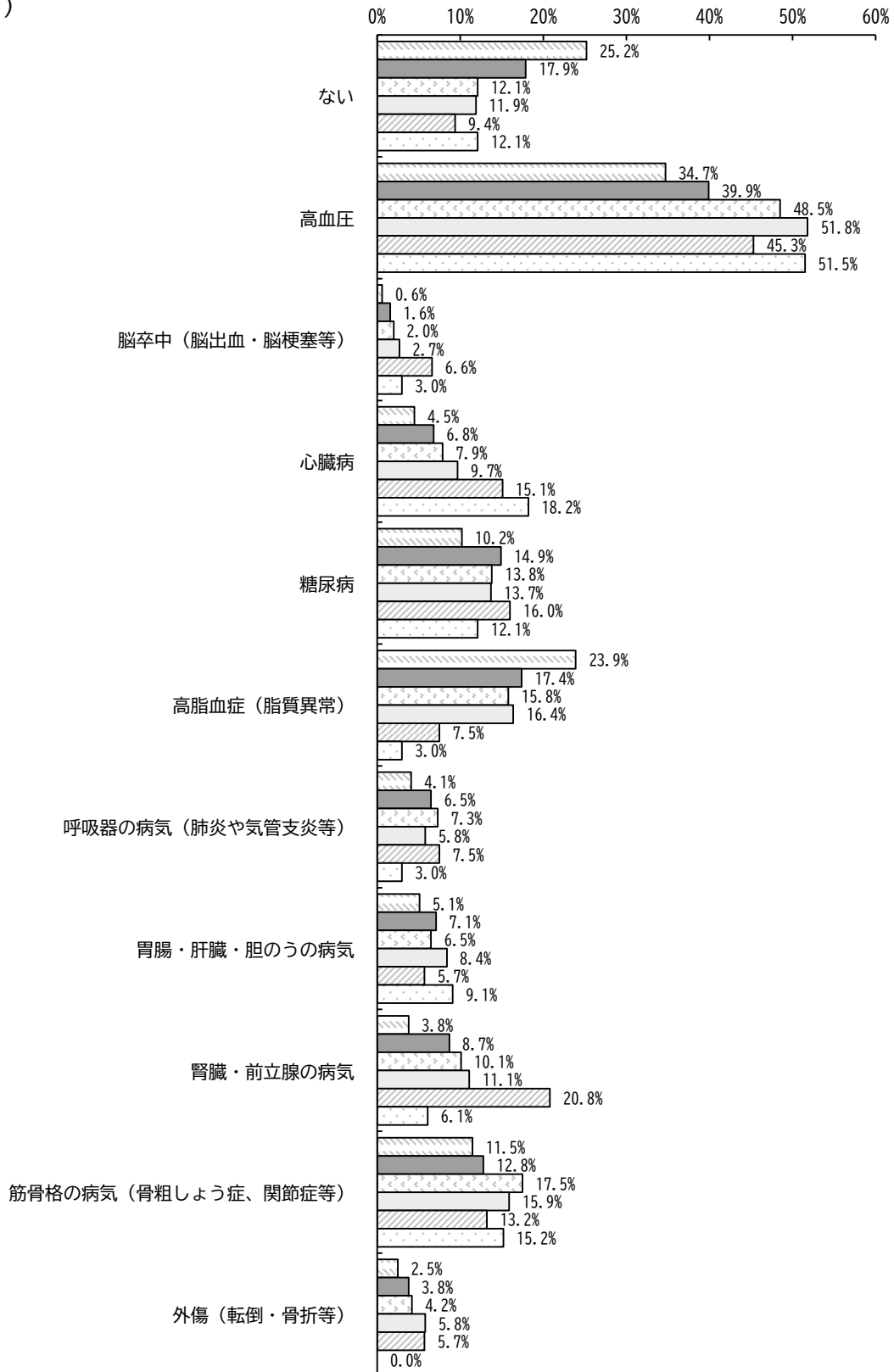
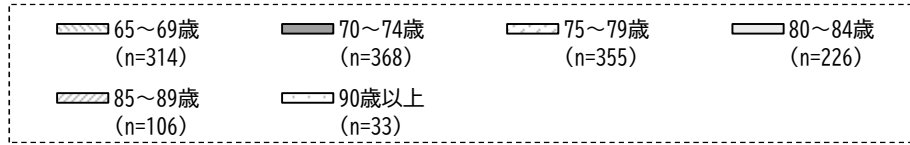
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「高血圧」の割合が最も高く、次いで「目の病気」となっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、すべての年齢で「高血圧」の割合が最も高くなっています。

【年齢別集計】

○高齢者一般

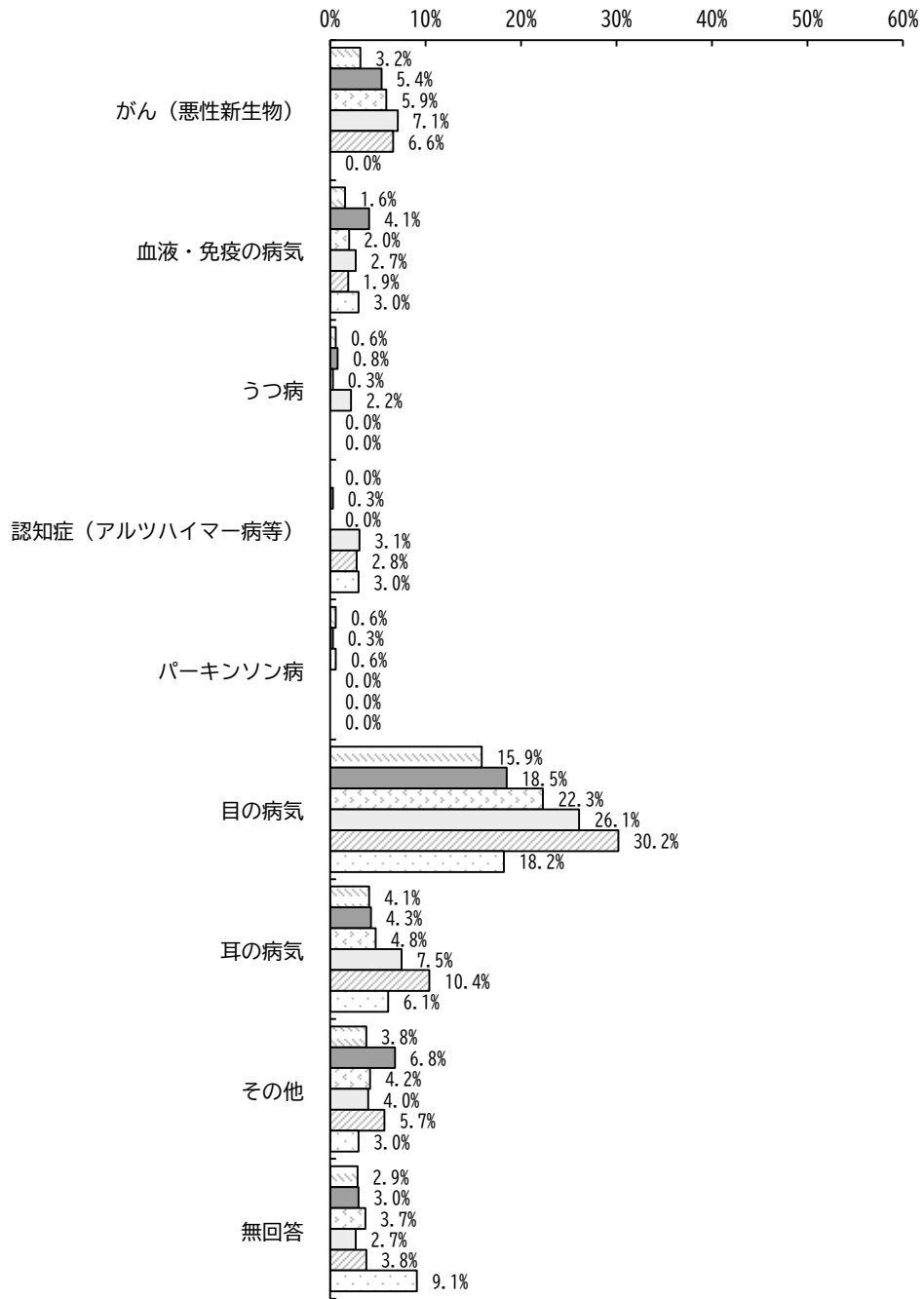
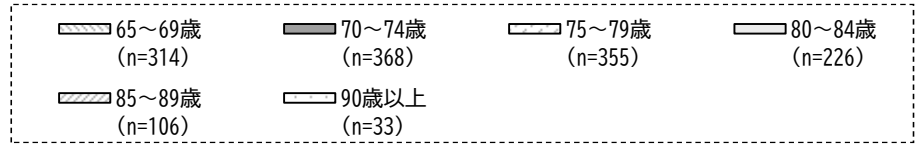
(2-1)



【年齢別集計】

○高齢者一般

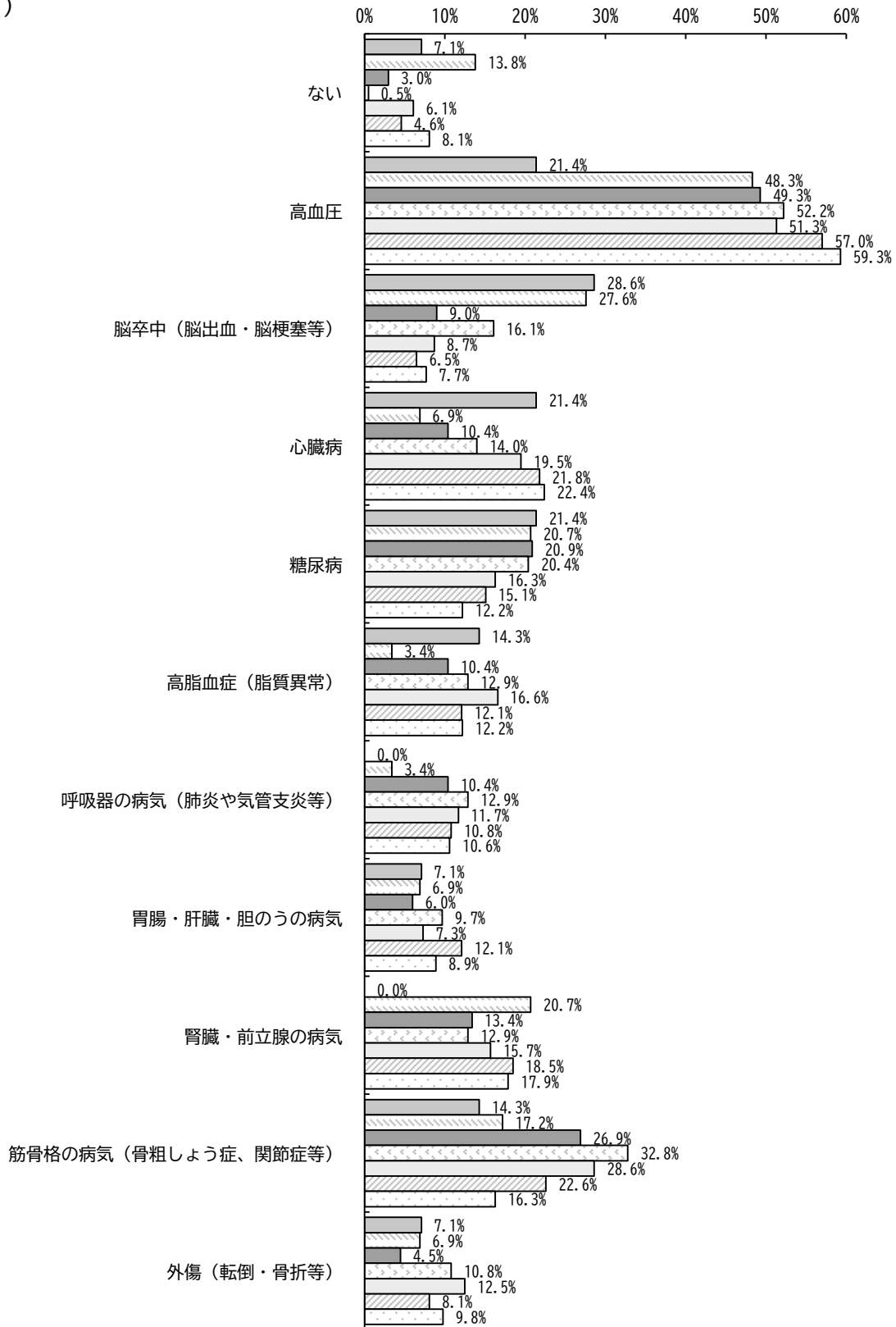
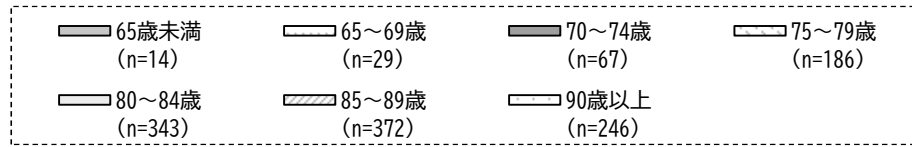
(2-2)



【年齢別集計】

○在宅要支援

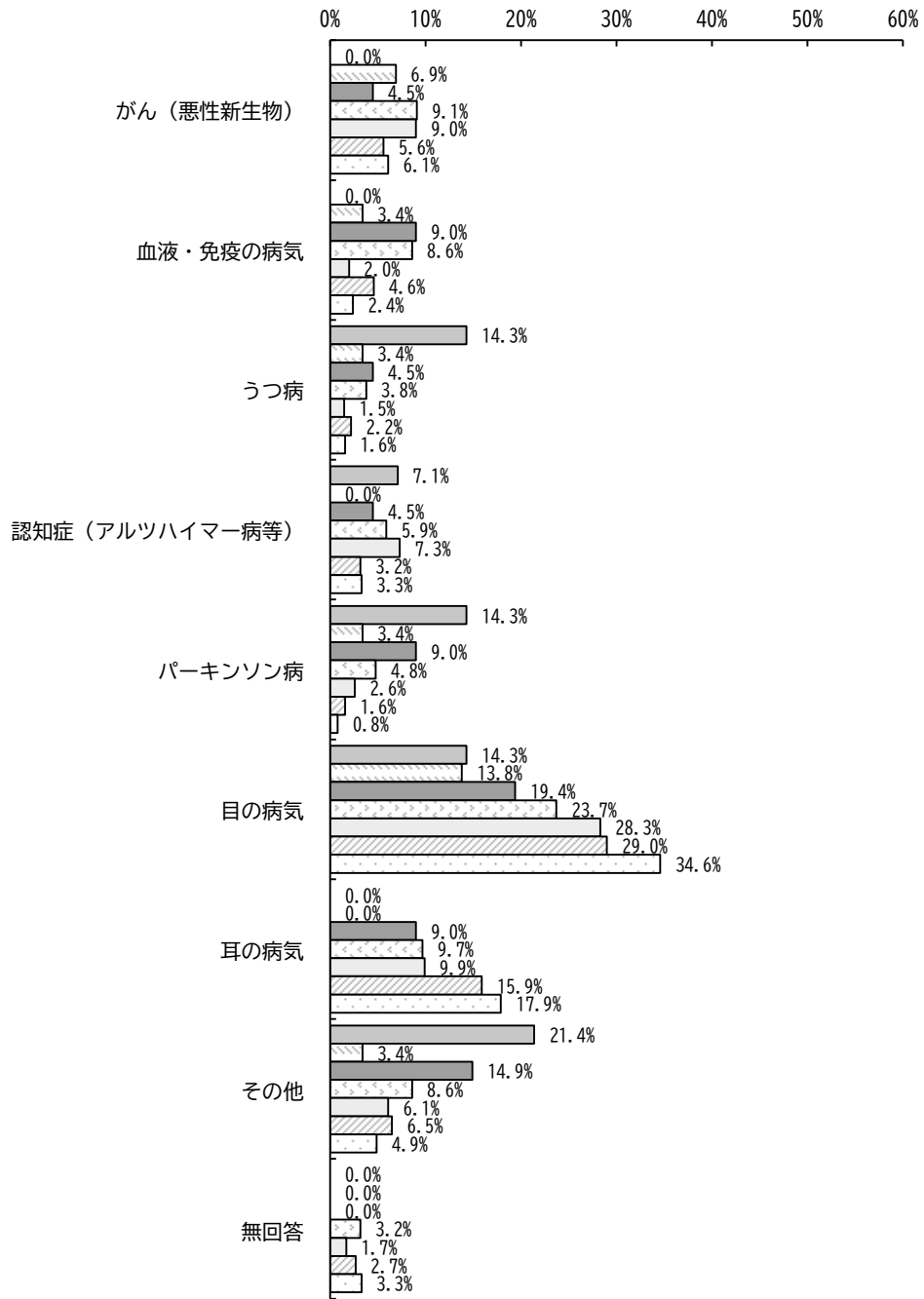
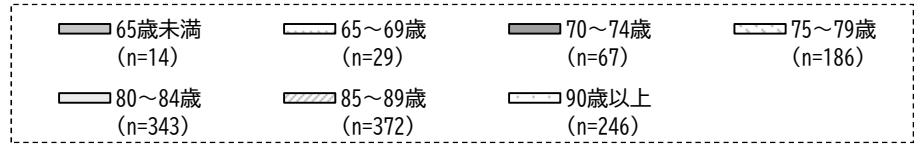
(2-1)



【年齢別集計】

○在宅要支援

(2-2)



「フレイル」の認知

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

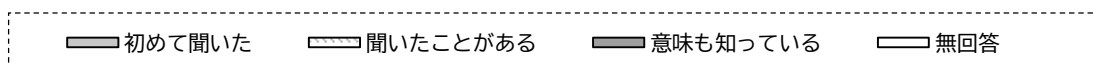
<高齢者一般調査 問42・在宅要支援認定者調査 問43>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
初めて聞いた	631	44.9%	644	51.2%
聞いたことがある	396	28.2%	374	29.8%
意味も知っている	260	18.5%	183	14.6%
無回答	118	8.4%	56	4.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

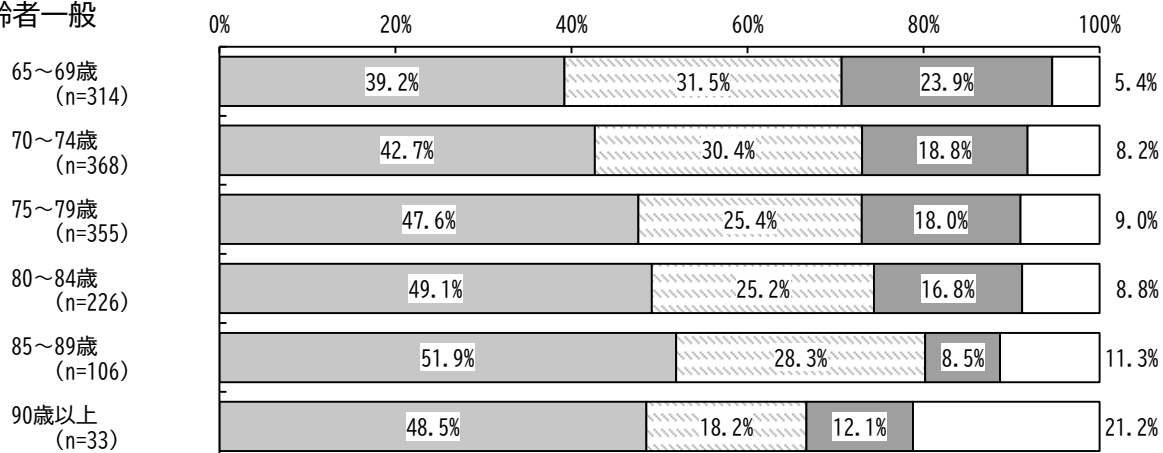
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「初めて聞いた」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「聞いた事がある」「意味も知っている」を合わせた割合は、高齢者一般では65～69歳、在宅要支援認定者では65歳未満が最も高くなっています。

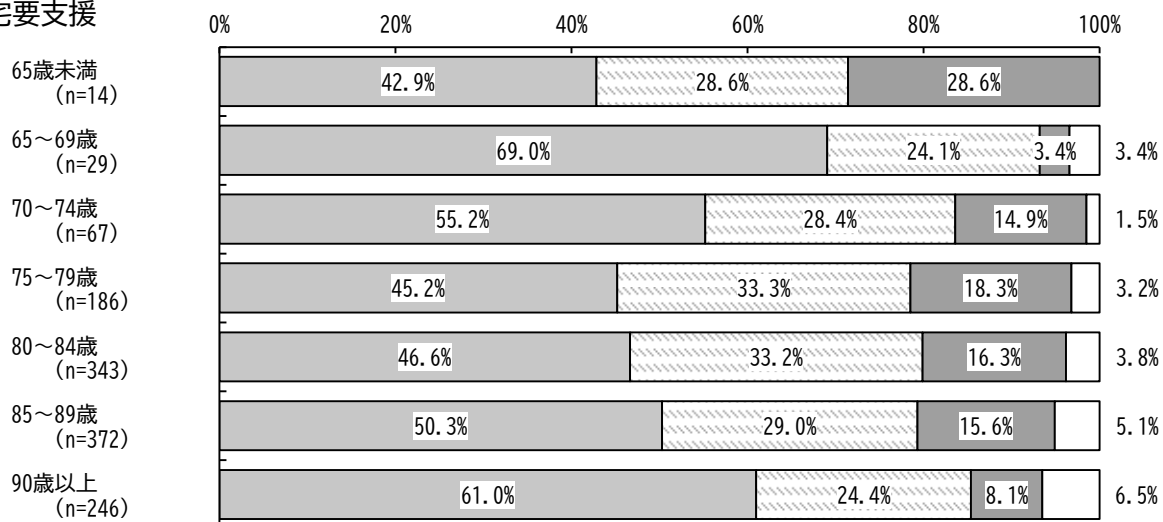


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



ロコトレへの取り組み状況

浜松市では、介護予防のためロコモーショントレーニング（通称：ロコトレ）の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。（○はひとつ）

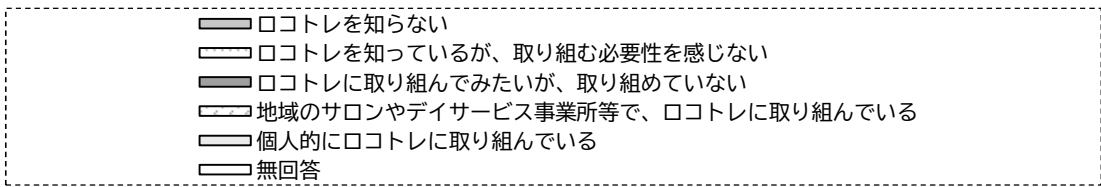
<高齢者一般調査 問43・在宅要支援認定者調査 問44>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ロコトレを知らない	877	62.4%	636	50.6%
ロコトレを知っているが、取り組む必要性を感じない	178	12.7%	69	5.5%
ロコトレに取り組んでみたいが、取り組めていない	118	8.4%	106	8.4%
地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる	77	5.5%	308	24.5%
個人的にロコトレに取り組んでいる	114	8.1%	76	6.0%
無回答	41	2.9%	62	4.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

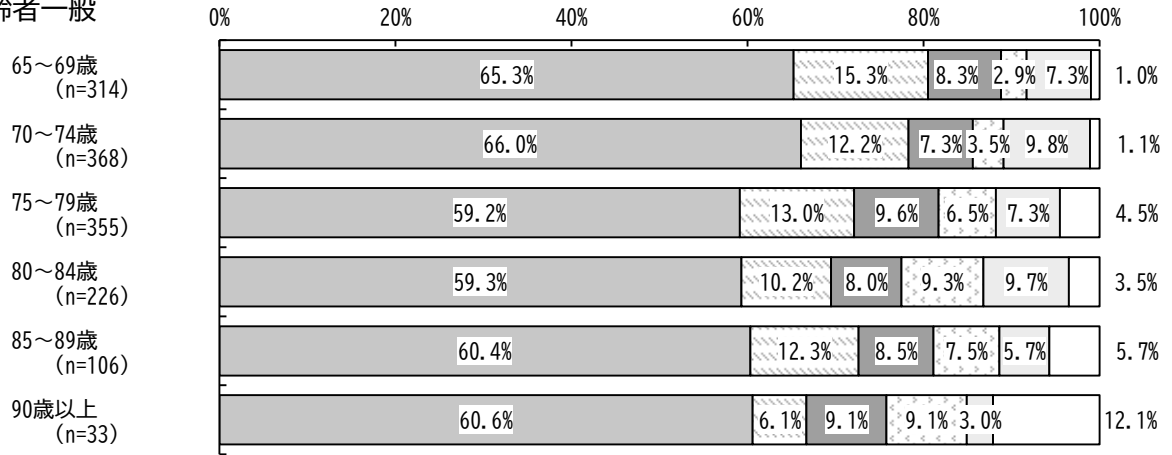
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ロコトレを知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる」と「個人的にロコトレに取り組んでいる」を合わせた割合は、高齢者一般では80～84歳以上、在宅要支援認定者では75歳以上で割合が高くなっています。

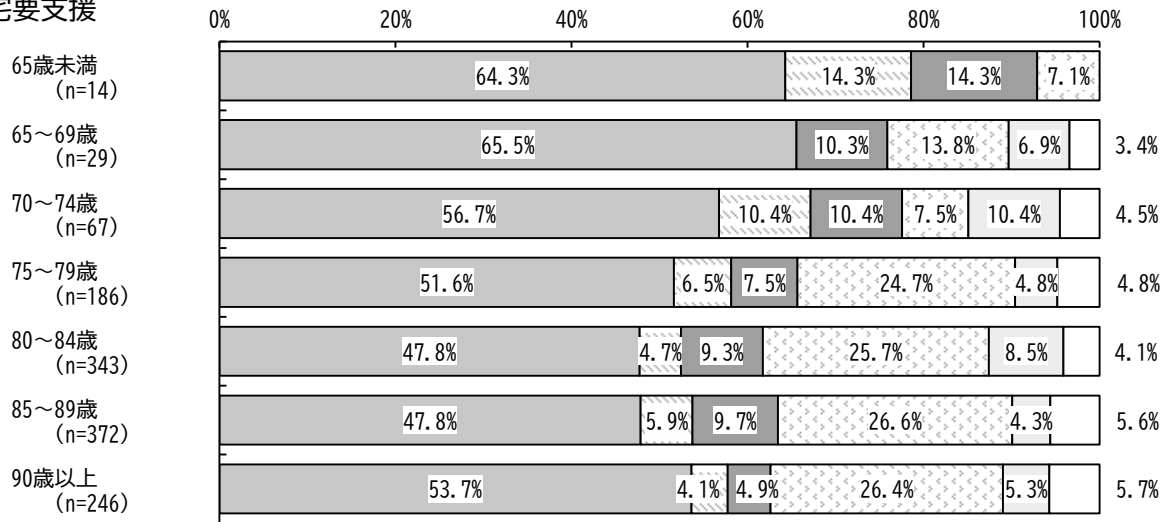


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



補聴器の使用有無

補聴器を使用していますか。(○はひとつ)

< 高齢者一般調査 問44・在宅要支援認定者調査 問45・在宅要介護認定者調査 問6 >

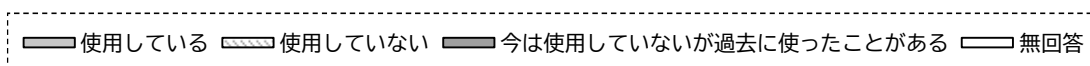
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
使用している	83	5.9%	207	16.5%	135	12.0%
使用していない	1,279	91.0%	995	79.2%	916	81.6%
今は使用していないが過去に使ったことがある	20	1.4%	26	2.1%	63	5.6%
無回答	23	1.6%	29	2.3%	8	0.7%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「使用していない」の割合が最も高くなっています。

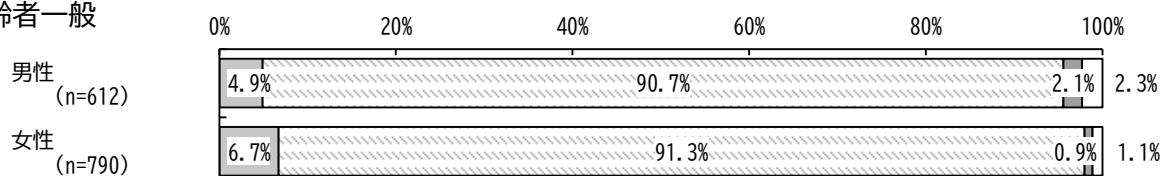
性別でみると、大きな差はみられません。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「使用している」の割合は年齢が高くなるにつれて増加傾向にあります。

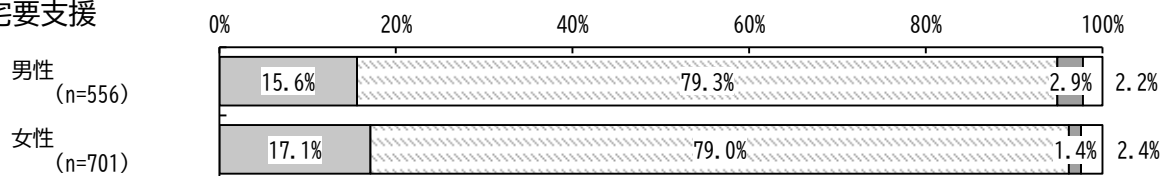


【性別集計】

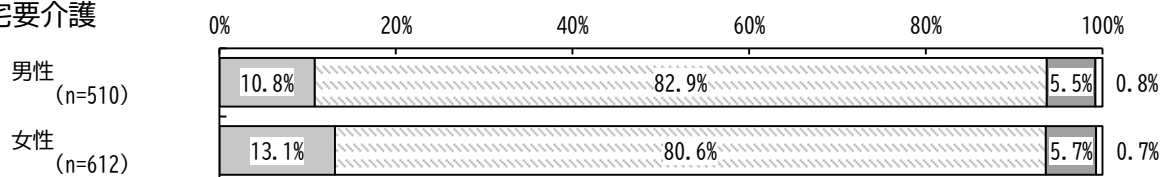
○高齢者一般



○在宅要支援



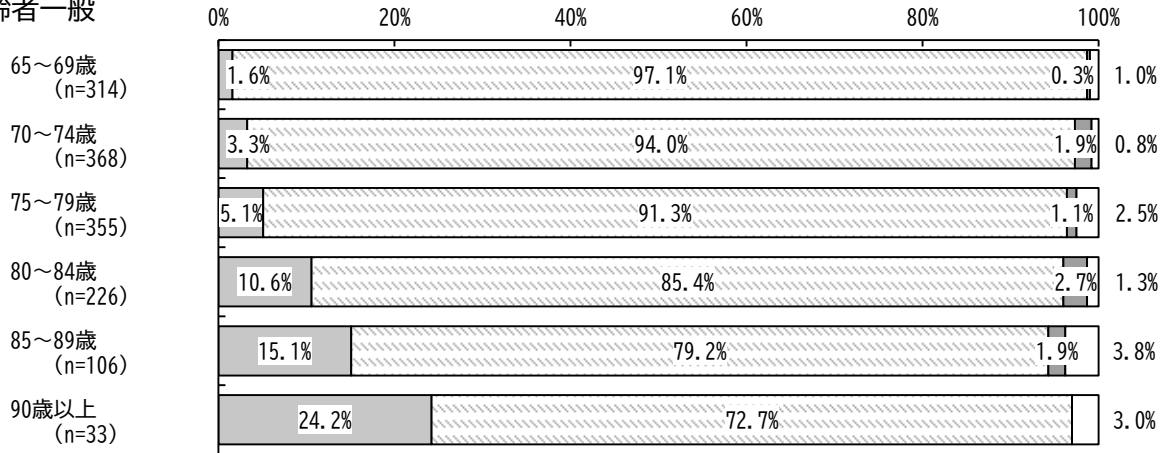
○在宅要介護



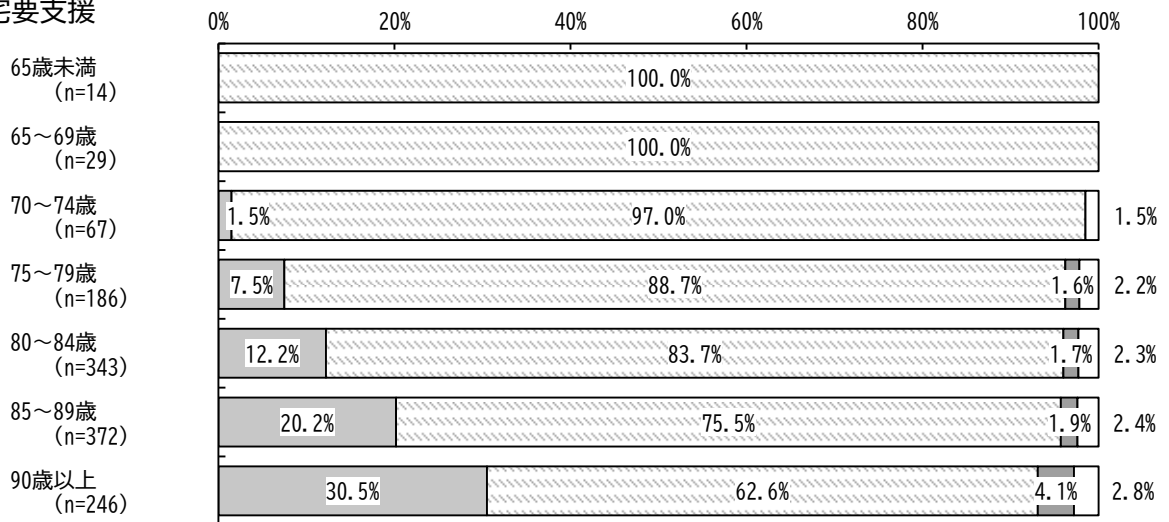
使用している
 使用していない
 今は使用していないが過去に使ったことがある
 無回答

【年齢別集計】

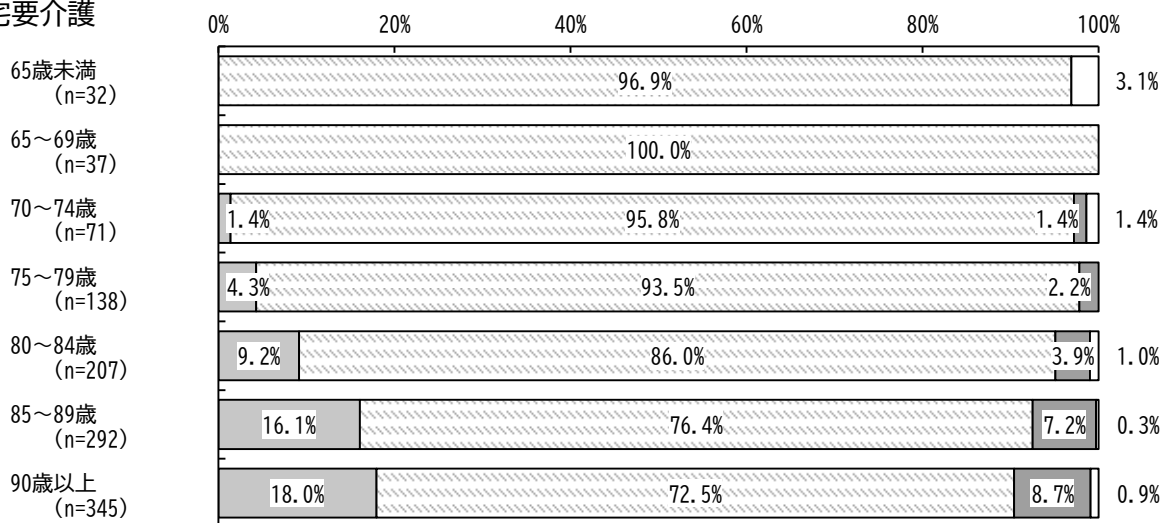
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



補聴器を使用した感想

補聴器を使用して、どのような感想を持っていますか。(○はいくつでも)

<高齢者一般調査 問45・在宅要支援認定者調査 問46>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても良い	17	20.5%	61	29.5%
まあまあ	46	55.4%	95	45.9%
あまり効果はない	14	16.9%	34	16.4%
お金がかかる	23	27.7%	67	32.4%
メンテナンスが大変	16	19.3%	39	18.8%
使い方が難しい	3	3.6%	17	8.2%
その他	7	8.4%	14	6.8%
無回答	1	1.2%	1	0.5%
回 答 数	83	-	207	-

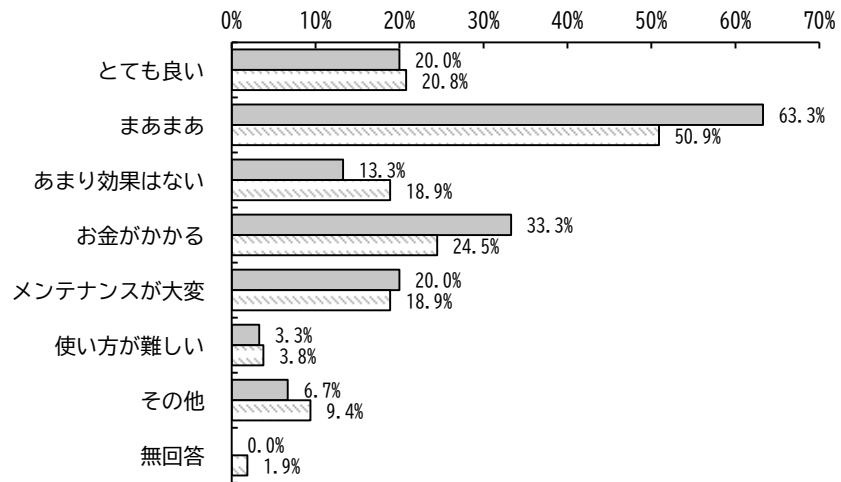
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「まあまあ」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、男女とも「まあまあ」の割合が最も高くなっています。

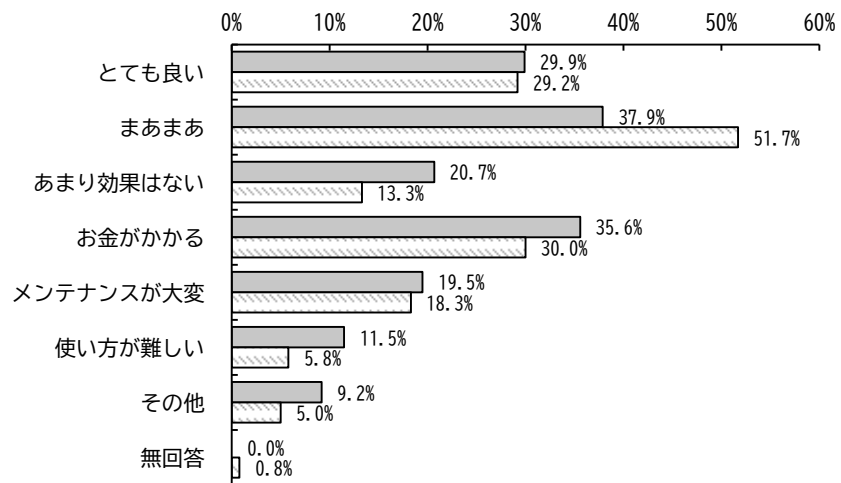
【性別集計】



○高齢者一般



○在宅要支援



補聴器を使用していない理由

補聴器を使用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<高齢者一般調査 問46・在宅要支援認定者調査 問47>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
必要性を感じない	1,145	88.1%	766	75.0%
使いづらい	35	2.7%	62	6.1%
わずらわしい	62	4.8%	117	11.5%
ノイズがうるさい	23	1.8%	50	4.9%
付けても元の聞こえには戻らない	16	1.2%	39	3.8%
メンテナンスが大変そう	20	1.5%	38	3.7%
お金がかかる	67	5.2%	115	11.3%
恥ずかしい	12	0.9%	9	0.9%
その他	21	1.6%	30	2.9%
無回答	29	2.2%	47	4.6%
回 答 数	1,299	-	1,021	-

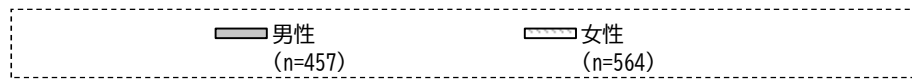
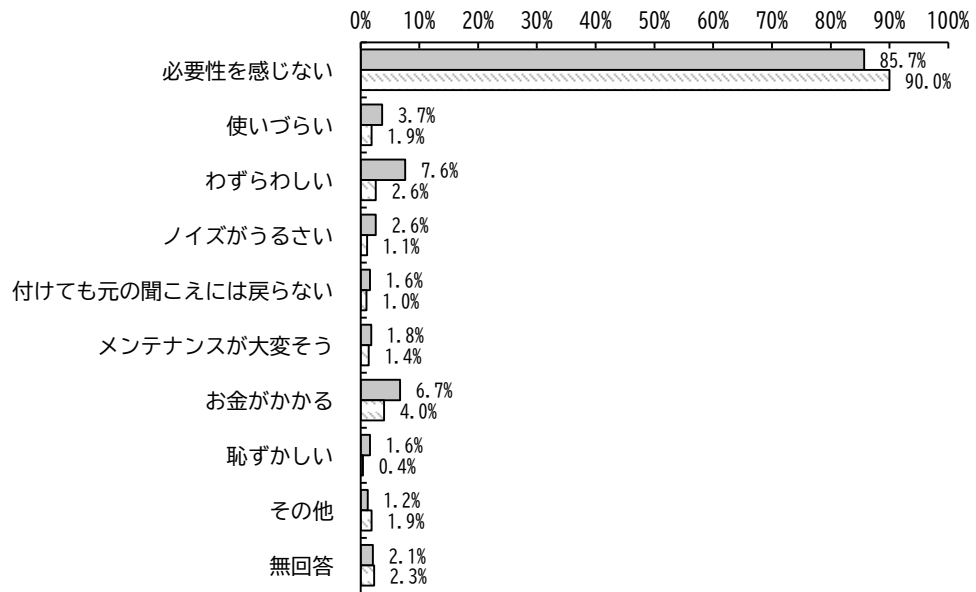
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「必要性を感じない」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、男女とも「必要性を感じない」の割合が最も高くなっています。

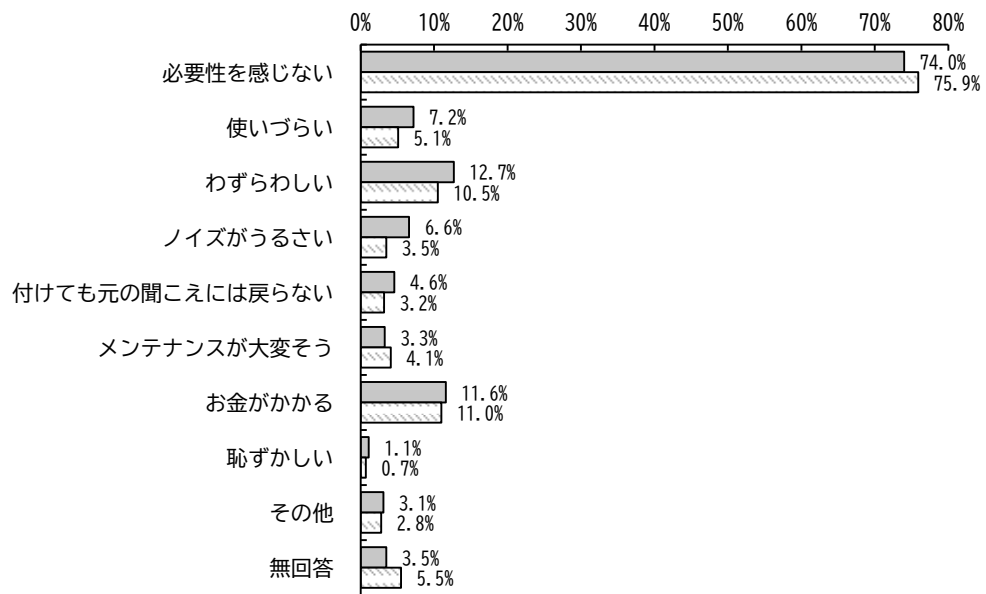
【性別集計】



○高齢者一般



○在宅要支援



認知症の症状がある、又は家族で認知症の症状のある人の有無

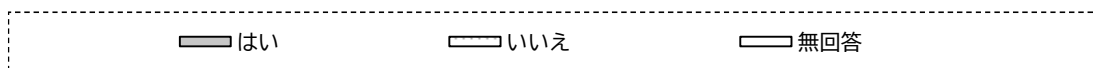
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)

< 高齢者一般調査 問52・在宅要支援認定者調査 問48 >

【単純集計】

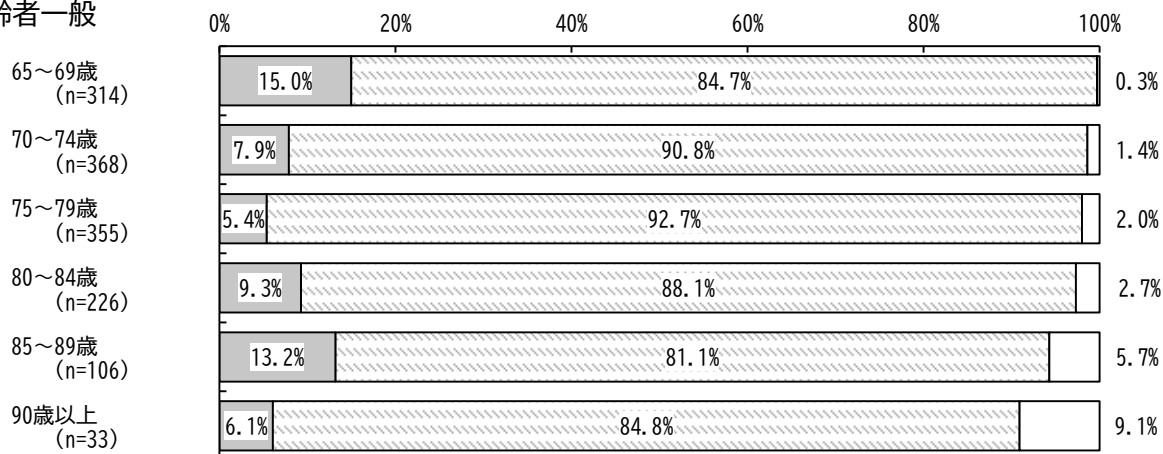
回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	132	9.4%	247	19.6%
いいえ	1,245	88.6%	973	77.4%
無回答	28	2.0%	37	2.9%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で「いいえ」の割合のほうが高くなっています。

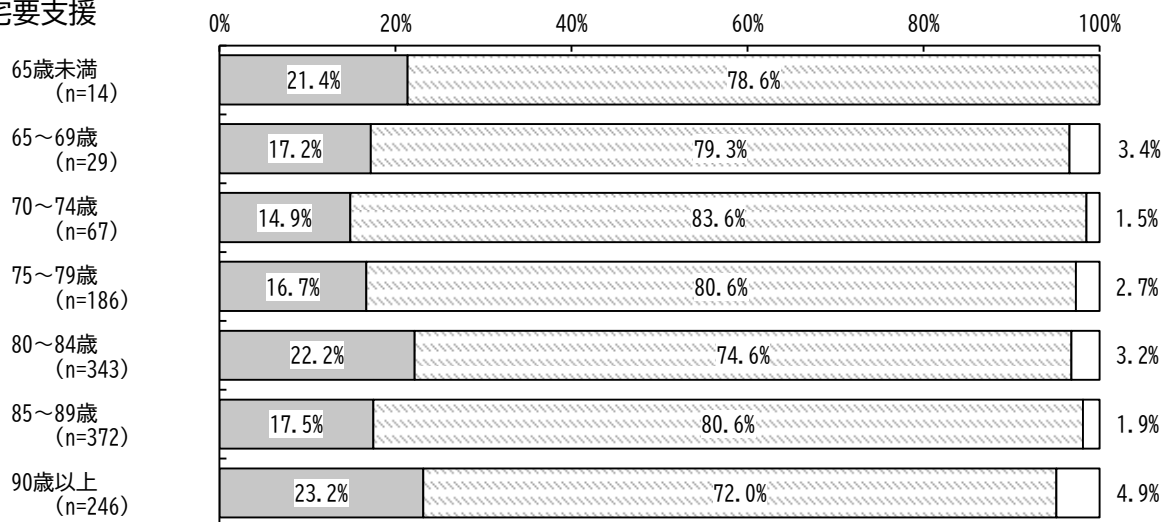


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



認知症相談窓口の認知

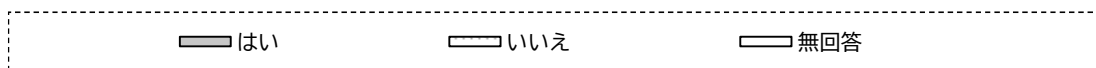
認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問53・在宅要支援認定者調査 問49>

【単純集計】

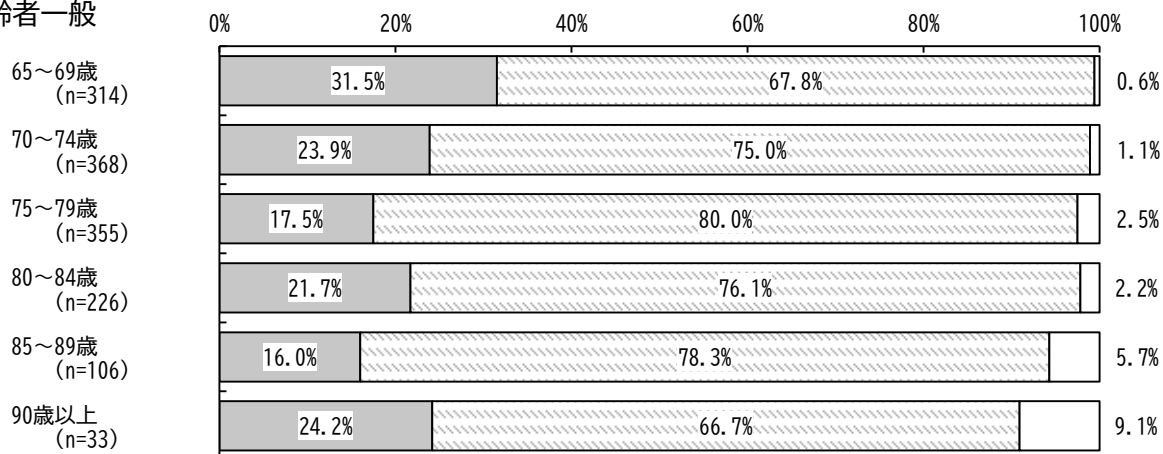
回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	324	23.1%	341	27.1%
いいえ	1,052	74.9%	861	68.5%
無回答	29	2.1%	55	4.4%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で「いいえ」の割合のほうが高くなっています。

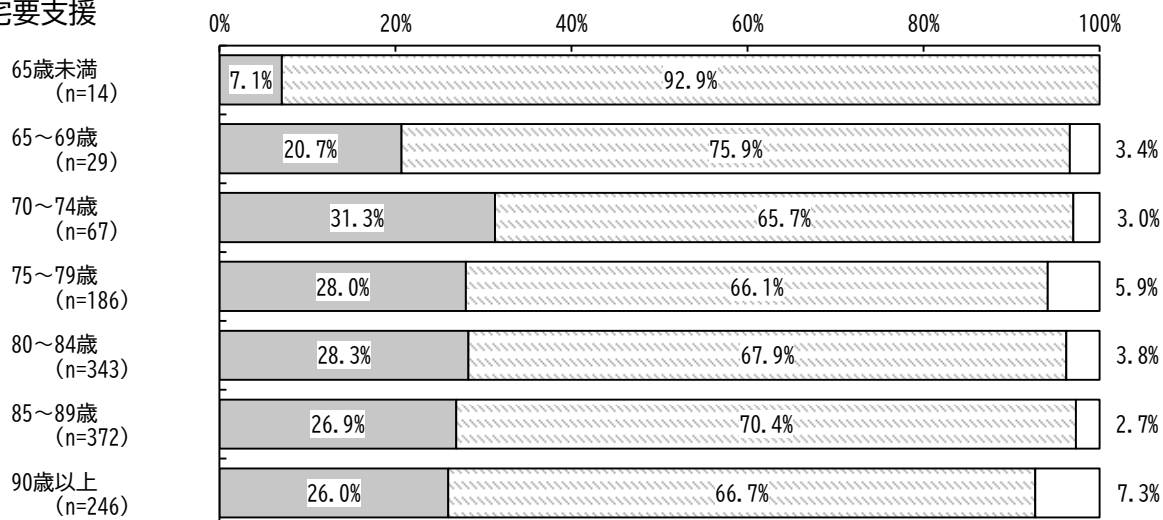


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



認知症の人が自分らしく暮らしていると思うか

あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問54・在宅要支援認定者調査 問50>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
そう思う	24	1.7%	54	4.3%
どちらかと言えばそう思う	120	8.5%	151	12.0%
どちらとも言えない	704	50.1%	572	45.5%
どちらかと言えばそう思わない	270	19.2%	204	16.2%
そう思わない	222	15.8%	189	15.0%
無回答	65	4.6%	87	6.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

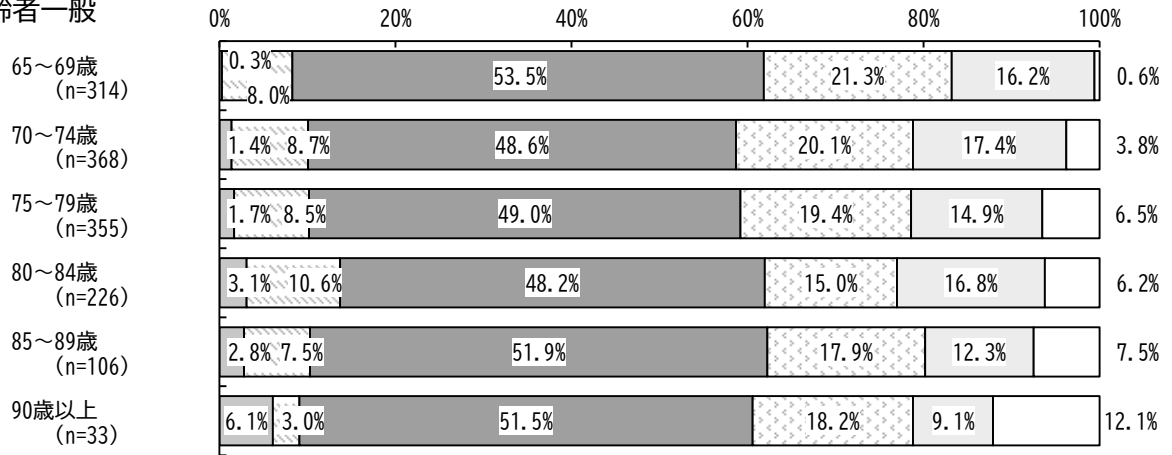
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は、すべての年齢で2割を下回っています。

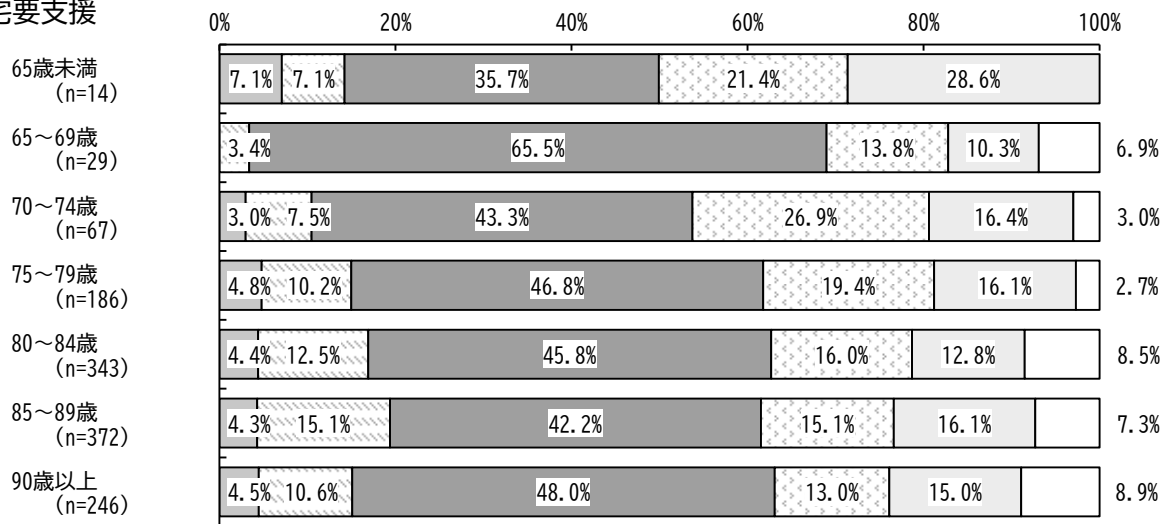


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



認知症になっても地域で暮らすために必要なこと

自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問55・在宅要支援認定者調査 問51・在宅要介護認定者調査 問7>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
認知症への偏見や先入観の払拭	527	37.5%	467	37.2%	355	31.6%
認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための 情報提供や支援体制の整備	656	46.7%	497	39.5%	476	42.4%
認知症の相談先の充実	673	47.9%	577	45.9%	581	51.8%
医療・介護サービスの提供体制の充実	658	46.8%	609	48.4%	750	66.8%
認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの 開催	226	16.1%	196	15.6%	170	15.2%
生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、 認知症発症のリスクを減らす取り組み	692	49.3%	564	44.9%	530	47.2%
企業や団体等と連携した見守り体制の確保	233	16.6%	227	18.1%	253	22.5%
無回答	68	4.8%	132	10.5%	52	4.6%
回 答 数	1,405	-	1,257	-	1,122	-

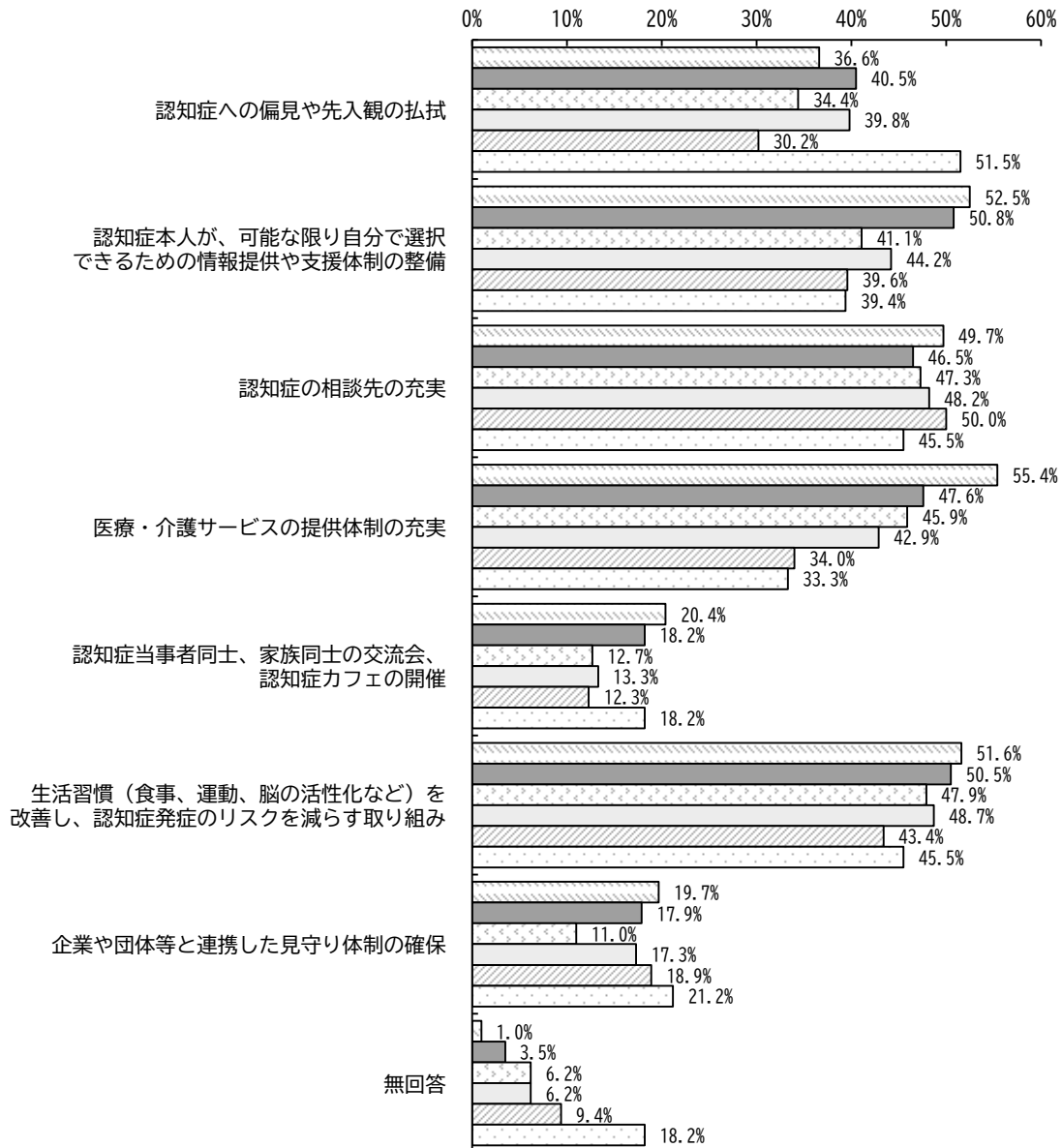
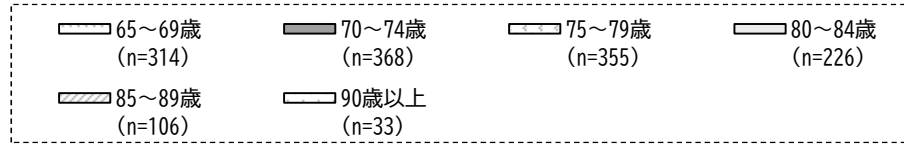
単純集計でみると、高齢者一般では「生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み」の割合が最も高く、要支援認定者と在宅要支援認定者は「医療・介護サービスの提供体制の充実」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「医療・介護サービスの提供体制の充実」は、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて低くなる一方、在宅要介護認定者では年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。

区別でみると、「認知症の相談先の充実」と「医療・介護サービスの提供体制の充実」と回答した割合はすべての区で4割を超えて高くなっています。

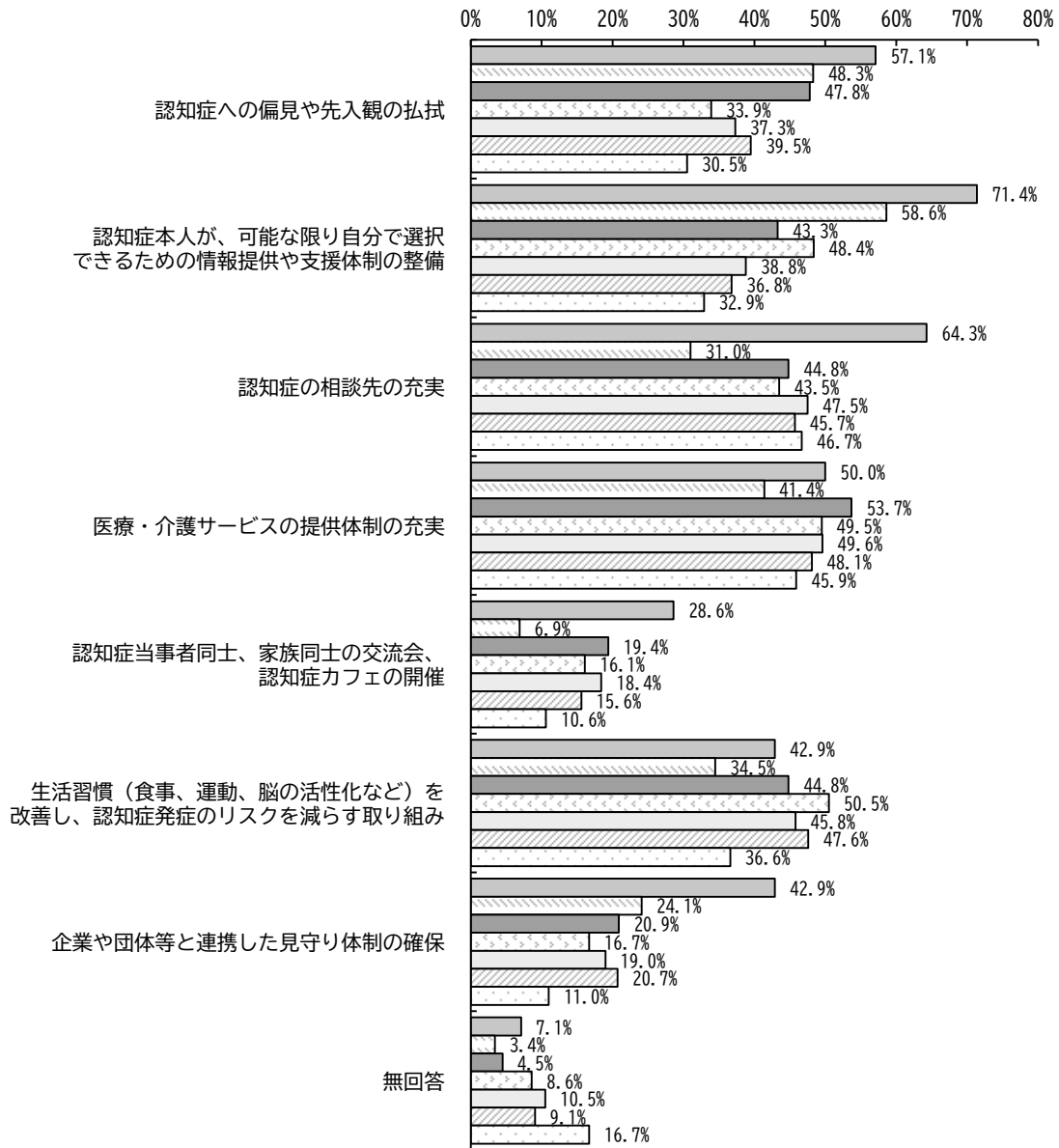
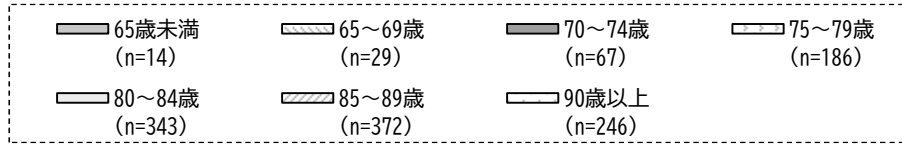
【年齢別集計】

○高齢者一般



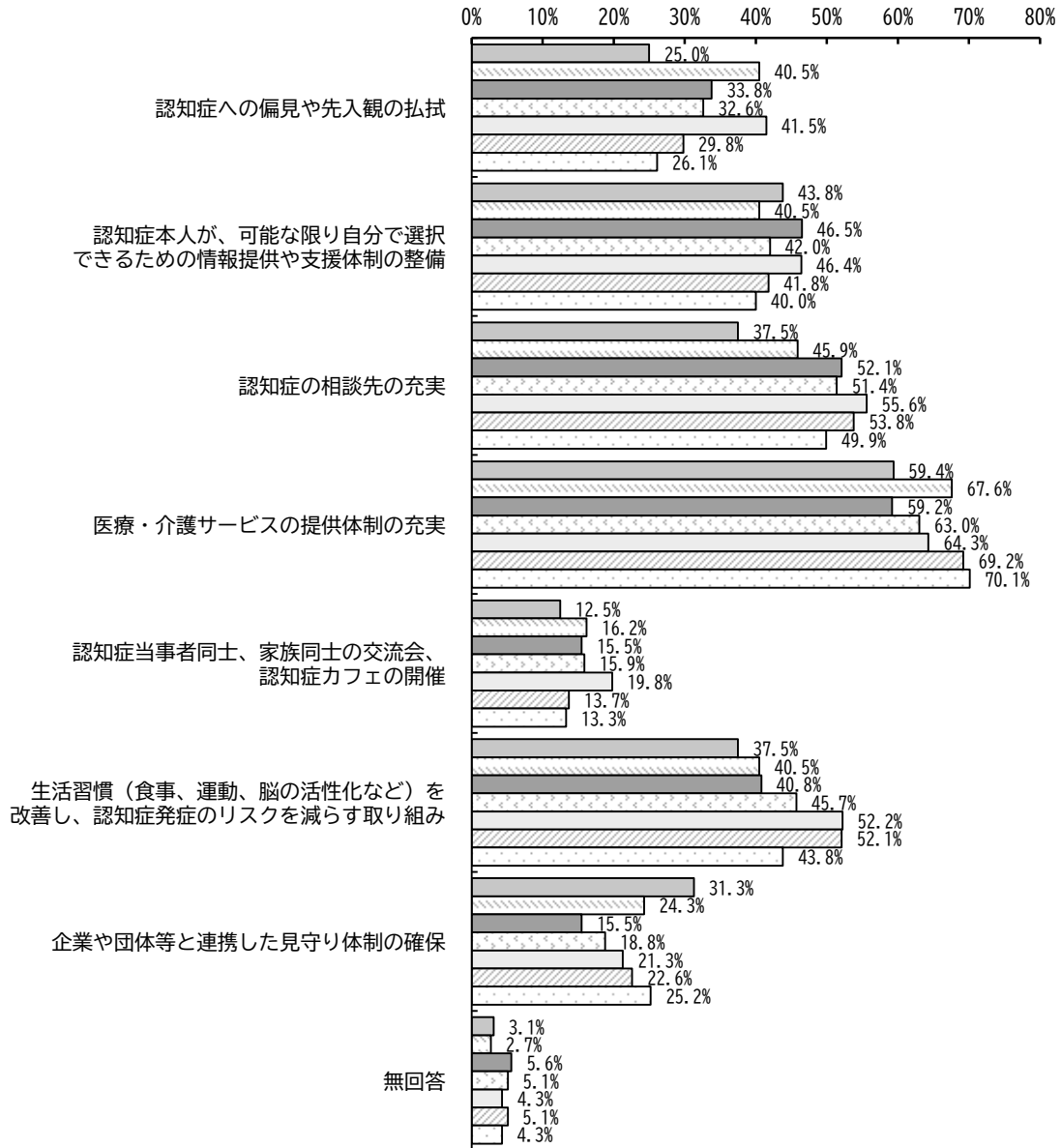
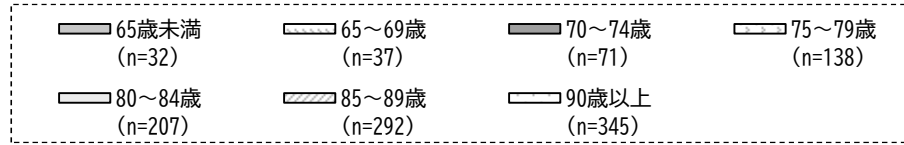
【年齢別集計】

○在宅要支援

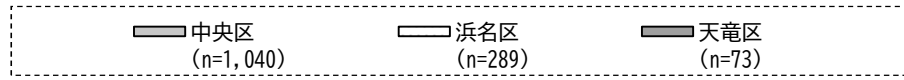


【年齢別集計】

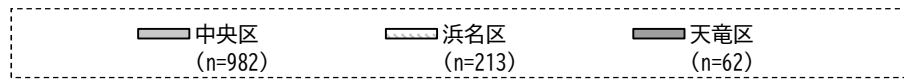
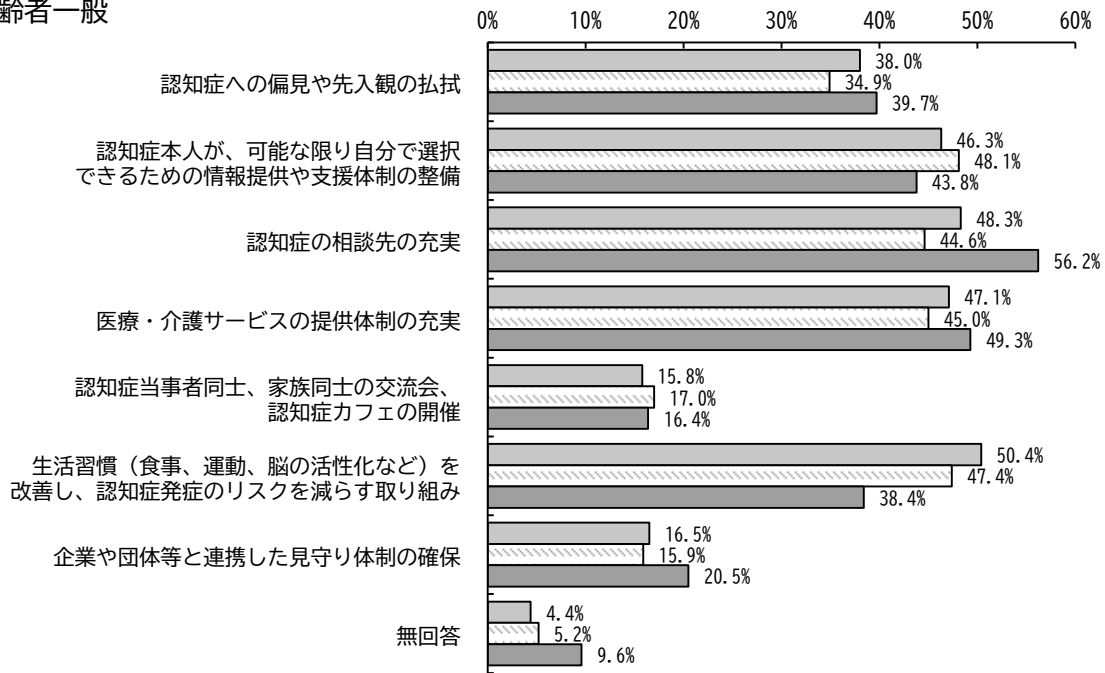
○在宅要介護



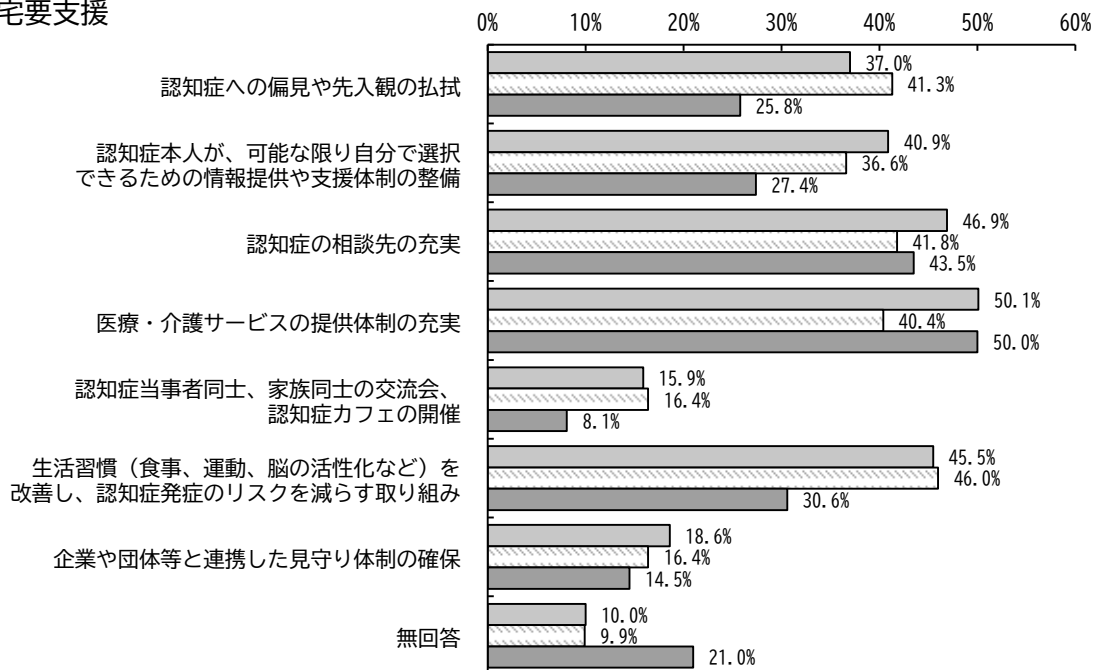
【区別集計】



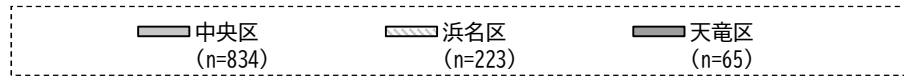
○高齢者一般



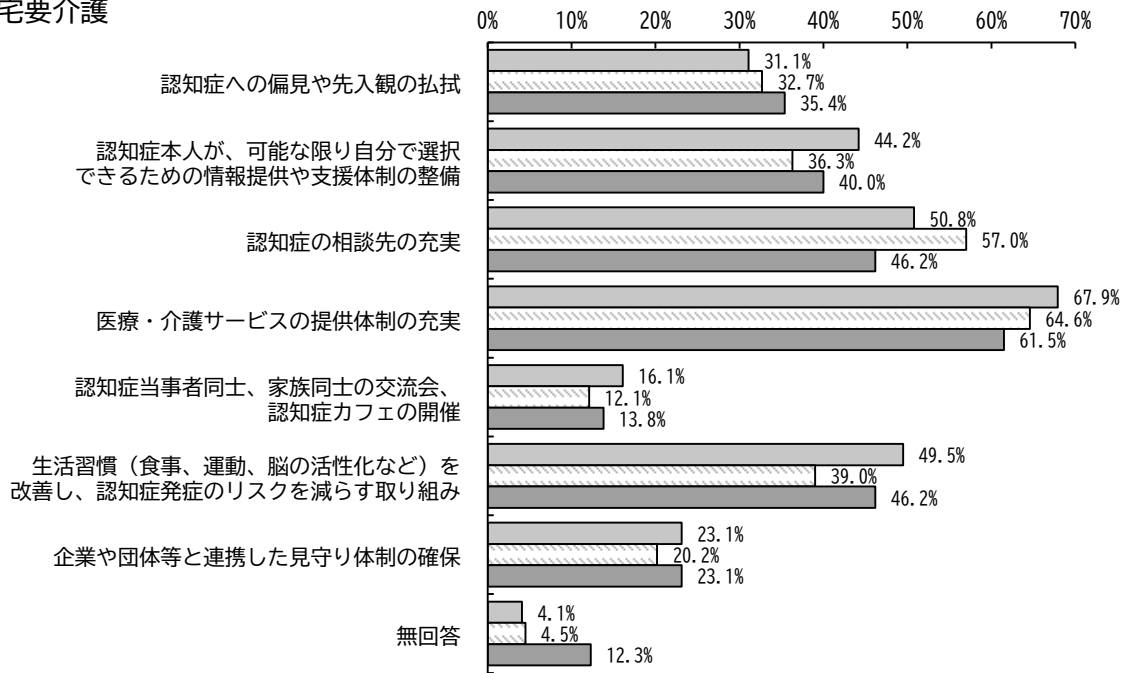
○在宅要支援



【区別集計】



○在宅要介護



地域包括支援センターの役割の認知

地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。（○はひとつ）
 <高齢者一般調査 問51・在宅要支援認定者調査 問52・在宅要介護認定者調査 問8 >

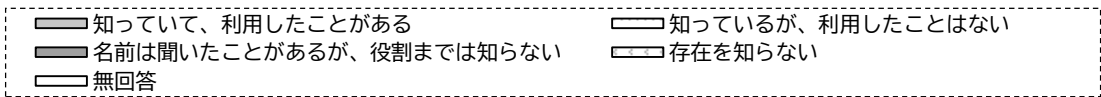
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っていて、利用したことがある	229	16.3%	660	52.5%	580	51.7%
知っているが、利用したことはない	446	31.7%	191	15.2%	170	15.2%
名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない	376	26.8%	195	15.5%	191	17.0%
存在を知らない	324	23.1%	171	13.6%	162	14.4%
無回答	30	2.1%	40	3.2%	19	1.7%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「知っているが、利用したことはない」の割合が最も高くなっています。在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「知っていて、利用したことがある」の割合が最も高く、「知っているが、利用したことはない」と「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合を合わせると約8割となっています。

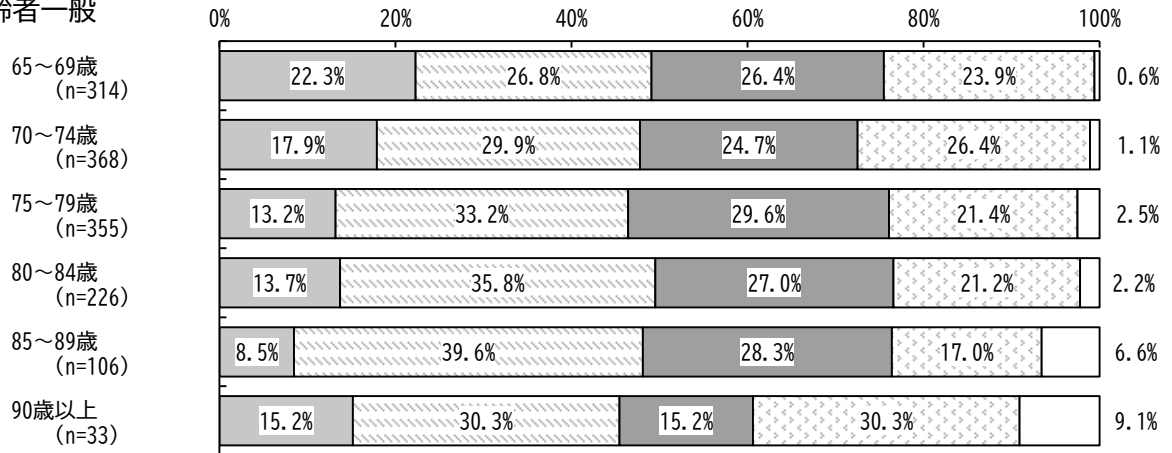
年齢別でみると、「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合について、一般高齢者ではすべての年齢で5割を下回っていますが、在宅要支援認定者ではすべての年齢で5割を上回っており、在宅要介護認定者でも65歳以上は5割を上回っています。

地域包括支援センター別でみると、「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合について、最も高い地域包括支援センターは、高齢者一般と在宅要介護認定者では北遠中央、在宅要支援認定者ではしんぱらとなっています。

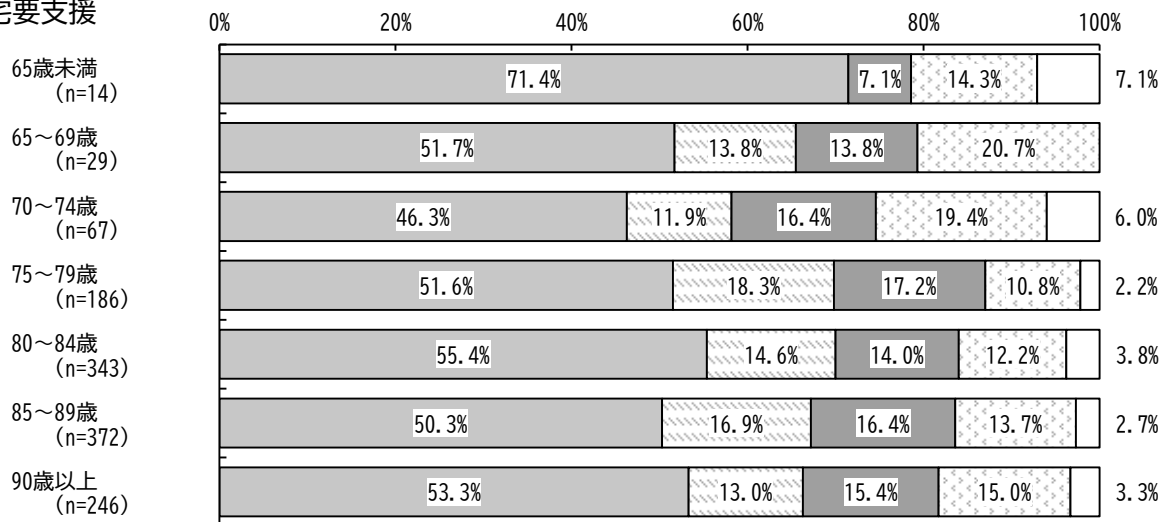


【年齢別集計】

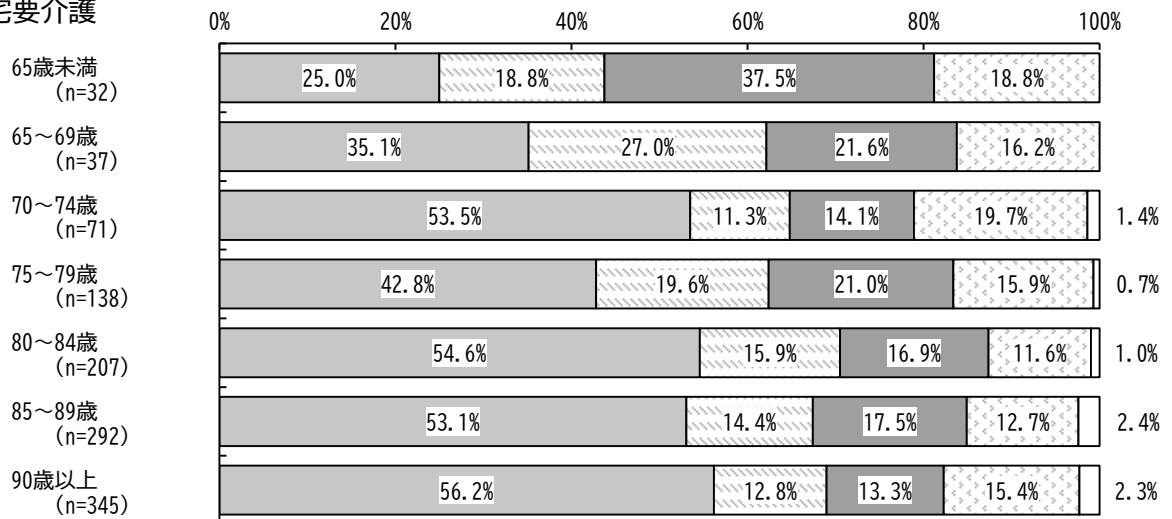
○高齢者一般

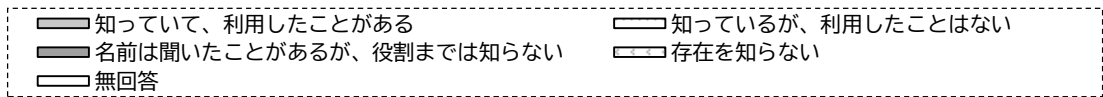


○在宅要支援



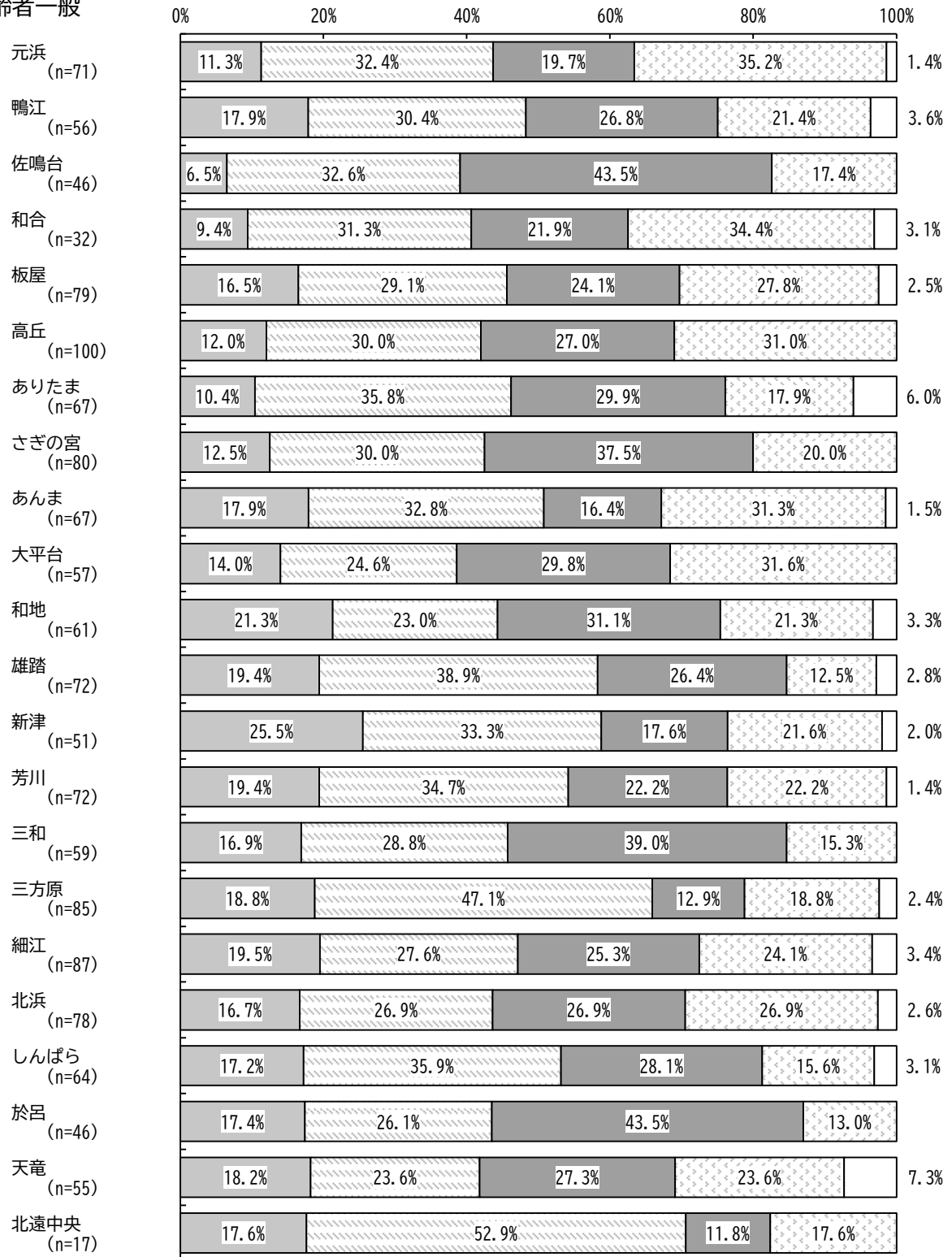
○在宅要介護

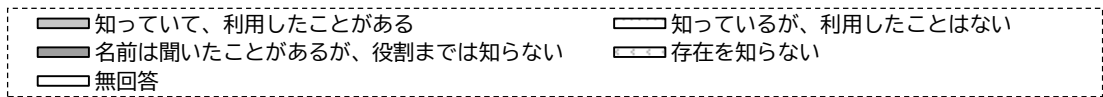




【地域包括支援センター別集計】

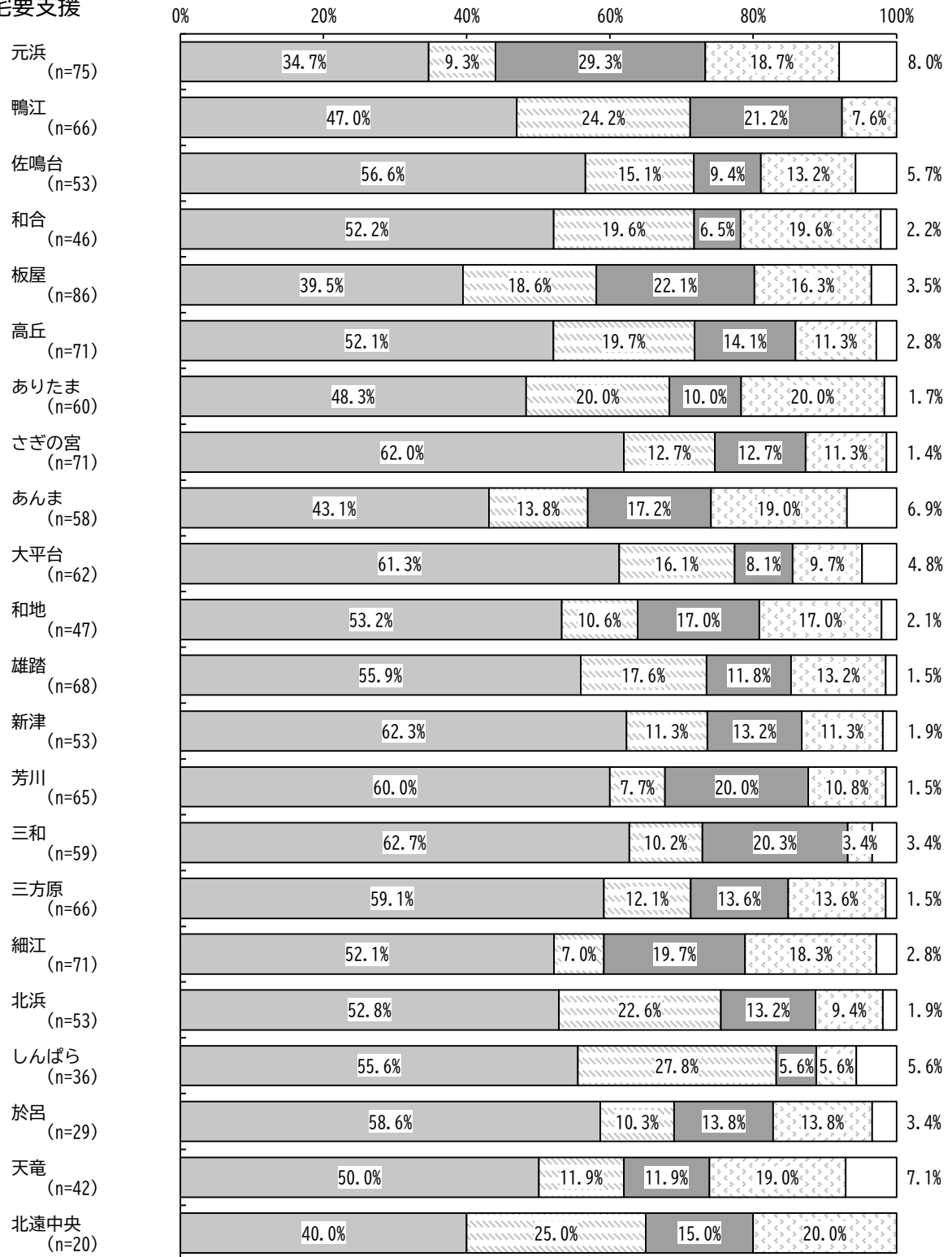
○高齢者一般

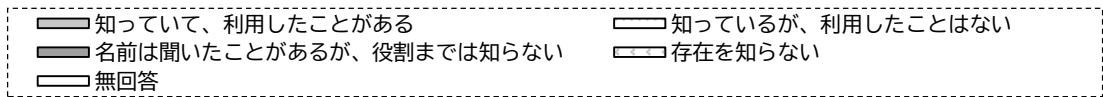




【地域包括支援センター別集計】

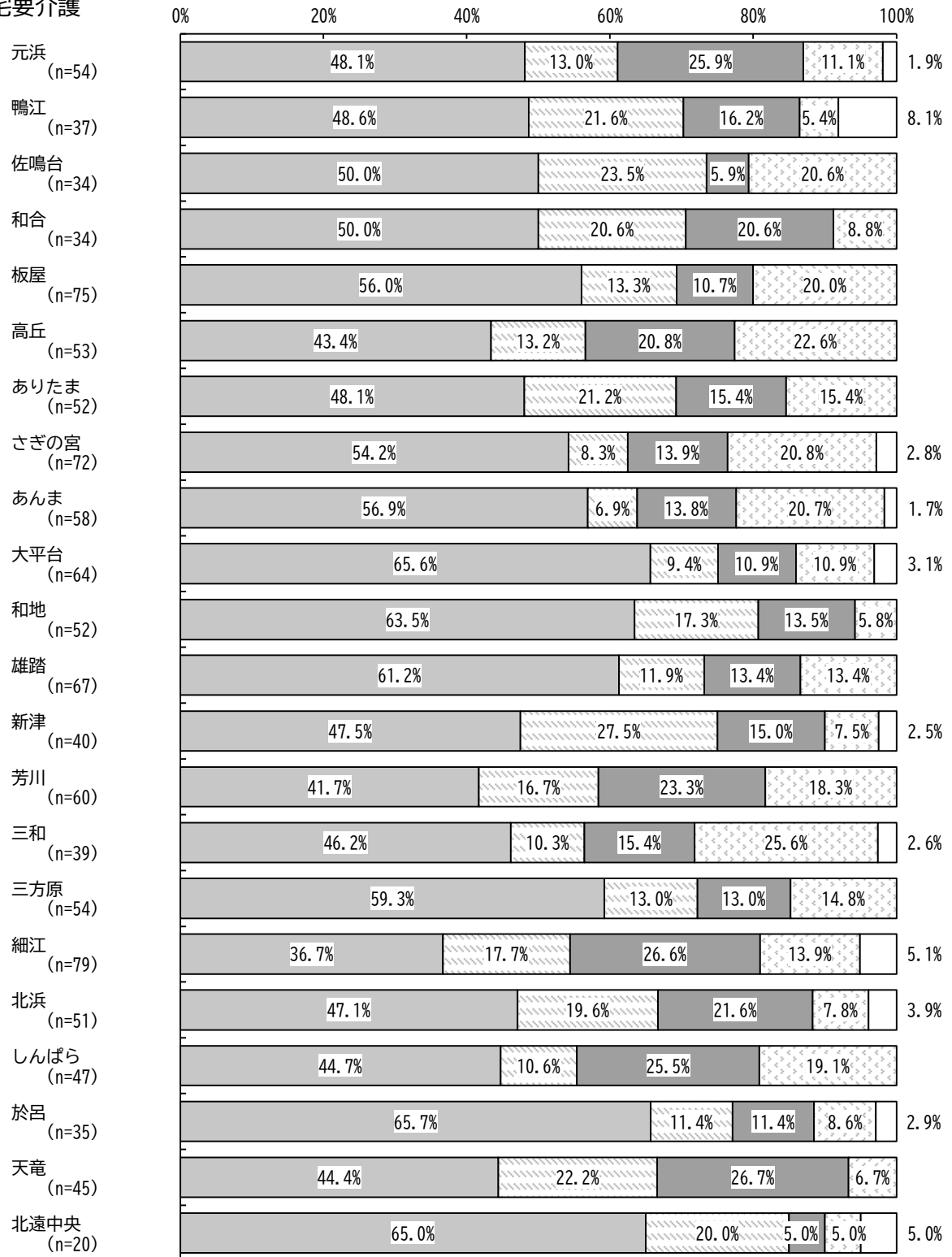
○在宅要支援





【地域包括支援センター別集計】

○在宅要介護



病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか

病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネジャー等）と話したことがありますか。（○はひとつ）

<高齢者一般調査 問56・在宅要支援認定者調査 問53・在宅要介護認定者調査 問9 >

【単純集計】

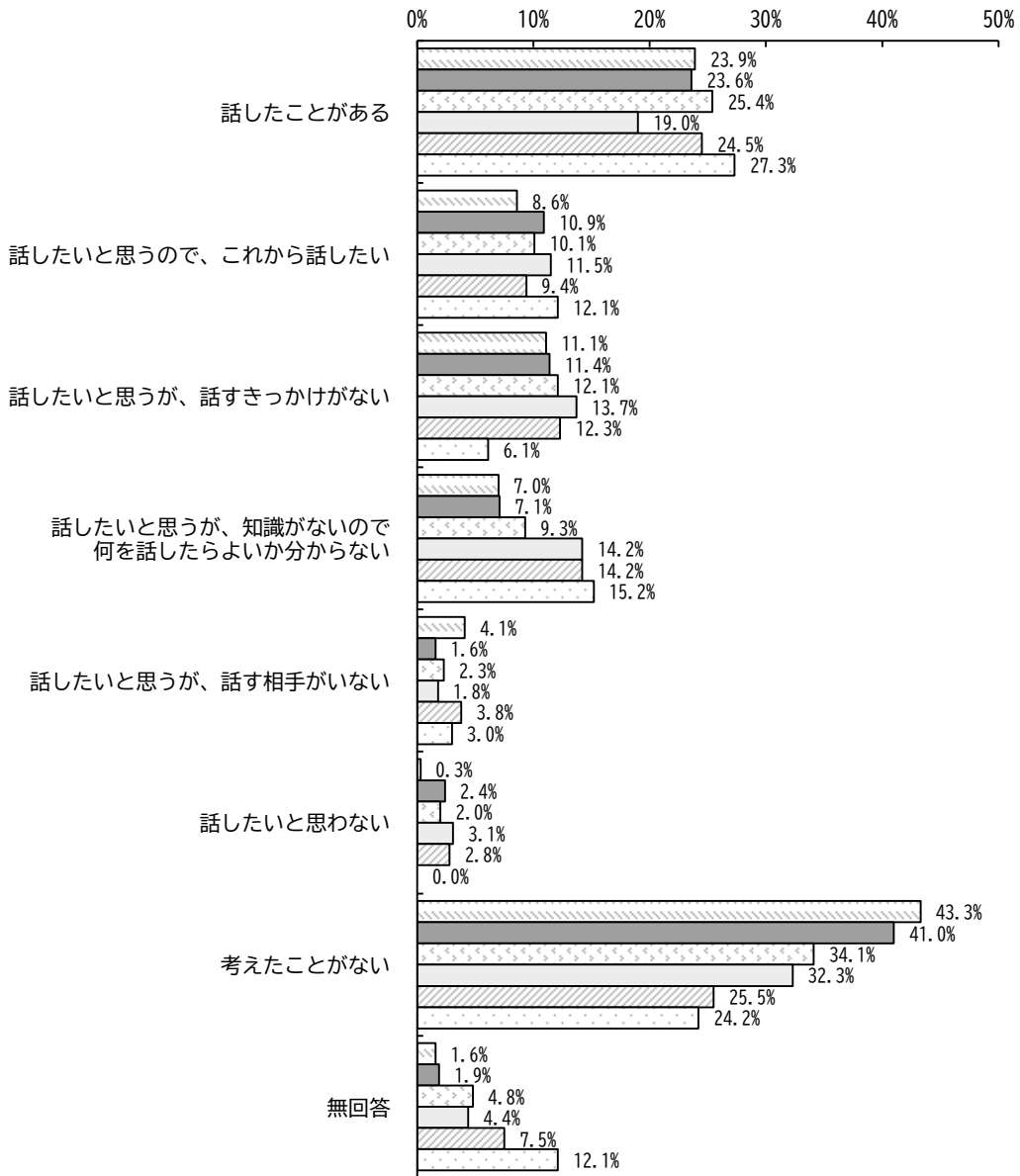
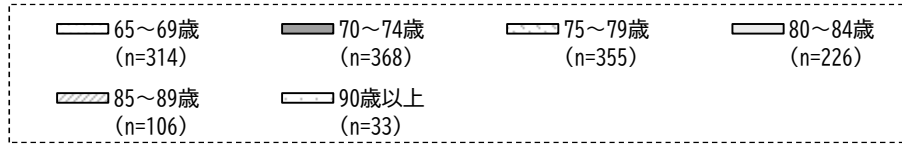
回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
話したことがある	331	23.6%	686	54.6%	814	72.5%
話したいと思うので、これから話したい	143	10.2%	130	10.3%	65	5.8%
話したいと思うが、話すきっかけがない	166	11.8%	97	7.7%	35	3.1%
話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない	134	9.5%	87	6.9%	66	5.9%
話したいと思うが、話す相手がいない	36	2.6%	26	2.1%	6	0.5%
話したいと思わない	27	1.9%	15	1.2%	14	1.2%
考えたことがない	517	36.8%	158	12.6%	100	8.9%
無回答	51	3.6%	58	4.6%	22	2.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「考えたことがない」の割合が最も高く、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「話したことがある」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「考えたことがない」は、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて低くなる傾向がみられます。

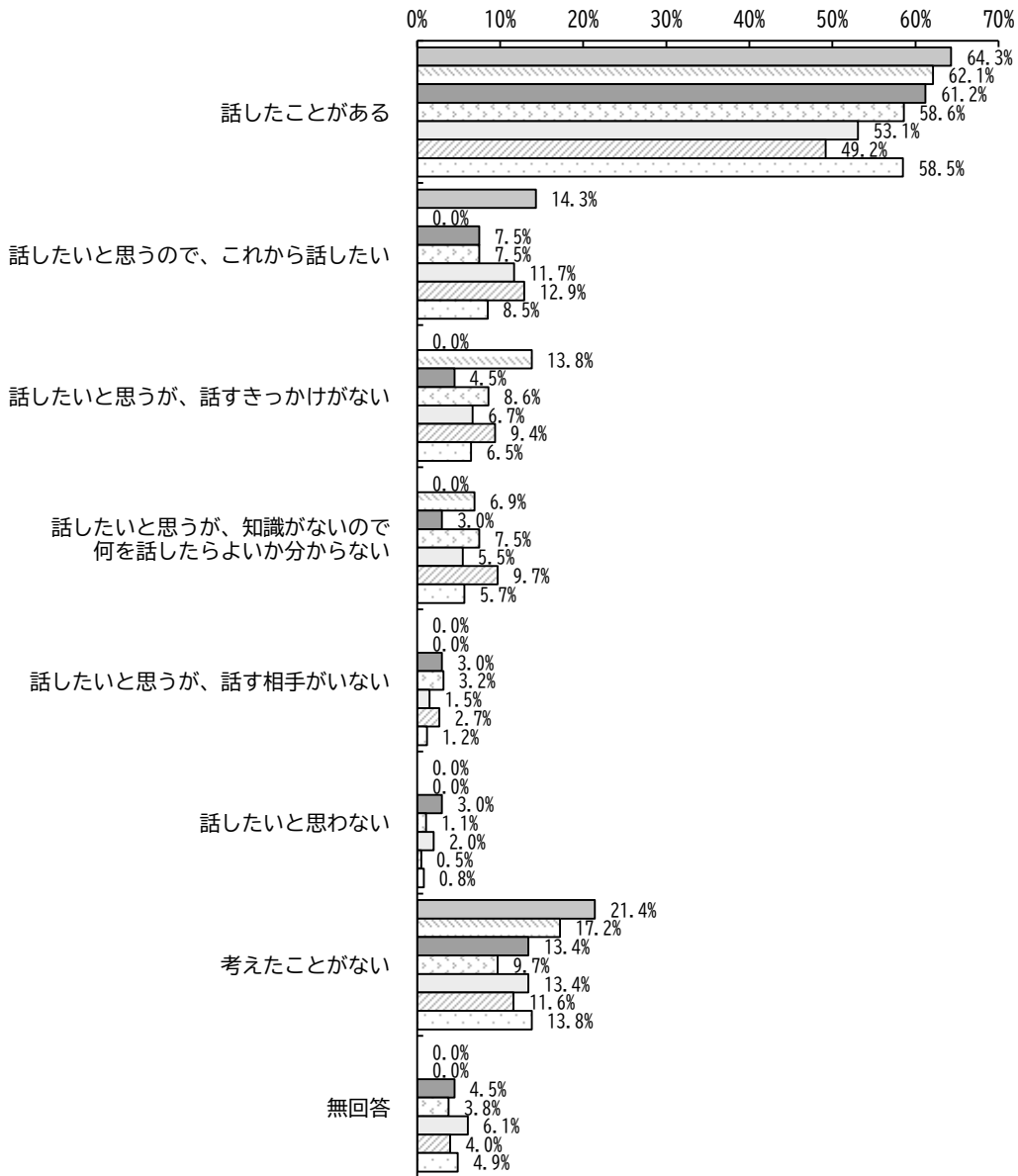
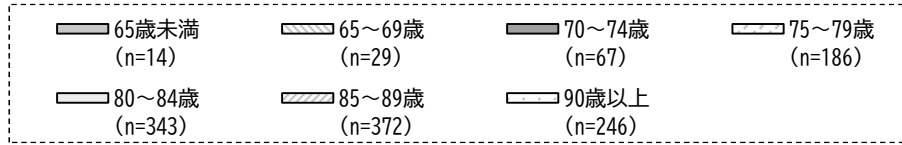
【年齢別集計】

○高齢者一般



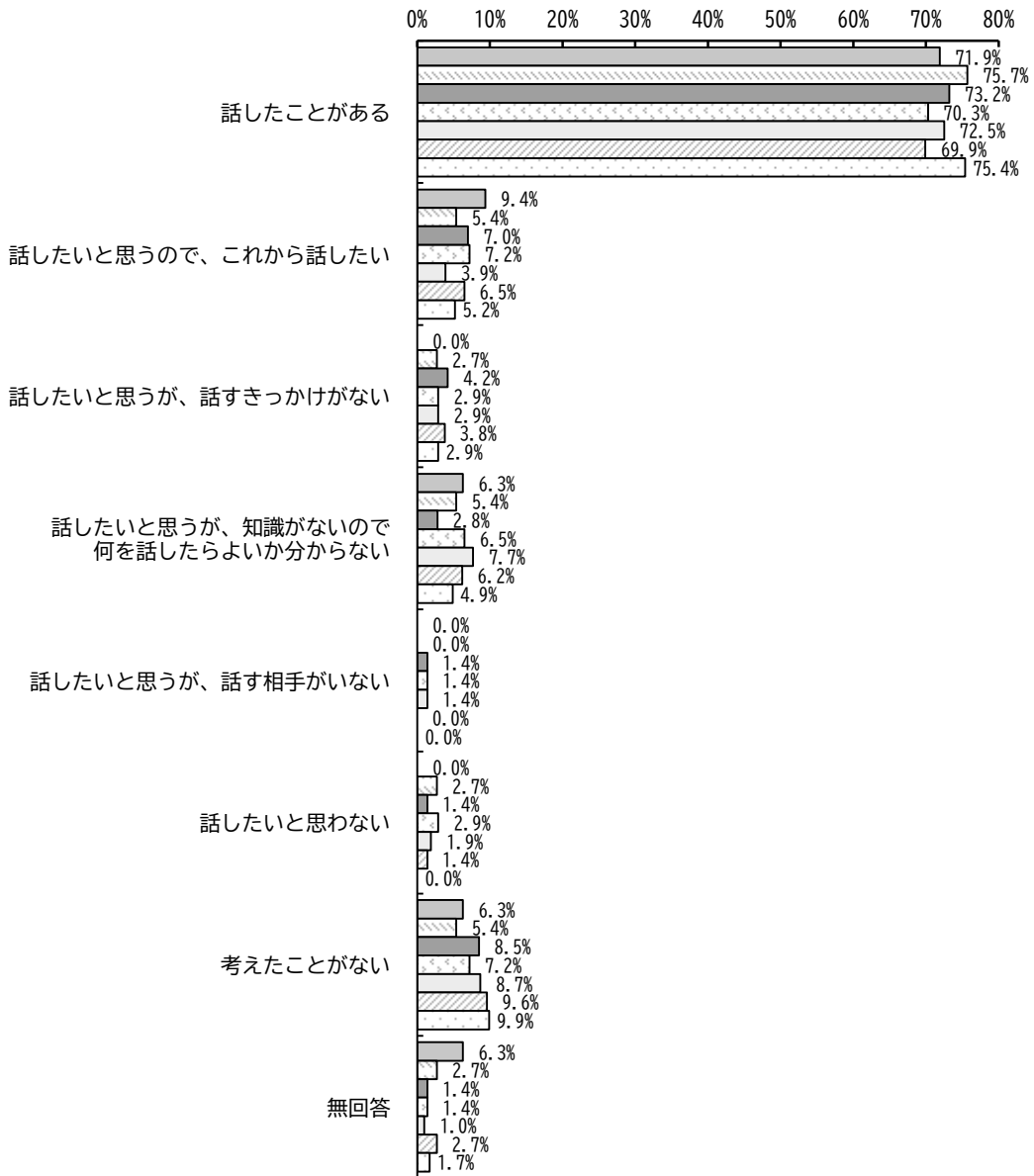
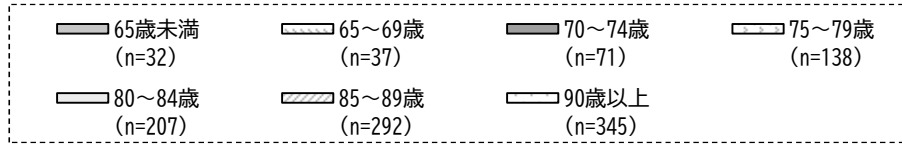
【年齢別集計】

○在宅要支援



【年齢別集計】

○在宅要介護



「人生会議手帳」の認知

浜松市が作成した「人生会議手帳」を知っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問57・在宅要支援認定者調査 問54・在宅要介護認定者調査 問10>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っていて、活用したことがある	9	0.6%	26	2.1%	38	3.4%
知っているが、活用したことはない	74	5.3%	140	11.1%	95	8.5%
知らない	1,294	92.1%	1,058	84.2%	975	86.9%
無回答	28	2.0%	33	2.6%	14	1.2%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

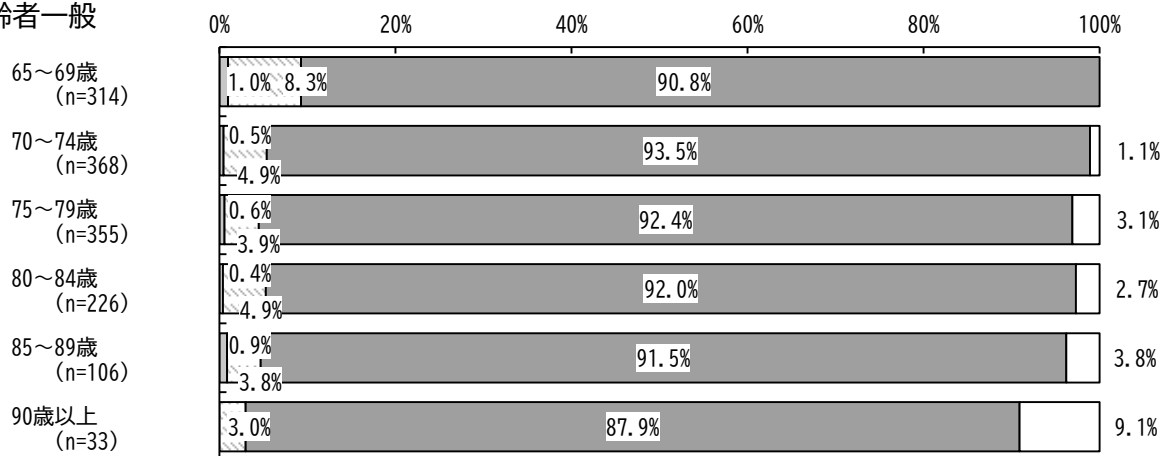
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「知らない」の割合が高く8割を超えています。

年齢別でみると、「知っていて、活用したことがある」と「知っているが、活用したことはない」を合わせた割合は、高齢者一般と在宅要介護認定者では65～69歳が、在宅要支援認定者では75～79歳が最も高くなっています。

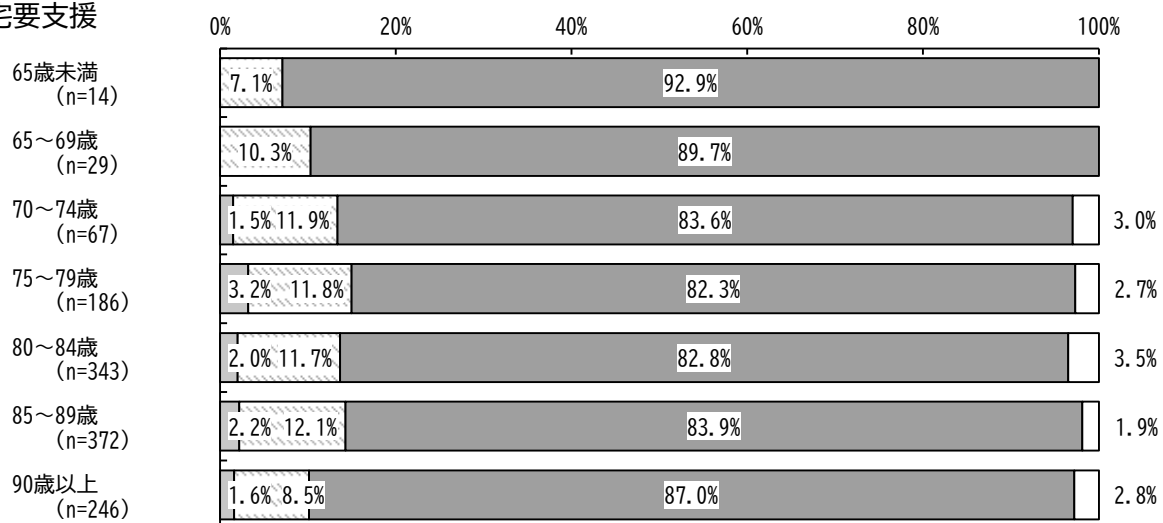
知っていて、活用したことがある
 知っているが、活用したことはない
 知らない
 無回答

【年齢別集計】

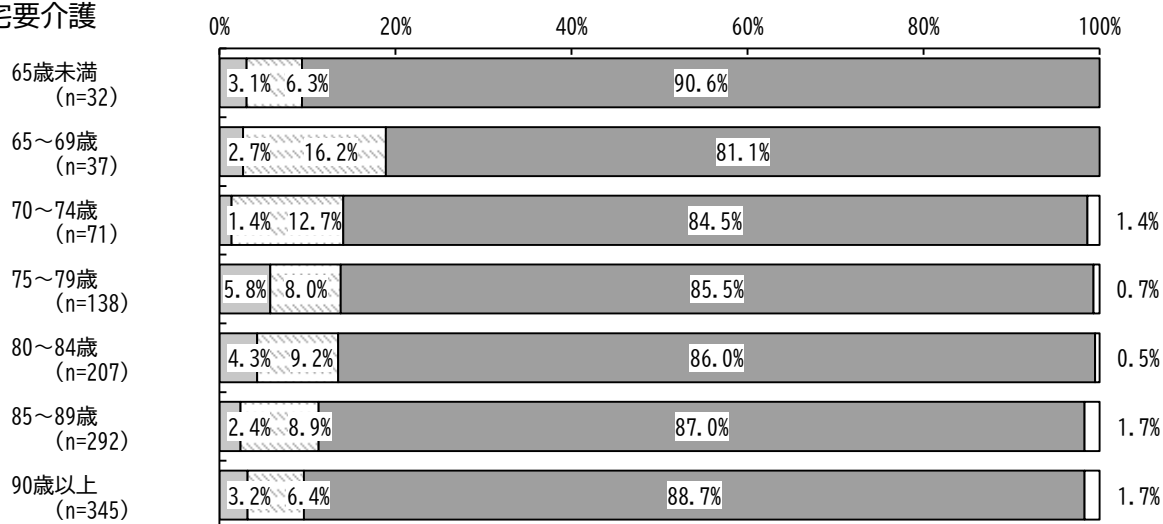
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



介護が必要になった場合に受けたい介護

あなたは介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問48>

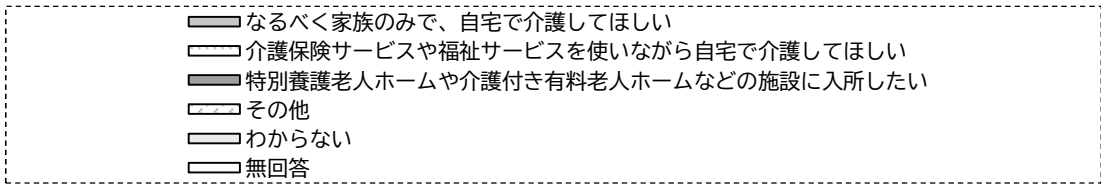
【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい	236	16.8%
介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい	574	40.9%
特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい	305	21.7%
その他	10	0.7%
わからない	254	18.1%
無回答	26	1.9%
合 計	1,405	100.0%

単純集計でみると、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」の割合が最も高くなっています。

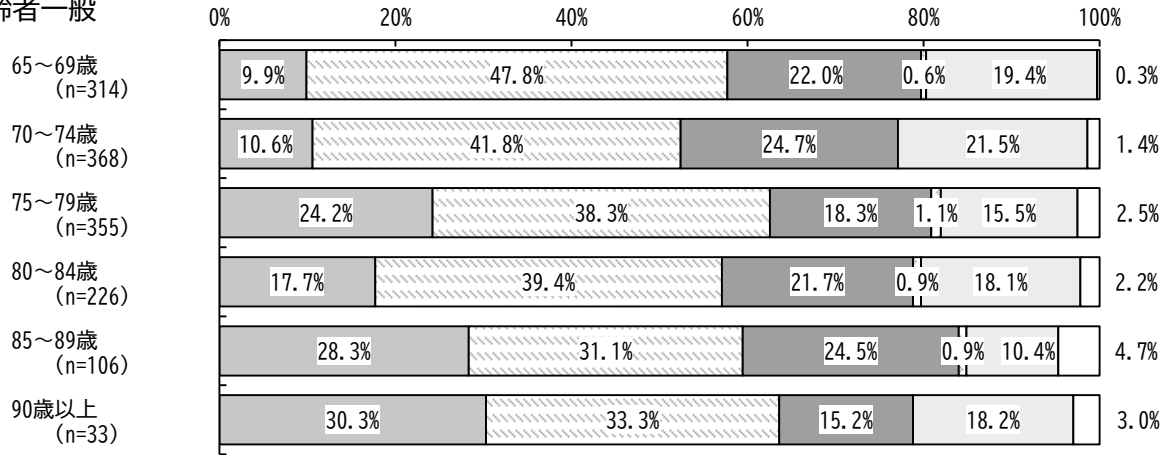
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」の割合が高くなる傾向があります。

家族構成別でみると、1人暮らしでは「特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい」が最も高くなっています。



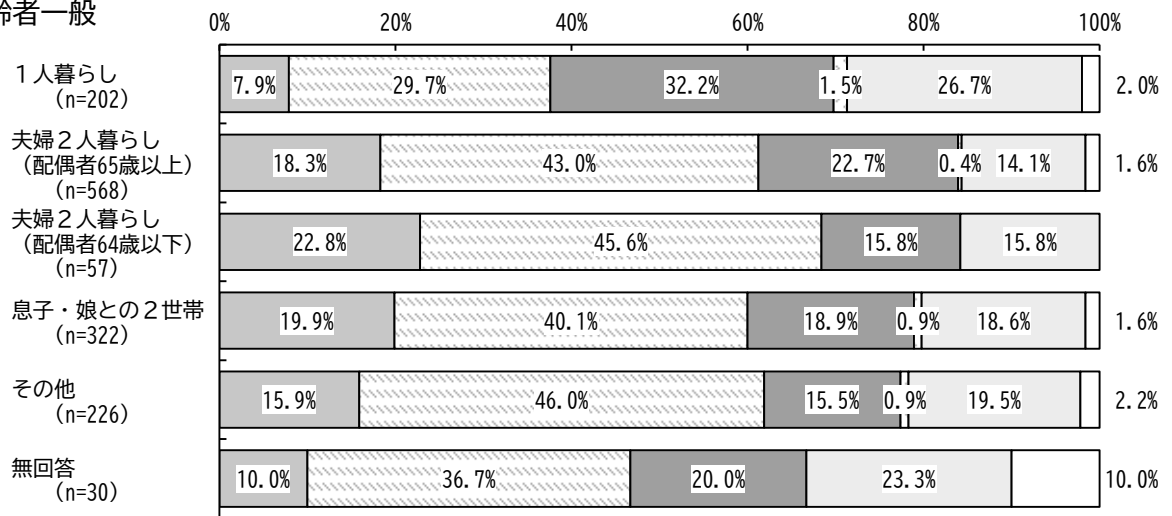
【年齢別集計】

○高齢者一般



【家族構成別集計】

○高齢者一般



家族に介護が必要になった場合にしたい介護

あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(○はひとつ)

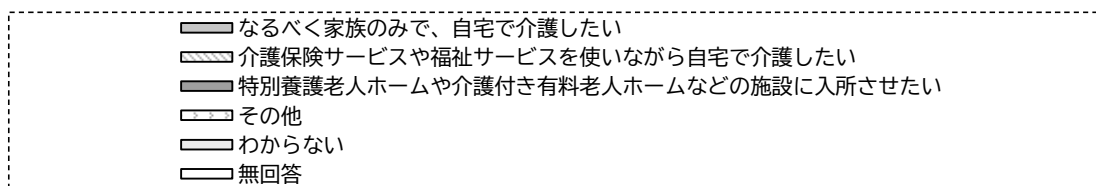
<高齢者一般調査 問49>

【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護したい	196	14.0%
介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい	679	48.3%
特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所させたい	250	17.8%
その他	28	2.0%
わからない	207	14.7%
無回答	45	3.2%
合 計	1,405	100.0%

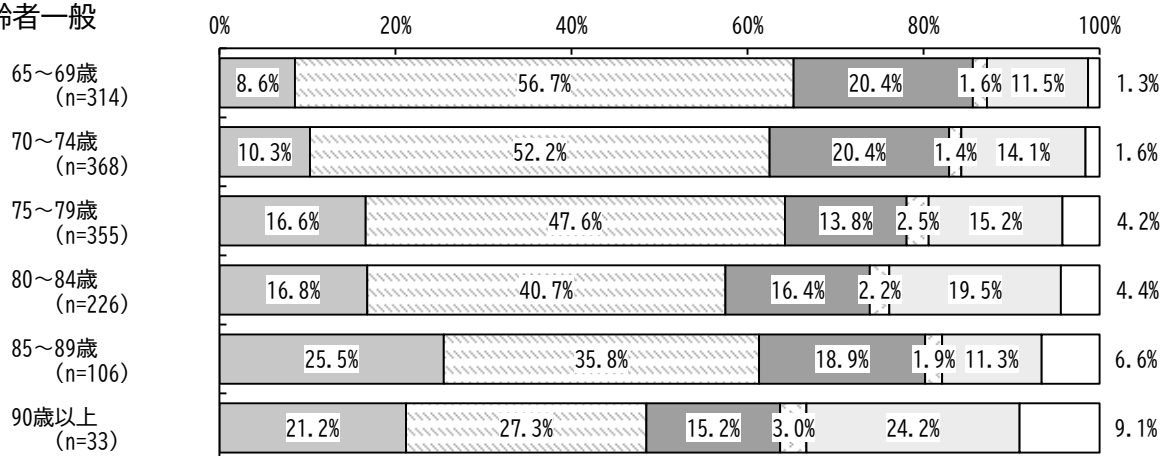
単純集計でみると、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】

○高齢者一般



老後を安心して過ごすために市に充実を求めること

老後を安心して過ごすために、今後、市に対して特に充実を求めることはどのようなことですか。

(○は3つまで)

<高齢者一般調査 問58>

【単純集計】

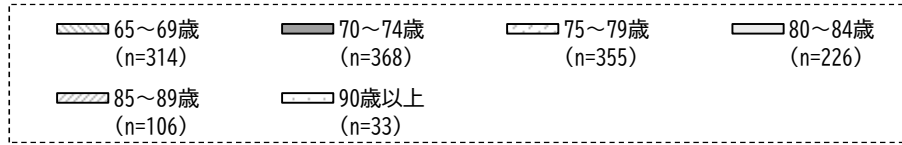
回 答	高齢者一般	
	件数	割合
健康づくり（定期健診、栄養指導等）	390	27.8%
介護予防（生活習慣病の予防、心身機能低下の予防）	357	25.4%
生涯学習	67	4.8%
緊急通報システムの貸与	192	13.7%
配食サービス	301	21.4%
就労支援	63	4.5%
手続きや金銭管理の支援（成年後見制度等）	94	6.7%
高齢者虐待防止	48	3.4%
高齢者向けアパート	136	9.7%
介護サービス付の入居施設	442	31.5%
在宅医療	258	18.4%
訪問看護、訪問リハビリテーション	236	16.8%
外来診療	85	6.0%
認知症施策	92	6.5%
訪問介護、訪問入浴介護	149	10.6%
通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション	270	19.2%
短期入所（ショートステイ）	118	8.4%
地域での見守りや支えあい活動の支援	184	13.1%
無回答	65	4.6%
回 答 数	1,405	-

単純集計でみると、「介護サービス付の入居施設」の割合が最も高く、次いで「健康づくり（定期健診、栄養指導等）」、「介護予防（生活習慣病の予防、心身機能低下の予防）」の順で割合が高くなっています。

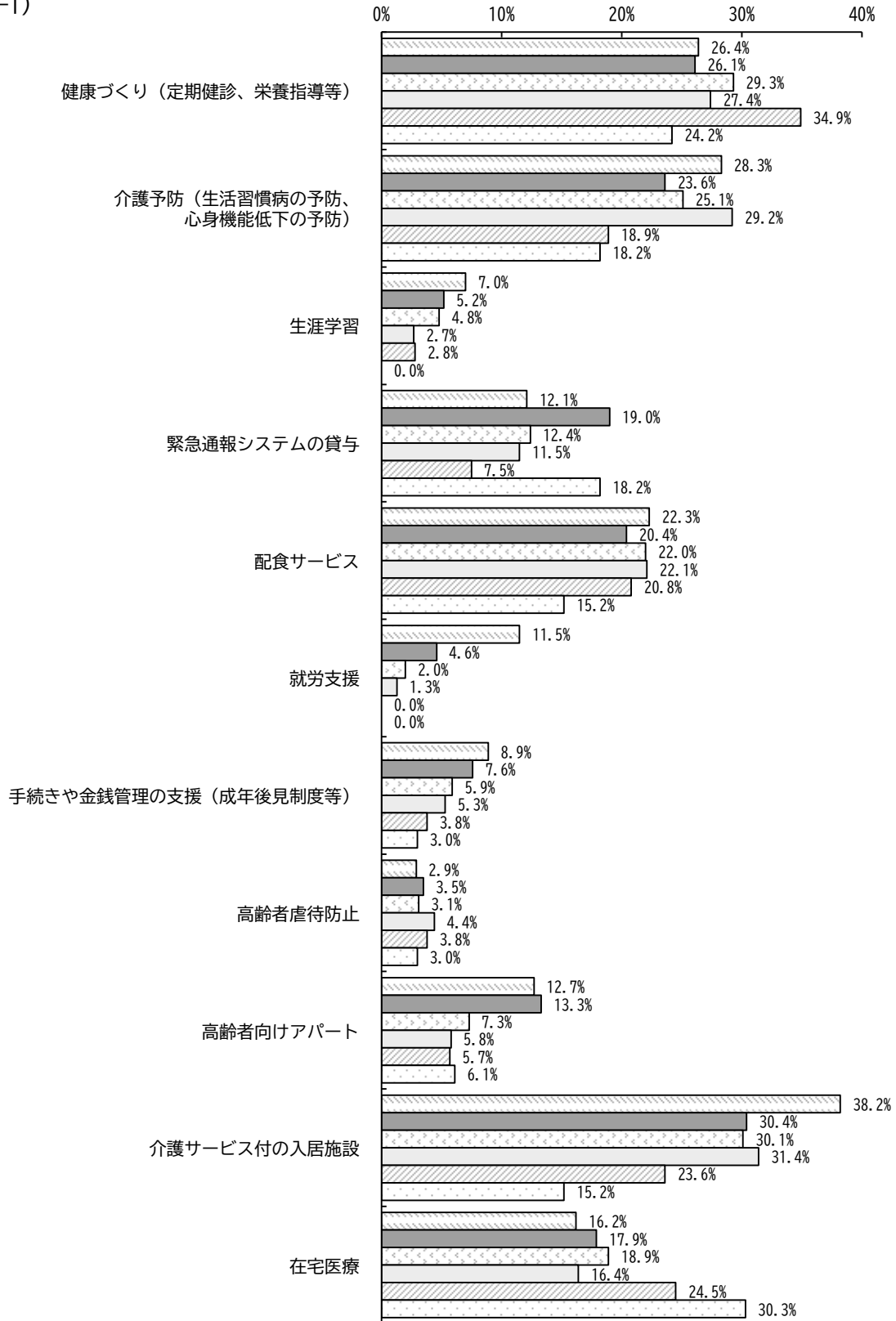
年齢別でみると、65～69歳では「介護サービス付の入居施設」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

【年齢別集計】

○高齢者一般

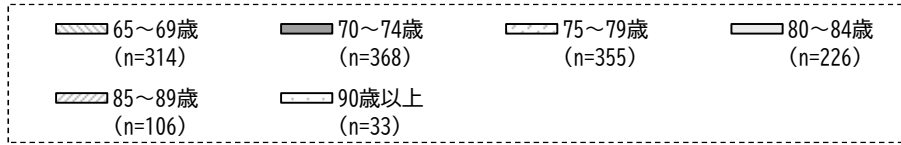


(2-1)

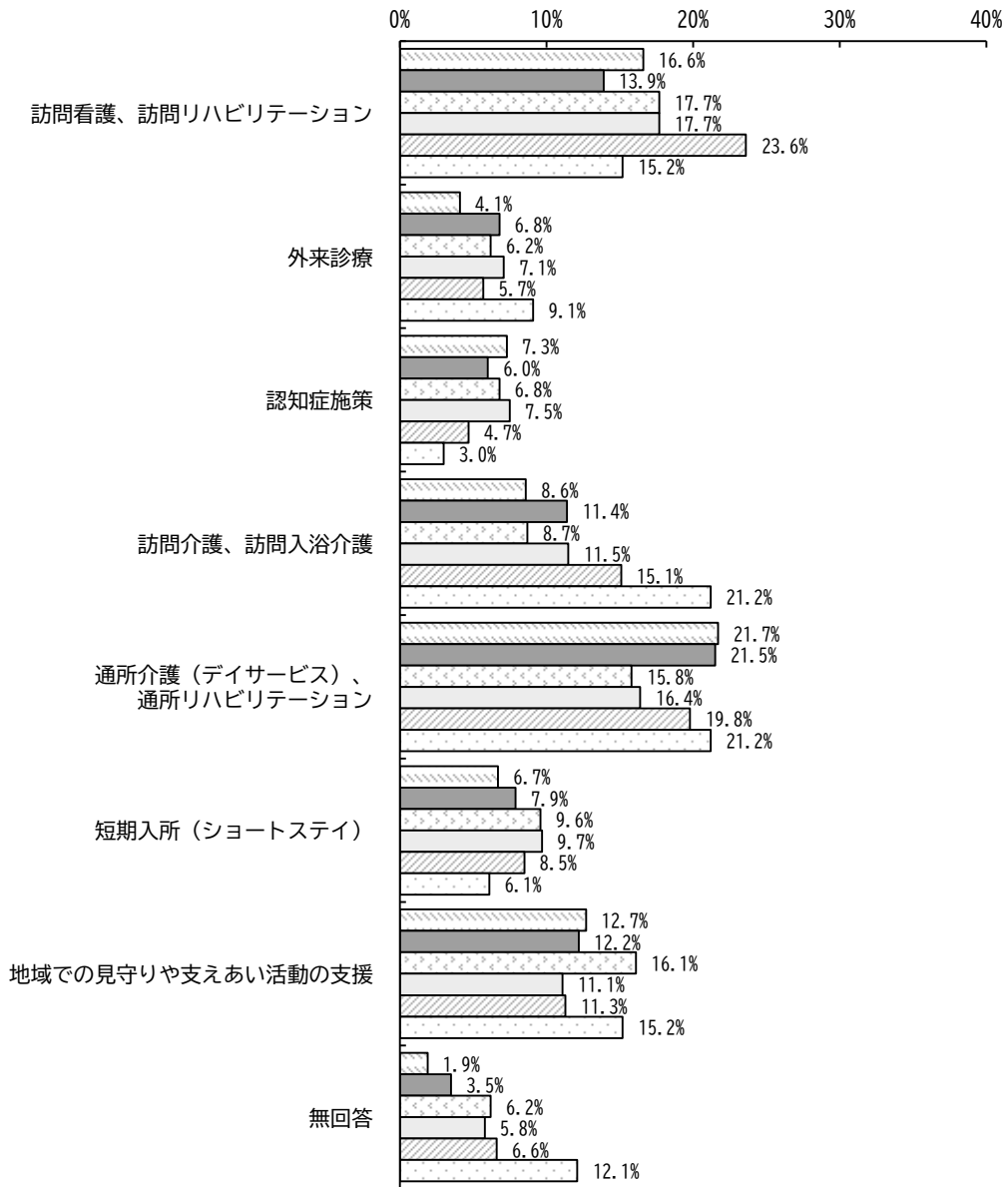


【年齢別集計】

○高齢者一般



(2-2)



災害時や緊急時に1人で避難できるか

あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問55・在宅要介護認定者調査 問11>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
避難できる	382	30.4%	133	11.9%
1人で判断できるが、避難できない※	457	36.4%	356	31.7%
1人で判断できず、避難できない※	212	16.9%	496	44.2%
わからない	179	14.2%	125	11.1%
無回答	27	2.1%	12	1.1%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

※選択肢「1人で判断できるが、避難できない」は

在宅要介護認定者調査では「避難するべきかどうか1人で判断できるが、避難できない」

※選択肢「1人で判断できず、避難できない」は

在宅要介護認定者調査では「避難するべきかどうか1人で判断できず、避難できない」

単純集計でみると、在宅要支援認定者では「1人で判断できるが、避難できない」の割合が高くなっています。在宅要介護認定者では「1人で判断できず、避難できない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、在宅要介護認定者では年齢が高くなるにつれて「1人で判断できず、避難できない」の割合が高くなる傾向にあります。

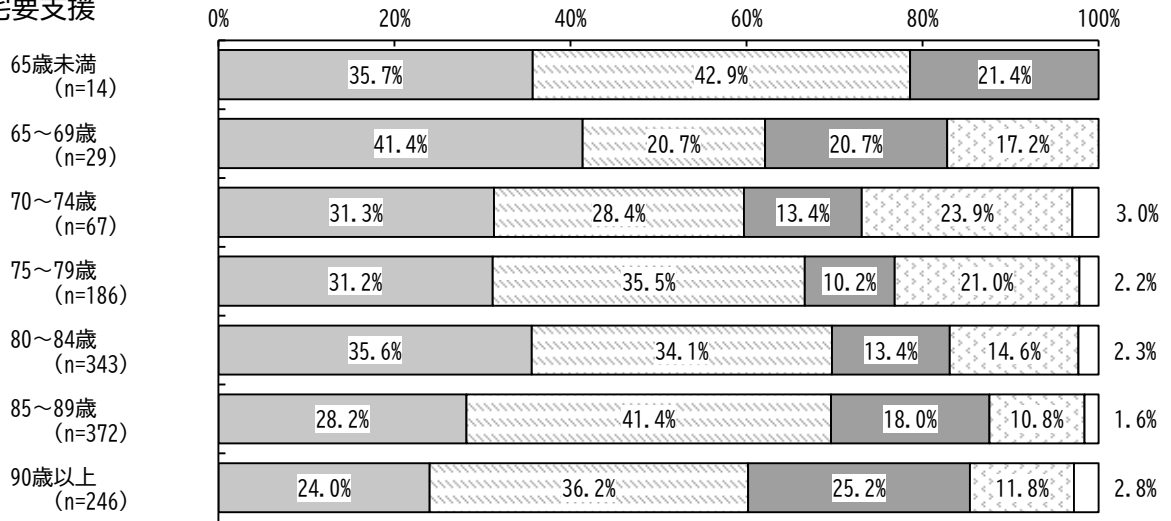
区別でみると、大きな差はみられません。

家族構成別でみると、大きな差はみられません。



【年齢別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護

